

基本計画書

基本計画書										
事項		記入欄								備考
計画の区分		学部等連係課程実施基本組織の設置（学部の設置）								
フリガナ設置者		コリガシガノカゼン ｶｶﾞﾐﾌﾞﾀ 国立大学法人 佐賀大学								
フリガナ大学の名称		ｶｶﾞﾐﾌﾞﾀ 佐賀大学(Saga University)								
大学本部の位置		佐賀県佐賀市本庄町1番地								
大学の目的		国際的視野を有し、豊かな教養と深い専門知識を生かして社会で自立できる個人を育成するとともに、高度の学術的研究を行い、さらに、地域の知的拠点として、地域及び諸外国との文化、健康、社会、科学技術に関する連携交流を通して学術的、文化的貢献を果たすことにより、地域社会及び国際社会の発展に寄与することを目的とする。								
新設学部等の目的		コスメティックサイエンス学環では、学生に自律的に学ぶ姿勢、原理・原則を理解する力、アイデア創出力、問題発見能力、課題設定能力、構想力、モデル化能力、課題解決・遂行能力を身に付けさせ、社会の変革に柔軟に適応できる幅広い教養と生命科学の基礎力を土台として、学際的視点からコスメティックサイエンスに関連した広い分野で活躍できる科学・技術の専門的素養を持つ以下のような人材を養成する。 ① 基礎科学の知識を深く理解し、応用できる能力を持つ人材 化粧品の開発には、化学、生物学、皮膚科学、薬学、工学などの基礎科学の知識が不可欠であり、これらの知識を基に、新しい成分の開発や既存成分の改良を行い、安全で効果的な製品を創出する能力を養う。 ② 実践的な技術と創造力を兼ね備えた人材 実験や研究を通じて得た知識を実際の製品開発に応用し、消費者のニーズに応える製品を生み出す力を育て、創造力を発揮し、独自のアイデアを形にすることで、競争の激しい市場で差別化を図ることができる人材 ③ 倫理観と社会的責任を持つ人材 化粧品業界は消費者の健康や安全に直接関わるため、高い倫理観と社会的責任が求められる。法規制を遵守し、環境に配慮した製品開発を行うことで、持続可能な社会の実現に貢献できる人材を育成する。 ④ グローバルな視野を持つ人材 化粧品業界は国際的な市場であり、異文化理解や国際的なビジネススキルが求められる。海外の最新動向を把握し、国際的な競争力を持つ製品を開発する能力を養う。 ⑤ コミュニケーション能力とチームワークを重視する人材 研究開発はチームで行うことが多く、他者との協力や情報共有が重要であり、効果的なコミュニケーションを通じて、チーム全体の力を最大限に引き出すことができる人材を育成する。								
新設学部等の概要	新設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位	学位の分野	開設時期及び開設年次	所在地	
	学部等連係課程実施基本組織 コスメティックサイエンス学環 [School of Cosmetic Science]	4	30	—	120	学士（学術） [Bachelor of Sciences]	理学関係 農学関係	年 月 第 年次 令和8年4月 第1年次	佐賀県佐賀市本庄町1番地	
	連係協力学部（Ⅰ） 理工学部 [Faculty of Science and Engineering] 理工学科 [Department of Science and Engineering]	4	510	3年次 15	2,070	学士（理学） [Bachelor of Science] 学士（工学） [Bachelor of Engineering]	理学関係 工学関係	平成31年4月 第1年次	同上	
	理工学科からコスメティックサイエンス学環の内数とする入学定員数 連係協力学部（Ⅱ） 農学部 [Faculty of Agriculture] 生物資源科学科 [Department of Biological Resource Science]	4	175	—	700	学士（農学） [Bachelor of Agriculture]	農学関係	平成31年4月 第1年次	同上	
	生物資源科学科からコスメティックサイエンス学環の内数とする入学定員数		20	—	80					
	教育学部 共同教員養成課程 [Faculty of Education School Education]	4	120	—	480	学士（教育学） [Bachelor of Education]	教育学・保育学関係	令和8年4月 第1年次	同上	令和7年7月届出予定
	計		—	—	—					

同一設置者内における変更状況 (定員の移行、名称の変更等)		教育学部 共同教員養成課程 (令和7年事前相談) 経済学部 経済学科 [定員減] (△10) 経営学科 [定員減] (△10) 経済法学科 [定員減] (△10) 農学部 生物資源科学科 [定員増] (30)					
教育課程	新設学部等の名称	開設する授業科目の総数				卒業要件単位数	
		講義	演習	実験・実習	計		
	コスメティックサイエンス学環	275 科目	17 科目	9 科目	301 科目	124 単位	
新設	学部等の名称	基幹教員				助手	基幹教員以外の員 (助手を除く)
		教授	准教授	講師	助教	計	
設	学部等連係課程実施基本組織 コスメティックサイエンス学環	人	人	人	人	人	人
	連係協力学部 (Ⅰ) 理工学部 理工学科	<0> 【8】	<1> 【4】	<0> 【0】	<0> 【0】	<1> 【12】	<0> 【0】 【290】
	連係協力学部 (Ⅱ) 農学部 生物資源科学科	(9)	(5)	(0)	(0)	(14)	(289)
	a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの	<0> 【7】 (8)	<1> 【4】 (5)	<0> 【0】 (0)	<0> 【0】 (0)	<1> 【11】 (13)	大学設置基準別表第一に定める基幹教員数の四分の三の数 9人
	b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの (aに該当する者を除く)	<0> (0)	<0> (0)	<0> (0)	<0> (0)	<0> (0)	
	小計 (a～b)	<0> 【7】 (8)	<1> 【4】 (5)	<0> 【0】 (0)	<0> 【0】 (0)	<1> 【11】 (13)	
	c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの (a又はbに該当する者を除く)	<0> (0)	<0> (0)	<0> (0)	<0> (0)	<0> (0)	
	d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの (a、b又はcに該当する者を除く)	<0> 【1】 (1)	<0> 【0】 (0)	<0> 【0】 (0)	<0> 【0】 (0)	<0> 【1】 (1)	
	計 (a～d)	<0> 【8】 (9)	<1> 【4】 (5)	<0> 【0】 (0)	<0> 【0】 (0)	<1> 【12】 (14)	
分	教育学部 共同教員養成課程	14 (23)	17 (17)	3 (3)	0 (0)	34 (43)	大学設置基準別表第一に定める基幹教員数の四分の三の数 8人
	a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの	14 (23)	17 (17)	3 (3)	0 (0)	34 (43)	
	b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの (aに該当する者を除く)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	
	小計 (a～b)	14 (23)	17 (17)	3 (3)	0 (0)	34 (43)	
	c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの (a又はbに該当する者を除く)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	
	d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの (a、b又はcに該当する者を除く)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	
	計 (a～d)	14 (23)	17 (17)	3 (3)	0 (0)	34 (43)	
	計	<0> 【8】 14 (32)	<1> 【4】 17 (22)	<0> 【0】 3 (3)	<0> 【0】 0 (0)	<1> 【12】 34 (57)	<0> 【0】 0 (0) 【290】 292 (572)
既	芸術地域デザイン学部 芸術地域デザイン学科	11 (14)	13 (9)	0 (0)	0 (0)	24 (23)	大学設置基準別表第一に定める基幹教員数の四分の三の数 9人
	a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの	11 (14)	13 (9)	0 (0)	0 (0)	24 (23)	
	b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの (aに該当する者を除く)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	
	小計 (a～b)	11 (14)	13 (9)	0 (0)	0 (0)	24 (23)	
	c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの (a又はbに該当する者を除く)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	
	d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの (a、b又はcに該当する者を除く)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	
	計 (a～d)	11 (14)	13 (9)	0 (0)	0 (0)	24 (23)	

職 種			専 属		その他		計				
事 務 職 員			259 人 (259)		362 人 (362)		621 人 (621)				
技 術 職 員			63 (63)		99 (99)		162 (162)				
図 書 館 職 員			10 (10)		11 (11)		21 (21)				
そ の 他 の 職 員			809 (809)		240 (240)		1,049 (1,049)				
指 導 補 助 者			5 (5)		19 (19)		24 (24)				
計			1,146 (1,146)		731 (731)		1,877 (1,877)				
校 地 等	区 分		専 用		共 用		共用する他の 学校等の専用		計		
	校 舎 敷 地		409,198 m ²		0 m ²		0 m ²		409,198 m ²		
	そ の 他		422,826 m ²		0 m ²		0 m ²		422,826 m ²		
	合 計		832,024 m ²		0 m ²		0 m ²		832,024 m ²		
校 舎			専 用		共 用		共用する他の 学校等の専用		計		
			148,364 m ² (148,364 m ²)		0 m ² (0 m ²)		0 m ² (0 m ²)		148,364 m ² (148,364 m ²)		
教 室 ・ 教 員 研 究 室			教 室		112 室		教 員 研 究 室		352 室		
図 書 ・ 設 備	新設学部等の名称		図書 〔うち外国書〕冊		学術雑誌 〔うち外国書〕種		電子ジャーナル 〔うち外国書〕		機械・器具 標本		
			冊		〔うち外国書〕		〔うち外国書〕		点 点		
	大学全体		692,577 [214,425] (698,462 [222,164])		20,232 [17,363] (20,264 [17,298])		20,411 [11,072] (20,559 [11,199])		8,703 [7,173] (8,728 [7,146])		
	計		692,577 [214,425] (698,462 [222,164])		20,232 [17,363] (20,264 [17,298])		20,411 [11,072] (20,559 [11,199])		8,703 [7,173] (8,728 [7,146])		
スポーツ施設等			スポーツ施設			講堂			厚生補導施設		
			2,500 m ²			1,000 m ²			4,000 m ²		
経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設前年度	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	国費（運営費交付金）による	
		教員1人当り研究費等		—	—	—	—	—	—		
		共同研究費等		—	—	—	—	—	—		
		図 書 購 入 費	—	—	—	—	—	—	—		
		設 備 購 入 費	—	—	—	—	—	—	—		
	学生1人当り納付金			第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
				— 千円	— 千円	— 千円	— 千円	— 千円	— 千円		
学生納付金以外の維持方法の概要											

	大 学 等 の 名 称	佐賀大学							
	学 部 等 の 名 称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	収容定員充足率	開設年度	所 在 地
既設大学等の状況		年	人	年次人	人		倍		
	【学部】 教育学部 学校教育課程	4	120	—	480	学士(学校教育)	1.09 ≪1.07≫	平成28	佐賀県佐賀市本庄町1番地
	芸術地域デザイン学部 芸術地域デザイン学科	4	110	3年次5	450	学士(芸術) 学士(地域デザイン)	1.09 ≪1.05≫	平成28	佐賀県佐賀市本庄町1番地
	経済学部 経済学科	4	260	—	1,040	学士(経済学)	1.03 ≪1.01≫	平成25	佐賀県佐賀市本庄町1番地
	経営学科	4	80	—	320				
	経済法学科	4	70	—	280				
	医学部 医学科	6	98	—	588	学士(医学)	1.01 ≪0.98≫	平成16	佐賀県佐賀市鍋島5-1-1
	看護学科	4	60	—	240	学士(看護学)	0.99	平成16	佐賀県佐賀市鍋島5-1-1
	理工学部 理工学科	4	510	3年次15	2,010	学士(理学) 学士(工学)	1.08 ≪1.03≫	平成31	佐賀県佐賀市本庄町1番地
	農学部 生物資源科学科	4	145	—	580	学士(農学)	1.05 ≪1.04≫	平成31	佐賀県佐賀市本庄町1番地
	【大学院】 学校教育学研究科 教育実践探究専攻 (専門職学位課程)	2	20	—	40	教職修士(専門職)	1.00	平成28	佐賀県佐賀市本庄町1番地
	地域デザイン研究科 地域デザイン専攻 (修士課程)	2	20	—	40	修士(地域デザイン)	0.97	平成28	佐賀県佐賀市本庄町1番地
	医学系研究科 医科学専攻 (博士課程)	4	25	—	100	博士(医学)	0.89	平成20	佐賀県佐賀市鍋島5-1-1
	先進健康科学研究科 先進健康科学専攻 (修士課程)	2	52	—	104	修士(医科学) 修士(看護学) 修士(理学) 修士(工学) 修士(農学)	1.17	平成31	佐賀県佐賀市鍋島5-1-1
	理工学研究科 理工学専攻 (博士前期課程)	2	167	—	334	修士(理学) 修士(工学)	1.17	平成31	佐賀県佐賀市本庄町1番地
	理工学研究科 理工学専攻 (博士後期課程)	3	20	—	60	博士(理学) 博士(工学)	1.13	令和3	佐賀県佐賀市本庄町1番地
	農学研究科 生物資源科学専攻 (修士課程)	2	32	—	64	修士(農学)	1.23	平成31	佐賀県佐賀市本庄町1番地

附属施設の概要	名称：アドミッションセンター 目的：入学者選抜、入試広報、高大接続等に関する企画、立案等の業務を行うとともに、学部及び研究科で実施する入学者選抜を専門的立場から支援し、本学の教育研究の充実発展に寄与することを目的とする。 所在地：佐賀県佐賀市本庄町1番地 設置年月：平成19年10月 規模等：土地 ㎡ 建物 76 ㎡	
	名称：ウェルビーイング創造センター 目的：学生及び地域に住む人々に対し、包括的な切れ目ない学修支援、キャリア形成支援及びリカレント教育支援を実施することにより、学修者のウェルビーイングを深化させることを目的とする。 所在地：佐賀県佐賀市本庄町1番地 設置年月：令和6年4月 規模等：土地 ㎡ 建物 228 ㎡	
	名称：国際交流推進センター 目的：部局及び地域社会と連携し一体となって、海外の教育研究機関との国際交流の進展に寄与することを目的とする。 所在地：佐賀県佐賀市本庄町1番地 設置年月：平成23年10月 規模等：土地 ㎡ 建物 318 ㎡	
	名称：ダイバーシティ推進室 目的：本法人のダイバーシティの推進を目的とする。 所在地：佐賀県佐賀市本庄町1番地 設置年月：平成29年5月 規模等：土地 ㎡ 建物 25 ㎡	
	名称：リージョナルイノベーションセンター 目的：本法人の学術を振興し、知的財産の創出及び活用を図ることにより、産学地域連携を推進するとともに、イノベーションを創出する中核的拠点として、本学の研究及び社会連携の機能を強化し、地域産業の発展、地域人材の育成及び地域社会に寄与することを目的とする。 所在地：佐賀県佐賀市本庄町1番地 設置年月：平成29年10月 規模等：土地 ㎡ 建物 212 ㎡	
	名称：教育開発推進センター 目的：本学の目的、使命のつとり、本学の教育ビジョン・教育目標の実現に向けた戦略を策定し、必要な取組の企画・実施をするとともに、学生の入学から卒業までを一貫的に捉えた包括的・体系的取組を主導することを目的とする。 所在地：佐賀県佐賀市本庄町1番地 設置年月：令和7年4月 規模等：土地 ㎡ 建物 25 ㎡	
	名称：教養教育センター 目的：本学の目的及び使命のつとり、全学協力体制の下、本学の共通教育、国際教育に関する企画、立案及び実施をすることにより、「佐賀大学学士力」に基づく学士課程教育の充実及び発展を図ることを目的とする。 所在地：佐賀県佐賀市本庄町1番地 設置年月：令和7年4月 規模等：土地 ㎡ 建物 9,180 ㎡	
	名称：附属図書館 目的：教育、研究及び社会貢献等の諸活動を支援するため、必要な図書、雑誌等の資料はじめ学術情報を収集し、整理、作成、保存して提供することを目的とする。 所在地：佐賀県佐賀市本庄町1番地 設置年月：平成元年4月 規模等：土地 ㎡ 建物 7,433 ㎡	
	名称：美術館 目的：本学の目的、使命のつとり、本学の教育、研究、社会貢献等の諸活動を支援するため、必要な芸術資料等を収集、保存、管理及び調査し、並びに展示公開することを目的とする。 所在地：佐賀県佐賀市本庄町1番地 設置年月：平成25年6月 規模等：土地 ㎡ 建物 1,473 ㎡	
	名称：保健管理センター 目的：本学の保健管理に関する専門的業務を行うことを目的とする。 所在地：佐賀県佐賀市本庄町1番地 設置年月：昭和45年4月 規模等：土地 ㎡ 建物 673 ㎡	
	名称：海洋エネルギー研究所 目的：共同利用・共同研究拠点として、海洋エネルギーとその複合利用に関する研究を行い、かつ、全国の大学の教員その他の研究機関の研究者で、センターの目的たる研究と同一の分野の研究に従事するものの利用及び研究に供することを目的とする。 所在地：佐賀県佐賀市本庄町1番地、佐賀県伊万里市山代町久原字平尾1番48号 設置年月：平成14年4月 規模等：土地 11,168 ㎡ 建物 4,698 ㎡	

附属施設の概要

名称：	総合分析実験センター
目的：	生物資源開発・機器分析・放射性同位元素利用・環境安全管理に関する体制を一元化し、各部門が有機的な連携を保ちつつ、教育・研究を効率的に推進するための拠点施設として、学際的・複合的な領域研究にも対応できる教育・研究支援体制の実現を目指すことを目的とする。
所在地：	佐賀県佐賀市本庄町1番地
設置年月：	平成14年4月
規模等：	土地 - m ² 建物 6,332
名称：	総合情報基盤センター
目的：	本学の学術情報を支える基幹情報システムを統括するとともに、本学の共通的情報基盤の整備推進及び電子図書館機能の充実並びに事務情報化の推進を図ることを目的とする。
所在地：	佐賀県佐賀市本庄町1番地
設置年月：	平成18年2月
規模等：	土地 - m ² 建物 1,063 m ²
名称：	シンクロトロン光応用研究センター
目的：	本学の共同利用研究施設として、シンクロトロン光を応用して行う研究を推進し、その成果を公表することにより、本学の研究教育活動及び学術交流の活性化を図るとともに、地域社会における先端科学技術開発及び産学連携の振興に資することを目的とする。
所在地：	佐賀県佐賀市本庄町1番地
設置年月：	平成13年6月
規模等：	土地 - m ² 建物 385 m ²
名称：	地域学歴史文化研究センター
目的：	地域（佐賀）の歴史文化の固有性と普遍性を探求することにより、本学の文系基礎学の発展・充実を図り、もって新たな学問体系としての地域学を創造するとともに、広く地域社会に対し研究成果を提供することを目的とする。
所在地：	佐賀県佐賀市本庄町1番地
設置年月：	平成18年4月
規模等：	土地 - m ² 建物 177 m ²
名称：	生物資源教育研究センター
目的：	本学内外の関係機関との連携のもとに、アグリ創生及び農水産業振興に関する教育及び研究を行い、農業、医療及び環境修復等の地域社会ニーズに対応した学際的な国際化戦略の向上に資することを目的とする。
所在地：	佐賀県佐賀市久保泉町下和泉1841番地、佐賀県唐津市松南町152番1号
設置年月：	令和7年4月
規模等：	土地 180,840 m ² 建物 4,111m ²
名称：	教育学部附属幼稚園
目的：	本学部における幼児の保育又は児童若しくは生徒の教育に関する研究に協力し、本学部の計画に従い、学生の実習の実施に当たるとともに、教育の理論的、実証的研究を行うとともに、他の学校との教育研究の協力及び教育研究の成果の交流を行うことを目的とする。
所在地：	佐賀県佐賀市水ヶ江1丁目4番45号
設置年月：	昭和45年4月
規模等：	土地 3,423m ² 建物 744 m ²
名称：	教育学部附属小学校
目的：	本学部における幼児の保育又は児童若しくは生徒の教育に関する研究に協力し、本学部の計画に従い、学生の実習の実施に当たるとともに、教育の理論的、実証的研究を行うとともに、他の学校との教育研究の協力及び教育研究の成果の交流を行うことを目的とする。
所在地：	佐賀県佐賀市城内2丁目17番3号
設置年月：	昭和24年5月
規模等：	土地 18,008 m ² 建物 5,624 m ²
名称：	教育学部附属中学校
目的：	本学部における幼児の保育又は児童若しくは生徒の教育に関する研究に協力し、本学部の計画に従い、学生の実習の実施に当たるとともに、教育の理論的、実証的研究を行うとともに、他の学校との教育研究の協力及び教育研究の成果の交流を行うことを目的とする。
所在地：	佐賀県佐賀市城内1丁目14番4号
設置年月：	昭和24年5月
規模等：	土地 22,394 m ² 建物 6,379 m ²
名称：	教育学部附属特別支援学校
目的：	本学部における幼児の保育又は児童若しくは生徒の教育に関する研究に協力し、本学部の計画に従い、学生の実習の実施に当たるとともに、教育の理論的、実証的研究を行うとともに、他の学校との教育研究の協力及び教育研究の成果の交流を行うことを目的とする。
所在地：	佐賀県佐賀市本庄町正里46番2号
設置年月：	昭和53年4月
規模等：	土地 19,915 m ² 建物 3,677 m ²
名称：	教育学部附属教育実践総合センター
目的：	附属学校（園）等、学内外の関係機関との連携のもとに、教育臨床、教育実践及び就職支援に関する理論的・実践的研究及び指導を行い、教育実践の向上に資することを目的とする。
所在地：	佐賀県佐賀市本庄町1番地
設置年月：	平成14年4月
規模等：	土地 - m ² 建物 456 m ²

附属施設の概要	名称：医学部附属病院 目的：医学の教育及び研究に係る診療の場として機能するとともに、医療を通して医学の水準及び地域医療の向上に寄与することを目的とする。 所在地：佐賀県佐賀市鍋島五丁目1番1号 設置年月：昭和56年4月 規模等：土地 108,208 m² 建物 80,325 m²
	名称：医学部附属地域医療科学教育研究センター 目的：本学における教育研究の先導的組織として、地域医療機関、保健行政機関等との連携を基盤に、地域包括医療の高度化等に関する総合的、学際的な教育研究を行うとともに、関連する医学・看護学の課題に関して重点的に研究を発展させることを目的とする。 所在地：佐賀県佐賀市鍋島五丁目1番1号 設置年月：平成15年4月 規模等：土地 - m² 建物 951 m²
	名称：医学部附属先端医学研究推進支援センター 目的：本学部における医学研究活動をより一層推進するため、学際分野を含む医学研究の先端的・中心的な役割を担い、もって学内外への情報発信を行うとともに、本学部における教育研究の基盤となる高度な技術的支援とその研鑽を組織的に行うことにより、関連する医学・看護学の課題に関して重点的に研究を発展させることを目的とする。 所在地：佐賀県佐賀市鍋島五丁目1番1号 設置年月：平成19年4月 規模等：土地 - m² 建物 38 m²
	名称：神集島合宿研修所 目的：本学学生の集団行動における訓練の場として、学生相互あるいは教職員との共同生活を通じて、学生の人間形成に資することを目的とする。 所在地：佐賀県唐津市神集島コウソ辻1430番地 設置年月：昭和48年3月 規模等：土地 9,940 m² 建物 205 m²

- (注)
- 1 共同学科の認可の申請及び届出の場合、「計画の区分」、「新設学部等の目的」、「新設学部等の概要」、「教育課程」及び「新設分」の欄に記入せず、斜線を引くこと。
 - 2 「新設分」及び「既設分」の備考の「大学設置基準別表第一イ」については、専門職大学にあつては「専門職大学設置基準別表第一イ」、短期大学にあつては「短期大学設置基準別表第一イ」、専門職短期大学にあつては「専門職短期大学設置基準別表第一イ」にそれぞれ読み替えて作成すること。
 - 3 「既設分」については、共同学科等に係る数を除いたものとする。
 - 4 私立の大学の学部又は短期大学の学科の収容定員に係る学則の変更の届出を行おうとする場合は、「教育課程」、「教室・教員研究室」、「図書・設備」及び「スポーツ施設等」の欄に記入せず、斜線を引くこと。
 - 5 大学等の廃止の認可の申請又は届出を行おうとする場合は、「教育課程」、「校地等」、「校舎」、「教室・教員研究室」、「図書・設備」、「スポーツ施設等」及び「経費の見積もり及び維持方法の概要」の欄に記入せず、斜線を引くこと。
 - 6 「教育課程」の欄の「実験・実習」には、実技も含むこと。
 - 7 空欄には、「一」又は「該当なし」と記入すること。

国立大学法人佐賀大学 設置認可等に関わる組織の移行表

令和7年度	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	令和8年度	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	変更の事由
佐賀大学				佐賀大学				
教育学部				教育学部				
学校教育課程	120	—	480		0		0	令和8年4月学生募集停止
				共同教員養成課程	120	—	480	共同学科等の設置 (設置報告)
芸術地域デザイン学部				芸術地域デザイン学部				
芸術地域デザイン学科	110	3年次 5	450	芸術地域デザイン学科	110	3年次 5	450	
経済学部				経済学部				
経済学科	110	—	440	経済学科	100	—	400	定員変更(△10)
経営学科	80	—	320	経営学科	70	—	280	定員変更(△10)
経済法学科	70	—	280	経済法学科	60	—	240	定員変更(△10)
医学部				医学部				
医学科	98	—	588	医学科	98	—	588	
看護学科	60	—	240	看護学科	60	—	240	
理工学部				理工学部				
理工学科	510	3年次 15	2,070	理工学科	510	3年次 15	2,070	(うち入学定員10名、収容定員40名は コスメティックサイエンス学環)
農学部				農学部				
生物資源学科	145	—	580	生物資源学科	175	—	700	定員変更(30) (うち入学定員20名、収容定員80名は コスメティックサイエンス学環)
				コスメティックサイエンス学環				
				(理工学部、農学部の内数)	30	—	120	学部等連携課程の設置 (設置報告)
計	1,303	20	5,448	計	1,303	20	5,448	
佐賀大学大学院				佐賀大学大学院				
学校教育学研究科				学校教育学研究科				
教育実践探究専攻(P)	20	—	40	教育実践探究専攻(P)	20	—	40	
地域デザイン研究科				地域デザイン研究科				
地域デザイン専攻(M)	20	—	40	地域デザイン専攻(M)	20	—	40	
医学系研究科				医学系研究科				
医科学専攻(D)	25	—	100	医科学専攻(D)	25	—	100	
先進健康科学研究科				先進健康科学研究科				
先進健康科学専攻(M)	52	—	104	先進健康科学専攻(M)	52	—	104	
理工学研究科				理工学研究科				
理工学専攻(M)	167	—	334	理工学専攻(M)	167	—	334	
理工学専攻(D)	20	—	60	理工学専攻(D)	20	—	60	
農学研究科				農学研究科				
生物資源科学専攻(M)	32	—	64	生物資源科学専攻(M)	32	—	64	
計	336	—	742	計	336	—	742	

教 育 課 程 等 の 概 要																
（コスメティックサイエンス学環）																
科目 区分	授業科目の名称	配当年次	主要授 業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置						備考
				必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験・ 実習	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	基幹（ 助手を 除く） 以外の 教員	
大学入門科目	大学入門科目Ⅰ	1前		2			○			3	1				1	
	小計（1科目）	—	—	2	0	0	—			3	1	0	0	0	1	
共通 基礎 科目	外国語科目	英語A	1前	1				○								15
		英語B	1後	1				○								17
		英語C	2前・後	1				○								15
		英語D	2前・後	1				○								3
		実践日本語C	1後		1			○								1
		実践日本語D	1前		1			○								1
		実践日本語E	2後		1			○								1
		実践日本語F	2前		1			○								1
		小計（8科目）	—	—	4	4	0	—		0	0	0	0	0	0	27
	情報リテラシー科目	情報基礎概論	1前		2			○		1						
	小計（1科目）	—	—	2	0	0	—			1	0	0	0	0	0	
教養 教育 科目	基礎 自然科学	Introduction to Science	1・2後		2		○				1					9
		物理の世界Ⅰ	1・2前		2		○									1
		物理の世界Ⅱ	1・2後		2		○									1
		化学の世界A	1・2後		2		○									2
		化学の世界B	1・2前		2		○									2
		実験化学A	1・2前		2		○			1	1					4
		実験化学B	1・2後		2		○			1	1					3
		地学の世界	1・2後		2		○									1
		数理の世界	1・2後		2		○									1
		原子の発見	1・2後		2		○									1
	自然科学・ 技術の 現代的諸相	情報科学の世界A	1・2前		2		○									2
		情報科学の世界B	1・2前・後		2		○									2
		機械工学の世界A	1・2後		2		○									2
		機械工学の世界B	1・2前		2		○									2
		電気電子工学の世界A	1・2前		2		○									1
		電気電子工学の世界B	1・2後		2		○			1						1
		都市と生活	1・2前		2		○			1						1
		インタラクティブコンテンツ入門	1・2後		2		○									1
		環境をはかる	1・2後		2		○									1
		肥前セラミック学	1・2前		2		○									14
		AI・数理・データサイエンスⅠ	1・2前		2		○									2
		AI・数理・データサイエンスⅡ	1・2後		2		○									2
		農学の世界A	1・2前		2		○									1
	生物科学・ 生命科学	農学の世界B	1・2後		2		○									1
		STEAM学習基礎	1・2後		2		○									1
		生物科学の世界A	1・2前		2		○									2
		生物科学の世界B	1・2前		2		○									1
		栄養科学A	1・2前		2		○									1
		栄養科学B	1・2後		2		○									1
		栄養科学C	1・2後		2		○									2
		生命科学の基礎A	1・2後		2		○									4
	自然科学と 技術の分野 特別講義	生命科学の基礎B	1・2前		2		○									4
		生命科学の基礎C	1・2前		2		○									14
		生命科学の基礎D	1・2後		2		○									3
		生命科学の基礎E	1・2後		2		○									3
	文化 の 分野	ドイツの言語と文化Ⅰ	1・2前		2		○									1
		ドイツの言語と文化Ⅱ	1・2後		2		○									1
	言語と 文化	フランスの言語と文化Ⅰ	1・2前		2		○									1
		フランスの言語と文化Ⅱ	1・2後		2		○									1
		中国の言語と文化Ⅰ	1・2前		2		○									1
		中国の言語と文化Ⅱ	1・2後		2		○									1
		小計（36科目）	—	—	0	72	0	—		2	2	0	0	0	0	77

科目 区分			授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置						備考
						必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	基幹教員以外の教員	
教養教育科目	基本教養科目	文化の分野	言語と文化	韓国・朝鮮の言語と文化Ⅰ	1・2前		2		○								1	隔年
				韓国・朝鮮の言語と文化Ⅱ	1・2後		2		○								1	
				Western Culture	1・2前		2		○								1	
				Intensive EnglishⅠ	1・2前		2		○								2	
				Intensive EnglishⅡ	1・2後		2		○								2	
				Academic English	1・2後		2		○								1	
				Business English	1・2後		2		○								1	
				アカデミック独語	1・2前・後		1		○								1	
				ドイツ文化論A	1・2前		2		○								1	
				ドイツ文化論B	1・2後		2		○								1	
				ドイツ文化論C	1・2前		2		○								1	
				ドイツ文化論D	1・2後		2		○								1	
			文学と芸術	日本古典文学A	1・2前		2		○								1	隔年・オムニバス
				日本古典文学B	1・2後		2		○								1	
				欧米の文化・文学	1・2前・後		2		○								1	
				ドイツ文学A	1・2前		1		○								1	
				ドイツ文学B	1・2後		1		○								1	
			言語と表現	芸術論	1・2前		2		○								2	
				音楽史・音楽論	1・2前		2		○								1	
				日本語学	1・2前		2		○								1	
				コミュニケーション論	1・2前・後		2		○								2	
			歴史と文化	Critical Thinking for the Modern Age	1・2前		2		○								1	共同・標準外・メディア
				Cultural Metaphors	1・2後		2		○								1	
				哲学・倫理学	1・2後		2		○								1	
				考古学	1・2前		2		○								1	
				日本史	1・2前・後		2		○								1	
				東洋史	1・2前・後		2		○								1	
				西洋史	1・2前・後		2		○								1	
				人類学	1・2前		2		○								3	
				スポーツウェルネスの世界	1・2前・後		2		○								1	
				近代サッカーの成立と進歩	1・2後		2		○								1	
				サッカーの歴史と技法	1・2前		2		○								1	
				柔道の歴史と技法	1・2後		2		○								1	
				哲学の世界	1・2後		2		○								1	標準外・メディア 隔年
				地域史	1・2後		2		○								1	
				宗教学	1・2後		2		○								1	
				水中文化遺産学	1・2後		2		○								1	
			文化の分野 特別講義	九州・沖縄学Ⅰ	1・2前		2		○								1	オムニバス・標準外・メディア
			小計（44科目）		—	—	0	85	0	—			0	0	0	0	0	31
		現代社会の分野	基礎 社会科学	経済学	1・2前・後		2		○								1	オムニバス
				会計学	1・2後		2		○								1	
				経営学	1・2前		2		○								2	
				法律学	1・2前		2		○								6	
				政治学	1・2後		2		○								1	
				日本国憲法	1・2前・後		2		○								1	
				現代社会の法と政治	1・2前		2		○								1	
				地理学	1・2前		2		○								1	
				Introduction to Sociology	1・2前		2		○								1	
				社会思想	1・2後		2		○								1	
			教育と人間	教育と人生	1・2後		2		○								1	オムニバス
				心理学A	1・2前・後		2		○								1	
				心理学B	1・2後		2		○								1	
				健康科学A	1・2前・後		2		○								2	
				健康科学B	1・2後		2		○								2	
				スポーツと健康	1・2前		2		○								1	
				Citizenship Education	1・2後		2		○								1	
				Life in the Global World	1・2前		2		○								1	
				情報メディアと倫理	1・2前・後		2		○								2	
				心の病と癒しのプロセス	1・2後		2		○								1	
				心身の発達過程	1・2前		2		○								1	隔年
				情報メディアコミュニケーション	1・2前・後		2		○								2	
																		共同・メディア

科目 区分				授業科目の名称	配当年次	主要授 業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置						備考		
							必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験・ 実習	教 授	准 教授	講 師	助 教	助 手	基 幹 教員 以外 の教員			
教養教育科目	基本教養科目	現代社会の分野	教育と人間	Aspects of Modern Society	1・2後			2		○								1	オムニバス・共同（一部）		
				プレゼンテーション・デザイン	1・2前・後			2		○								1			
				現代教育学	1・2後			2		○								8			
				教育学A	1・2後			2		○								1			
				教育学B	1・2前			2		○								1			
				教育学C	1・2後			2		○								1			
				体育実技Ⅰ	1・2前・後			1				○						3			
				体育実技Ⅱ	1・2前・後			1				○						4			
		現代社会の諸相	ジャーナリズムの現在	1・2後			2		○										1	標準外・メディア オムニバス・標準外・メディア オムニバス・標準外・メディア 共同・標準外・メディア	
			アジアコミュニティ論	1・2後			2		○										1		
			知的財産学	1・2後			2		○										1		
			環境科学Ⅰ	1・2前			2		○										2		
			環境科学Ⅲ	1・2後			2		○										2		
			インストラクショナル・デザイン	1・2前・後			2		○										2		
			国際社会学	1・2後			2		○										1		
			現代日本の経済社会問題	1・2前			2		○										1		
		現代社会の分野 特別講義	グローバル化と証券投資	1・2前			2		○											1	標準外
			西洋近代社会思想史	1・2前			2		○											1	
			多文化社会論	1・2前			2		○											1	
			経営工学からみたマネジメント	1・2後			2		○											1	
		金融リテラシーと生命保険	1・2後			2		○											1		
		小計（43科目）	—	—	0	84	0	—			0	0	0	0	0	0	50				
	総合科目	海外交流実習	1・2前・後			2						○							2	標準外	
		キャリアデザイン	1・2後			2				○									1	標準外	
		グループワークの技法と実践	1・2後			2					○								1		
		チャレンジ・インターンシップA	1・2前・後			2					○								1	標準外	
		チャレンジ・インターンシップB	2通			2					○								1	標準外	
		ライフデザインとセルフ・リーダーシップ	1・2前			2				○									1	標準外・メディア	
		Online Immersion Program	1・2前			2				○									1		
		Overseas Practicum	1・2後			2						○							1	標準外	
		データサイエンスBasicⅠ	1・2後			1				○			○						3	共同・標準外・メディア	
		データサイエンスBasicⅡ	1・2後			1				○									3	共同・標準外・メディア	
		小計（10科目）			0	18	0	—			0	0	0	0	0	0	8				
		外国人 留学生用科目	日本事情－自然科学と技術の分野	1後			2				○									1	隔年
			日本事情－文化の分野	1前			2				○									1	隔年
			日本事情－現代社会	1後			2				○									1	隔年
			小計（3科目）			0	6	0	—			0	0	0	0	0	0	3			
		インターフェース科目	環境コース	機械工学と環境A－Ⅰ	2前			2			○									3	オムニバス
				機械工学と環境A－Ⅱ	2後			2			○									3	オムニバス
	機械工学と環境Ⅲ			3前			2			○									6	オムニバス	
	機械工学と環境Ⅳ			3後			2			○									5	オムニバス・共同（一部）	
	エレクトロニクスと環境A－Ⅰ			2前			2			○									1	オムニバス	
	エレクトロニクスと環境A－Ⅱ			2後			2			○									1		
	エレクトロニクスと環境Ⅲ			3前			2			○									1	オムニバス	
	エレクトロニクスと環境Ⅳ			3後			2			○									1		
	佐賀の環境A－Ⅰ			2前			2			○					1				2	オムニバス	
	佐賀の環境A－Ⅱ			2後			2			○					1				3	共同・標準外	
	佐賀の環境Ⅲ			3前			2			○									4	オムニバス	
	佐賀の環境Ⅳ			3後			2			○									5	オムニバス	
	小計（12科目）		—	—	0	24	0	—			0	1	0	0	0	0	28				
	文化と共生 コース		異文化交流Ⅰ－Ⅰ	2前			2			○										1	標準外
			異文化交流Ⅰ－Ⅱ	2後			2			○										1	
			異文化交流Ⅲ	3前			2			○									1		
			異文化交流Ⅳ	3後			2			○									1		
			Intercultural CommunicationⅠ－Ⅰ	2前			2			○									2		
			Intercultural CommunicationⅠ－Ⅱ	2後			2			○									2		
			Intercultural CommunicationⅢ	3前			2			○									2		

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置						備考
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	基幹教員以外の教員	
教養教育科目	文化と共生 コース	Intercultural Communication IV	3後		2		○								2	共同・標準外 共同 共同 共同
		肥前陶磁器産業体験A－Ⅰ	2前		2		○								1	
		肥前陶磁器産業体験A－Ⅱ	2前		2		○								2	
		肥前陶磁器産業体験Ⅲ	3前		2		○								4	
		肥前陶磁器産業体験Ⅳ	3後		2		○								4	
		ドイツ語とドイツ語圏の歴史・文化1－Ⅰ	2前		2		○								1	
		ドイツ語とドイツ語圏の歴史・文化1－Ⅱ	2後		2		○								1	
		ドイツ語とドイツ語圏の歴史・文化Ⅲ	3前		2		○								1	
		ドイツ語とドイツ語圏の歴史・文化Ⅳ	3後		2		○								1	
		芸術と社会A－Ⅰ	2前		2		○								4	
		芸術と社会A－Ⅱ	2後		2		○								3	
		芸術と社会Ⅲ	3前		2		○								5	
		芸術と社会Ⅳ	3後		2		○								4	
		歴史文化1－Ⅰ	2前		2		○								1	
		歴史文化1－Ⅱ	2後		2		○								1	
		歴史文化Ⅲ	3前		2		○								1	
		歴史文化Ⅳ	3後		2		○								1	
		英語コミュニケーションA－Ⅰ	2前		2		○								2	
		英語コミュニケーションA－Ⅱ	2後		2		○								2	
		英語コミュニケーションⅢ	3前		2		○								2	
		英語コミュニケーションⅣ	3後		2		○								2	
	小計（28科目）		—	—	0	56	0	—		0	0	0	0	0	34	
	生活と科学 コース	未来を拓く材料の科学A－Ⅰ	2前		2		○								4	オムニバス オムニバス オムニバス オムニバス・共同（一部） 共同 オムニバス オムニバス オムニバス オムニバス オムニバス オムニバス オムニバス オムニバス オムニバス オムニバス オムニバス オムニバス オムニバス
		未来を拓く材料の科学A－Ⅱ	2後		2		○								3	
		未来を拓く材料の科学Ⅲ	3前		2		○			1					4	
		未来を拓く材料の科学Ⅳ	3後		2		○			1	2				3	
		情報技術者キャリアデザインA－Ⅰ	2前		2		○								2	
		情報技術者キャリアデザインA－Ⅱ	2後		2		○								1	
		情報技術者キャリアデザインⅡ	3前		2		○								3	
		情報技術者キャリアデザインⅣ	3後		2		○								2	
		2年間でできる「がばいベンチャー」の作り方A－Ⅰ	2前		2		○								1	
		2年間でできる「がばいベンチャー」の作り方A－Ⅱ	2後		2		○								1	
		2年間でできる「がばいベンチャー」の作り方Ⅲ	3前		2		○								1	
		2年間でできる「がばいベンチャー」の作り方Ⅳ	3後		2		○								1	
		食糧生産の科学B－Ⅰ	2前		2		○								1	
		食糧生産の科学B－Ⅱ	2後		2		○								4	
		食糧生産の科学Ⅲ	3前		2		○								4	
		食糧生産の科学Ⅳ	3後		2		○								5	
		ライフサイエンス・フードサイエンスA－Ⅰ	2前		2		○			2					3	
		ライフサイエンス・フードサイエンスA－Ⅱ	2後		2		○								4	
		ライフサイエンス・フードサイエンスⅢ	3前		2		○			1					4	
		ライフサイエンス・フードサイエンスⅣ	3後		2		○								5	
	小計（20科目）		—	—	0	40	0	—		5	2	0	0	0	49	
	人間と社会 コース	チームビルディングとリーダーシップ1－Ⅰ	2前		2		○								3	共同 共同 共同 共同 1 1 1
		チームビルディングとリーダーシップ1－Ⅱ	2後		2		○								4	
		チームビルディングとリーダーシップⅢ	3前		2		○								3	
		チームビルディングとリーダーシップⅣ	3後		2		○								3	
		リサーチ・リテラシー1－Ⅰ	2前		2		○								1	
		リサーチ・リテラシー1－Ⅱ	2後		2		○								1	
		リサーチ・リテラシーⅢ	3前		2		○								1	

科目 区分			授業科目の名称	配当年次	主要授 業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置						備考	
						必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	基幹教員（助手を除く）以外の教員		
専門教育科目	専門科目	理学系	化学熱力学	3前			2		○			1					1	オムニバス	
			有機機器分析化学	3後			2		○			1							
			小計（9科目）	—	—	6	12	0	—	—	2	3	0	0	0	6			
		農学系	植物生理学	2前		2			○			1					1	オムニバス	
			植物資源学	2前	○	2			○				1						
			分子生物学	2後	○	2			○			1							
			酵素化学	3前	○	2			○			1							
			食品衛生学	2後			2		○								1		
			栄養化学	2後			2		○								1		
			遺伝学	3前			2		○								2	オムニバス	
	植物育種学		3後			2		○								2	オムニバス		
	小計（8科目）	—	—	8	8	0	—	—	3	1	0	0	0	5					
	コア科目	有機化学Ⅰ	1後	○	2			○			1								
		有機化学Ⅱ	2前	○	2			○			1								
		機器分析学	3前	○	2			○				2						オムニバス	
		コロイド・界面化学	3後	○	2			○			1								
		生化学Ⅰ	1後	○	2			○			1								
		生化学Ⅱ	2前	○	2			○			1								
		天然物化学	2後	○	2			○			1								
		微生物学	3前	○	2			○			1								
		皮膚科学	2後	○	2			○			1							1	
		生理学	3後	○	2			○				1						1	
		コスメティックサイエンス概論	1前	○	2			○			4	1						1	
		コスメ開発論Ⅰ	2前	○	2			○			1							オムニバス	
		コスメ開発論Ⅱ	3前	○	2			○			1							オムニバス	
		コスメティックサイエンスPBL	1後	○	2					○	4	1					1	共同	
		コスメティックサイエンス実験Ⅰ	2前	○	2					○	1	1					1	オムニバス	
		コスメティックサイエンス実験Ⅱ	2後	○	2					○	3							オムニバス	
		コスメティックサイエンス実験Ⅲ	3前	○	4					○	4	1						オムニバス	
		コスメティックサイエンス実験Ⅳ	3後	○	4					○	4	1						共同	
		卒業研究	4通	○	8					○	4	1						共同	
		小計（19科目）	—	—	48	0	0	—	—	—	6	3	0	0	0	3			
	学環周辺科目	分子薬理学	2後		2			○										1	
		科学技術者倫理	2後		1			○			5	1						オムニバス・共同・分担	
		知的財産法	3前		2			○										1	
		毒性学	3後		2			○			1	1						1	
		体内動態論	3前			2		○										1	
		コスメ文化論	1後			2		○			2							オムニバス	
		マーケティングマネジメント	3後			2		○										1	
		食物学	2前			2		○										1	
		デザインプロジェクト演習	3後			2			○									1	
		企業インターンシップS	3通			1				○	4	1						分担	
		企業インターンシップL	3通			2				○	4	1						分担	
	小計（11科目）	—	—	7	13	0	—	—	—	5	1	0	0	0	6				
合計（301科目）			—	—	94	500	0	—	—	8	5	0	0	0	281				
学位又は称号			学士（学術）			学位又は学科の分野			理学関係、農学関係										
卒業・修了要件及び履修方法										授業期間等									
教養教育科目28単位以上、専門教育科目（必修科目86単位を含む。）から96単位以上、合計124単位以上を修得すること。 なお、専門教育科目の選択科目のうち、専門科目（理学系）から4単位以上、専門科目（農学系）から4単位以上、学環周辺科目から2単位以上を修得すること。										1 学年の学期区分					2 学期				
										1 学期の授業期間					1 5 週				
										1 時限の授業の標準時間					9 0 分				

- (注)
- 学部等、研究科等若しくは高等専門学校の学科の設置又は大学の学部若しくは大学院の研究科又は短期大学の学科における通信教育の開設の届出を行おうとする場合には、授与する学位の種類及び分野又は学科の分野が同じ学部等、研究科等若しくは高等専門学校の学科（学位の種類及び分野の変更等に関する基準（平成十五年文部科学省告示第三十九号）別表第一備考又は別表第二備考に係るものを含む。）についても作成すること。
 - 私立の大学の学部若しくは大学院の研究科又は短期大学の学科若しくは高等専門学校の収容定員に係る学則の変更の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合、大学等の設置者の変更の認可を受けようとする場合又は大学等の廃止の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合は、この書類を作成する必要はない。
 - 開設する授業科目に応じて、適宜科目区分の枠を設けること。
 - 「主要授業科目」の欄は、授業科目が主要授業科目に該当する場合、欄に「○」を記入すること。なお、高等専門学校の学科を設置する場合は、「主

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置						備考
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	基幹教員以外の教員 (助手を除く)	

- 要授業科目」の欄に記入せず、斜線を引くこと。
- 5 「単位数」の欄は、各授業科目について、「必修」、「選択」、「自由」のうち、該当する履修区分に単位数を記入すること。
- 6 「授業形態」の欄の「実験・実習」には、実技も含むこと。
- 7 「授業形態」の欄は、各授業科目について、該当する授業形態の欄に「○」を記入すること。ただし、専門職大学等又は専門職学科を設ける大学若しくは短期大学の授業科目のうち、臨地実務実習については「実験・実習」の欄に「臨」の文字を、連携実務演習等については「演習」又は「実験・実習」の欄に「連」の文字を記入すること。
- 8 「基幹教員等の配置」欄の「基幹教員等」は、大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は、「専任教員等」と読み替えること。
- 9 「基幹教員等の配置」欄の「基幹教員以外の教員（助手を除く）」は、大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は、「専任教員以外の教員（助手を除く）」と読み替えること。
- 10 課程を前期課程及び後期課程に区分する専門職大学若しくは専門職大学の学部等を設置する場合又は前期課程及び後期課程に区分する専門職大学の課程を設置し、若しくは変更する場合は、次により記入すること。
- (1) 各科目区分における「小計」の欄及び「合計」の欄には、当該専門職大学の全課程に係る科目数、「単位数」及び「基幹教員等の配置」に加え、前期課程に係る科目数、「単位数」及び「基幹教員等の配置」を併記すること。
- (2) 「学位又は称号」の欄には、当該専門職大学を卒業した者に授与する学位に加え、当該専門職大学の前期課程を修了した者に授与する学位を併記すること。
- (3) 「卒業・修了要件及び履修方法」の欄には、当該専門職大学の卒業要件及び履修方法に加え、前期課程の修了要件及び履修方法を併記すること。
- 11 高等専門学校の学科を設置する場合は、高等専門学校設置基準第17条第4項の規定により計算することのできる授業科目については、備考欄に「☆」を記入すること。

教 育 課 程 等 の 概 要																		
(理工学部理工学科 数理サイエンスコース) 【既設】																		
科目 区分		授業科目の名称	配当年次	主要授 業科目	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
					必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		基幹 (助手を除く) 教員以外の教員	
専門教育科目	学部共通基礎科目	理工リテラシーS1	1通	○	1					○		3	8				オムニバス 集中講義 集中講義	
		理工リテラシーS2	2通	○	1					○			1					
		理工リテラシーS3	3通	○	1					○			1					
		サブフィールドPBL	2後	○	3				○			4	5	1				3
		AI・数理・データサイエンスリテラシーS	3通	○	1			○				1	1					
		AI・数理・データサイエンスリテラシーL	3通	○	2			○				1	1					
		理工キャリア教育プログラムS	2前・後	○		1				○		5	2					
		理工キャリア教育プログラムL	2前・後	○		2				○		5	2					
		理工特別セミナー(半導体概論)	1前	○		2			○			2						
		理工特別セミナー(量子物理学の発展)	2前	○		2			○			1	1					
		微分積分学基礎演習Ⅰ	1前				1		○			6	5					
		線形代数学基礎演習Ⅰ	1前					1		○		2	2					
		微分積分学基礎演習Ⅱ	1後					1		○		6	5					
		線形代数学基礎演習Ⅱ	1後					1		○		4	3					
	小計(14科目)	—	—	9	7	4	—			18	19	1				3		
	学部共通専門科目	微分積分学Ⅰa	1前	○		2			○				2				オムニバス	
		微分積分学Ⅰb	1前	○		2			○			1	2					
		線形代数学Ⅰa	1前	○		2			○					1				
		線形代数学Ⅰb	1前	○		2			○				1					
		物理学概説	1前	○	2				○				1					
		化学概説	1前	○	2				○		5	1						
		生物学概説	1前	○	2				○			1						
		データサイエンスⅠ	1前	○	2				○		2	3						
		理工概論	1前	○	2				○		10	4						
	小計(9科目)	—	—	10	8	0	—			14	15	1						
	コース類共通専門科目	微分積分学Ⅱa	1後	○		2			○				2				1 オムニバス オムニバス オムニバス オムニバス オムニバス 1 共同	
		微分積分学Ⅱb	1後	○		2			○			1	1					
		線形代数学Ⅱa	1後	○		2			○					1				
		線形代数学Ⅱb	1後	○		2			○									
		物理演習	1後	○														
		化学演習	1後	○	1					○		1	3		1			
		コンピュータプログラミング	1後	○	2				○			1						
		データサイエンスⅡ	1後	○	2				○				1					
		応用数理学	1後	○		2			○			1						
		データサイエンス入門	1後	○		2			○			1	1					
		知能情報システム工学入門	1後	○		2			○			1	1					
		情報ネットワーク工学入門	1後	○		2			○				1					
		基礎化学A	1後	○		2			○				2					
基礎化学B		1後	○		2			○			1	1		1				
基礎力学		1後	○		2			○			1							
現代物理学		1後	○		2			○			2	2						
機械システム工学概論		1後	○		2			○			2	6						
機械エネルギー工学概論		1後	○		2			○				7	1					
基礎電気回路		1後	○		2			○			4	4				1		
基礎電磁気学		1後	○		2			○			1							
建設力学基礎		1後	○		2			○			2					1		
空間設計基礎		1後	○		2			○			1			1				
小計(22科目)	—	—	6	36	0	—			19	29	1	3			3			
専門科目	解析学基礎Ⅰ	2前	○	2				○				1						
	解析学基礎Ⅰ 演習	2前	○	2					○			1						
	代数学基礎Ⅰ	2前	○	2					○									
	代数学基礎Ⅰ 演習	2前	○	2						○								
	集合・位相Ⅰ	2前	○	2					○				1					
集合・位相Ⅰ 演習	2前	○	2						○				1					

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			授業形態			専任教員等の配置						備考
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	基幹教員以外の教員 (助手を除く)	
専門教育科目	専門科目	解析学基礎Ⅱ	○	2			○			1						
		解析学基礎Ⅱ演習	○	2				○		1						
		代数学基礎Ⅱ	○	2			○								1	
		代数学基礎Ⅱ演習	○	2				○							1	
		集合・位相Ⅱ	○	2			○			1						
		集合・位相Ⅱ演習	○	2				○		1						
		数理科学英語	○	2			○					1				
		代数学Ⅰ	○		2		○								1	
		代数学演習	○		2			○							1	
		幾何学Ⅰ	○		2		○			1						
		幾何学演習	○		2			○		1						
		解析学Ⅰ	○		2		○					1				
		解析学演習	○		2			○				1				
		微分方程式論Ⅰ	○		2		○					1				
		微分方程式論演習	○		2			○				1				
		複素関数論Ⅰ	○		2		○				1					
		複素関数論演習	○		2			○		1						
		確率解析学	○		2		○				1					
		代数学Ⅱ	○		2		○			1						
		幾何学Ⅱ	○		2		○			1						
		解析学Ⅱ	○		2		○			1						
		微分方程式論Ⅱ	○		2		○					1				
		複素関数論Ⅱ	○		2		○				1					
		数理統計学	○		2		○				1					
		卒業研究	○	8				○		3	3	2				
		小計（31科目）	—	—	34	34		—		3	3	2			1	
教養教育科目	大学入門科目	大学入門科目Ⅰ		2			○			5	4					
		小計（1科目）	—	2	0	0		—		5	4	0	0	0	0	
	共通基礎科目	外国語科目	英語A	1前	1			○								11
			英語B	1後	1			○								13
			英語C	2前・後	1			○								14
			英語D	2前・後	1			○								3
			実践日本語C	1後		1		○								1
			実践日本語D	1前		1		○								1
			実践日本語E	2後		1		○								1
			実践日本語F	2前		1		○								1
		小計（8科目）	—	—	4	4	0	—		0	0	0	0	0	0	23
	情報・メディア科目	情報基礎概論		2			○			2	3					
		小計（1科目）	—	2	0	0		—		2	3	0	0	0	0	
	基礎教養科目	自然科学と技術の分野	基礎自然科学													
			Introduction to Science	1・2後		2		○		4	4	2	1			オムニバス
			物理の世界Ⅰ	1・2前		2		○		1						
			物理の世界Ⅱ	1・2後		2		○		1						
			化学の世界A	1・2後		2		○		2						オムニバス
			化学の世界B	1・2前		2		○		1	1					オムニバス
			実験化学Ⅰ	1・2前		2		○		2	1		1		1	オムニバス
			実験化学Ⅱ	1・2後		2		○		3	1		1			オムニバス
			地学の世界	1・2後		2		○							1	隔年
			数理の世界	1・2後		2		○			1					
			原子の発見	1・2後		2		○			1					
			自然科学・技術の現代的諸相													
			情報科学の世界Ⅰ	1・2前		2		○		1	1					
			情報科学の世界Ⅱ	1・2前・後		2		○		2						
			機械工学の世界A	1・2後		2		○		2						オムニバス
			機械工学の世界B	1・2前		2		○		2						オムニバス
			電気電子工学の世界A	1・2前		2		○			1					
			電気電子工学の世界B	1・2後		2		○		1						
			都市と生活	1・2前		2		○		1						隔年
			インタラクティブコンテンツ入門	1・2後		2		○							1	標準外

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			授業形態			専任教員等の配置						備考
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	基幹教員以外 の教員	
教養教育科目	自然科学と技術の分野	環境をはかる	1・2後		2		○			1						オムニバス・共同（一部） 共同 共同
		肥前セラミック学	1・2前		2		○			3	1	1	1		8	
		AI・数理・データサイエンスⅠ	1・2前		2		○			2					1	
		AI・数理・データサイエンスⅡ	1・2後		2		○				1				1	オムニバス
		農学の世界A	1・2前		2		○								1	
		農学の世界B	1・2後		2		○								1	
		STEAM学習基礎	1・2後		2		○								1	オムニバス
		生物科学・生命科学														
		生物科学の世界A	1・2前		2		○								2	
		生物科学の世界B	1・2前		2		○								1	標準外・メディア
		栄養科学A	1・2前		2		○								1	
		栄養科学B	1・2後		2		○								1	
		栄養科学C	1・2後		2		○								2	オムニバス
		生命科学の基礎A	1・2後		2		○								5	
		生命科学の基礎B	1・2前		2		○								2	
		生命科学の基礎C	1・2前		2		○								15	オムニバス・共同（一部） オムニバス
		生命科学の基礎F	1・2後		2		○								3	
		自然科学と技術の分野特別講義														
		九州・沖縄学Ⅱ	1・2後		2		○								3	標準外・メディア
		小計（35科目）	—	—	0	70	0	—	—	23	11	3	4	0	45	
	文化の分野	言語と文化														隔年・オムニバス 共同・標準外・メディア 隔年 隔年 オムニバス 標準外・メディア
		ドイツの言語と文化Ⅰ	1・2前		2		○								1	
		ドイツの言語と文化Ⅱ	1・2後		2		○								1	
		フランスの言語と文化Ⅰ	1・2前		2		○								1	
		フランスの言語と文化Ⅱ	1・2後		2		○								1	
		中国の言語と文化Ⅰ	1・2前		2		○								1	
		中国の言語と文化Ⅱ	1・2後		2		○								1	
		韓国・朝鮮の言語と文化Ⅰ	1・2前		2		○								1	
		韓国・朝鮮の言語と文化Ⅱ	1・2後		2		○								1	
		Western Culture	1・2前		2		○								1	
		Intensive EnglishⅠ	1・2前		2		○								2	
		Intensive EnglishⅡ	1・2後		2		○								2	
		アカデミック英語	1・2後		1		○								1	
		ビジネス英語	1・2後		1		○								1	
		アカデミック独語	1・2前・後		1		○								1	
		ドイツ文学A	1・2前		1		○								1	
		ドイツ文学B	1・2後		1		○								1	
		ドイツ文化論A	1・2前		2		○								1	
		ドイツ文化論B	1・2後		2		○								1	
		文学と芸術														
		欧米の文化・文学	1・2前・後		2		○								1	
		芸術論	1・2前		2		○								2	
		言語と表現														
		日本語学	1・2前		2		○								1	
		コミュニケーション論	1・2前・後		2		○								2	
		Critical Thinking for the Modern Age	1・2前		2		○								1	
		Cultural Metaphors	1・2後		2		○								1	
		歴史と文化														
		哲学・倫理学	1・2後		2		○								1	
		考古学	1・2前		2		○								1	
		日本史	1・2前・後		2		○								1	
		西洋史	1・2前・後		2		○								1	
		人類学	1・2前		2		○								2	
		スポーツウェルネスの世界	1・2前・後		2		○								1	
		近代サッカーの成立と進歩	1・2後		2		○								1	
		サッカーの歴史と技法	1・2前		2		○								1	
		柔道の歴史と技法	1・2後		2		○								1	
		哲学の世界	1・2後		2		○								1	
		地域史	1・2後		2		○								1	

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	主要授 業科目	単位数			授業形態			専任教員等の配置						備考
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	基幹教員以外 の教員	
教養教育科目	宗教学	1・2後			2		○								1	隔年
	文化の分野特別講義 九州・沖縄学Ⅰ	1・2前			2		○								1	標準外・メディア
	小計（37科目）	—	—	0	69	0	—	—	—	0	0	0	0	0	29	
	基礎社会科学															
	経済学	1・2前・後			2		○								1	
	会計学	1・2後			2		○								1	
	経営学	1・2前			2		○								2	
	法律学	1・2前			2		○								6	オムニバス
	政治学	1・2後			2		○								1	
	日本国憲法	1・2前・後			2		○								1	
	現代社会の法と政治	1・2前			2		○								1	
	地理学	1・2前			2		○								1	
	Introduction to Sociology	1・2前			2		○								1	
	社会思想	1・2後			2		○								1	
	教育と人間															
	教育と人生	1・2後			2		○								1	
	心理学A	1・2前・後			2		○								1	
	心理学B	1・2後			2		○								1	
	健康科学A	1・2前・後			2		○								2	
	健康科学B	1・2後			2		○								2	オムニバス
	スポーツと健康	1・2前			2		○								1	
	Citizenship Education	1・2後			2		○								1	
	Life in the Global World	1・2前			2		○								1	
	情報メディアと倫理	1・2前・後			2		○			1	1					
	心の病と癒しのプロセス	1・2後			2		○								1	隔年
	心身の発達過程	1・2前			2		○								1	
	情報メディアコミュニケーション	1・2前・後			2		○								2	共同・メディア
	Aspects of Modern Society	1・2後			2		○								1	
	プレゼンテーション・デザイン	1・2前・後			2		○								1	
	現代教育学	1・2後			2		○								8	オムニバス・共同（一部）
	教育学A	1・2後			2		○								1	
	教育学B	1・2前			2		○								1	
	教育学C	1・2後			2		○								1	
	体育実技Ⅰ	1・2前・後			1			○							3	共同（一部）
	体育実技Ⅱ	1・2前・後			1			○							4	共同（一部）
	現代社会の諸相															
	ジャーナリズムの現在	1・2後			2		○								1	
	アジアコミュニティ論	1・2後			2		○								1	
	知的財産学	1・2後			2		○			1						標準外・メディア
	環境科学Ⅰ	1・2前			2		○								2	オムニバス・標準外・メディア
	環境科学Ⅲ	1・2後			2		○								2	オムニバス・標準外・メディア
	インストラクショナル・デザイン	1・2前・後			2		○								2	共同・標準外・メディア
	国際社会学	1・2後			2		○								1	
	現代社会の分野特別講義															
	グローバル化と証券投資	1・2前			2		○								1	標準外
	西洋近代社会思想史	1・2前			2		○								1	
	多文化社会論	1・2前			2		○								1	
	経営工学からみたマネジメント	1・2後			2		○								1	
	金融リテラシーと生命保険	1・2後			2		○								1	
	小計（42科目）	—	—	0	82	0	—	—	—	2	1	0	0	0	49	
	総合科目															
	海外交流実習	1・2前・後			2				○						2	標準外
	キャリアデザイン	1・2後			2		○								1	
	グループワークの技法と実践	1・2後			2			○							1	
	データサイエンスへの招待	3前			2		○								1	
	チャレンジ・インターンシップA	1・2前・後			2			○		1						標準外
	チャレンジ・インターンシップB	2通			2			○							1	標準外
	ライフデザインとセルフ・リーダーシップ	1・2前			2		○								1	
	Online Immersion Program	1・2前			2										1	標準外・メディア

科目 区分			授業科目の名称	配当年次	主要授 業科目	単位数			授業形態			専任教員等の配置						備考
						必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験・ 実習	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	基 幹 教 員 以 外 の 教 員 (助 手 を 除 く)	
基本 教養 科目	総合 科目	外国人 留学生 用科目	Overseas Practicum	1・2後			2										1	標準外
			データサイエンスBasic I	1・2後			1		○			1					2	共同・標準外・メディア
			データサイエンスBasic II	1・2後			1		○			1					2	共同・標準外・メディア
			小計 (11科目)	—	—	0	20	0	—	—	—	1	0	0	0	0	8	
			日本事情－自然科学と技術の分野	1後			2		○			1						隔年
			日本事情－文化の分野	1前			2		○								1	隔年
			日本事情－現代社会	1後			2		○								1	隔年
			小計 (3科目)	—	—	0	6	0	—	—	—	1	0	0	0	0	2	
教養 教育 科目	環境 コース		機械工学と環境Ⅰ	2前			2		○			1	1				1	オムニバス
			機械工学と環境Ⅱ	2後			2		○			2	2					オムニバス
			機械工学と環境Ⅲ	3前			2		○			1	5					オムニバス
			機械工学と環境Ⅳ	3後			2		○			1	3	1				オムニバス・共同 (一部)
			エレクトロニクスと環境Ⅰ	2前			2		○									
			エレクトロニクスと環境Ⅱ	2後			2		○			1						
			エレクトロニクスと環境Ⅲ	3前			2		○			1						
			エレクトロニクスと環境Ⅳ	3後			2		○			1						
			佐賀の環境Ⅰ	2前			2		○					1			2	オムニバス
			佐賀の環境Ⅱ	2後			2		○					1			3	共同・標準外
			佐賀の環境Ⅲ	3前			2		○								5	オムニバス
			佐賀の環境Ⅳ	3後			2		○								5	オムニバス
			小計 (12科目)	—	—	0	24	0	—	—	—	8	13	1	0	0	10	
	文化と共生 コース		異文化交流Ⅰ	2前			2		○								1	
			異文化交流Ⅱ	2後			2		○								1	
			異文化交流Ⅲ	3前			2		○								1	
			異文化交流Ⅳ	3後			2		○								1	
			Intercultural CommunicationⅠ	2前			2		○								2	
			Intercultural CommunicationⅡ	2後			2		○								1	標準外
			Intercultural CommunicationⅢ	3前			2		○								2	
			Intercultural CommunicationⅣ	3後			2		○								2	
			肥前陶磁器産業体験Ⅰ	2前			2		○								1	
			肥前陶磁器産業体験Ⅱ	2前			2		○								2	共同・標準外
			肥前陶磁器産業体験Ⅲ	3前			2		○								4	共同
			肥前陶磁器産業体験Ⅳ	3後			2		○								4	共同
			ドイツ語とドイツ語圏の歴史・文化Ⅰ	2前			2		○								1	
			ドイツ語とドイツ語圏の歴史・文化Ⅱ	2後			2		○								1	
			ドイツ語とドイツ語圏の歴史・文化Ⅲ	3前			2		○								1	
			ドイツ語とドイツ語圏の歴史・文化Ⅳ	3後			2		○								1	
			芸術と社会Ⅰ	2前			2		○								5	オムニバス
			芸術と社会Ⅱ	2後			2		○								3	オムニバス・標準外
			芸術と社会Ⅲ	3前			2		○								5	オムニバス
			芸術と社会Ⅳ	3後			2		○								4	オムニバス
			歴史文化Ⅰ	2前			2		○								1	
			歴史文化Ⅱ	2後			2		○								1	
			歴史文化Ⅲ	3前			2		○								1	
			歴史文化Ⅳ	3後			2		○								1	
			英語コミュニケーションⅠ	2前			2		○								2	
			英語コミュニケーションⅡ	2後			2		○								2	
			英語コミュニケーションⅢ	3前			2		○								2	
			英語コミュニケーションⅣ	3後			2		○								2	
			小計 (28科目)	—	—	0	56	0	—	—	—	0	0	0	0	0	36	
	生活と 科学 コース		未来を拓く材料の科学Ⅰ	2前			2		○			1	1			2		オムニバス
			未来を拓く材料の科学Ⅱ	2後			2		○			2					1	オムニバス
			未来を拓く材料の科学Ⅲ	3前			2		○			5					1	オムニバス
			未来を拓く材料の科学Ⅳ	3後			2		○			1	2		3			オムニバス・共同 (一部)
			情報技術者キャリアデザインⅠ	2前			2		○				1		1			共同
			情報技術者キャリアデザインⅡ	3前			2		○			2	1					オムニバス
			情報技術者キャリアデザインⅢ	3前・後			2		○				1					
			情報技術者キャリアデザインⅣ	3後			2		○			1						
			2年間でできる「がばいペンチャー」 の作り方Ⅰ	2前			2		○								1	

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	主要授 業科目	単位数			授業形態			専任教員等の配置						備考
				必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験・ 実習	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	基 幹 教 員 以 外 の 教 員 (助 手 を 除 く)	
教養教育科目	生活と科学 コース	2年間でできる「がばいベンチャー」 の作り方Ⅱ	2後		2		○								1	
		2年間でできる「がばいベンチャー」 の作り方Ⅲ	3前		2		○								1	
		2年間でできる「がばいベンチャー」 の作り方Ⅳ	3後		2		○								1	
		食糧生産の科学Ⅰ	2前		2		○								1	オムニバス
		食糧生産の科学Ⅱ	2後		2		○								4	オムニバス
		食糧生産の科学Ⅲ	3前		2		○								4	オムニバス
		食糧生産の科学Ⅳ	3後		2		○								6	オムニバス
		ライフサイエンス・フードサイエンス Ⅰ	2前		2		○								4	オムニバス
		ライフサイエンス・フードサイエンス Ⅱ	2後		2		○								4	オムニバス・共同（一部）
		ライフサイエンス・フードサイエンス Ⅲ	3前		2		○								5	オムニバス
		ライフサイエンス・フードサイエンス Ⅳ	3後		2		○								5	オムニバス
		小計（20科目）	—	—	0	40	0	—		15	7	0	4	0	34	
	人間と社会 コース	チームビルディングとリーダーシップ Ⅰ	2前		2		○								3	共同
		チームビルディングとリーダーシップ Ⅱ	2後		2		○								4	共同
		チームビルディングとリーダーシップ Ⅲ	3前		2		○								3	共同
		チームビルディングとリーダーシップ Ⅳ	3後		2		○								3	共同
		リサーチ・リテラシーⅠ	2前		2		○								1	
		リサーチ・リテラシーⅡ	2後		2		○								1	
		リサーチ・リテラシーⅢ	3前		2		○								1	
		リサーチ・リテラシーⅣ	3後		2		○								3	
		スポーツイベントとボランティアリー ダーⅠ	2前		2		○								1	
		スポーツイベントとボランティアリー ダーⅡ	2後		2		○								2	共同
		スポーツイベントとボランティアリー ダーⅢ	3前		2		○								2	共同
		スポーツイベントとボランティアリー ダーⅣ	3後		2		○								2	共同
		小計（12科目）	—	—	0	24	0	—		0	0	0	0	0	8	
	医療・福祉と社会 コース	現代社会と医療Ⅰ	1前		2		○								1	
		現代社会と医療Ⅱ	1前		2		○								1	
		現代社会と医療Ⅲ	1後		2		○								2	共同
		現代社会と医療Ⅳ	1後		2		○								1	
		食と健康Ⅰ	1前		2		○								5	オムニバス
		食と健康Ⅱ	1前		2		○								1	
		食と健康Ⅲ	1後		2		○								1	
		食と健康Ⅳ	1後		2		○								7	オムニバス
		ライフサイクルからみた医療Ⅰ	1前		2		○								5	オムニバス
		ライフサイクルからみた医療Ⅱ	1前		2		○								1	
		ライフサイクルからみた医療Ⅲ	1後		2		○								1	
		ライフサイクルからみた医療Ⅳ	1後		2		○								1	
		小計（12科目）	—	—	0	24	0	—		0	0	0	0	0	23	
	地域・佐賀学 コース	佐賀の歴史文化Ⅰ	2前		2		○								1	
		佐賀の歴史文化Ⅱ	2後		2		○								1	
		佐賀の歴史文化Ⅲ	3前		2		○								1	
		佐賀の歴史文化Ⅳ	3後		2		○								1	
		地域経済と社会Ⅰ	2前		2		○								1	
		地域経済と社会Ⅱ	2後		2		○								1	
		地域経済と社会Ⅲ	3前		2		○								1	
		地域経済と社会Ⅳ	3後		2		○								1	
		佐賀SDGsグローバルアクションⅠ	2前		2		○								4	オムニバス
		佐賀SDGsグローバルアクションⅡ	2後		2		○								3	共同

科目 区分			授業科目の名称	配当年次	主要授 業科目	単位数			授業形態			専任教員等の配置						備考
						必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験・ 実習	教 授	准 教授	講 師	助 教	助 手	基 幹 （助手 以外 の教員	
共通			佐賀SDGsグローバルアクションⅢ	3前			2		○			2					2	オムニバス 共同
			佐賀SDGsグローバルアクションⅣ	3後			2		○			2					2	
			小計（12科目）	－	－	0	24	0	－			2	0	0	0	0	13	標準外
			インターフェース演習	3前			2			○								
			小計（1科目）	－	－	0	2	0	－									
合計（311科目）				－	－	67	530	4	－			42	44	3	3		229	－
学位又は称号			学士（理学）			学位又は学科の分野				理学関係								
卒 業 要 件 及 び 履 修 方 法										授業期間等								
教養教育科目28単位以上，専門教育科目（必修科目66単位を含む）96単位以上，合計124単位以上を修得すること。										1 学年の学期区分				2 学期				
										1 学期の授業期間				1 5 週				
										1 時限の授業時間				9 0 分				

教 育 課 程 等 の 概 要																		
(理工学部理工学科 データサイエンスコース) 【既設】																		
科目 区分		授業科目の名称	配当年次	主要授 業科目	単位数			授業形態			専任教員等の配置						備考	
					必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験・ 実習	教 授	准 教授	講 師	助 教	助 手	基幹 (助手を 除く) 教員以外 の教員		
学部共通 基礎科目		理工リテラシーS1	1通	○	1					○	3	8					オムニバス 集中講義 集中講義	
		理工リテラシーS2	2通	○	1					○		1						
		理工リテラシーS3	3通	○	1					○		1						
		サブフィールドPBL	2後	○	3				○		4	5	1					
		AI・数理・データサイエンスリテラシーS	3通	○	1			○			1	1						
		AI・数理・データサイエンスリテラシーL	3通	○	2			○			1	1						
		理工キャリア教育プログラムS	2前・後	○		1				○	5	2						
		理工キャリア教育プログラムL	2前・後	○		2				○	5	2						
		理工特別セミナー(半導体概論)	1前	○		2			○		2							
		理工特別セミナー(量子物理学の発展)	2前	○		2			○		1	1						
		微分積分学基礎演習Ⅰ	1前				1			○	6	5						
		線形代数学基礎演習Ⅰ	1前				1			○	2	2						
		微分積分学基礎演習Ⅱ	1後				1			○	6	5						
		線形代数学基礎演習Ⅱ	1後				1			○	4	3						
		小計(14科目)	—	—	9	7	4	—			18	19	1			3		
学部共通 専門科目		微分積分学Ⅰa	1前	○		2			○			2				オムニバス		
		微分積分学Ⅰb	1前	○		2			○		1	2						
		線形代数学Ⅰa	1前	○		2			○				1					
		線形代数学Ⅰb	1前	○		2			○			1						
		物理学概説	1前	○	2				○			1						
		化学概説	1前	○	2				○		5	1						
		生物学概説	1前	○	2				○			1						
		データサイエンスⅠ	1前	○	2				○		2	3						
		理工概論	1前	○	2				○		10	4						
		小計(9科目)	—	—	10	8	0	—			14	15	1					
専門教育科目	コース 類共通 専門科目	微分積分学Ⅱa	1後	○		2			○			2				オムニバス オムニバス オムニバス オムニバス オムニバス 共同		
		微分積分学Ⅱb	1後	○		2			○		1	1						
		線形代数学Ⅱa	1後	○		2			○		1							
		線形代数学Ⅱb	1後	○		2			○			1						
		物理演習	1後	○	1					○			2					
		化学演習	1後	○	1					○		1	3		1			
		コンピュータプログラミング	1後	○	2				○		1							
		データサイエンスⅡ	1後	○	2				○			1						
		応用数理科学	1後	○		2			○		1							
		データサイエンス入門	1後	○		2			○		1	1						
		知能情報システム工学入門	1後	○		2			○		1	1						
		情報ネットワーク工学入門	1後	○		2			○			1						1
		基礎化学A	1後	○		2			○			2		1				
		基礎化学B	1後	○		2			○		1	1						
		基礎力学	1後	○		2			○		1							
		現代物理学	1後	○		2			○		2	2						
		機械システム工学概論	1後	○		2			○		2	6						
		機械エネルギー工学概論	1後	○		2			○			7	1					
		基礎電気回路	1後	○		2			○		4	4						1
		基礎電磁気学	1後	○		2			○		1							
		建設力学基礎	1後	○		2			○		2							1
		空間設計基礎	1後	○		2			○		1			1				
	小計(22科目)	—	—	6	36	0	—			19	29	1	3		3			
専門科目		プログラミング概論Ⅰ	2前	○	2				○			1						
		プログラミング演習Ⅰ	2前	○	1					○	1	2						
		データ構造とアルゴリズム	2前	○	2				○			1						
		技術文書作成	2前	○	2				○			1						
		情報数理	2前	○	2				○			1						
		集合・位相Ⅰ	2前	○	2				○				1					
		代数学基礎Ⅰ	2前	○	2				○		1							
		データベース	2後	○	2				○			1	1					
		情報システム実験	2後	○	2					○		1						
		連続最適化概論	2後	○	2				○			1						
		ソフトウェア工学	2後	○	2				○			1						
		数理統計学	2後	○	2				○			1						
		数理統計学演習	2後	○	1					○		1						

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			授業形態			専任教員等の配置						備考
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	基幹（助手を除く）教員	
専門教育科目	専門教育	情報社会とセキュリティ	3前	○	2		○		○						1	共同
		人工知能実験	3前	○	2				○		1					
		技術英語	3前	○	2		○			1			1			
		数理科学英語	3前	○	2		○					1				
		実践データサイエンス	3後	○	2		○			1						
		データサイエンス演習	3後	○	2			○		1						
		計算機アーキテクチャ	2前	○	2		○			1						
		解析学基礎Ⅰ	2前	○	2		○				1					
		解析学基礎Ⅰ 演習	2前	○	2			○			1					
		代数学基礎Ⅰ 演習	2前	○	2			○		1						
		集合・位相Ⅰ 演習	2前	○	2			○				1				1
		センサープログラミング実験	2前	○	2				○	1						
		プログラミング概論Ⅱ	2後	○	2		○				1					
		プログラミング演習Ⅱ	2後	○	1			○		1	2					
		オペレーティングシステム	2後	○	2		○			1						
		数値解析	2後	○	2		○				1					
		情報理論	2後	○	2		○				1					
		離散数学・オートマトン	2後	○	2		○									
		コンピュータグラフィックス演習	2後	○	2			○		1						
		解析学基礎Ⅱ	2後	○	2		○			1						1 1
		解析学基礎Ⅱ 演習	2後	○	2			○		1						
		代数学基礎Ⅱ	2後	○	2		○									
		代数学基礎Ⅱ 演習	2後	○	2			○								
		集合・位相Ⅱ	2後	○	2		○			1						
		集合・位相Ⅱ 演習	2後	○	2			○		1						
		確率解析学	3前	○	2		○				1					
		プログラミング概論Ⅲ	3前	○	2		○			1						
		プログラミング演習Ⅲ	3前	○	1			○				1				
		並列分散処理	3前	○	2		○			1						1 1
		人工知能概論	3前	○	2		○			1						
		情報ネットワーク	3前	○	2		○			1						
		情報ネットワーク実験	3前	○	2				○	1						
		代数学Ⅰ	3前	○	2		○									
		代数学演習	3前	○	2			○								
		幾何学Ⅰ	3前	○	2		○			1						
		幾何学演習	3前	○	2			○		1						
		解析学Ⅰ	3前	○	2		○					1				
		解析学演習	3前	○	2			○				1				1
		微分方程式論Ⅰ	3前	○	2		○					1				
		微分方程式論演習	3前	○	2			○				1				
		複素関数論Ⅰ	3前	○	2		○				1					
		複素関数論演習	3前	○	2			○		1						
		ソフトウェア協同開発実験	3後	○	2				○			1				
		ネットワークシステムとクラウド	3後	○	2		○				1					
		信号処理	3後	○	2		○			1						
		マルチメディア情報処理	3後	○	2		○			1						
		ゲーム理論と最適化手法	3後	○	2		○				1					
教養教育科目	共通基礎科目 外国語科目	卒業研究準備演習	3後	○	1			○		8	8	1	1			1
		代数学Ⅱ	3後	○	2		○			1						
		幾何学Ⅱ	3後	○	2		○			1						
		解析学Ⅱ	3後	○	2		○			1						
		微分方程式論Ⅱ	3後	○	2		○					1				
		複素関数論Ⅱ	3後	○	2		○				1					
		自主演習	2・3前・後	○	4			○		8	8	1	1			
		卒業研究	4通	○	8			○		7	8	1	1			
		小計（68科目）	—	—	44	95	0	—	—	12	12	3	2	0	2	各学期1単位
		大学入門科目Ⅰ	1前	—	2			○		5	4					
		小計（1科目）	—	—	2	0	0	—	—	5	4	0	0	0	0	
		英語A	1前		1			○								
		英語B	1後		1			○								
		英語C	2前・後		1			○								
		英語D	2前・後		1			○								
		実践日本語C	1後			1		○								
		実践日本語D	1前			1		○								
		実践日本語E	2後			1		○								

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			授業形態			専任教員等の配置						備考
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	基幹（助手を除く）教員	
教養教育科目	文化の分野	言語と表現														
		日本語学	1・2前		2		○								1	共同・標準外・メディア
		コミュニケーション論	1・2前・後		2		○								2	
		Critical Thinking for the Modern Age	1・2前		2		○								1	
		Cultural Metaphors	1・2後		2		○								1	隔年
		歴史と文化														
		哲学・倫理学	1・2後		2		○								1	
		考古学	1・2前		2		○								1	隔年
		日本史	1・2前・後		2		○								1	
		西洋史	1・2前・後		2		○								1	
		人類学	1・2前		2		○								2	オムニバス
		スポーツウェルネスの世界	1・2前・後		2		○								1	
		近代サッカーの成立と進歩	1・2後		2		○								1	
		サッカーの歴史と技法	1・2前		2		○								1	標準外・メディア
		柔道の歴史と技法	1・2後		2		○								1	
		哲学の世界	1・2後		2		○								1	
		地域史	1・2後		2		○								1	隔年
		宗教学	1・2後		2		○								1	
		文化の分野特別講義														
		九州・沖縄学Ⅰ	1・2前		2		○								1	標準外・メディア
	小計（37科目）		—	—	0	69	0	—	—	0	0	0	0	0	29	
	現代社会の分野	基礎社会科学														
		経済学	1・2前・後		2		○								1	オムニバス
		会計学	1・2後		2		○								1	
		経営学	1・2前		2		○								2	
		法律学	1・2前		2		○								6	オムニバス
		政治学	1・2後		2		○								1	
		日本国憲法	1・2前・後		2		○								1	
		現代社会の法と政治	1・2前		2		○								1	隔年
		地理学	1・2前		2		○								1	
		Introduction to Sociology	1・2前		2		○								1	
		社会思想	1・2後		2		○								1	オムニバス
		教育と人間														
		教育と人生	1・2後		2		○								1	
		心理学A	1・2前・後		2		○								1	共同・メディア
		心理学B	1・2後		2		○								1	
		健康科学A	1・2前・後		2		○								2	
		健康科学B	1・2後		2		○								2	オムニバス
		スポーツと健康	1・2前		2		○								1	
		Citizenship Education	1・2後		2		○								1	
		Life in the Global World	1・2前		2		○								1	隔年
		情報メディアと倫理	1・2前・後		2		○			1	1				1	
		心の病と癒しのプロセス	1・2後		2		○								1	
		心身の発達過程	1・2前		2		○								1	共同・メディア
		情報メディアコミュニケーション	1・2前・後		2		○								2	
		Aspects of Modern Society	1・2後		2		○								1	
		プレゼンテーション・デザイン	1・2前・後		2		○								1	オムニバス・共同（一部）
		現代教育学	1・2後		2		○								8	
		教育学A	1・2後		2		○								1	
		教育学B	1・2前		2		○								1	共同（一部）
		教育学C	1・2後		2		○								1	
		体育実技Ⅰ	1・2前・後		1			○							3	
		体育実技Ⅱ	1・2前・後		1			○							4	共同（一部）
		現代社会の諸相														
		ジャーナリズムの現在	1・2後		2		○								1	標準外・メディア
		アジアコミュニティ論	1・2後		2		○								1	
		知的財産学	1・2後		2		○			1					2	
		環境科学Ⅰ	1・2前		2		○								2	オムニバス・標準外・メディア
		環境科学Ⅲ	1・2後		2		○								2	
		インスタラクショナル・デザイン	1・2前・後		2		○								2	
		国際社会学	1・2後		2		○								1	標準外
		現代社会の分野特別講義														
		グローバル化と証券投資	1・2前		2		○								1	
		西洋近代社会思想史	1・2前		2		○								1	標準外
		多文化社会論	1・2前		2		○								1	

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	主要授 業科目	単位数			授業形態			専任教員等の配置						備考
				必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験・ 実習	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	基 幹（ 助手 を除く） の教員	
教養教育科目	基本教養科目	総合科目	経営工学からみたマネジメント		2		○								1	標準外
			金融リテラシーと生命保険		2		○								1	
			小計（42科目）	—	0	82	0	—		2	1	0	0	0	49	
		環境コース	海外交流実習	1・2前・後	2				○						2	
			キャリアデザイン	1・2後	2		○								1	
			グループワークの技法と実践	1・2後	2			○							1	
			データサイエンスへの招待	3前	2		○								1	
			チャレンジ・インターンシップA	1・2前・後	2			○		1						標準外
			チャレンジ・インターンシップB	2通	2			○							1	
			ライフデザインとセルフ・リーダーシップ	1・2前	2		○								1	標準外・メディア
			Online Immersion Program	1・2前	2										1	
			Overseas Practicum	1・2後	2										2	標準外
			データサイエンスBasic I	1・2後	1		○			1					1	
			データサイエンスBasic II	1・2後	1		○			1					2	共同・標準外・メディア
			小計（11科目）	—	0	20	0	—		1	0	0	0	0	8	
		外国人留学生	日本事情－自然科学と技術の分野	1後	2		○			1						隔年
			日本事情－文化の分野	1前	2		○								1	隔年
			日本事情－現代社会	1後	2		○								1	隔年
			小計（3科目）	—	0	6	0	—		1	0	0	0	0	2	
	インターフェース科目	文化と共生コース	機械工学と環境Ⅰ	2前	2		○			1	1				1	オムニバス
			機械工学と環境Ⅱ	2後	2		○			2	2					オムニバス
			機械工学と環境Ⅲ	3前	2		○			1	5					オムニバス
			機械工学と環境Ⅳ	3後	2		○			1	3	1				オムニバス・共同（一部）
			エレクトロニクスと環境Ⅰ	2前	2		○				1					オムニバス
			エレクトロニクスと環境Ⅱ	2後	2		○			1						
			エレクトロニクスと環境Ⅲ	3前	2		○			1						
			エレクトロニクスと環境Ⅳ	3後	2		○			1						
			佐賀の環境Ⅰ	2前	2		○				1				2	
			佐賀の環境Ⅱ	2後	2		○				1				3	
			佐賀の環境Ⅲ	3前	2		○								5	
			佐賀の環境Ⅳ	3後	2		○								5	
			小計（12科目）	—	0	24	0	—		8	13	1	0	0	10	
		文化と共生コース	異文化交流Ⅰ	2前	2		○								1	標準外
			異文化交流Ⅱ	2後	2		○								1	
			異文化交流Ⅲ	3前	2		○								1	
			異文化交流Ⅳ	3後	2		○								1	
			Intercultural CommunicationⅠ	2前	2		○								2	
			Intercultural CommunicationⅡ	2後	2		○								1	
			Intercultural CommunicationⅢ	3前	2		○								2	
			Intercultural CommunicationⅣ	3後	2		○								2	
			肥前陶磁器産業体験Ⅰ	2前	2		○								1	共同・標準外
			肥前陶磁器産業体験Ⅱ	2前	2		○								2	
			肥前陶磁器産業体験Ⅲ	3前	2		○								4	
			肥前陶磁器産業体験Ⅳ	3後	2		○								4	
			ドイツ語とドイツ語圏の歴史・文化Ⅰ	2前	2		○								1	オムニバス
			ドイツ語とドイツ語圏の歴史・文化Ⅱ	2後	2		○								1	
			ドイツ語とドイツ語圏の歴史・文化Ⅲ	3前	2		○								1	
			ドイツ語とドイツ語圏の歴史・文化Ⅳ	3後	2		○								1	
			芸術と社会Ⅰ	2前	2		○								5	
			芸術と社会Ⅱ	2後	2		○								3	
			芸術と社会Ⅲ	3前	2		○								5	
			芸術と社会Ⅳ	3後	2		○								4	
			歴史文化Ⅰ	2前	2		○								1	オムニバス
			歴史文化Ⅱ	2後	2		○								1	
			歴史文化Ⅲ	3前	2		○								1	
			歴史文化Ⅳ	3後	2		○								1	
			英語コミュニケーションⅠ	2前	2		○								2	
			英語コミュニケーションⅡ	2後	2		○								2	
			英語コミュニケーションⅢ	3前	2		○								2	
			英語コミュニケーションⅣ	3後	2		○								2	
			小計（28科目）	—	0	56	0	—		0	0	0	0	0	36	

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			授業形態			専任教員等の配置						備考
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	基幹（助手を除く） 教員以外の教員	
専門教育科目	生活と科学コース	未来を拓く材料の科学Ⅰ	2前		2		○			1	1		2		1	オムニバス
		未来を拓く材料の科学Ⅱ	2後		2		○			2					1	オムニバス
		未来を拓く材料の科学Ⅲ	3前		2		○			5					1	オムニバス
		未来を拓く材料の科学Ⅳ	3後		2		○			1	2		3			オムニバス・共同（一部）
		情報技術者キャリアデザインⅠ	2前		2		○				1		1			共同
		情報技術者キャリアデザインⅡ	3前		2		○			2	1					オムニバス
		情報技術者キャリアデザインⅢ	3前・後		2		○				1					
		情報技術者キャリアデザインⅣ	3後		2		○			1						
		2年間でできる「がばいベンチャー」の作り方Ⅰ	2前		2		○								1	
		2年間でできる「がばいベンチャー」の作り方Ⅱ	2後		2		○								1	
		2年間でできる「がばいベンチャー」の作り方Ⅲ	3前		2		○								1	
		2年間でできる「がばいベンチャー」の作り方Ⅳ	3後		2		○								1	
		食糧生産の科学Ⅰ	2前		2		○								1	オムニバス
		食糧生産の科学Ⅱ	2後		2		○								4	オムニバス
		食糧生産の科学Ⅲ	3前		2		○								4	オムニバス
		食糧生産の科学Ⅳ	3後		2		○								6	オムニバス
		ライフサイエンス・フードサイエンスⅠ	2前		2		○								4	オムニバス
		ライフサイエンス・フードサイエンスⅡ	2後		2		○								4	オムニバス・共同（一部）
		ライフサイエンス・フードサイエンスⅢ	3前		2		○								5	オムニバス
		ライフサイエンス・フードサイエンスⅣ	3後		2		○								5	オムニバス
		小計（20科目）	—	—	0	40	0	—	—	15	7	0	4	0	34	
	人間と社会コース	チームビルディングとリーダーシップⅠ	2前		2		○								3	共同
		チームビルディングとリーダーシップⅡ	2後		2		○								4	共同
		チームビルディングとリーダーシップⅢ	3前		2		○								3	共同
		チームビルディングとリーダーシップⅣ	3後		2		○								3	共同
		リサーチ・リテラシーⅠ	2前		2		○								1	
		リサーチ・リテラシーⅡ	2後		2		○								1	
		リサーチ・リテラシーⅢ	3前		2		○								1	
		リサーチ・リテラシーⅣ	3後		2		○								3	
		スポーツイベントとボランティアリーダーⅠ	2前		2		○								1	
		スポーツイベントとボランティアリーダーⅡ	2後		2		○								2	共同
		スポーツイベントとボランティアリーダーⅢ	3前		2		○								2	共同
		スポーツイベントとボランティアリーダーⅣ	3後		2		○								2	共同
		小計（12科目）	—	—	0	24	0	—	—	0	0	0	0	0	8	
	医療・福祉と社会コース	現代社会と医療Ⅰ	1前		2		○								1	
		現代社会と医療Ⅱ	1前		2		○								1	
		現代社会と医療Ⅲ	1後		2		○								2	共同
		現代社会と医療Ⅳ	1後		2		○								1	
		食と健康Ⅰ	1前		2		○								5	オムニバス
		食と健康Ⅱ	1前		2		○								1	
		食と健康Ⅲ	1後		2		○								1	
		食と健康Ⅳ	1後		2		○								7	オムニバス
		ライフサイクルからみた医療Ⅰ	1前		2		○								5	オムニバス
		ライフサイクルからみた医療Ⅱ	1前		2		○								1	
		ライフサイクルからみた医療Ⅲ	1後		2		○								1	
		ライフサイクルからみた医療Ⅳ	1後		2		○								1	
		小計（12科目）	—	—	0	24	0	—	—	0	0	0	0	0	23	
	地域・佐賀学コース	佐賀の歴史文化Ⅰ	2前		2		○								1	
		佐賀の歴史文化Ⅱ	2後		2		○								1	
		佐賀の歴史文化Ⅲ	3前		2		○								1	
		佐賀の歴史文化Ⅳ	3後		2		○								1	
		地域経済と社会Ⅰ	2前		2		○								1	
		地域経済と社会Ⅱ	2後		2		○								1	
		地域経済と社会Ⅲ	3前		2		○								1	

科目 区分			授業科目の名称	配当年次	主要授 業科目	単位数			授業形態			専任教員等の配置						備考
						必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験・ 実習	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	基 幹 （助 手 を除 く） 教員	
専門 教育科目	地域・ 佐賀学 コース	地域経済と社会Ⅳ	3後			2		○									1	オムニバス 共同 オムニバス 共同
		佐賀SDGsグローバルアクションⅠ	2前			2		○									4	
		佐賀SDGsグローバルアクションⅡ	2後			2		○									3	
		佐賀SDGsグローバルアクションⅢ	3前			2		○			2						2	
		佐賀SDGsグローバルアクションⅣ	3後			2		○			2						2	
		小計（12科目）	—	—	0	24	0	—			2	0	0	0	0		13	
	共通	インターフェース演習	3前			2				○								標準外
		小計（1科目）	—	—	0	2	0	—										
合計（348科目）			—	—	77	591	4	—			46	48	4	5			229	—
学位又は称号		学士（工学）				学位又は学科の分野				工学関係								
卒業要件及び履修方法										授業期間等								
教養教育科目28単位以上、専門教育科目（必修科目78単位を含む）96単位以上、合計124単位以上を修得すること。										1 学年の学期区分				2 学期				
										1 学期の授業期間				1 5 週				
										1 時限の授業時間				9 0 分				

教 育 課 程 等 の 概 要																		
(理工学部理工学科 知能情報システム工学コース) 【既設】																		
科目 区分		授業科目の名称	配当年次	主要授 業科目	単位数			授業形態			専任教員等の配置						備考	
					必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験・ 実習	教 授	准 教授	講 師	助 教	助 手	基幹 教員以外 の教員		
学部共通 基礎科目		理工リテラシーS1	1通	○	1					○	3	8					オムニバス 集中講義 集中講義	
		理工リテラシーS2	2通	○	1					○		1						
		理工リテラシーS3	3通	○	1					○		1						
		サブフィールドPBL	2後	○	3				○		4	5	1					
		AI・数理・データサイエンスリテラシーS	3通	○	1			○			1	1						
		AI・数理・データサイエンスリテラシーL	3通	○	2			○			1	1						
		理工キャリア教育プログラムS	2前・後	○		1				○	5	2						
		理工キャリア教育プログラムL	2前・後	○		2				○	5	2						
		理工特別セミナー(半導体概論)	1前	○		2		○			2							
		理工特別セミナー(量子物理学の発展)	2前	○		2		○			1	1						
		微分積分学基礎演習Ⅰ	1前				1		○		6	5						
		線形代数学基礎演習Ⅰ	1前				1		○		2	2						
		微分積分学基礎演習Ⅱ	1後				1		○		6	5						
		線形代数学基礎演習Ⅱ	1後				1		○		4	3						
		小計(14科目)	—	—	9	7	4	—			18	19	1			3		
学部共通 専門科目		微分積分学Ⅰa	1前	○		2		○				2				オムニバス		
		微分積分学Ⅰb	1前	○		2		○			1	2						
		線形代数学Ⅰa	1前	○		2		○					1					
		線形代数学Ⅰb	1前	○		2		○				1						
		物理学概説	1前	○	2			○				1						
		化学概説	1前	○	2			○			5	1						
		生物学概説	1前	○	2			○				1						
		データサイエンスⅠ	1前	○	2			○			2	3						
		理工概論	1前	○	2			○			10	4						
		小計(9科目)	—	—	10	8	0	—			14	15	1					
専門教育科目	コース 類共通 専門科目	微分積分学Ⅱa	1後	○		2		○				2				オムニバス オムニバス オムニバス オムニバス オムニバス 共同		
		微分積分学Ⅱb	1後	○		2		○			1	1						
		線形代数学Ⅱa	1後	○		2		○			1							
		線形代数学Ⅱb	1後	○		2		○				1						
		物理演習	1後	○	1				○			2						
		化学演習	1後	○	1				○		1	3		1				
		コンピュータプログラミング	1後	○	2			○			1							
		データサイエンスⅡ	1後	○	2			○				1						
		応用数理科学	1後	○		2		○			1							
		データサイエンス入門	1後	○		2		○			1	1						
		知能情報システム工学入門	1後	○		2		○			1	1						
		情報ネットワーク工学入門	1後	○		2		○				1						1
		基礎化学A	1後	○		2		○				2		1				
		基礎化学B	1後	○		2		○			1	1						
		基礎力学	1後	○		2		○			1							
		現代物理学	1後	○		2		○			2	2						
		機械システム工学概論	1後	○		2		○			2	6						
		機械エネルギー工学概論	1後	○		2		○				7	1					
		基礎電気回路	1後	○		2		○			4	4						1
		基礎電磁気学	1後	○		2		○			1							
		建設力学基礎	1後	○		2		○			2							1
		空間設計基礎	1後	○		2		○			1			1				
	小計(22科目)	—	—	6	36	0	—			19	29	1	3		3			
専門科目		プログラミング概論Ⅰ	2前	○	2			○				1						
		プログラミング演習Ⅰ	2前	○	1				○		1	2						
		データ構造とアルゴリズム	2前	○	2			○				1						
		計算機アーキテクチャ	2前	○	2			○			1							
		情報数理	2前	○	2			○				1						
		応用数学	2前	○	2			○				1						
		技術文書作成	2前	○	2			○				1						
		センサープログラミング実験	2前	○		2				○	1							
		プログラミング概論Ⅱ	2後	○	2			○				1						
		プログラミング演習Ⅱ	2後	○	1				○		1	2						
		データベース	2後	○	2			○				1		1				
		情報システム実験	2後	○	2					○		1						
		オペレーティングシステム	2後	○	2			○			1							

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	主要授 業科目	単位数			授業形態			専任教員等の配置						備考
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	基幹（助手を除く） 教員以外の教員	
専門教育科目	専門科目	並列分散処理	○	2			○			1					1	共同
		情報社会とセキュリティ	○	2			○			1						
		技術英語	○	2			○			1			1			
		プログラミング概論Ⅲ	○	2			○			1						
		プログラミング演習Ⅲ	○	1				○				1				
		人工知能概論	○	2			○			1						
		人工知能実験	○	2					○		1					
		卒業研究準備演習	○	1				○		8	8	1	1		1	
		信号処理	○	2			○			1						
		マルチメディア情報処理	○	2			○			1						
		実践データサイエンス	○	2			○			1						
		数値解析	○		2		○				1					各学期1単位
		情報理論	○		2		○				1					
		コンピュータグラフィックス演習	○		2			○		1						
		離散数学・オートマトン	○		2		○								1	
		情報ネットワーク	○		2		○			1						
		情報ネットワーク実験	○		2				○	1						
		データサイエンス演習	○		2			○		1						
		ソフトウェア工学	○		2		○				1					
		ソフトウェア協同開発実験	○		2				○			1				
		ネットワークシステムとクラウド	○		2		○				1					
		ゲーム理論と最適化手法	○		2		○				1					
教養教育科目	共通基礎科目	自主演習	○		4			○		7	8	1	1		1	各学期1単位
		卒業研究	○		8			○		9	9	1	1			
		小計（37科目）	—	—	50	28	0	—	—	9	9	1	2		1	
	大学入門科目	大学入門科目Ⅰ	1前		2			○		5	4					
		小計（1科目）	—	—	2	0	0	—	—	5	4	0	0	0	0	
	外国語科目	英語A	1前		1			○								11
		英語B	1後		1			○								13
		英語C	2前・後		1			○								14
		英語D	2前・後		1			○								3
		実践日本語C	1後			1		○								1
		実践日本語D	1前			1		○								1
		実践日本語E	2後			1		○								1
		実践日本語F	2前			1		○								1
		小計（8科目）	—	—	4	4	0	—	—	0	0	0	0	0	0	23
	情報リテラシー科目	情報基礎概論	1前		2			○		2	3					
		小計（1科目）	—	—	2	0	0	—	—	2	3	0	0	0	0	
	基本教養科目	基礎自然科学														オムニバス
		Introduction to Science	1・2後			2		○		4	4	2	1			
		物理の世界Ⅰ	1・2前			2		○		1						
		物理の世界Ⅱ	1・2後			2		○		1						
		化学の世界A	1・2後			2		○		2						オムニバス
		化学の世界B	1・2前			2		○		1	1					
		実験化学Ⅰ	1・2前			2		○		2	1		1		1	
		実験化学Ⅱ	1・2後			2		○		3	1		1			
		地学の世界	1・2後			2		○								オムニバス
		数理の世界	1・2後			2		○			1					
		原子の発見	1・2後			2		○			1					
		自然科学・技術の現代的諸相														
		情報科学の世界Ⅰ	1・2前			2		○		1	1					オムニバス
		情報科学の世界Ⅱ	1・2前・後			2		○		2						
		機械工学の世界A	1・2後			2		○		2						
		機械工学の世界B	1・2前			2		○		2						
		電気電子工学の世界A	1・2前			2		○			1					オムニバス
		電気電子工学の世界B	1・2後			2		○		1						
		都市と生活	1・2前			2		○		1						
		インタラクティブコンテンツ入門	1・2後			2		○								
		環境をはかる	1・2後			2		○		1						隔年 標準外
		肥前セラミック学	1・2前			2		○		3	1	1	1		8	
		AI・数理・データサイエンスⅠ	1・2前			2		○		2					1	
		AI・数理・データサイエンスⅡ	1・2後			2		○			1				1	
		農学の世界A	1・2前			2		○							1	オムニバス・共同（一部）
		農学の世界B	1・2後			2		○							1	
		STEAM学習基礎	1・2後			2		○							1	

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	主要授 業科目	単位数			授業形態			専任教員等の配置						備考
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	基幹（助手を除く） 教員	
教養教育科目	自然科学と技術の分野	生物科学・生命科学														
		生物科学の世界A	1・2前		2		○								2	オムニバス
		生物科学の世界B	1・2前		2		○								1	
		栄養科学A	1・2前		2		○								1	標準外・メディア
		栄養科学B	1・2後		2		○								1	標準外・メディア
		栄養科学C	1・2後		2		○								2	標準外・メディア
		生命科学の基礎A	1・2後		2		○								5	オムニバス
		生命科学の基礎B	1・2前		2		○								2	オムニバス
		生命科学の基礎C	1・2前		2		○								15	オムニバス・共同（一部）
		生命科学の基礎F	1・2後		2		○								3	オムニバス
		自然科学と技術の分野特別講義 九州・沖縄学Ⅱ	1・2後		2		○								3	標準外・メディア
		小計（35科目）	—	—	0	70	0	—		23	11	3	4	0	45	
	文化の分野	言語と文化														
		ドイツの言語と文化Ⅰ	1・2前		2		○								1	
		ドイツの言語と文化Ⅱ	1・2後		2		○								1	
		フランスの言語と文化Ⅰ	1・2前		2		○								1	
		フランスの言語と文化Ⅱ	1・2後		2		○								1	
		中国の言語と文化Ⅰ	1・2前		2		○								1	
		中国の言語と文化Ⅱ	1・2後		2		○								1	
		韓国・朝鮮の言語と文化Ⅰ	1・2前		2		○								1	
		韓国・朝鮮の言語と文化Ⅱ	1・2後		2		○								1	
		Western Culture	1・2前		2		○								1	
		Intensive EnglishⅠ	1・2前		2		○								2	
		Intensive EnglishⅡ	1・2後		2		○								2	
		アカデミック英語	1・2後		1		○								1	
		ビジネス英語	1・2後		1		○								1	
		アカデミック独語	1・2前・後		1		○								1	
		ドイツ文学A	1・2前		1		○								1	
		ドイツ文学B	1・2後		1		○								1	
		ドイツ文化論A	1・2前		2		○								1	
		ドイツ文化論B	1・2後		2		○								1	
		文学と芸術														
		欧米の文化・文学	1・2前・後		2		○								1	
		芸術論	1・2前		2		○								2	隔年・オムニバス
		言語と表現														
		日本語学	1・2前		2		○								1	
		コミュニケーション論	1・2前・後		2		○								2	共同・標準外・メディア
		Critical Thinking for the Modern Age	1・2前		2		○								1	
		Cultural Metaphors	1・2後		2		○								1	
		歴史と文化														
		哲学・倫理学	1・2後		2		○								1	隔年
		考古学	1・2前		2		○								1	隔年
		日本史	1・2前・後		2		○								1	
		西洋史	1・2前・後		2		○								1	
		人類学	1・2前		2		○								2	オムニバス
		スポーツウェルネスの世界	1・2前・後		2		○								1	
		近代サッカーの成立と進歩	1・2後		2		○								1	
		サッカーの歴史と技法	1・2前		2		○								1	
		柔道の歴史と技法	1・2後		2		○								1	
		哲学の世界	1・2後		2		○								1	
		地域史	1・2後		2		○								1	標準外・メディア
		宗教学	1・2後		2		○								1	隔年
		文化の分野特別講義 九州・沖縄学Ⅰ	1・2前		2		○								1	標準外・メディア
		小計（37科目）	—	—	0	69	0	—		0	0	0	0	0	29	
	現代社会の分野	基礎社会科学														
		経済学	1・2前・後		2		○								1	
		会計学	1・2後		2		○								1	
		経営学	1・2前		2		○								2	
		法律学	1・2前		2		○								6	オムニバス
		政治学	1・2後		2		○								1	
		日本国憲法	1・2前・後		2		○								1	
		現代社会の法と政治	1・2前		2		○								1	
		地理学	1・2前		2		○								1	

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	主要授 業科目	単位数			授業形態			専任教員等の配置						備考
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	基幹（助手を除く） 教員以外の教員	
教養教育科目	現代社会の分野 基本教養科目	Introduction to Sociology	1・2前		2		○								1	オムニバス
		社会思想	1・2後		2		○								1	
		教育と人間														
		教育と人生	1・2後		2		○								1	
		心理学A	1・2前・後		2		○								1	
		心理学B	1・2後		2		○								1	
		健康科学A	1・2前・後		2		○								2	
		健康科学B	1・2後		2		○								2	
		スポーツと健康	1・2前		2		○								1	
		Citizenship Education	1・2後		2		○								1	
		Life in the Global World	1・2前		2		○								1	
		情報メディアと倫理	1・2前・後		2		○			1	1				1	
		心の病と癒しのプロセス	1・2後		2		○								1	
		心身の発達過程	1・2前		2		○								1	
		情報メディアコミュニケーション	1・2前・後		2		○								2	
		Aspects of Modern Society	1・2後		2		○								1	
		プレゼンテーション・デザイン	1・2前・後		2		○								1	
		現代教育学	1・2後		2		○								8	
		教育学A	1・2後		2		○								1	
		教育学B	1・2前		2		○								1	
		教育学C	1・2後		2		○								1	
		体育実技Ⅰ	1・2前・後		1			○							3	
		体育実技Ⅱ	1・2前・後		1			○							4	
		現代社会の諸相														
		ジャーナリズムの現在	1・2後		2		○								1	
		アジアコミュニティ論	1・2後		2		○			1					1	
		知的財産学	1・2後		2		○									
		環境科学Ⅰ	1・2前		2		○								2	
		環境科学Ⅲ	1・2後		2		○								2	
		インストラクショナル・デザイン	1・2前・後		2		○								2	
		国際社会学	1・2後		2		○								1	
		現代社会の分野特別講義														
		グローバル化と証券投資	1・2前		2		○								1	
		西洋近代社会思想史	1・2前		2		○								1	
		多文化社会論	1・2前		2		○								1	
		経営工学からみたマネジメント	1・2後		2		○								1	
		金融リテラシーと生命保険	1・2後		2		○								1	
		小計（42科目）	—	—	0	82	0	—	—	2	1	0	0	0	49	
	総合科目	海外交流実習	1・2前・後		2				○						2	標準外
		キャリアデザイン	1・2後		2		○								1	
		グループワークの技法と実践	1・2後		2			○							1	
		データサイエンスへの招待	3前		2		○								1	
		チャレンジ・インターンシップA	1・2前・後		2			○		1					1	
		チャレンジ・インターンシップB	2通		2			○							1	
		ライフデザインとセルフ・リーダーシップ	1・2前		2		○								1	
		Online Immersion Program	1・2前		2										1	
		Overseas Practicum	1・2後		2					1					1	
		データサイエンスBasicⅠ	1・2後		1		○			1					2	
		データサイエンスBasicⅡ	1・2後		1		○			1					2	
		小計（11科目）	—	—	0	20	0	—	—	1	0	0	0	0	8	
	外国人留学生 用科目	日本事情－自然科学と技術の分野	1後		2		○			1						隔年
		日本事情－文化の分野	1前		2		○								1	
		日本事情－現代社会	1後		2		○								1	
		小計（3科目）	—	—	0	6	0	—	—	1	0	0	0	0	2	
インターフェース科目	環境コース	機械工学と環境Ⅰ	2前		2		○			1	1				1	オムニバス オムニバス オムニバス オムニバス・共同（一部）
		機械工学と環境Ⅱ	2後		2		○			2	2					
		機械工学と環境Ⅲ	3前		2		○			1	5					
		機械工学と環境Ⅳ	3後		2		○			1	3	1				
		エレクトロニクスと環境Ⅰ	2前		2		○				1					
		エレクトロニクスと環境Ⅱ	2後		2		○			1						
		エレクトロニクスと環境Ⅲ	3前		2		○			1						
		エレクトロニクスと環境Ⅳ	3後		2		○			1						
		佐賀の環境Ⅰ	2前		2		○				1				2	
		佐賀の環境Ⅱ	2後		2		○				1				3	
		佐賀の環境Ⅲ	3前		2		○								5	

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			授業形態			専任教員等の配置						備考
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	基幹（助手を除く） 教員	
教養教育科目	文化と共生コース	佐賀の環境Ⅳ	3後		2		○								5	オムニバス
		小計（12科目）	—	0	24	0	—			8	13	1	0	0	10	
		異文化交流Ⅰ	2前		2		○								1	
		異文化交流Ⅱ	2後		2		○								1	
		異文化交流Ⅲ	3前		2		○								1	
		異文化交流Ⅳ	3後		2		○								1	
		Intercultural CommunicationⅠ	2前		2		○								2	
		Intercultural CommunicationⅡ	2後		2		○								1	標準外
		Intercultural CommunicationⅢ	3前		2		○								2	
		Intercultural CommunicationⅣ	3後		2		○								2	
		肥前陶磁器産業体験Ⅰ	2前		2		○								1	
		肥前陶磁器産業体験Ⅱ	2前		2		○								2	共同・標準外
		肥前陶磁器産業体験Ⅲ	3前		2		○								4	共同
		肥前陶磁器産業体験Ⅳ	3後		2		○								4	共同
		ドイツ語とドイツ語圏の歴史・文化Ⅰ	2前		2		○								1	
		ドイツ語とドイツ語圏の歴史・文化Ⅱ	2後		2		○								1	
		ドイツ語とドイツ語圏の歴史・文化Ⅲ	3前		2		○								1	
		ドイツ語とドイツ語圏の歴史・文化Ⅳ	3後		2		○								1	
		芸術と社会Ⅰ	2前		2		○								5	オムニバス
		芸術と社会Ⅱ	2後		2		○								3	オムニバス・標準外
		芸術と社会Ⅲ	3前		2		○								5	オムニバス
		芸術と社会Ⅳ	3後		2		○								4	オムニバス
		歴史文化Ⅰ	2前		2		○								1	
		歴史文化Ⅱ	2後		2		○								1	
		歴史文化Ⅲ	3前		2		○								1	
		歴史文化Ⅳ	3後		2		○								1	
		英語コミュニケーションⅠ	2前		2		○								2	
		英語コミュニケーションⅡ	2後		2		○								2	
		英語コミュニケーションⅢ	3前		2		○								2	
		英語コミュニケーションⅣ	3後		2		○								2	
		小計（28科目）	—	—	0	56	0	—		0	0	0	0	0	36	
	インターフェース科目	未来を拓く材料の科学Ⅰ	2前		2		○			1	1		2		1	オムニバス
		未来を拓く材料の科学Ⅱ	2後		2		○			2					1	オムニバス
		未来を拓く材料の科学Ⅲ	3前		2		○			5					1	オムニバス
		未来を拓く材料の科学Ⅳ	3後		2		○			1	2		3			オムニバス・共同（一部）
		情報技術者キャリアデザインⅠ	2前		2		○				1		1			共同
		情報技術者キャリアデザインⅡ	3前		2		○			2	1					オムニバス
		情報技術者キャリアデザインⅢ	3前・後		2		○				1					
		情報技術者キャリアデザインⅣ	3後		2		○			1						
		2年間でできる「がばいベンチャー」の作り方Ⅰ	2前		2		○								1	
		2年間でできる「がばいベンチャー」の作り方Ⅱ	2後		2		○								1	
		2年間でできる「がばいベンチャー」の作り方Ⅲ	3前		2		○								1	
		2年間でできる「がばいベンチャー」の作り方Ⅳ	3後		2		○								1	
		食糧生産の科学Ⅰ	2前		2		○								1	オムニバス
		食糧生産の科学Ⅱ	2後		2		○								4	オムニバス
		食糧生産の科学Ⅲ	3前		2		○								4	オムニバス
		食糧生産の科学Ⅳ	3後		2		○								6	オムニバス
		ライフサイエンス・フードサイエンスⅠ	2前		2		○								4	オムニバス
		ライフサイエンス・フードサイエンスⅡ	2後		2		○								4	オムニバス・共同（一部）
		ライフサイエンス・フードサイエンスⅢ	3前		2		○								5	オムニバス
		ライフサイエンス・フードサイエンスⅣ	3後		2		○								5	オムニバス
		小計（20科目）	—	—	0	40	0	—		15	7	0	4	0	34	
	人間と社会コース	チームビルディングとリーダーシップⅠ	2前		2		○								3	共同
		チームビルディングとリーダーシップⅡ	2後		2		○								4	共同
		チームビルディングとリーダーシップⅢ	3前		2		○								3	共同
		チームビルディングとリーダーシップⅣ	3後		2		○								3	共同
		リサーチ・リテラシーⅠ	2前		2		○								1	

科目 区分			授業科目の名称	配当年次	主要授 業科目	単位数			授業形態			専任教員等の配置						備考
						必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験 ・ 実 習	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	基 幹 （助 手 を 除 く） 教員 以外 の 教員	
教養教育科目	人間と社会コース	リサーチ・リテラシーⅡ	2後		2		○									1	共同	
		リサーチ・リテラシーⅢ	3前		2		○									1		
		リサーチ・リテラシーⅣ	3後		2		○									3		
		スポーツイベントとボランティアリーダーⅠ	2前		2		○									1		
		スポーツイベントとボランティアリーダーⅡ	2後		2		○									2		
		スポーツイベントとボランティアリーダーⅢ	3前		2		○									2		
		スポーツイベントとボランティアリーダーⅣ	3後		2		○									2		
		小計（12科目）	—	—	0	24	0	—	—	0	0	0	0	0	0	8		
	医療・福祉と社会コース	現代社会と医療Ⅰ	1前		2		○									1	共同	
		現代社会と医療Ⅱ	1前		2		○									1		
		現代社会と医療Ⅲ	1後		2		○									2		
		現代社会と医療Ⅳ	1後		2		○									1		
		食と健康Ⅰ	1前		2		○									5	オムニバス	
		食と健康Ⅱ	1前		2		○									1		
		食と健康Ⅲ	1後		2		○									1	オムニバス	
		食と健康Ⅳ	1後		2		○									7		
		ライフサイクルからみた医療Ⅰ	1前		2		○									5	オムニバス	
		ライフサイクルからみた医療Ⅱ	1前		2		○									1		
		ライフサイクルからみた医療Ⅲ	1後		2		○									1		
		ライフサイクルからみた医療Ⅳ	1後		2		○									1		
	小計（12科目）	—	—	0	24	0	—	—	0	0	0	0	0	0	23			
	地域・佐賀学コース	佐賀の歴史文化Ⅰ	2前		2		○									1	オムニバス 共同 オムニバス 共同	
		佐賀の歴史文化Ⅱ	2後		2		○									1		
		佐賀の歴史文化Ⅲ	3前		2		○									1		
		佐賀の歴史文化Ⅳ	3後		2		○									1		
		地域経済と社会Ⅰ	2前		2		○									1		
		地域経済と社会Ⅱ	2後		2		○									1		
		地域経済と社会Ⅲ	3前		2		○									1		
		地域経済と社会Ⅳ	3後		2		○									1		
		佐賀SDGsグローバルアクションⅠ	2前		2		○									4		
		佐賀SDGsグローバルアクションⅡ	2後		2		○									3		
		佐賀SDGsグローバルアクションⅢ	3前		2		○				2					2		
		佐賀SDGsグローバルアクションⅣ	3後		2		○				2					2		
		小計（12科目）	—	—	0	24	0	—	—	2	0	0	0	0	0	13		
	共通	インターフェース演習	3前		2				○								標準外	
		小計（1科目）	—	—	0	2	0	—	—									
合計（317科目）			—	—	83	524	4	—	—	—	45	48	4	5		229	—	
学位又は称号		学士（工学）			学位又は学科の分野			工学関係										
卒業要件及び履修方法									授業期間等									
教養教育科目28単位以上、専門教育科目（必修科目82単位を含む）96単位以上、合計124単位以上を修得すること。									1 学年の学期区分			2 学期						
									1 学期の授業期間			1 5 週						
									1 時限の授業時間			9 0 分						

教 育 課 程 等 の 概 要																	
(理工学部理工学科 情報ネットワーク工学コース) 【既設】																	
科目 区分		授業科目の名称	配当年次	主要授 業科目	単位数			授業形態			専任教員等の配置						備考
					必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験・ 実習	教 授	准 教授	講 師	助 教	助 手	基 幹 (助手 以外 の教 員)	
学部共通 基礎科目		理工リテラシーS1	1通	○	1					○	3	8					オムニバス 集中講義 集中講義
		理工リテラシーS2	2通	○	1					○		1					
		理工リテラシーS3	3通	○	1					○		1					
		サブフィールドPBL	2後	○	3				○		4	5	1				
		AI・数理・データサイエンスリテラシーS	3通	○	1			○			1	1					
		AI・数理・データサイエンスリテラシーL	3通	○	2			○			1	1					
		理工キャリア教育プログラムS	2前・後	○		1				○	5	2					
		理工キャリア教育プログラムL	2前・後	○		2				○	5	2					
		理工特別セミナー(半導体概論)	1前	○		2		○			2						
		理工特別セミナー(量子物理学の発展)	2前	○		2		○			1	1					
		微分積分学基礎演習Ⅰ	1前				1			○	6	5					
		線形代数学基礎演習Ⅰ	1前				1			○	2	2					
		微分積分学基礎演習Ⅱ	1後				1			○	6	5					
		線形代数学基礎演習Ⅱ	1後				1			○	4	3					
		小計(14科目)	—	—	9	7	4	—			18	19	1			3	
学部共通 専門科目		微分積分学Ⅰa	1前	○		2			○			2				オムニバス	
		微分積分学Ⅰb	1前	○		2			○		1	2					
		線形代数学Ⅰa	1前	○		2			○				1				
		線形代数学Ⅰb	1前	○		2			○			1					
		物理学概説	1前	○	2				○			1					
		化学概説	1前	○	2				○		5	1					
		生物学概説	1前	○	2				○			1					
		データサイエンスⅠ	1前	○	2				○		2	3					
		理工概論	1前	○	2				○		10	4					
		小計(9科目)	—	—	10	8	0	—			14	15	1				
専門教育科目	コース 類共通 専門科目	微分積分学Ⅱa	1後	○		2			○			2				オムニバス オムニバス オムニバス オムニバス オムニバス 共同	
		微分積分学Ⅱb	1後	○		2			○		1	1					
		線形代数学Ⅱa	1後	○		2			○		1						
		線形代数学Ⅱb	1後	○		2			○			1					
		物理演習	1後	○	1					○			2				
		化学演習	1後	○	1					○		1	3		1		
		コンピュータプログラミング	1後	○	2				○		1						
		データサイエンスⅡ	1後	○	2				○			1					
		応用数理科学	1後	○		2			○		1						
		データサイエンス入門	1後	○		2			○		1	1					
		知能情報システム工学入門	1後	○		2			○		1	1					
		情報ネットワーク工学入門	1後	○		2			○			1			1		
		基礎化学A	1後	○		2			○			2		1			
		基礎化学B	1後	○		2			○		1	1					
		基礎力学	1後	○		2			○		1						
		現代物理学	1後	○		2			○		2	2					
		機械システム工学概論	1後	○		2			○		2	6					
		機械エネルギー工学概論	1後	○		2			○			7	1				
		基礎電気回路	1後	○		2			○		4	4			1		
		基礎電磁気学	1後	○		2			○		1						
		建設力学基礎	1後	○		2			○		2				1		
		空間設計基礎	1後	○		2			○		1			1			
	小計(22科目)	—	—	6	36	0	—			19	29	1	3		3		
専門科目		プログラミング概論Ⅰ	2前	○	2				○			1					
		プログラミング演習Ⅰ	2前	○	1					○		1	2				
		データ構造とアルゴリズム	2前	○	2				○			1					
		計算機アーキテクチャ	2前	○	2				○								
		情報数理	2前	○	2				○			1					
		応用数学	2前	○	2				○			1					
		センサープログラミング実験	2前	○		2				○	1						
		技術文書作成	2前	○	2				○			1					
		プログラミング概論Ⅱ	2後	○	2				○			1					
		プログラミング演習Ⅱ	2後	○	1					○	1	2					
		データベース	2後	○	2				○			1		1			
		情報システム実験	2後	○	2					○		1					
		オペレーティングシステム	2後	○	2				○		1						

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	主要授 業科目	単位数			授業形態			専任教員等の配置						備考
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	基幹（助手を除く） 教員以外の教員	
専門教育科目	専門科目	並列分散処理	○	2			○			1					1	共同
		情報社会とセキュリティ	○	2			○			1						
		技術英語	○	2			○			1			1			
		プログラミング概論Ⅲ	○	2			○			1						
		プログラミング演習Ⅲ	○	1				○				1				
		情報ネットワーク	○	2			○			1						
		情報ネットワーク実験	○	2					○	1						
		卒業研究準備演習	○	1				○		8		1	1		1	
		ソフトウェア工学	○	2			○			1						
		ソフトウェア協同開発実験	○	2					○			1				
		ネットワークシステムとクラウド	○	2			○			1						各学期1単位
		数値解析	○		2		○				1					
		情報理論	○		2		○				1					
		コンピュータグラフィックス演習	○		2			○		1					1	
		離散数学・オートマトン	○		2		○									
		人工知能概論	○		2		○			1						
		人工知能実験	○		2				○		1					
		信号処理	○		2		○			1						
		マルチメディア情報処理	○		2		○			1						
		実践データサイエンス	○		2		○			1						
教養教育科目	共通基礎科目	データサイエンス演習	○		2			○		1						各学期1単位
		ゲーム理論と最適化手法	○		2		○				1					
		自主演習	○		4			○		7	8	1	1		1	
		卒業研究	○		8			○		9	9	1	1			
		小計（37科目）	—	—	50	28	0	—	—	9	9	1	2		4	
	大学入門科目	大学入門科目Ⅰ	1前		2			○		5	4					0
		小計（1科目）	—	—	2	0	0	—	—	5	4	0	0	0	0	
	外国語科目	英語A	1前		1			○								11
		英語B	1後		1			○								13
		英語C	2前・後		1			○								14
		英語D	2前・後		1			○								3
		実践日本語C	1後		1			○								1
		実践日本語D	1前		1			○								1
		実践日本語E	2後		1			○								1
		実践日本語F	2前		1			○								1
		小計（8科目）	—	—	4	4	0	—	—	0	0	0	0	0	0	23
	情報リテラシー科目	情報基礎概論	1前		2			○		2	3					
		小計（1科目）	—	—	2	0	0	—	—	2	3	0	0	0	0	0
	基本教養科目	基礎自然科学														オムニバス
		Introduction to Science	1・2後		2		○			4	4	2	1			
		物理の世界Ⅰ	1・2前		2		○			1						
		物理の世界Ⅱ	1・2後		2		○			1						
		化学の世界A	1・2後		2		○			2						オムニバス
		化学の世界B	1・2前		2		○			1	1					
		実験化学Ⅰ	1・2前		2		○			2	1		1		1	
		実験化学Ⅱ	1・2後		2		○			3	1		1			
		地学の世界	1・2後		2		○								1	隔年
		数理の世界	1・2後		2		○				1					
		原子の発見	1・2後		2		○				1					
		自然科学・技術の現代的諸相														
		情報科学の世界Ⅰ	1・2前		2		○			1	1					オムニバス
		情報科学の世界Ⅱ	1・2前・後		2		○			2						
		機械工学の世界A	1・2後		2		○			2						
		機械工学の世界B	1・2前		2		○			2						
		電気電子工学の世界A	1・2前		2		○				1					オムニバス
		電気電子工学の世界B	1・2後		2		○			1						
		都市と生活	1・2前		2		○			1						
		インタラクティブコンテンツ入門	1・2後		2		○								1	
		環境をはかる	1・2後		2		○			1						隔年 標準外
		肥前セラミック学	1・2前		2		○			3	1	1	1		8	
		AI・数理・データサイエンスⅠ	1・2前		2		○			2					1	
		AI・数理・データサイエンスⅡ	1・2後		2		○				1				1	
		農学の世界A	1・2前		2		○								1	オムニバス・共同（一部）
		農学の世界B	1・2後		2		○								1	
		STEAM学習基礎	1・2後		2		○								1	

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	主要授 業科目	単位数			授業形態			専任教員等の配置						備考
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	基幹（助手を除く） 教員	
教養教育科目	自然科学と技術の分野	生物科学・生命科学			2		○								2	オムニバス
		生物科学の世界A	1・2前		2		○								1	
		生物科学の世界B	1・2前		2		○								1	標準外・メディア
		栄養科学A	1・2前		2		○								1	標準外・メディア
		栄養科学B	1・2後		2		○								2	標準外・メディア
		栄養科学C	1・2後		2		○								5	オムニバス
		生命科学の基礎A	1・2後		2		○								2	オムニバス
		生命科学の基礎B	1・2前		2		○								15	オムニバス・共同（一部）
		生命科学の基礎C	1・2前		2		○								3	オムニバス
		生命科学の基礎F	1・2後		2		○								3	標準外・メディア
		自然科学と技術の分野特別講義 九州・沖縄学Ⅱ	1・2後		2		○								3	標準外・メディア
		小計（35科目）	—	—	0	70	0	—		23	11	3	4	0	45	
	文化の分野	言語と文化														
		ドイツの言語と文化Ⅰ	1・2前		2		○								1	
		ドイツの言語と文化Ⅱ	1・2後		2		○								1	
		フランスの言語と文化Ⅰ	1・2前		2		○								1	
		フランスの言語と文化Ⅱ	1・2後		2		○								1	
		中国の言語と文化Ⅰ	1・2前		2		○								1	
		中国の言語と文化Ⅱ	1・2後		2		○								1	
		韓国・朝鮮の言語と文化Ⅰ	1・2前		2		○								1	
		韓国・朝鮮の言語と文化Ⅱ	1・2後		2		○								1	
		Western Culture	1・2前		2		○								1	
		Intensive EnglishⅠ	1・2前		2		○								2	
		Intensive EnglishⅡ	1・2後		2		○								2	
		アカデミック英語	1・2後		1		○								1	
		ビジネス英語	1・2後		1		○								1	
		アカデミック独語	1・2前・後		1		○								1	
		ドイツ文学A	1・2前		1		○								1	
		ドイツ文学B	1・2後		1		○								1	
		ドイツ文化論A	1・2前		2		○								1	
		ドイツ文化論B	1・2後		2		○								1	
		文学と芸術														
		欧米の文化・文学	1・2前・後		2		○								1	
		芸術論	1・2前		2		○								2	隔年・オムニバス
		言語と表現														
		日本語学	1・2前		2		○								1	
		コミュニケーション論	1・2前・後		2		○								2	共同・標準外・メディア
		Critical Thinking for the Modern Age	1・2前		2		○								1	
		Cultural Metaphors	1・2後		2		○								1	
		歴史と文化														
		哲学・倫理学	1・2後		2		○								1	隔年
		考古学	1・2前		2		○								1	隔年
		日本史	1・2前・後		2		○								1	
		西洋史	1・2前・後		2		○								1	
		人類学	1・2前		2		○								2	オムニバス
		スポーツウェルネスの世界	1・2前・後		2		○								1	
		近代サッカーの成立と進歩	1・2後		2		○								1	
		サッカーの歴史と技法	1・2前		2		○								1	
		柔道の歴史と技法	1・2後		2		○								1	
		哲学の世界	1・2後		2		○								1	
		地域史	1・2後		2		○								1	標準外・メディア
		宗教学	1・2後		2		○								1	隔年
		文化の分野特別講義 九州・沖縄学Ⅰ	1・2前		2		○								1	標準外・メディア
		小計（37科目）	—	—	0	69	0	—		0	0	0	0	0	29	
	現代社会の分野	基礎社会科学														
		経済学	1・2前・後		2		○								1	
		会計学	1・2後		2		○								1	
		経営学	1・2前		2		○								2	
		法律学	1・2前		2		○								6	オムニバス
		政治学	1・2後		2		○								1	
		日本国憲法	1・2前・後		2		○								1	
		現代社会の法と政治	1・2前		2		○								1	
		地理学	1・2前		2		○								1	

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	主要授 業科目	単位数			授業形態			専任教員等の配置						備考
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	基幹（助手を除く） 教員以外の教員	
教養教育科目	現代社会の分野 基本教養科目	Introduction to Sociology	1・2前		2		○								1	オムニバス
		社会思想	1・2後		2		○								1	
		教育と人間														
		教育と人生	1・2後		2		○								1	
		心理学A	1・2前・後		2		○								1	
		心理学B	1・2後		2		○								1	
		健康科学A	1・2前・後		2		○								2	
		健康科学B	1・2後		2		○								2	
		スポーツと健康	1・2前		2		○								1	
		Citizenship Education	1・2後		2		○								1	
		Life in the Global World	1・2前		2		○								1	
		情報メディアと倫理	1・2前・後		2		○			1	1				1	
		心の病と癒しのプロセス	1・2後		2		○								1	
		心身の発達過程	1・2前		2		○								1	
		情報メディアコミュニケーション	1・2前・後		2		○								2	
		Aspects of Modern Society	1・2後		2		○								1	
		プレゼンテーション・デザイン	1・2前・後		2		○								1	
		現代教育学	1・2後		2		○								8	
		教育学A	1・2後		2		○								1	
		教育学B	1・2前		2		○								1	
		教育学C	1・2後		2		○								1	
		体育実技Ⅰ	1・2前・後		1			○							3	
		体育実技Ⅱ	1・2前・後		1			○							4	
		現代社会の諸相														
		ジャーナリズムの現在	1・2後		2		○								1	
		アジアコミュニティ論	1・2後		2		○			1					1	
		知的財産学	1・2後		2		○									
		環境科学Ⅰ	1・2前		2		○								2	
		環境科学Ⅲ	1・2後		2		○								2	
		インストラクショナル・デザイン	1・2前・後		2		○								2	
		国際社会学	1・2後		2		○								1	
		現代社会の分野特別講義														
		グローバル化と証券投資	1・2前		2		○								1	
		西洋近代社会思想史	1・2前		2		○								1	
		多文化社会論	1・2前		2		○								1	
		経営工学からみたマネジメント	1・2後		2		○								1	
		金融リテラシーと生命保険	1・2後		2		○								1	
		小計（42科目）	—	—	0	82	0	—	—	2	1	0	0	0	49	
	総合科目	海外交流実習	1・2前・後		2				○						2	標準外
		キャリアデザイン	1・2後		2		○								1	
		グループワークの技法と実践	1・2後		2			○							1	
		データサイエンスへの招待	3前		2		○								1	
		チャレンジ・インターンシップA	1・2前・後		2			○		1					1	
		チャレンジ・インターンシップB	2通		2			○							1	
		ライフデザインとセルフ・リーダーシップ	1・2前		2		○								1	
		Online Immersion Program	1・2前		2										1	
		Overseas Practicum	1・2後		2					1					1	
		データサイエンスBasicⅠ	1・2後		1		○			1					2	
		データサイエンスBasicⅡ	1・2後		1		○			1					2	
		小計（11科目）	—	—	0	20	0	—	—	1	0	0	0	0	8	
	外国人留学生 用科目	日本事情－自然科学と技術の分野	1後		2		○			1					1	隔年
		日本事情－文化の分野	1前		2		○								1	
		日本事情－現代社会	1後		2		○								1	
		小計（3科目）	—	—	0	6	0	—	—	1	0	0	0	0	2	
インターフェース科目	環境コース	機械工学と環境Ⅰ	2前		2		○			1	1				1	オムニバス オムニバス オムニバス オムニバス・共同（一部）
		機械工学と環境Ⅱ	2後		2		○			2	2					
		機械工学と環境Ⅲ	3前		2		○			1	5					
		機械工学と環境Ⅳ	3後		2		○			1	3	1				
		エレクトロニクスと環境Ⅰ	2前		2		○				1					
		エレクトロニクスと環境Ⅱ	2後		2		○			1						
		エレクトロニクスと環境Ⅲ	3前		2		○			1						
		エレクトロニクスと環境Ⅳ	3後		2		○			1						
		佐賀の環境Ⅰ	2前		2		○				1				2	
		佐賀の環境Ⅱ	2後		2		○				1				3	
		佐賀の環境Ⅲ	3前		2		○								5	

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			授業形態			専任教員等の配置						備考
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	基幹（助手を除く） 教員以外の教員	
教養教育科目	文化と共生コース	佐賀の環境Ⅳ	3後		2		○								5	オムニバス
		小計（12科目）	—	0	24	0	—			8	13	1	0	0	10	
	文化と共生コース	異文化交流Ⅰ	2前		2		○								1	標準外
		異文化交流Ⅱ	2後		2		○								1	
		異文化交流Ⅲ	3前		2		○								1	
		異文化交流Ⅳ	3後		2		○								1	
		Intercultural CommunicationⅠ	2前		2		○								2	
		Intercultural CommunicationⅡ	2後		2		○								1	
		Intercultural CommunicationⅢ	3前		2		○								2	
		Intercultural CommunicationⅣ	3後		2		○								2	
		肥前陶磁器産業体験Ⅰ	2前		2		○								1	共同・標準外
		肥前陶磁器産業体験Ⅱ	2前		2		○								2	
		肥前陶磁器産業体験Ⅲ	3前		2		○								4	共同
		肥前陶磁器産業体験Ⅳ	3後		2		○								4	共同
		ドイツ語とドイツ語圏の歴史・文化Ⅰ	2前		2		○								1	オムニバス
		ドイツ語とドイツ語圏の歴史・文化Ⅱ	2後		2		○								1	
		ドイツ語とドイツ語圏の歴史・文化Ⅲ	3前		2		○								1	
		ドイツ語とドイツ語圏の歴史・文化Ⅳ	3後		2		○								1	
		芸術と社会Ⅰ	2前		2		○								5	
		芸術と社会Ⅱ	2後		2		○								3	
		芸術と社会Ⅲ	3前		2		○								5	
		芸術と社会Ⅳ	3後		2		○								4	
	インターフェース科目	歴史文化Ⅰ	2前		2		○								1	オムニバス・標準外
		歴史文化Ⅱ	2後		2		○								1	
		歴史文化Ⅲ	3前		2		○								1	
		歴史文化Ⅳ	3後		2		○								1	
		英語コミュニケーションⅠ	2前		2		○								2	
		英語コミュニケーションⅡ	2後		2		○								2	
		英語コミュニケーションⅢ	3前		2		○								2	
		英語コミュニケーションⅣ	3後		2		○								2	
		小計（28科目）	—	0	56	0	—			0	0	0	0	0	36	
	生活と科学コース	未来を拓く材料の科学Ⅰ	2前		2		○			1	1		2		1	オムニバス
		未来を拓く材料の科学Ⅱ	2後		2		○			2					1	オムニバス
		未来を拓く材料の科学Ⅲ	3前		2		○			5					1	オムニバス
		未来を拓く材料の科学Ⅳ	3後		2		○			1	2		3			オムニバス・共同（一部）
		情報技術者キャリアデザインⅠ	2前		2		○				1		1			共同
		情報技術者キャリアデザインⅡ	3前		2		○			2	1					オムニバス
		情報技術者キャリアデザインⅢ	3前・後		2		○				1					
		情報技術者キャリアデザインⅣ	3後		2		○			1						
		2年間でできる「がばいベンチャー」の作り方Ⅰ	2前		2		○								1	
		2年間でできる「がばいベンチャー」の作り方Ⅱ	2後		2		○								1	
		2年間でできる「がばいベンチャー」の作り方Ⅲ	3前		2		○								1	
		2年間でできる「がばいベンチャー」の作り方Ⅳ	3後		2		○								1	
		食糧生産の科学Ⅰ	2前		2		○								1	オムニバス
		食糧生産の科学Ⅱ	2後		2		○								4	オムニバス
		食糧生産の科学Ⅲ	3前		2		○								4	オムニバス
		食糧生産の科学Ⅳ	3後		2		○								6	オムニバス
		ライフサイエンス・フードサイエンスⅠ	2前		2		○								4	オムニバス
		ライフサイエンス・フードサイエンスⅡ	2後		2		○								4	オムニバス・共同（一部）
		ライフサイエンス・フードサイエンスⅢ	3前		2		○								5	オムニバス
		ライフサイエンス・フードサイエンスⅣ	3後		2		○								5	オムニバス
		小計（20科目）	—	0	40	0	—			15	7	0	4	0	34	
	人間と社会コース	チームビルディングとリーダーシップⅠ	2前		2		○								3	共同
		チームビルディングとリーダーシップⅡ	2後		2		○								4	共同
		チームビルディングとリーダーシップⅢ	3前		2		○								3	共同
		チームビルディングとリーダーシップⅣ	3後		2		○								3	共同
		リサーチ・リテラシーⅠ	2前		2		○								1	

科目 区分			授業科目の名称	配当年次	主要授 業科目	単位数			授業形態			専任教員等の配置						備考
						必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験 ・ 実 習	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	基 幹 （助 手 を 除 く） 教員 以外 の 教員	
教養教育科目	人間と 社会コース	リサーチ・リテラシーⅡ	2後			2		○								1	共同	
		リサーチ・リテラシーⅢ	3前			2		○								1		
		リサーチ・リテラシーⅣ	3後			2		○								3		
		スポーツイベントとボランティアリーダーⅠ	2前			2		○								1		
		スポーツイベントとボランティアリーダーⅡ	2後			2		○								2		
		スポーツイベントとボランティアリーダーⅢ	3前			2		○								2		
		スポーツイベントとボランティアリーダーⅣ	3後			2		○								2		
		小計（12科目）	—	—	0	24	0	—	—	0	0	0	0	0	0	8		
	医療・福祉と 社会コース	現代社会と医療Ⅰ	1前			2		○								1	共同	
		現代社会と医療Ⅱ	1前			2		○								1		
		現代社会と医療Ⅲ	1後			2		○								2		
		現代社会と医療Ⅳ	1後			2		○								1		
		食と健康Ⅰ	1前			2		○								5	オムニバス	
		食と健康Ⅱ	1前			2		○								1		
		食と健康Ⅲ	1後			2		○								1		
		食と健康Ⅳ	1後			2		○								7		
		ライフサイクルからみた医療Ⅰ	1前			2		○								5	オムニバス	
		ライフサイクルからみた医療Ⅱ	1前			2		○								1		
		ライフサイクルからみた医療Ⅲ	1後			2		○								1		
		ライフサイクルからみた医療Ⅳ	1後			2		○								1		
	小計（12科目）	—	—	0	24	0	—	—	0	0	0	0	0	0	23			
	地域・佐賀学 コース	佐賀の歴史文化Ⅰ	2前			2		○								1	オムニバス 共同 オムニバス 共同	
		佐賀の歴史文化Ⅱ	2後			2		○								1		
		佐賀の歴史文化Ⅲ	3前			2		○								1		
		佐賀の歴史文化Ⅳ	3後			2		○								1		
		地域経済と社会Ⅰ	2前			2		○								1		
		地域経済と社会Ⅱ	2後			2		○								1		
		地域経済と社会Ⅲ	3前			2		○								1		
		地域経済と社会Ⅳ	3後			2		○								1		
		佐賀SDGsグローバルアクションⅠ	2前			2		○								4		
		佐賀SDGsグローバルアクションⅡ	2後			2		○								3		
		佐賀SDGsグローバルアクションⅢ	3前			2		○			2					2		
		佐賀SDGsグローバルアクションⅣ	3後			2		○			2					2		
	小計（12科目）	—	—	0	24	0	—	—	2	0	0	0	0	0	13			
	共通	インターフェース演習	3前			2			○								標準外	
		小計（1科目）	—	—	0	2	0	—	—									
合計（317科目）			—	—	83	524	4	—	—	45	48	4	5		229	—		
学位又は称号		学士（工学）			学位又は学科の分野			工学関係										
卒業要件及び履修方法									授業期間等									
教養教育科目28単位以上、専門教育科目（必修科目82単位を含む）96単位以上、合計124単位以上を修得すること。									1 学年の学期区分					2 学期				
									1 学期の授業期間					1 5 週				
									1 時限の授業時間					9 0 分				

教 育 課 程 等 の 概 要																	
(理工学部理工学科 生命化学コース)【既設】																	
科目 区分		授業科目の名称	配当年次	主要授 業科目	単位数			授業形態			専任教員等の配置						備考
					必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験・ 実習	教 授	准 教授	講 師	助 教	助 手	基幹 (助手を除く 教員)	
学部共通 基礎科目		理工リテラシーS1	1通	○	1					○	3	8				オムニバス 集中講義 集中講義	
		理工リテラシーS2	2通	○	1					○		1					
		理工リテラシーS3	3通	○	1					○		1					
		サブフィールドPBL	2後	○	3				○		4	5	1				3
		AI・数理・データサイエンスリテラシーS	3通	○	1			○			1	1					
		AI・数理・データサイエンスリテラシーL	3通	○	2			○			1	1					
		理工キャリア教育プログラムS	2前・後	○		1			○		5	2					
		理工キャリア教育プログラムL	2前・後	○		2			○		5	2					
		理工特別セミナー(半導体概論)	1前	○		2			○		2						
		理工特別セミナー(量子物理学の発展)	2前	○		2			○		1	1					
		微分積分学基礎演習Ⅰ	1前				1			○	6	5					
		線形代数学基礎演習Ⅰ	1前				1			○	2	2					
		微分積分学基礎演習Ⅱ	1後				1			○	6	5					
		線形代数学基礎演習Ⅱ	1後				1			○	4	3					
	小計(14科目)	—	—		9	7	4	—			18	19	1			3	
学部共通 専門科目		微分積分学Ⅰa	1前	○		2			○			2				オムニバス	
		微分積分学Ⅰb	1前	○		2			○			2					
		線形代数学Ⅰa	1前	○		2			○				1				
		線形代数学Ⅰb	1前	○		2			○			1					
		物理学概説	1前	○	2				○			1					
		化学概説	1前	○	2				○		5	1					
		生物学概説	1前	○	2				○			1					
		データサイエンスⅠ	1前	○	2				○		2	3					
		理工概論	1前	○	2				○		10	4					
		小計(9科目)	—	—		10	8	0	—			14	15	1			
専門教育科目	コース 類共通 専門科目	微分積分学Ⅱa	1後	○		2			○			2				オムニバス オムニバス オムニバス オムニバス オムニバス オムニバス オムニバス 共同	
		微分積分学Ⅱb	1後	○		2			○			1	1				
		線形代数学Ⅱa	1後	○		2			○			1					
		線形代数学Ⅱb	1後	○		2			○				1				
		物理演習	1後	○	1					○			2				
		化学演習	1後	○	1					○		1	3		1		
		コンピュータプログラミング	1後	○	2				○		1						
		データサイエンスⅡ	1後	○	2				○			1					
		応用数理科学	1後	○		2			○		1						
		データサイエンス入門	1後	○	2				○		1	1					
		知能情報システム工学入門	1後	○	2				○		1	1					
		情報ネットワーク工学入門	1後	○	2				○			1			1		
		基礎化学A	1後	○	2				○			2		1			
		基礎化学B	1後	○	2				○		1	1					
		基礎力学	1後	○	2				○		1						
		現代物理学	1後	○	2				○		2	2					
		機械システム工学概論	1後	○	2				○		2	6					
		機械エネルギー工学概論	1後	○	2				○		2	7	1				
		基礎電気回路	1後	○	2				○		4	4			1		
		基礎電磁気学	1後	○	2				○		1						
		建設力学基礎	1後	○	2				○		2				1		
		空間設計基礎	1後	○	2				○		1			1			
	小計(22科目)	—	—		6	36	0	—			19	29	1	3		3	
専門科目		無機化学Ⅰ	2前	○	2				○			1			1	オムニバス	
		有機化学Ⅰ	2前	○	2				○			1			1	オムニバス	
		化学熱力学	2前	○	2				○			2				オムニバス	
		反応分析化学	2前	○	2				○			1			1	オムニバス	
		生命化学実験Ⅰ	2前	○	3					○		5	3			オムニバス, 共同	
		無機化学Ⅱ	2後	○	2				○			1					
		有機化学Ⅱ	2後	○	2				○			1			1	オムニバス	
		量子化学	2後	○	2				○			1	1			オムニバス	
		分子計測化学	2後	○	2				○			1	1			オムニバス	
		生物化学Ⅰ	2後	○	2				○			1					
		生命化学実験Ⅱ	2後	○	3					○		3	1		2	共同	
		生物無機化学	3前	○	2				○			1					
		生物有機化学	3前	○	2				○			1				1	オムニバス

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			授業形態			専任教員等の配置						備考
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	基幹（助手を除く） 教員以外の教員	
専門教育科目	専門科目	生物物理化学	3前	○	2		○			1	1					オムニバス
		生物化学Ⅱ	3前	○	2		○			1						
		化学基礎英語Ⅰ	3前	○	1		○			1					1	オムニバス
		生命化学実験Ⅲ	3前	○	3				○	3			1		1	共同
		化学基礎英語Ⅱ	3後	○	1		○			1						オムニバス
		生命化学実験Ⅳ	3後	○	3				○	4	2				1	共同
		固体化学	3後	○	2		○				1					
		生命錯体化学	3後	○	2		○			1						
		有機機器分析化学	3後	○	2		○								1	
		分子薬理学	3後	○	2		○			1						
		生物物性化学	3後	○	2		○			2						オムニバス
		分離化学	3後	○	2		○				1					
		生命溶液化学	3後	○	2		○			1						
		化学者倫理	4前	○	2		○			1	1					
		化学関連インターンシップS	1・2・3・4 前・後	○	1				○	2	2					集中
		化学関連インターンシップL	1・2・3・4 前・後	○	2				○	2	2					集中
		卒業研究	4通	○	8				○	12	7		4			共同
	小計（30科目）	—	—	—	50	17	0	—	—	11	4		3		2	
教養教育科目	大学入門科目	大学入門科目Ⅰ	1前		2		○			5	4					
		小計（1科目）	—	—	2	0	0	—	—	5	4	0	0	0	0	
	共通基礎科目	外国語科目	英語A	1前	1			○								11
			英語B	1後	1			○								13
			英語C	2前・後	1			○								14
			英語D	2前・後	1			○								3
			実践日本語C	1後	1			○								1
			実践日本語D	1前	1			○								1
			実践日本語E	2後	1			○								1
			実践日本語F	2前	1			○								1
		小計（8科目）	—	—	4	4	0	—	—	0	0	0	0	0	0	23
	情報リテラシー科目	情報基礎概論	1前		2		○			2	3					
		小計（1科目）	—	—	2	0	0	—	—	2	3	0	0	0	0	
	基本教養科目	自然科学と技術の分野	基礎自然科学													
			Introduction to Science	1・2後	2		○			4	4	2	1			オムニバス
			物理の世界Ⅰ	1・2前	2		○			1						
			物理の世界Ⅱ	1・2後	2		○			1						
			化学の世界A	1・2後	2		○			2						オムニバス
			化学の世界B	1・2前	2		○			1	1					オムニバス
			実験化学Ⅰ	1・2前	2		○			2	1		1		1	オムニバス
			実験化学Ⅱ	1・2後	2		○			3	1		1			オムニバス
			地学の世界	1・2後	2		○								1	隔年
			数理の世界	1・2後	2		○				1					
			原子の発見	1・2後	2		○				1					
			自然科学・技術の現代的諸相													
			情報科学の世界Ⅰ	1・2前	2		○			1	1					
			情報科学の世界Ⅱ	1・2前・後	2		○			2						
			機械工学の世界A	1・2後	2		○			2						オムニバス
			機械工学の世界B	1・2前	2		○			2						オムニバス
			電気電子工学の世界A	1・2前	2		○				1					
			電気電子工学の世界B	1・2後	2		○			1						
			都市と生活	1・2前	2		○			1						隔年
			インタラクティブコンテンツ入門	1・2後	2		○								1	標準外
			環境をはかる	1・2後	2		○			1						
			肥前セラミック学	1・2前	2		○			3	1	1	1		8	オムニバス・共同（一部）
			AI・数理・データサイエンスⅠ	1・2前	2		○			2					1	共同
			AI・数理・データサイエンスⅡ	1・2後	2		○				1				1	共同
			農学の世界A	1・2前	2		○								1	
			農学の世界B	1・2後	2		○								1	
			STEAM学習基礎	1・2後	2		○								1	
			生物科学・生命科学													
			生物科学の世界A	1・2前	2		○								2	オムニバス
			生物科学の世界B	1・2前	2		○								1	
			栄養科学A	1・2前	2		○								1	標準外・メディア
			栄養科学B	1・2後	2		○								1	標準外・メディア
			栄養科学C	1・2後	2		○								2	標準外・メディア

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	主要授 業科目	単位数			授業形態			専任教員等の配置						備考
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	基幹（助手を除く） 教員	
教養教育科目	自然科学と技術の分野	生命科学の基礎A	1・2後		2		○								5	オムニバス
		生命科学の基礎B	1・2前		2		○								2	オムニバス
		生命科学の基礎C	1・2前		2		○								15	オムニバス・共同（一部）
		生命科学の基礎F	1・2後		2		○								3	オムニバス
		自然科学と技術の分野特別講義 九州・沖縄学Ⅱ	1・2後		2		○								3	標準外・メディア
		小計（35科目）	—	—	0	70	0	—		23	11	3	4	0	45	
	文化の分野	言語と文化														
		ドイツの言語と文化Ⅰ	1・2前		2		○								1	
		ドイツの言語と文化Ⅱ	1・2後		2		○								1	
		フランスの言語と文化Ⅰ	1・2前		2		○								1	
		フランスの言語と文化Ⅱ	1・2後		2		○								1	
		中国の言語と文化Ⅰ	1・2前		2		○								1	
		中国の言語と文化Ⅱ	1・2後		2		○								1	
		韓国・朝鮮の言語と文化Ⅰ	1・2前		2		○								1	
		韓国・朝鮮の言語と文化Ⅱ	1・2後		2		○								1	
		Western Culture	1・2前		2		○								1	
		Intensive EnglishⅠ	1・2前		2		○								2	
		Intensive EnglishⅡ	1・2後		2		○								2	
		アカデミック英語	1・2後		1		○								1	
		ビジネス英語	1・2後		1		○								1	
		アカデミック独語	1・2前・後		1		○								1	
		ドイツ文学A	1・2前		1		○								1	
		ドイツ文学B	1・2後		1		○								1	
		ドイツ文化論A	1・2前		2		○								1	
		ドイツ文化論B	1・2後		2		○								1	
		文学と芸術														
		欧米の文化・文学	1・2前・後		2		○								1	
		芸術論	1・2前		2		○								2	隔年・オムニバス
		言語と表現														
		日本語学	1・2前		2		○								1	
		コミュニケーション論	1・2前・後		2		○								2	共同・標準外・メディア
		Critical Thinking for the Modern Age	1・2前		2		○								1	
		Cultural Metaphors	1・2後		2		○								1	
		歴史と文化														
		哲学・倫理学	1・2後		2		○								1	隔年
		考古学	1・2前		2		○								1	隔年
		日本史	1・2前・後		2		○								1	
		西洋史	1・2前・後		2		○								1	
		人類学	1・2前		2		○								2	オムニバス
		スポーツウェルネスの世界	1・2前・後		2		○								1	
		近代サッカーの成立と進歩	1・2後		2		○								1	
		サッカーの歴史と技法	1・2前		2		○								1	
		柔道の歴史と技法	1・2後		2		○								1	
		哲学の世界	1・2後		2		○								1	
		地域史	1・2後		2		○								1	標準外・メディア
		宗教学	1・2後		2		○								1	隔年
		文化の分野特別講義 九州・沖縄学Ⅰ	1・2前		2		○								1	標準外・メディア
		小計（37科目）	—	—	0	69	0	—		0	0	0	0	0	29	
	現代社会の分野	基礎社会科学														
		経済学	1・2前・後		2		○								1	
		会計学	1・2後		2		○								1	
		経営学	1・2前		2		○								2	
		法律学	1・2前		2		○								6	オムニバス
		政治学	1・2後		2		○								1	
		日本国憲法	1・2前・後		2		○								1	
		現代社会の法と政治	1・2前		2		○								1	
		地理学	1・2前		2		○								1	
		Introduction to Sociology	1・2前		2		○								1	
		社会思想	1・2後		2		○								1	
		教育と人間														
		教育と人生	1・2後		2		○								1	
		心理学A	1・2前・後		2		○								1	
		心理学B	1・2後		2		○								1	

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	主要授 業科目	単位数			授業形態			専任教員等の配置						備考
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	基幹（助手を除く） 教員	
教養教育科目	現代社会の分野	健康科学A	1・2前・後		2		○								2	オムニバス
		健康科学B	1・2後		2		○								2	
		スポーツと健康	1・2前		2		○								1	
		Citizenship Education	1・2後		2		○								1	
		Life in the Global World	1・2前		2		○								1	隔年
		情報メディアと倫理	1・2前・後		2		○			1	1					
		心の病と癒しのプロセス	1・2後		2		○								1	
		心身の発達過程	1・2前		2		○								1	
		情報メディアコミュニケーション	1・2前・後		2		○								2	共同・メディア
		Aspects of Modern Society	1・2後		2		○								1	
		プレゼンテーション・デザイン	1・2前・後		2		○								1	
		現代教育学	1・2後		2		○								8	
		教育学A	1・2後		2		○								1	オムニバス・共同（一部）
		教育学B	1・2前		2		○								1	
		教育学C	1・2後		2		○								1	
		体育実技Ⅰ	1・2前・後		1			○							3	
		体育実技Ⅱ	1・2前・後		1			○							4	共同（一部）
		現代社会の諸相														
		ジャーナリズムの現在	1・2後		2		○								1	
		アジアコミュニティ論	1・2後		2		○								1	標準外・メディア
		知的財産学	1・2後		2		○			1						
		環境科学Ⅰ	1・2前		2		○								2	
		環境科学Ⅲ	1・2後		2		○								2	
		インストラクショナル・デザイン	1・2前・後		2		○								2	オムニバス・標準外・メディア
		国際社会学	1・2後		2		○								1	
		現代社会の分野特別講義														
		グローバル化と証券投資	1・2前		2		○								1	
		西洋近代社会思想史	1・2前		2		○								1	標準外
		多文化社会論	1・2前		2		○								1	
		経営工学からみたマネジメント	1・2後		2		○								1	
		金融リテラシーと生命保険	1・2後		2		○								1	
		小計（42科目）	—	—	0	82	0	—	—	2	1	0	0	0	49	標準外
	総合科目	海外交流実習	1・2前・後		2				○						2	
		キャリアデザイン	1・2後		2		○								1	
		グループワークの技法と実践	1・2後		2			○							1	
		データサイエンスへの招待	3前		2		○								1	
		チャレンジ・インターンシップA	1・2前・後		2			○		1						標準外
		チャレンジ・インターンシップB	2通		2			○							1	
		ライフデザインとセルフ・リーダーシップ	1・2前		2		○								1	標準外
		Online Immersion Program	1・2前		2										1	
		Overseas Practicum	1・2後		2										1	標準外
		データサイエンスBasicⅠ	1・2後		1		○			1					2	
		データサイエンスBasicⅡ	1・2後		1		○			1					2	共同・標準外・メディア
		小計（11科目）	—	—	0	20	0	—	—	1	0	0	0	0	8	
	外国人留学生 用科目	日本事情－自然科学と技術の分野	1後		2		○			1						隔年
		日本事情－文化の分野	1前		2		○								1	
		日本事情－現代社会	1後		2		○								1	
		小計（3科目）	—	—	0	6	0	—	—	1	0	0	0	0	2	オムニバス
	インターフェース科目	機械工学と環境Ⅰ	2前		2		○			1	1				1	
		機械工学と環境Ⅱ	2後		2		○			2	2					
		機械工学と環境Ⅲ	3前		2		○			1	5					
		機械工学と環境Ⅳ	3後		2		○			1	3	1				オムニバス・共同（一部）
		エレクトロニクスと環境Ⅰ	2前		2		○				1					
		エレクトロニクスと環境Ⅱ	2後		2		○			1						
		エレクトロニクスと環境Ⅲ	3前		2		○			1						
		エレクトロニクスと環境Ⅳ	3後		2		○			1						オムニバス
		佐賀の環境Ⅰ	2前		2		○				1				2	
		佐賀の環境Ⅱ	2後		2		○				1				3	
		佐賀の環境Ⅲ	3前		2		○								5	
		佐賀の環境Ⅳ	3後		2		○								5	
		小計（12科目）	—	—	0	24	0	—	—	8	13	1	0	0	10	オムニバス
	文化と共生 コース	異文化交流Ⅰ	2前		2		○								1	
		異文化交流Ⅱ	2後		2		○								1	
		異文化交流Ⅲ	3前		2		○								1	
		異文化交流Ⅳ	3後		2		○								1	

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			授業形態			専任教員等の配置						備考
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	基幹（助手を除く） 教員以外の教員	
教養教育科目	文化と共生コース	Intercultural Communication I	2前		2		○								2	標準外
		Intercultural Communication II	2後		2		○								1	
		Intercultural Communication III	3前		2		○								2	
		Intercultural Communication IV	3後		2		○								2	
		肥前陶磁器産業体験 I	2前		2		○								1	共同・標準外
		肥前陶磁器産業体験 II	2前		2		○								2	
		肥前陶磁器産業体験 III	3前		2		○								4	
		肥前陶磁器産業体験 IV	3後		2		○								4	
		ドイツ語とドイツ語圏の歴史・文化 I	2前		2		○								1	共同
		ドイツ語とドイツ語圏の歴史・文化 II	2後		2		○								1	
		ドイツ語とドイツ語圏の歴史・文化 III	3前		2		○								1	
		ドイツ語とドイツ語圏の歴史・文化 IV	3後		2		○								1	
		芸術と社会 I	2前		2		○								5	オムニバス
		芸術と社会 II	2後		2		○								3	オムニバス・標準外
		芸術と社会 III	3前		2		○								5	オムニバス
		芸術と社会 IV	3後		2		○								4	オムニバス
		歴史文化 I	2前		2		○								1	
		歴史文化 II	2後		2		○								1	
		歴史文化 III	3前		2		○								1	
		歴史文化 IV	3後		2		○								1	
		英語コミュニケーション I	2前		2		○								2	
		英語コミュニケーション II	2後		2		○								2	
		英語コミュニケーション III	3前		2		○								2	
		英語コミュニケーション IV	3後		2		○								2	
		小計（28科目）	—	—	0	56	0	—		0	0	0	0	0	36	
	インターフェース科目 生活と科学コース	未来を拓く材料の科学 I	2前		2		○			1	1		2		1	オムニバス
		未来を拓く材料の科学 II	2後		2		○			2					1	オムニバス
		未来を拓く材料の科学 III	3前		2		○			5					1	オムニバス
		未来を拓く材料の科学 IV	3後		2		○			1	2		3			オムニバス・共同（一部）
		情報技術者キャリアデザイン I	2前		2		○				1		1			共同
		情報技術者キャリアデザイン II	3前		2		○			2	1					オムニバス
		情報技術者キャリアデザイン III	3前・後		2		○				1					
		情報技術者キャリアデザイン IV	3後		2		○			1						
		2年間でできる「がばいベンチャー」の作り方 I	2前		2		○								1	
		2年間でできる「がばいベンチャー」の作り方 II	2後		2		○								1	
		2年間でできる「がばいベンチャー」の作り方 III	3前		2		○								1	
		2年間でできる「がばいベンチャー」の作り方 IV	3後		2		○								1	
		食糧生産の科学 I	2前		2		○								1	オムニバス
		食糧生産の科学 II	2後		2		○								4	オムニバス
		食糧生産の科学 III	3前		2		○								4	オムニバス
		食糧生産の科学 IV	3後		2		○								6	オムニバス
		ライフサイエンス・フードサイエンス I	2前		2		○								4	オムニバス
		ライフサイエンス・フードサイエンス II	2後		2		○								4	オムニバス・共同（一部）
		ライフサイエンス・フードサイエンス III	3前		2		○								5	オムニバス
		ライフサイエンス・フードサイエンス IV	3後		2		○								5	オムニバス
		小計（20科目）	—	—	0	40	0	—		15	7	0	4	0	34	
	人間と社会コース	チームビルディングとリーダーシップ I	2前		2		○								3	共同
		チームビルディングとリーダーシップ II	2後		2		○								4	共同
		チームビルディングとリーダーシップ III	3前		2		○								3	共同
		チームビルディングとリーダーシップ IV	3後		2		○								3	共同
		リサーチ・リテラシー I	2前		2		○								1	
		リサーチ・リテラシー II	2後		2		○								1	
		リサーチ・リテラシー III	3前		2		○								1	
		リサーチ・リテラシー IV	3後		2		○								3	
		スポーツイベントとボランティアリーダー I	2前		2		○								1	

科目 区分			授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			授業形態			専任教員等の配置						備考
						必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	基幹（助手を除く） 教員以外の教員	
教養教育科目	人間と社会コース	スポーツイベントとボランティアリーダーⅡ	2後			2		○								2	共同	
		スポーツイベントとボランティアリーダーⅢ	3前			2		○								2	共同	
		スポーツイベントとボランティアリーダーⅣ	3後			2		○								2	共同	
		小計（12科目）	—	—	0	24	0	—		0	0	0	0	0	8			
	医療・福祉と社会コース	現代社会と医療Ⅰ	1前			2		○									1	共同
		現代社会と医療Ⅱ	1前			2		○									1	
		現代社会と医療Ⅲ	1後			2		○									2	
		現代社会と医療Ⅳ	1後			2		○									1	
		食と健康Ⅰ	1前			2		○									5	オムニバス
		食と健康Ⅱ	1前			2		○									1	
		食と健康Ⅲ	1後			2		○									1	
		食と健康Ⅳ	1後			2		○									7	
		ライフサイクルからみた医療Ⅰ	1前			2		○									5	オムニバス
		ライフサイクルからみた医療Ⅱ	1前			2		○									1	
		ライフサイクルからみた医療Ⅲ	1後			2		○									1	
		ライフサイクルからみた医療Ⅳ	1後			2		○									1	
		小計（12科目）	—	—	0	24	0	—		0	0	0	0	0	23			
	地域・佐賀学コース	佐賀の歴史文化Ⅰ	2前			2		○									1	
		佐賀の歴史文化Ⅱ	2後			2		○									1	
		佐賀の歴史文化Ⅲ	3前			2		○									1	
		佐賀の歴史文化Ⅳ	3後			2		○									1	
		地域経済と社会Ⅰ	2前			2		○									1	
		地域経済と社会Ⅱ	2後			2		○									1	
		地域経済と社会Ⅲ	3前			2		○									1	
		地域経済と社会Ⅳ	3後			2		○									1	
		佐賀SDGsグローバルアクションⅠ	2前			2		○									4	オムニバス
		佐賀SDGsグローバルアクションⅡ	2後			2		○									3	
		佐賀SDGsグローバルアクションⅢ	3前			2		○			2						2	
		佐賀SDGsグローバルアクションⅣ	3後			2		○			2						2	
		小計（12科目）	—	—	0	24	0	—		2	0	0	0	0	13			
	共通	インターフェース演習	3前			2			○									標準外
		小計（1科目）	—	—	0	2	0	—										
合計（310科目）			—	—	83	513	4	—		46	45	3	5		229	—		
学位又は称号		学士（理学）			学位又は学科の分野			理学関係										
卒業要件及び履修方法									授業期間等									
教養教育科目28単位以上、専門教育科目（必修科目80単位を含む）96単位以上、合計124単位以上を修得すること。									1学年の学期区分			2学期						
									1学期の授業期間			15週						
									1時限の授業時間			90分						

教 育 課 程 等 の 概 要																		
(理工学部理工学科 応用化学コース)【既設】																		
科目 区分		授業科目の名称	配当年次	主要授 業科目	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
					必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験・ 実習	教 授	准 教授	講 師	助 教	助 手		基幹 (助手を除く) 教員	
学部共通 基礎科目		理工リテラシーS1	1通	○	1					○	3	8				オムニバス 集中講義 集中講義		
		理工リテラシーS2	2通	○	1					○	1							
		理工リテラシーS3	3通	○	1					○	1							
		サブフィールドPBL	2後	○	3				○		4	5	1				3	
		AI・数理・データサイエンスリテラシーS	3通	○	1			○			1	1						
		AI・数理・データサイエンスリテラシーL	3通	○	2			○			1	1						
		理工キャリア教育プログラムS	2前・後	○		1			○		5	2						
		理工キャリア教育プログラムL	2前・後	○		2			○		5	2						
		理工特別セミナー(半導体概論)	1前	○		2			○		2							
		理工特別セミナー(量子物理学の発展)	2前	○		2			○		1	1						
		微分積分学基礎演習Ⅰ	1前				1			○	6	5						
		線形代数学基礎演習Ⅰ	1前				1			○	2	2						
		微分積分学基礎演習Ⅱ	1後				1			○	6	5						
		線形代数学基礎演習Ⅱ	1後				1			○	4	3						
	小計(14科目)	—	—		9	7	4	—			18	19	1			3		
学部共通 専門科目		微分積分学Ⅰa	1前	○		2			○			2				オムニバス		
		微分積分学Ⅰb	1前	○		2			○		1	2						
		線形代数学Ⅰa	1前	○		2			○				1					
		線形代数学Ⅰb	1前	○		2			○			1						
		物理学概説	1前	○	2				○			1						
		化学概説	1前	○	2				○		5	1						
		生物学概説	1前	○	2				○			1						
		データサイエンスⅠ	1前	○	2				○		2	3						
		理工概論	1前	○	2				○		10	4						
		小計(9科目)	—	—		10	8	0	—			14	15	1				
専門教育科目	コース 類共通 専門科目	微分積分学Ⅱa	1後	○		2			○			2				オムニバス オムニバス オムニバス オムニバス オムニバス オムニバス オムニバス オムニバス 共同		
		微分積分学Ⅱb	1後	○		2			○		1	1						
		線形代数学Ⅱa	1後	○		2			○				1					
		線形代数学Ⅱb	1後	○		2			○					1				
		物理演習	1後	○	1					○			2					
		化学演習	1後	○	1					○		1	3		1			
		コンピュータプログラミング	1後	○	2				○			1						
		データサイエンスⅡ	1後	○	2				○				1					
		応用数理学	1後	○		2			○			1						
		データサイエンス入門	1後	○		2			○			1	1					
		知能情報システム工学入門	1後	○		2			○			1	1					
		情報ネットワーク工学入門	1後	○		2			○				1					1
		基礎化学A	1後	○		2			○				2		1			オムニバス
		基礎化学B	1後	○		2			○			1	1					オムニバス
		基礎力学	1後	○		2			○			1						オムニバス
		現代物理学	1後	○		2			○			2	2					オムニバス
		機械システム工学概論	1後	○		2			○			2	6					オムニバス
		機械エネルギー工学概論	1後	○		2			○				7	1				オムニバス
		基礎電気回路	1後	○		2			○			4	4					1
		基礎電磁気学	1後	○		2			○			1						
		建設力学基礎	1後	○		2			○			2						1
		空間設計基礎	1後	○		2			○			1			1			共同
	小計(22科目)	—	—		6	36	0	—			19	29	1	3		3		
専門科目		基礎無機化学	2前	○	2				○			1			1	オムニバス		
		基礎有機化学	2前	○	2				○			1				1	オムニバス	
		物理化学A	2前	○	2				○			2					オムニバス	
		基礎分析化学	2前	○	2				○			1			1		オムニバス	
		応用化学実験Ⅰ	2前	○	3					○	5	3				1	オムニバス, 共同	
		無機化学	2後	○	2				○		2						オムニバス	
		有機化学	2後	○	2				○		1			1			オムニバス	
		物理化学B	2後	○	2				○		1	1					オムニバス	
		機器分析化学	2後	○	2				○		1	1					オムニバス	
		基礎化学工学	2後	○	2				○		1	1					オムニバス	
		応用化学実験Ⅱ	2後	○	3					○	3	1		2			共同	
		セラミックス科学	3前	○	2				○		1							
		高分子化学	3前	○	2				○							1		

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	主要授 業科目	単位数			授業形態			専任教員等の配置						備考
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	基幹（助手を除く） 教員以外の教員	
専門教育科目	専門科目	応用物理化学	3前	○	2		○			1	1					オムニバス
		環境化学	3前	○	2		○				2					オムニバス
		化学工学	3前	○	2		○			1	1					オムニバス
		化学基礎英語Ⅰ	3前	○	1		○			1					1	オムニバス
		応用化学実験Ⅲ	3前	○	3				○	3			1		1	共同
		化学基礎英語Ⅱ	3後	○	1		○			1						オムニバス
		応用化学実験Ⅳ	3後	○	3				○	4	3				1	共同
		無機材料科学	3後	○		2	○				1					
		配位化学	3後	○		2	○			1						
		有機工業化学	3後	○		2	○								1	
		有機反応化学	3後	○		2	○			1					1	
		材料物性化学	3後	○		2	○			2						
		反応器設計論	3後	○		2	○			1						
		移動現象論	3後	○		2	○			1	1					オムニバス
		化学者倫理	4前	○	2		○			1	1					
		化学関連インターンシップS	1・2・3・4 前・後	○		1			○	2	2					集中
		化学関連インターンシップL	1・2・3・4 前・後	○		2			○	2	2					集中
教養教育科目	基礎教養科目	卒業研究	4通	○	8			○		12	7		4			共同
		小計（31科目）	—	—	52	17	0	—		11	4		3		3	
	大学入門科目	大学入門科目Ⅰ	1前		2		○			5	4					
		小計（1科目）	—	—	2	0	0	—		5	4	0	0	0	0	
	共通基礎科目	外国語科目	英語A	1前	1			○								11
			英語B	1後	1			○								13
			英語C	2前・後	1			○								14
			英語D	2前・後	1			○								3
			実践日本語C	1後		1		○								1
			実践日本語D	1前		1		○								1
			実践日本語E	2後		1		○								1
			実践日本語F	2前		1		○								1
		小計（8科目）	—	—	4	4	0	—		0	0	0	0	0	0	23
	情報リテラシー科目	情報基礎概論	1前		2		○			2	3					
		小計（1科目）	—	—	2	0	0	—		2	3	0	0	0	0	
	自然科学与技術の分野	基礎自然科学														
		Introduction to Science	1・2後		2		○			4	4	2	1			オムニバス
		物理の世界Ⅰ	1・2前		2		○			1						
		物理の世界Ⅱ	1・2後		2		○			1						
		化学の世界A	1・2後		2		○			2						オムニバス
		化学の世界B	1・2前		2		○			1	1					オムニバス
		実験化学Ⅰ	1・2前		2		○			2	1		1		1	オムニバス
		実験化学Ⅱ	1・2後		2		○			3	1		1		1	オムニバス
		地学の世界	1・2後		2		○									隔年
		数理の世界	1・2後		2		○				1					
		原子の発見	1・2後		2		○				1					
		自然科学・技術の現代的諸相														
		情報科学の世界Ⅰ	1・2前		2		○			1	1					
		情報科学の世界Ⅱ	1・2前・後		2		○			2						
		機械工学の世界A	1・2後		2		○			2						オムニバス
		機械工学の世界B	1・2前		2		○			2						オムニバス
		電気電子工学の世界A	1・2前		2		○				1					
		電気電子工学の世界B	1・2後		2		○			1						
		都市と生活	1・2前		2		○			1						隔年
		インタラクティブコンテンツ入門	1・2後		2		○								1	標準外
		環境をはかる	1・2後		2		○			1						
		肥前セラミック学	1・2前		2		○			3	1	1	1		8	オムニバス・共同（一部）
		AI・数理・データサイエンスⅠ	1・2前		2		○			2					1	共同
		AI・数理・データサイエンスⅡ	1・2後		2		○				1				1	共同
		農学の世界A	1・2前		2		○								1	
		農学の世界B	1・2後		2		○								1	
		STEAM学習基礎	1・2後		2		○								1	
		生物科学・生命科学														
		生物科学の世界A	1・2前		2		○								2	オムニバス
		生物科学の世界B	1・2前		2		○								1	
		栄養科学A	1・2前		2		○								1	標準外・メディア
		栄養科学B	1・2後		2		○								1	標準外・メディア

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	主要授 業科目	単位数			授業形態			専任教員等の配置						備考
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	基幹（助手を除く） 教員	
教養教育科目	自然科学と技術の分野	栄養科学C	1・2後		2		○								2	標準外・メディア
		生命科学の基礎A	1・2後		2		○								5	オムニバス
		生命科学の基礎B	1・2前		2		○								2	オムニバス
		生命科学の基礎C	1・2前		2		○								15	オムニバス・共同（一部）
		生命科学の基礎F	1・2後		2		○								3	オムニバス
		自然科学と技術の分野特別講義														
		九州・沖縄学Ⅱ	1・2後		2		○								3	標準外・メディア
		小計（35科目）	—	—	0	70	0	—		23	11	3	4	0	45	
	基本教養科目	言語と文化														
		ドイツの言語と文化Ⅰ	1・2前		2		○								1	
		ドイツの言語と文化Ⅱ	1・2後		2		○								1	
		フランスの言語と文化Ⅰ	1・2前		2		○								1	
		フランスの言語と文化Ⅱ	1・2後		2		○								1	
		中国の言語と文化Ⅰ	1・2前		2		○								1	
		中国の言語と文化Ⅱ	1・2後		2		○								1	
		韓国・朝鮮の言語と文化Ⅰ	1・2前		2		○								1	
		韓国・朝鮮の言語と文化Ⅱ	1・2後		2		○								1	
		Western Culture	1・2前		2		○								1	
		Intensive EnglishⅠ	1・2前		2		○								2	
		Intensive EnglishⅡ	1・2後		2		○								2	
		アカデミック英語	1・2後		1		○								1	
		ビジネス英語	1・2後		1		○								1	
		アカデミック独語	1・2前・後		1		○								1	
		ドイツ文学A	1・2前		1		○								1	
		ドイツ文学B	1・2後		1		○								1	
		ドイツ文化論A	1・2前		2		○								1	
		ドイツ文化論B	1・2後		2		○								1	
		文学と芸術														
		欧米の文化・文学	1・2前・後		2		○								1	
		芸術論	1・2前		2		○								2	隔年・オムニバス
		言語と表現														
		日本語学	1・2前		2		○								1	
		コミュニケーション論	1・2前・後		2		○								2	共同・標準外・メディア
		Critical Thinking for the Modern Age	1・2前		2		○								1	
		Cultural Metaphors	1・2後		2		○								1	
		歴史と文化														
		哲学・倫理学	1・2後		2		○								1	隔年
		考古学	1・2前		2		○								1	隔年
		日本史	1・2前・後		2		○								1	
		西洋史	1・2前・後		2		○								1	
		人類学	1・2前		2		○								2	オムニバス
		スポーツウェルネスの世界	1・2前・後		2		○								1	
		近代サッカーの成立と進歩	1・2後		2		○								1	
		サッカーの歴史と技法	1・2前		2		○								1	
		柔道の歴史と技法	1・2後		2		○								1	
		哲学の世界	1・2後		2		○								1	
		地域史	1・2後		2		○								1	標準外・メディア
		宗教学	1・2後		2		○								1	隔年
		文化の分野特別講義														
		九州・沖縄学Ⅰ	1・2前		2		○								1	標準外・メディア
		小計（37科目）	—	—	0	69	0	—		0	0	0	0	0	29	
	現代社会の分野	基礎社会科学														
		経済学	1・2前・後		2		○								1	
		会計学	1・2後		2		○								1	
		経営学	1・2前		2		○								2	
		法律学	1・2前		2		○								6	オムニバス
		政治学	1・2後		2		○								1	
		日本国憲法	1・2前・後		2		○								1	
		現代社会の法と政治	1・2前		2		○								1	
		地理学	1・2前		2		○								1	
		Introduction to Sociology	1・2前		2		○								1	
		社会思想	1・2後		2		○								1	
		教育と人間														
		教育と人生	1・2後		2		○								1	
		心理学A	1・2前・後		2		○								1	

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	主要授 業科目	単位数			授業形態			専任教員等の配置						備考
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	基幹（助手を除く） 教員	
教養教育科目	現代社会の分野 基本教養科目	心理学B	1・2後		2		○								1	オムニバス
		健康科学A	1・2前・後		2		○								2	
		健康科学B	1・2後		2		○								2	
		スポーツと健康	1・2前		2		○								1	隔年
		Citizenship Education	1・2後		2		○								1	
		Life in the Global World	1・2前		2		○								1	
		情報メディアと倫理	1・2前・後		2		○			1	1					共同・メディア
		心の病と癒しのプロセス	1・2後		2		○								1	
		心身の発達過程	1・2前		2		○								1	
		情報メディアコミュニケーション	1・2前・後		2		○								2	オムニバス・共同（一部）
		Aspects of Modern Society	1・2後		2		○								1	
		プレゼンテーション・デザイン	1・2前・後		2		○								1	
		現代教育学	1・2後		2		○								8	共同（一部）
		教育学A	1・2後		2		○								1	
		教育学B	1・2前		2		○								1	
		教育学C	1・2後		2		○								1	共同（一部）
		体育実技Ⅰ	1・2前・後		1			○							3	
		体育実技Ⅱ	1・2前・後		1			○							4	
		現代社会の諸相														標準外
		ジャーナリズムの現在	1・2後		2		○								1	
		アジアコミュニティ論	1・2後		2		○								1	
		知的財産学	1・2後		2		○			1						標準外・メディア
		環境科学Ⅰ	1・2前		2		○								2	
		環境科学Ⅲ	1・2後		2		○								2	
		インスタラショナル・デザイン	1・2前・後		2		○								2	共同・標準外・メディア
		国際社会学	1・2後		2		○								1	
		現代社会の分野特別講義														
		グローバル化と証券投資	1・2前		2		○								1	標準外
		西洋近代社会思想史	1・2前		2		○								1	
		多文化社会論	1・2前		2		○								1	
		経営工学からみたマネジメント	1・2後		2		○								1	標準外
		金融リテラシーと生命保険	1・2後		2		○								1	
		小計（42科目）	—	—	0	82	0	—	—	2	1	0	0	0	49	
	総合科目	海外交流実習	1・2前・後		2				○						2	標準外
		キャリアデザイン	1・2後		2		○								1	
		グループワークの技法と実践	1・2後		2			○							1	
		データサイエンスへの招待	3前		2		○								1	標準外
		チャレンジ・インターンシップA	1・2前・後		2			○		1						
		チャレンジ・インターンシップB	2通		2			○							1	
		ライフデザインとセルフ・リーダーシップ	1・2前		2		○								1	標準外・メディア
		Online Immersion Program	1・2前		2										1	
		Overseas Practicum	1・2後		2										1	
		データサイエンスBasicⅠ	1・2後		1		○			1					2	共同・標準外・メディア
		データサイエンスBasicⅡ	1・2後		1		○			1					2	
		小計（11科目）	—	—	0	20	0	—	—	1	0	0	0	0	8	
	外国人留学生	日本事情－自然科学と技術の分野	1後		2		○			1						隔年
		日本事情－文化の分野	1前		2		○								1	
		日本事情－現代社会	1後		2		○								1	
		小計（3科目）	—	—	0	6	0	—	—	1	0	0	0	0	2	オムニバス
	インターフェース科目 環境コース	機械工学と環境Ⅰ	2前		2		○			1	1				1	
		機械工学と環境Ⅱ	2後		2		○			2	2					オムニバス
		機械工学と環境Ⅲ	3前		2		○			1	5					
		機械工学と環境Ⅳ	3後		2		○			1	3	1				
		エレクトロニクスと環境Ⅰ	2前		2		○				1					オムニバス・共同（一部）
		エレクトロニクスと環境Ⅱ	2後		2		○			1						
		エレクトロニクスと環境Ⅲ	3前		2		○			1						
		エレクトロニクスと環境Ⅳ	3後		2		○			1						オムニバス
		佐賀の環境Ⅰ	2前		2		○				1				2	
		佐賀の環境Ⅱ	2後		2		○				1				3	
		佐賀の環境Ⅲ	3前		2		○								5	オムニバス
		佐賀の環境Ⅳ	3後		2		○								5	
		小計（12科目）	—	—	0	24	0	—	—	8	13	1	0	0	10	

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			授業形態			専任教員等の配置						備考
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	基幹（助手を除く） 教員以外の教員	
教養教育科目	文化と共生コース	異文化交流Ⅰ	2前		2		○								1	標準外
		異文化交流Ⅱ	2後		2		○								1	
		異文化交流Ⅲ	3前		2		○								1	
		異文化交流Ⅳ	3後		2		○								1	
		Intercultural CommunicationⅠ	2前		2		○								2	
		Intercultural CommunicationⅡ	2後		2		○								1	
		Intercultural CommunicationⅢ	3前		2		○								2	
		Intercultural CommunicationⅣ	3後		2		○								2	
		肥前陶磁器産業体験Ⅰ	2前		2		○								1	
		肥前陶磁器産業体験Ⅱ	2前		2		○								2	
		肥前陶磁器産業体験Ⅲ	3前		2		○								4	
		肥前陶磁器産業体験Ⅳ	3後		2		○								4	
		ドイツ語とドイツ語圏の歴史・文化Ⅰ	2前		2		○								1	
		ドイツ語とドイツ語圏の歴史・文化Ⅱ	2後		2		○								1	
		ドイツ語とドイツ語圏の歴史・文化Ⅲ	3前		2		○								1	
		ドイツ語とドイツ語圏の歴史・文化Ⅳ	3後		2		○								1	
		芸術と社会Ⅰ	2前		2		○								5	
		芸術と社会Ⅱ	2後		2		○								3	
		芸術と社会Ⅲ	3前		2		○								5	
		芸術と社会Ⅳ	3後		2		○								4	
		歴史文化Ⅰ	2前		2		○								1	
		歴史文化Ⅱ	2後		2		○								1	
		歴史文化Ⅲ	3前		2		○								1	
		歴史文化Ⅳ	3後		2		○								1	
		英語コミュニケーションⅠ	2前		2		○								2	
		英語コミュニケーションⅡ	2後		2		○								2	
		英語コミュニケーションⅢ	3前		2		○								2	
		英語コミュニケーションⅣ	3後		2		○								2	
		小計（28科目）	—	—	0	56	0	—	—	0	0	0	0	0	36	
	インターフェース科目 生活と科学コース	未来を拓く材料の科学Ⅰ	2前		2		○			1	1		2			オムニバス
		未来を拓く材料の科学Ⅱ	2後		2		○			2					1	オムニバス
		未来を拓く材料の科学Ⅲ	3前		2		○			5					1	オムニバス
		未来を拓く材料の科学Ⅳ	3後		2		○			1	2		3			オムニバス・共同（一部）
		情報技術者キャリアデザインⅠ	2前		2		○				1		1			共同
		情報技術者キャリアデザインⅡ	3前		2		○			2	1					オムニバス
		情報技術者キャリアデザインⅢ	3前・後		2		○				1					
		情報技術者キャリアデザインⅣ	3後		2		○			1						
		2年間でできる「がばいベンチャー」の作り方Ⅰ	2前		2		○								1	
		2年間でできる「がばいベンチャー」の作り方Ⅱ	2後		2		○								1	
		2年間でできる「がばいベンチャー」の作り方Ⅲ	3前		2		○								1	
		2年間でできる「がばいベンチャー」の作り方Ⅳ	3後		2		○								1	
		食糧生産の科学Ⅰ	2前		2		○								1	オムニバス
		食糧生産の科学Ⅱ	2後		2		○								4	オムニバス
		食糧生産の科学Ⅲ	3前		2		○								4	オムニバス
		食糧生産の科学Ⅳ	3後		2		○								6	オムニバス
		ライフサイエンス・フードサイエンスⅠ	2前		2		○								4	オムニバス
		ライフサイエンス・フードサイエンスⅡ	2後		2		○								4	オムニバス・共同（一部）
		ライフサイエンス・フードサイエンスⅢ	3前		2		○								5	オムニバス
		ライフサイエンス・フードサイエンスⅣ	3後		2		○								5	オムニバス
		小計（20科目）	—	—	0	40	0	—	—	15	7	0	4	0	34	
	人間と社会コース	チームビルディングとリーダーシップⅠ	2前		2		○								3	共同
		チームビルディングとリーダーシップⅡ	2後		2		○								4	共同
		チームビルディングとリーダーシップⅢ	3前		2		○								3	共同
		チームビルディングとリーダーシップⅣ	3後		2		○								3	共同
		リサーチ・リテラシーⅠ	2前		2		○								1	
		リサーチ・リテラシーⅡ	2後		2		○								1	
		リサーチ・リテラシーⅢ	3前		2		○								1	

科目 区分			授業科目の名称	配当年次	主要授 業科目	単位数			授業形態			専任教員等の配置						備考
						必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験・ 実習	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	基幹 （助手 を除く） 教員	
教養教育科目	人間と 社会コース	リサーチ・リテラシーⅣ	3後			2		○								3	共同	
		スポーツイベントとボランティアリーダーⅠ	2前			2		○								1		
		スポーツイベントとボランティアリーダーⅡ	2後			2		○								2		
		スポーツイベントとボランティアリーダーⅢ	3前			2		○								2		
		スポーツイベントとボランティアリーダーⅣ	3後			2		○								2	共同	
		小計（12科目）	—	—	0	24	0	—		0	0	0	0	0	0	8		
	医療・福祉と 社会コース	現代社会と医療Ⅰ	1前			2		○									1	共同
		現代社会と医療Ⅱ	1前			2		○									1	
		現代社会と医療Ⅲ	1後			2		○									2	
		現代社会と医療Ⅳ	1後			2		○									1	オムニバス
		食と健康Ⅰ	1前			2		○									5	
		食と健康Ⅱ	1前			2		○									1	
		食と健康Ⅲ	1後			2		○									1	オムニバス
		食と健康Ⅳ	1後			2		○									7	
		ライフサイクルからみた医療Ⅰ	1前			2		○									5	
		ライフサイクルからみた医療Ⅱ	1前			2		○									1	オムニバス
		ライフサイクルからみた医療Ⅲ	1後			2		○									1	
		ライフサイクルからみた医療Ⅳ	1後			2		○									1	
		小計（12科目）	—	—	0	24	0	—		0	0	0	0	0	0	23		
	地域・佐賀学 コース	佐賀の歴史文化Ⅰ	2前			2		○									1	オムニバス
		佐賀の歴史文化Ⅱ	2後			2		○									1	
		佐賀の歴史文化Ⅲ	3前			2		○									1	
		佐賀の歴史文化Ⅳ	3後			2		○									1	
		地域経済と社会Ⅰ	2前			2		○									1	
		地域経済と社会Ⅱ	2後			2		○									1	
		地域経済と社会Ⅲ	3前			2		○									1	
		地域経済と社会Ⅳ	3後			2		○									1	
		佐賀SDGsグローバルアクションⅠ	2前			2		○									4	
		佐賀SDGsグローバルアクションⅡ	2後			2		○									3	
		佐賀SDGsグローバルアクションⅢ	3前			2		○			2						2	
		佐賀SDGsグローバルアクションⅣ	3後			2		○			2						2	
		小計（12科目）	—	—	0	24	0	—		2	0	0	0	0	0	13		
	共通	インターフェース演習	3前			2			○									標準外
		小計（1科目）	—	—	0	2	0	—										
合計（311科目）			—	—	85	513	4	—			46	46	3	3		229	—	
学位又は称号		学士（工学）			学位又は学科の分野			工学関係										
卒業要件及び履修方法									授業期間等									
教養教育科目28単位以上、専門教育科目（必修科目82単位を含む）96単位以上、合計124単位以上を修得すること。									1 学年の学期区分			2 学期						
									1 学期の授業期間			1 5 週						
									1 時限の授業時間			9 0 分						

教 育 課 程 等 の 概 要																	
(理工学部理工学科 物理学コース) 【既設】																	
科目 区分		授業科目の名称	配当年次	主要授 業科目	単位数			授業形態			専任教員等の配置						備考
					必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験・ 実習	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	基 幹 (助手 以外 の教 員)	
学部共通 基礎科目		理工リテラシーS1	1通	○	1					○	3	8					オムニバス 集中講義 集中講義
		理工リテラシーS2	2通	○	1					○		1					
		理工リテラシーS3	3通	○	1					○		1					
		サブフィールドPBL	2後	○	3				○		4	5	1			3	
		AI・数理・データサイエンスリテラシーS	3通	○	1			○			1	1					
		AI・数理・データサイエンスリテラシーL	3通	○	2			○			1	1					
		理工キャリア教育プログラムS	2前・後	○		1				○	5	2					
		理工キャリア教育プログラムL	2前・後	○		2				○	5	2					
		理工特別セミナー(半導体概論)	1前	○		2		○			2						
		理工特別セミナー(量子物理学の発展)	2前	○		2		○			1	1					
		微分積分学基礎演習Ⅰ	1前				1		○		6	5					
		線形代数学基礎演習Ⅰ	1前				1		○		2	2					
		微分積分学基礎演習Ⅱ	1後				1		○		6	5					
		線形代数学基礎演習Ⅱ	1後				1		○		4	3					
		小計(14科目)	—	—	9	7	4	—			18	19	1			3	
学部共通 専門科目		微分積分学Ⅰa	1前	○		2		○				2				オムニバス	
		微分積分学Ⅰb	1前	○		2		○			1	2					
		線形代数学Ⅰa	1前	○		2		○					1				
		線形代数学Ⅰb	1前	○		2		○				1					
		物理学概説	1前	○	2			○				1					
		化学概説	1前	○	2			○			5	1					
		生物学概説	1前	○	2			○				1					
		データサイエンスⅠ	1前	○	2			○			2	3					
		理工概論	1前	○	2			○			10	4					
		小計(9科目)	—	—	10	8	0	—			14	15	1				
専門教育科目	コース類 共通専門科目	微分積分学Ⅱa	1後	○		2		○				2				オムニバス オムニバス オムニバス オムニバス オムニバス オムニバス 共同	
		微分積分学Ⅱb	1後	○		2		○			1	1					
		線形代数学Ⅱa	1後	○		2		○			1						
		線形代数学Ⅱb	1後	○		2		○				1					
		物理演習	1後	○	1				○			2					
		化学演習	1後	○	1				○		1	3		1			
		コンピュータプログラミング	1後	○	2			○			1						
		データサイエンスⅡ	1後	○	2			○				1					1
		応用数理科学	1後	○		2		○			1						
		データサイエンス入門	1後	○		2		○			1	1					
		知能情報システム工学入門	1後	○		2		○			1	1					
		情報ネットワーク工学入門	1後	○		2		○				1					
		基礎化学A	1後	○		2		○				2		1			
		基礎化学B	1後	○		2		○			1	1					
		基礎力学	1後	○		2		○			1						
		現代物理学	1後	○		2		○			2	2					
		機械システム工学概論	1後	○		2		○			2	6					
		機械エネルギー工学概論	1後	○		2		○				7	1				
		基礎電気回路	1後	○		2		○			4	4					1
		基礎電磁気学	1後	○		2		○			1						
		建設力学基礎	1後	○		2		○			2						1
		空間設計基礎	1後	○		2		○			1			1			
	小計(22科目)	—	—	6	36	0	—			19	29	1	3		3		
専門科目	物理数学A	2前	○	2			○				1					隔年	
	物理数学B	2前	○	2			○					1					
	物理数学C	2前	○	2			○					1					
	解析力学Ⅰ	2前	○	2			○				1						
	熱力学	2前	○	2			○				1						
	波動	2前	○		2		○					1					
	解析力学Ⅱ	2後	○	2			○				1						
	電磁気学Ⅰ	2後	○	2			○					1					
	基礎統計力学Ⅰ	2後	○	2			○				1						
	物理学実験A	2後	○	3					○			2	1				
	物理数学D	2後	○		2		○				1						
	回路理論	2前	○		2		○					1					
	量子力学Ⅰ	3前	○	4			○				1						
															隔年		

科目 区分		授業科目の名称	配当年次	主要授 業科目	単位数			授業形態			専任教員等の配置						備考		
					必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験・ 実習	教 授	准 教授	講 師	助 教	助 手	基 幹 教員 以外 の 教員			
専門教育科目	専門科目	基礎統計力学Ⅱ	3前	○	2			○			1							集中 オムニバス	
		電磁気学Ⅱ	3前	○	2			○				1							
		宇宙物理学	3前	○		2		○			1								
		固体物理学	3前	○		2		○			2								
		物理学実験B(固体物理学実験)	3前	○		1				○	1								
		物理学実験B(物性物理学実験)	3前	○		1				○							1		
		物理学実験B(放射線実験)	3前	○		1				○		1							
		物理学実験B(超伝導工房実験)	3前	○		1				○									
		量子力学Ⅱ	3後	○	4			○			1								
		統計力学	3後	○	4			○			1								
		電磁気学Ⅲ	3後	○	2			○				1							
		相対論	3後	○		2		○			1								
		物性物理学	3後	○		2		○									1		
		放射線物理学	3前	○		2		○				1							
		計算機物理学	3前	○		2		○				1							
		科学英語	4後	○	1			○			6	4		1			1		
		卒業研究	4通	○	8				○		6	1		1					
		小計（30科目）		—	—	46	22	0		—		6	4					1	
		大学入門科目	大学入門科目Ⅰ	1前		2			○			5	4						
小計（１科目）	—		—	2	0	0		—		5	4	0	0	0	0				
共通基礎科目	外国語科目	英語A	1前		1				○								11		
		英語B	1後		1				○								13		
		英語C	2前・後		1				○								14		
		英語D	2前・後		1				○								3		
		実践日本語C	1後			1			○								1		
		実践日本語D	1前			1			○								1		
		実践日本語E	2後			1			○								1		
		実践日本語F	2前			1			○								1		
	小計（８科目）	—	—	4	4	0		—		0	0	0	0	0	0	23			
	情報リテラシー科目	情報基礎概論	1前		2			○			2	3							
小計（１科目）		—	—	2	0	0		—		2	3	0	0	0	0				
教養教育科目	基本教養科目	基礎自然科学																	
		Introduction to Science	1・2後			2		○			4	4	2	1				オムニバス	
		物理の世界Ⅰ	1・2前			2		○			1								
		物理の世界Ⅱ	1・2後			2		○			1								
		化学の世界A	1・2後			2		○			2							オムニバス	
		化学の世界B	1・2前			2		○			1	1						オムニバス	
		実験化学Ⅰ	1・2前			2		○			2	1		1		1		オムニバス	
		実験化学Ⅱ	1・2後			2		○			3	1		1				オムニバス	
		地学の世界	1・2後			2		○									1	隔年	
		数理の世界	1・2後			2		○				1							
		原子の発見	1・2後			2		○				1							
		自然科学・技術の現代的諸相																	
		情報科学の世界Ⅰ	1・2前			2		○			1	1							
		情報科学の世界Ⅱ	1・2前・後			2		○			2								
		機械工学の世界A	1・2後			2		○			2							オムニバス	
		機械工学の世界B	1・2前			2		○			2							オムニバス	
		電気電子工学の世界A	1・2前			2		○				1							
		電気電子工学の世界B	1・2後			2		○			1								
		都市と生活	1・2前			2		○			1							隔年	
		インタラクティブコンテンツ入門	1・2後			2		○									1	標準外	
		環境をはかる	1・2後			2		○			1								
		肥前セラミック学	1・2前			2		○			3	1	1	1			8	オムニバス・共同（一部）	
		AI・数理・データサイエンスⅠ	1・2前			2		○			2						1	共同	
		AI・数理・データサイエンスⅡ	1・2後			2		○				1					1	共同	
		農学の世界A	1・2前			2		○									1		
		農学の世界B	1・2後			2		○									1		
		STEAM学習基礎	1・2後			2		○									1		
		生物科学・生命科学																	
		生物科学の世界A	1・2前			2		○									2	オムニバス	
		生物科学の世界B	1・2前			2		○									1		
		栄養科学A	1・2前			2		○									1	標準外・メディア	
		栄養科学B	1・2後			2		○									1	標準外・メディア	
		栄養科学C	1・2後			2		○									2	標準外・メディア	
		生命科学の基礎A	1・2後			2		○									5	オムニバス	

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	主要授 業科目	単位数			授業形態			専任教員等の配置						備考
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	基幹（助手を除く） 教員	
教養教育科目	自然科学と技術の分野	生命科学の基礎B	1・2前		2		○								2	オムニバス
		生命科学の基礎C	1・2前		2		○								15	オムニバス・共同（一部）
		生命科学の基礎F	1・2後		2		○								3	オムニバス
		自然科学と技術の分野特別講義 九州・沖縄学Ⅱ	1・2後		2		○								3	標準外・メディア
		小計（35科目）	—	—	0	70	0	—		23	11	3	4	0	45	
	文化の分野	言語と文化														
		ドイツの言語と文化Ⅰ	1・2前		2		○								1	
		ドイツの言語と文化Ⅱ	1・2後		2		○								1	
		フランスの言語と文化Ⅰ	1・2前		2		○								1	
		フランスの言語と文化Ⅱ	1・2後		2		○								1	
		中国の言語と文化Ⅰ	1・2前		2		○								1	
		中国の言語と文化Ⅱ	1・2後		2		○								1	
		韓国・朝鮮の言語と文化Ⅰ	1・2前		2		○								1	
		韓国・朝鮮の言語と文化Ⅱ	1・2後		2		○								1	
		Western Culture	1・2前		2		○								1	
		Intensive EnglishⅠ	1・2前		2		○								2	
		Intensive EnglishⅡ	1・2後		2		○								2	
		アカデミック英語	1・2後		1		○								1	
		ビジネス英語	1・2後		1		○								1	
		アカデミック独語	1・2前・後		1		○								1	
		ドイツ文学A	1・2前		1		○								1	
		ドイツ文学B	1・2後		1		○								1	
		ドイツ文化論A	1・2前		2		○								1	
		ドイツ文化論B	1・2後		2		○								1	
		文学と芸術														
		欧米の文化・文学	1・2前・後		2		○								1	
		芸術論	1・2前		2		○								2	隔年・オムニバス
		言語と表現														
		日本語学	1・2前		2		○								1	
		コミュニケーション論	1・2前・後		2		○								2	共同・標準外・メディア
		Critical Thinking for the Modern Age	1・2前		2		○								1	
		Cultural Metaphors	1・2後		2		○								1	
		歴史と文化														
		哲学・倫理学	1・2後		2		○								1	隔年
		考古学	1・2前		2		○								1	隔年
		日本史	1・2前・後		2		○								1	
		西洋史	1・2前・後		2		○								1	
		人類学	1・2前		2		○								2	オムニバス
		スポーツウェルネスの世界	1・2前・後		2		○								1	
		近代サッカーの成立と進歩	1・2後		2		○								1	
		サッカーの歴史と技法	1・2前		2		○								1	
		柔道の歴史と技法	1・2後		2		○								1	
		哲学の世界	1・2後		2		○								1	
		地域史	1・2後		2		○								1	標準外・メディア
		宗教学	1・2後		2		○								1	隔年
		文化の分野特別講義 九州・沖縄学Ⅰ	1・2前		2		○								1	標準外・メディア
		小計（37科目）	—	—	0	69	0	—		0	0	0	0	0	29	
	現代社会の分野	基礎社会科学														
		経済学	1・2前・後		2		○								1	
		会計学	1・2後		2		○								1	
		経営学	1・2前		2		○								2	
		法律学	1・2前		2		○								6	オムニバス
		政治学	1・2後		2		○								1	
		日本国憲法	1・2前・後		2		○								1	
		現代社会の法と政治	1・2前		2		○								1	
		地理学	1・2前		2		○								1	
		Introduction to Sociology	1・2前		2		○								1	
		社会思想	1・2後		2		○								1	
		教育と人間														
		教育と人生	1・2後		2		○								1	
		心理学A	1・2前・後		2		○								1	
		心理学B	1・2後		2		○								1	
		健康科学A	1・2前・後		2		○								2	

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	主要授 業科目	単位数			授業形態			専任教員等の配置						備考
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	基幹（助手を除く） 教員以外の教員	
教養教育科目	現代社会の分野 基本教養科目	健康科学B	1・2後		2		○								2	オムニバス
		スポーツと健康	1・2前		2		○								1	
		Citizenship Education	1・2後		2		○								1	
		Life in the Global World	1・2前		2		○								1	
		情報メディアと倫理	1・2前・後		2		○			1	1					
		心の病と癒しのプロセス	1・2後		2		○								1	隔年
		心身の発達過程	1・2前		2		○								1	
		情報メディアコミュニケーション	1・2前・後		2		○								2	共同・メディア
		Aspects of Modern Society	1・2後		2		○								1	
		プレゼンテーション・デザイン	1・2前・後		2		○								1	
		現代教育学	1・2後		2		○								8	オムニバス・共同（一部）
		教育学A	1・2後		2		○								1	
		教育学B	1・2前		2		○								1	
		教育学C	1・2後		2		○								1	
		体育実技Ⅰ	1・2前・後		1			○							3	共同（一部）
		体育実技Ⅱ	1・2前・後		1			○							4	共同（一部）
		現代社会の諸相														
		ジャーナリズムの現在	1・2後		2		○								1	
		アジアコミュニティ論	1・2後		2		○			1					1	
		知的財産学	1・2後		2		○									標準外・メディア
		環境科学Ⅰ	1・2前		2		○								2	オムニバス・標準外・メディア
		環境科学Ⅲ	1・2後		2		○								2	オムニバス・標準外・メディア
		インストラクショナル・デザイン	1・2前・後		2		○								2	共同・標準外・メディア
		国際社会学	1・2後		2		○								1	
		現代社会の分野特別講義														
		グローバル化と証券投資	1・2前		2		○								1	標準外
		西洋近代社会思想史	1・2前		2		○								1	
		多文化社会論	1・2前		2		○								1	
		経営工学からみたマネジメント	1・2後		2		○								1	
		金融リテラシーと生命保険	1・2後		2		○								1	
		小計（42科目）	—	—	0	82	0	—	—	2	1	0	0	0	49	
	総合科目	海外交流実習	1・2前・後		2				○						2	標準外
		キャリアデザイン	1・2後		2		○								1	
		グループワークの技法と実践	1・2後		2			○							1	
		データサイエンスへの招待	3前		2		○								1	
		チャレンジ・インターンシップA	1・2前・後		2			○		1						標準外
		チャレンジ・インターンシップB	2通		2			○							1	標準外
		ライフデザインとセルフ・リーダーシップ	1・2前		2		○								1	
		Online Immersion Program	1・2前		2										1	標準外・メディア
		Overseas Practicum	1・2後		2										1	標準外
		データサイエンスBasicⅠ	1・2後		1		○			1					2	共同・標準外・メディア
		データサイエンスBasicⅡ	1・2後		1		○			1					2	共同・標準外・メディア
		小計（11科目）	—	—	0	20	0	—	—	1	0	0	0	0	8	
	外国人留学生 用科目	日本事情－自然科学と技術の分野	1後				○			1						隔年
		日本事情－文化の分野	1前		2		○								1	隔年
		日本事情－現代社会	1後		2		○								1	隔年
		小計（3科目）	—	—	0	6	0	—	—	1	0	0	0	0	2	
	インターフェース科目	機械工学と環境Ⅰ	2前		2		○			1	1				1	オムニバス
		機械工学と環境Ⅱ	2後		2		○			2	2					オムニバス
		機械工学と環境Ⅲ	3前		2		○			1	5					オムニバス
		機械工学と環境Ⅳ	3後		2		○			1	3	1				オムニバス・共同（一部）
		エレクトロニクスと環境Ⅰ	2前		2		○				1					
		エレクトロニクスと環境Ⅱ	2後		2		○			1						
		エレクトロニクスと環境Ⅲ	3前		2		○			1						
		エレクトロニクスと環境Ⅳ	3後		2		○			1						
		佐賀の環境Ⅰ	2前		2		○				1				2	オムニバス
		佐賀の環境Ⅱ	2後		2		○				1				3	共同・標準外
		佐賀の環境Ⅲ	3前		2		○								5	オムニバス
		佐賀の環境Ⅳ	3後		2		○								5	オムニバス
		小計（12科目）	—	—	0	24	0	—	—	8	13	1	0	0	10	
	文化と共生コース	異文化交流Ⅰ	2前		2		○								1	
		異文化交流Ⅱ	2後		2		○								1	
		異文化交流Ⅲ	3前		2		○								1	
		異文化交流Ⅳ	3後		2		○								1	
		Intercultural CommunicationⅠ	2前		2		○								2	

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			授業形態			専任教員等の配置						備考
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	基幹（助手を除く） 教員以外の教員	
教養教育科目	文化と共生コース	Intercultural Communication II	2後		2		○								1	標準外
		Intercultural Communication III	3前		2		○								2	
		Intercultural Communication IV	3後		2		○								2	
		肥前陶磁器産業体験 I	2前		2		○								1	
		肥前陶磁器産業体験 II	2前		2		○								2	共同・標準外
		肥前陶磁器産業体験 III	3前		2		○								4	共同
		肥前陶磁器産業体験 IV	3後		2		○								4	共同
		ドイツ語とドイツ語圏の歴史・文化 I	2前		2		○								1	
		ドイツ語とドイツ語圏の歴史・文化 II	2後		2		○								1	
		ドイツ語とドイツ語圏の歴史・文化 III	3前		2		○								1	
		ドイツ語とドイツ語圏の歴史・文化 IV	3後		2		○								1	
		芸術と社会 I	2前		2		○								5	オムニバス
		芸術と社会 II	2後		2		○								3	オムニバス・標準外
		芸術と社会 III	3前		2		○								5	オムニバス
		芸術と社会 IV	3後		2		○								4	オムニバス
		歴史文化 I	2前		2		○								1	
		歴史文化 II	2後		2		○								1	
		歴史文化 III	3前		2		○								1	
		歴史文化 IV	3後		2		○								1	
	インターフェース科目 生活と科学コース	英語コミュニケーション I	2前		2		○								2	
		英語コミュニケーション II	2後		2		○								2	
		英語コミュニケーション III	3前		2		○								2	
		英語コミュニケーション IV	3後		2		○								2	
		小計（28科目）	—	—	0	56	0	—	—	0	0	0	0	0	36	
		未来を拓く材料の科学 I	2前		2		○			1	1		2			オムニバス
		未来を拓く材料の科学 II	2後		2		○			2					1	オムニバス
		未来を拓く材料の科学 III	3前		2		○			5					1	オムニバス
		未来を拓く材料の科学 IV	3後		2		○			1	2		3			オムニバス・共同（一部）
		情報技術者キャリアデザイン I	2前		2		○				1		1			共同
		情報技術者キャリアデザイン II	3前		2		○			2	1					オムニバス
		情報技術者キャリアデザイン III	3前・後		2		○				1					
		情報技術者キャリアデザイン IV	3後		2		○			1						
		2年間でできる「がばいベンチャー」の作り方 I	2前		2		○								1	
		2年間でできる「がばいベンチャー」の作り方 II	2後		2		○								1	
		2年間でできる「がばいベンチャー」の作り方 III	3前		2		○								1	
		2年間でできる「がばいベンチャー」の作り方 IV	3後		2		○								1	
		食糧生産の科学 I	2前		2		○								1	オムニバス
		食糧生産の科学 II	2後		2		○								4	オムニバス
		食糧生産の科学 III	3前		2		○								4	オムニバス
		食糧生産の科学 IV	3後		2		○								6	オムニバス
	人間と社会コース	ライフサイエンス・フードサイエンス I	2前		2		○								4	オムニバス
		ライフサイエンス・フードサイエンス II	2後		2		○								4	オムニバス・共同（一部）
		ライフサイエンス・フードサイエンス III	3前		2		○								5	オムニバス
		ライフサイエンス・フードサイエンス IV	3後		2		○								5	オムニバス
		小計（20科目）	—	—	0	40	0	—	—	15	7	0	4	0	34	
		チームビルディングとリーダーシップ I	2前		2		○								3	共同
		チームビルディングとリーダーシップ II	2後		2		○								4	共同
		チームビルディングとリーダーシップ III	3前		2		○								3	共同
		チームビルディングとリーダーシップ IV	3後		2		○								3	共同
		リサーチ・リテラシー I	2前		2		○								1	
		リサーチ・リテラシー II	2後		2		○								1	
		リサーチ・リテラシー III	3前		2		○								1	
		リサーチ・リテラシー IV	3後		2		○								3	
		スポーツイベントとボランティアリーダー I	2前		2		○								1	
		スポーツイベントとボランティアリーダー II	2後		2		○								2	共同

科目 区分			授業科目の名称	配当年次	主要授 業科目	単位数			授業形態			専任教員等の配置						備考	
						必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験・ 実 習	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	基 幹 教 員 （ 助 手 を 除 く ） 其 他 の 教 員		
教養教育科目	インターフェース科目	医療・福祉と社会コース	スポーツイベントとボランティアリーダーⅢ	3前		2		○								2	共同		
			スポーツイベントとボランティアリーダーⅣ	3後		2		○								2	共同		
			小計（12科目）	—	—	0	24	0	—		0	0	0	0	0	8			
		地域・佐賀学コース	現代社会と医療Ⅰ	1前		2		○									1	共同	
			現代社会と医療Ⅱ	1前		2		○									1		
			現代社会と医療Ⅲ	1後		2		○								2			
			現代社会と医療Ⅳ	1後		2		○								1			
			食と健康Ⅰ	1前		2		○								5	オムニバス		
			食と健康Ⅱ	1前		2		○								1			
			食と健康Ⅲ	1後		2		○								1	オムニバス		
			食と健康Ⅳ	1後		2		○								7			
			ライフサイクルからみた医療Ⅰ	1前		2		○								5	オムニバス		
	ライフサイクルからみた医療Ⅱ		1前		2		○								1				
	ライフサイクルからみた医療Ⅲ	1後		2		○								1	オムニバス				
	ライフサイクルからみた医療Ⅳ	1後		2		○								1					
	小計（12科目）	—	—	0	24	0	—		0	0	0	0	0	23					
	共通	佐賀の歴史文化Ⅰ	2前		2		○									1	オムニバス		
		佐賀の歴史文化Ⅱ	2後		2		○									1			
		佐賀の歴史文化Ⅲ	3前		2		○									1			
		佐賀の歴史文化Ⅳ	3後		2		○									1			
		地域経済と社会Ⅰ	2前		2		○									1	オムニバス		
		地域経済と社会Ⅱ	2後		2		○									1			
		地域経済と社会Ⅲ	3前		2		○									1	オムニバス		
		地域経済と社会Ⅳ	3後		2		○									1			
		佐賀SDGsグローバルアクションⅠ	2前		2		○									4	共同		
		佐賀SDGsグローバルアクションⅡ	2後		2		○									3			
		佐賀SDGsグローバルアクションⅢ	3前		2		○				2					2	オムニバス		
		佐賀SDGsグローバルアクションⅣ	3後		2		○				2					2			
	小計（12科目）	—	—	0	24	0	—		2	0	0	0	0	13					
	インターフェース演習	3前			2			○									標準外		
	小計（1科目）	—	—	0	2	0	—												
合計（310科目）				—	—	79	518	4	—		45	45	3	4		229	—		
学位又は称号		学士（理学）				学位又は学科の分野			理学関係										
卒業要件及び履修方法										授業期間等									
教養教育科目28単位以上，専門教育科目（必修科目76単位を含む）96単位以上，合計124単位以上を修得すること。										1 学年の学期区分					2 学期				
										1 学期の授業期間					1 5 週				
										1 時限の授業時間					9 0 分				

教 育 課 程 等 の 概 要																		
(理工学部理工学科 機械エネルギー工学コース)【既設】																		
科目 区分		授業科目の名称	配当年次	主要授 業科目	単位数			授業形態			専任教員等の配置						備考	
					必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験・ 実習	教 授	准 教授	講 師	助 教	助 手	基 幹 (教員 以外 を除く 教員		
学部共通基礎科目		理工リテラシーS1	1通	○	1					○	3	8					オムニバス※講義 集中講義 集中講義	
		理工リテラシーS2	2通	○	1					○		1						
		理工リテラシーS3	3通	○	1					○		1						
		サブフィールドPBL	2後	○	3				○		4	5	1					
		AI・数理・データサイエンスリテラシーS	3通	○	1			○			1	1						
		AI・数理・データサイエンスリテラシーL	3通	○	2			○			1	1						
		理工キャリア教育プログラムS	2前・後	○		1				○	5	2						
		理工キャリア教育プログラムL	2前・後	○		2				○	5	2						
		理工特別セミナー(半導体概論)	1前	○		2		○			2							
		理工特別セミナー(量子物理学の発展)	2前	○		2		○			1	1						
		微分積分学基礎演習Ⅰ	1前				1		○		6	5						
		線形代数学基礎演習Ⅰ	1前				1		○		2	2						
		微分積分学基礎演習Ⅱ	1後				1		○		6	5						
		線形代数学基礎演習Ⅱ	1後				1		○		4	3						
		小計(14科目)	—	—	9	7	4	—			18	19	1			3		
学部共通専門科目		微分積分学Ⅰa	1前	○		2		○				2					オムニバス	
		微分積分学Ⅰb	1前	○		2		○			1	2						
		線形代数学Ⅰa	1前	○		2		○					1					
		線形代数学Ⅰb	1前	○		2		○				1						
		物理学概説	1前	○	2			○				1						
		化学概説	1前	○	2			○			5	1						
		生物学概説	1前	○	2			○				1						
		データサイエンスⅠ	1前	○	2			○			2	3						
		理工概論	1前	○	2			○			10	4						
		小計(9科目)	—	—	10	8	0	—			14	15	1					
専門教育科目	コース類共通専門科目	微分積分学Ⅱa	1後	○		2		○				2					オムニバス オムニバス オムニバス オムニバス オムニバス 共同	
		微分積分学Ⅱb	1後	○		2		○			1	1						
		線形代数学Ⅱa	1後	○		2		○			1							
		線形代数学Ⅱb	1後	○		2		○				1						
		物理演習	1後	○	1				○			2						
		化学演習	1後	○	1				○		1	3		1				
		コンピュータプログラミング	1後	○	2			○			1							
		データサイエンスⅡ	1後	○	2			○				1						
		応用数理科学	1後	○		2		○			1							
		データサイエンス入門	1後	○		2		○			1	1						
		知能情報システム工学入門	1後	○		2		○			1	1						
		情報ネットワーク工学入門	1後	○		2		○				1						1
		基礎化学A	1後	○		2		○				2		1				
		基礎化学B	1後	○		2		○			1	1						
		基礎力学	1後	○		2		○			1							
		現代物理学	1後	○		2		○			2	2						
		機械システム工学概論	1後	○		2		○			2	6						
		機械エネルギー工学概論	1後	○		2		○				7	1					
		基礎電気回路	1後	○		2		○			4	4						1
		基礎電磁気学	1後	○		2		○			1							
		建設力学基礎	1後	○		2		○			2							1
		空間設計基礎	1後	○		2		○			1			1				
	小計(22科目)	—	—	6	36	0	—			19	29	1	3		3			
専門科目	創造工学入門	2前	○	2			○			1	7	1	1			3	共同	
	工業力学	2前	○	2			○				1							
	機械工作	2前	○	2			○			1								
	流体工学	2前	○	2			○			1								
	機械熱力学	2前	○	2			○			1								
	材料力学	2前	○	2			○			1								
	機械数学基礎	2前	○	2			○			1								
	機械数学応用	2後	○	2			○									1		
	ベクトル解析学	2後	○	2			○											
	機械設計	2後	○	2			○									1		
	機械力学	2後	○	2			○											
	数値計算法	3前	○	1			○				1							
	科学技術英語	3前	○	1			○				1							

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	主要授 業科目	単位数			授業形態			専任教員等の配置						備考
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	基幹（助手を除く） 教員以外の教員	
専門 教育科目	専門 科目	機械システム制御	3前	○	2		○				1					
		工学者の倫理	3後	○	2		○									1
		実用英語基礎Ⅰ	2前	○	1		○									1
		実用英語基礎Ⅱ	2後	○	1		○									1
		機械工作実習Ⅰ	2前	○	1				○	1		1				
		機械工作実習Ⅱ	2後	○	1				○	1		1				
		機械エネルギー工学実験	3前	○	1				○	2	1	1				
		機械システム工学実験	3後	○	1				○	3		1				
		機械製図基礎	2後	○	1			○		1						
		機械要素設計製図	3前	○	1			○		1						
		機械工学設計製図	3後	○	1			○		1						
		創造工学演習	3後	○	1			○		2	1				1	
		流体力学	2後	○	2		○			1						
		エネルギー機関論	2後	○	2		○			1						
		流体エネルギー工学	3前	○	2		○			1						
		熱エネルギー工学	3前	○	2		○			1						
		海洋エネルギー工学Ⅰ	3前	○	2		○			1						
		資源エネルギー概論	3後	○	2		○			1						
		エネルギー輸送学	3後	○	2		○			1						
		海洋エネルギー工学Ⅱ	3後	○	2		○			1						
		エネルギー変換工学Ⅰ	3後	○	2		○			1						
		圧縮性流体力学	3後	○	2		○			1						
		機械実学PBL	3後	○	2			○		2	1					
		機械工学インターンシップ	3後	○	1				○	1						
		エネルギー変換工学Ⅱ	4前	○	2		○			1						
		流体エネルギー変換工学	4前	○	2		○				1					
		卒業研究	4通	○	8			○		11	13	1	3		1	
		小計（40科目）	—	—	46	27	0	—		11	14	1	3		6	
教養 教育科目	大学入門 科目	大学入門科目Ⅰ	1前		2		○			5	4					
		小計（1科目）	—	—	2	0	0	—		5	4	0	0	0	0	
	共通基 礎科目	外国語 科目	英語A	1前	1			○								11
			英語B	1後	1			○								13
			英語C	2前・後	1			○								14
			英語D	2前・後	1			○								3
			実践日本語C	1後		1		○								1
			実践日本語D	1前		1		○								1
			実践日本語E	2後		1		○								1
			実践日本語F	2前		1		○								1
			小計（8科目）	—	—	4	4	0	—	0	0	0	0	0	0	23
	情報リ テラ科 目	情報基礎概論	1前		2		○			2	3					
		小計（1科目）	—	—	2	0	0	—		2	3	0	0	0	0	
	自然科 学と技 術の分 野	基本教 養科目	基礎自然科学													
			Introduction to Science	1・2後		2		○		4	4	2	1			オムニバス
			物理の世界Ⅰ	1・2前		2		○		1						
			物理の世界Ⅱ	1・2後		2		○		1						
			化学の世界A	1・2後		2		○		2						オムニバス
			化学の世界B	1・2前		2		○		1	1					オムニバス
			実験化学Ⅰ	1・2前		2		○		2	1		1		1	オムニバス
			実験化学Ⅱ	1・2後		2		○		3	1		1			オムニバス
			地学の世界	1・2後		2		○							1	隔年
			数理の世界	1・2後		2		○			1					
			原子の発見	1・2後		2		○			1					
			自然科学・技術の現代的諸相													
			情報科学の世界Ⅰ	1・2前		2		○		1	1					
			情報科学の世界Ⅱ	1・2前・後		2		○		2						
			機械工学の世界A	1・2後		2		○		2						オムニバス
			機械工学の世界B	1・2前		2		○		2						オムニバス
			電気電子工学の世界A	1・2前		2		○			1					
			電気電子工学の世界B	1・2後		2		○		1						
			都市と生活	1・2前		2		○		1						隔年
			インタラクティブコンテンツ入門	1・2後		2		○							1	標準外
			環境をはかる	1・2後		2		○		1						
			肥前セラミック学	1・2前		2		○		3	1	1	1		8	オムニバス・共同（一部）
			AI・数理・データサイエンスⅠ	1・2前		2		○		2					1	共同
			AI・数理・データサイエンスⅡ	1・2後		2		○			1				1	共同
			農学の世界A	1・2前		2		○							1	

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	主要授 業科目	単位数			授業形態			専任教員等の配置						備考
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	基幹（助手を除く） 教員以外の教員	
教養教育科目	自然科学と技術の分野	農学の世界B			2		○								1	オムニバス
		STEAM学習基礎	1・2後		2		○								1	
		生物科学・生命科学														
		生物科学の世界A	1・2前		2		○								2	
		生物科学の世界B	1・2前		2		○								1	
		栄養科学A	1・2前		2		○								1	
		栄養科学B	1・2後		2		○								1	
		栄養科学C	1・2後		2		○								2	
		生命科学の基礎A	1・2後		2		○								5	
		生命科学の基礎B	1・2前		2		○								2	
		生命科学の基礎C	1・2前		2		○								15	
		生命科学の基礎F	1・2後		2		○								3	
		自然科学と技術の分野特別講義 九州・沖縄学Ⅱ			2		○								3	
		小計（35科目）	—	—	0	70	0	—		23	11	3	4	0	45	
	基本教養科目 文化の分野	言語と文化														隔年・オムニバス
		ドイツの言語と文化Ⅰ	1・2前		2		○								1	
		ドイツの言語と文化Ⅱ	1・2後		2		○								1	
		フランスの言語と文化Ⅰ	1・2前		2		○								1	
		フランスの言語と文化Ⅱ	1・2後		2		○								1	
		中国の言語と文化Ⅰ	1・2前		2		○								1	
		中国の言語と文化Ⅱ	1・2後		2		○								1	
		韓国・朝鮮の言語と文化Ⅰ	1・2前		2		○								1	
		韓国・朝鮮の言語と文化Ⅱ	1・2後		2		○								1	
		Western Culture	1・2前		2		○								1	
		Intensive EnglishⅠ	1・2前		2		○								2	
		Intensive EnglishⅡ	1・2後		2		○								2	
		アカデミック英語	1・2後		1		○								1	
		ビジネス英語	1・2後		1		○								1	
		アカデミック独語	1・2前・後		1		○								1	
		ドイツ文学A	1・2前		1		○								1	
		ドイツ文学B	1・2後		1		○								1	
		ドイツ文化論A	1・2前		2		○								1	
		ドイツ文化論B	1・2後		2		○								1	
		文学と芸術														
		欧米の文化・文学	1・2前・後		2		○								1	
		芸術論	1・2前		2		○								2	
		言語と表現														
		日本語学	1・2前		2		○								1	
		コミュニケーション論	1・2前・後		2		○								2	
		Critical Thinking for the Modern Age	1・2前		2		○								1	
		Cultural Metaphors	1・2後		2		○								1	
		歴史と文化														
		哲学・倫理学	1・2後		2		○								1	
		考古学	1・2前		2		○								1	
		日本史	1・2前・後		2		○								1	
		西洋史	1・2前・後		2		○								1	
		人類学	1・2前		2		○								2	
		スポーツウェルネスの世界	1・2前・後		2		○								1	
		近代サッカーの成立と進歩	1・2後		2		○								1	
		サッカーの歴史と技法	1・2前		2		○								1	
		柔道の歴史と技法	1・2後		2		○								1	
		哲学の世界	1・2後		2		○								1	
		地域史	1・2後		2		○								1	
		宗教学	1・2後		2		○								1	
		文化の分野特別講義 九州・沖縄学Ⅰ			2		○								1	
		小計（37科目）	—	—	0	69	0	—		0	0	0	0	0	29	
	現代社会の分野	基礎社会科学														オムニバス
		経済学	1・2前・後		2		○								1	
		会計学	1・2後		2		○								2	
		経営学	1・2前		2		○								1	
		法律学	1・2前		2		○								6	
		政治学	1・2後		2		○								1	
		日本国憲法	1・2前・後		2		○								1	

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			授業形態			専任教員等の配置						備考
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	基幹（助手を除く） 教員	
教養教育科目	現代社会の分野	現代社会の法と政治	1・2前		2		○								1	オムニバス
		地理学	1・2前		2		○								1	
		Introduction to Sociology	1・2前		2		○								1	
		社会思想	1・2後		2		○								1	
		教育と人間														
		教育と人生	1・2後		2		○								1	
		心理学A	1・2前・後		2		○								1	
		心理学B	1・2後		2		○								1	
		健康科学A	1・2前・後		2		○								2	
		健康科学B	1・2後		2		○								2	
		スポーツと健康	1・2前		2		○								1	
		Citizenship Education	1・2後		2		○								1	
		Life in the Global World	1・2前		2		○								1	
		情報メディアと倫理	1・2前・後		2		○			1	1					
		心の病と癒しのプロセス	1・2後		2		○								1	
		心身の発達過程	1・2前		2		○								1	
		情報メディアコミュニケーション	1・2前・後		2		○								2	
		Aspects of Modern Society	1・2後		2		○								1	
		プレゼンテーション・デザイン	1・2前・後		2		○								1	
		現代教育学	1・2後		2		○								8	
		教育学A	1・2後		2		○								1	
		教育学B	1・2前		2		○								1	
		教育学C	1・2後		2		○								1	
		体育実技Ⅰ	1・2前・後		1			○							3	
		体育実技Ⅱ	1・2前・後		1			○							4	
		現代社会の諸相														
		ジャーナリズムの現在	1・2後		2		○								1	
		アジアコミュニティ論	1・2後		2		○								1	
		知的財産学	1・2後		2		○			1						
		環境科学Ⅰ	1・2前		2		○								2	
		環境科学Ⅲ	1・2後		2		○								2	
		インスタラクショナル・デザイン	1・2前・後		2		○								2	
		国際社会学	1・2後		2		○								1	
		現代社会の分野特別講義														
		グローバル化と証券投資	1・2前		2		○								1	
		西洋近代社会思想史	1・2前		2		○								1	
		多文化社会論	1・2前		2		○								1	
		経営工学からみたマネジメント	1・2後		2		○								1	
		金融リテラシーと生命保険	1・2後		2		○								1	
		小計（42科目）	—	—	0	82	0	—		2	1	0	0	0	49	
	総合科目	海外交流実習	1・2前・後		2				○						2	標準外
		キャリアデザイン	1・2後		2		○								1	
		グループワークの技法と実践	1・2後		2			○							1	
		データサイエンスへの招待	3前		2		○								1	
		チャレンジ・インターンシップA	1・2前・後		2			○		1						
		チャレンジ・インターンシップB	2通		2			○							1	
		ライフデザインとセルフ・リーダーシップ	1・2前		2		○								1	
		Online Immersion Program	1・2前		2										1	
		Overseas Practicum	1・2後		2										1	
		データサイエンスBasicⅠ	1・2後		1		○			1					2	
		データサイエンスBasicⅡ	1・2後		1		○			1					2	
		小計（11科目）	—	—	0	20	0	—		1	0	0	0	0	8	
	外国人留学生	日本事情－自然科学と技術の分野	1後		2		○			1						隔年
		日本事情－文化の分野	1前		2		○								1	
		日本事情－現代社会	1後		2		○								1	
		小計（3科目）	—	—	0	6	0	—		1	0	0	0	0	2	
インターフェース科目	環境コース	機械工学と環境Ⅰ	2前		2		○			1	1				1	オムニバス
		機械工学と環境Ⅱ	2後		2		○			2	2					
		機械工学と環境Ⅲ	3前		2		○			1	5					
		機械工学と環境Ⅳ	3後		2		○			1	3	1				
		エレクトロニクスと環境Ⅰ	2前		2		○				1					
		エレクトロニクスと環境Ⅱ	2後		2		○			1						
		エレクトロニクスと環境Ⅲ	3前		2		○			1						
		エレクトロニクスと環境Ⅳ	3後		2		○			1						
		佐賀の環境Ⅰ	2前		2		○				1				2	

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	主要授 業科目	単位数			授業形態			専任教員等の配置						備考
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	基幹（助手を除く） 教員	
教養教育科目	環境コース	佐賀の環境Ⅱ	2後		2		○				1				3	共同・標準外
		佐賀の環境Ⅲ	3前		2		○								5	オムニバス
		佐賀の環境Ⅳ	3後		2		○								5	オムニバス
		小計（12科目）	—	—	0	24	0	—		8	13	1	0	0	10	
	文化と共生コース	異文化交流Ⅰ	2前		2		○								1	標準外
		異文化交流Ⅱ	2後		2		○								1	
		異文化交流Ⅲ	3前		2		○								1	
		異文化交流Ⅳ	3後		2		○								1	
		Intercultural CommunicationⅠ	2前		2		○								2	
		Intercultural CommunicationⅡ	2後		2		○								1	
		Intercultural CommunicationⅢ	3前		2		○								2	
		Intercultural CommunicationⅣ	3後		2		○								2	
		肥前陶磁器産業体験Ⅰ	2前		2		○								1	共同・標準外
		肥前陶磁器産業体験Ⅱ	2前		2		○								2	
		肥前陶磁器産業体験Ⅲ	3前		2		○								4	共同
		肥前陶磁器産業体験Ⅳ	3後		2		○								4	共同
		ドイツ語とドイツ語圏の歴史・文化Ⅰ	2前		2		○								1	オムニバス
		ドイツ語とドイツ語圏の歴史・文化Ⅱ	2後		2		○								1	
		ドイツ語とドイツ語圏の歴史・文化Ⅲ	3前		2		○								1	
		ドイツ語とドイツ語圏の歴史・文化Ⅳ	3後		2		○								1	
		芸術と社会Ⅰ	2前		2		○								5	
		芸術と社会Ⅱ	2後		2		○								3	
		芸術と社会Ⅲ	3前		2		○								5	
		芸術と社会Ⅳ	3後		2		○								4	
	インターフェース科目	歴史文化Ⅰ	2前		2		○								1	オムニバス・標準外
		歴史文化Ⅱ	2後		2		○								1	
		歴史文化Ⅲ	3前		2		○								1	
		歴史文化Ⅳ	3後		2		○								1	
		英語コミュニケーションⅠ	2前		2		○								2	
		英語コミュニケーションⅡ	2後		2		○								2	
		英語コミュニケーションⅢ	3前		2		○								2	
		英語コミュニケーションⅣ	3後		2		○								2	
		小計（28科目）	—	—	0	56	0	—		0	0	0	0	0	36	
	生活と科学コース	未来を拓く材料の科学Ⅰ	2前		2		○			1	1		2		1	オムニバス
		未来を拓く材料の科学Ⅱ	2後		2		○			2					1	オムニバス
		未来を拓く材料の科学Ⅲ	3前		2		○			5					1	オムニバス
		未来を拓く材料の科学Ⅳ	3後		2		○			1	2		3			オムニバス・共同（一部）
		情報技術者キャリアデザインⅠ	2前		2		○				1		1			共同
		情報技術者キャリアデザインⅡ	3前		2		○			2	1					オムニバス
		情報技術者キャリアデザインⅢ	3前・後		2		○				1					
		情報技術者キャリアデザインⅣ	3後		2		○			1						
		2年間でできる「がばいベンチャー」の作り方Ⅰ	2前		2		○								1	
		2年間でできる「がばいベンチャー」の作り方Ⅱ	2後		2		○								1	
		2年間でできる「がばいベンチャー」の作り方Ⅲ	3前		2		○								1	
		2年間でできる「がばいベンチャー」の作り方Ⅳ	3後		2		○								1	
		食糧生産の科学Ⅰ	2前		2		○								1	オムニバス
		食糧生産の科学Ⅱ	2後		2		○								4	オムニバス
		食糧生産の科学Ⅲ	3前		2		○								4	オムニバス
		食糧生産の科学Ⅳ	3後		2		○								6	オムニバス
		ライフサイエンス・フードサイエンスⅠ	2前		2		○								4	オムニバス
		ライフサイエンス・フードサイエンスⅡ	2後		2		○								4	オムニバス・共同（一部）
		ライフサイエンス・フードサイエンスⅢ	3前		2		○								5	オムニバス
		ライフサイエンス・フードサイエンスⅣ	3後		2		○								5	オムニバス
		小計（20科目）	—	—	0	40	0	—		15	7	0	4	0	34	
	人間と社会コース	チームビルディングとリーダーシップⅠ	2前		2		○								3	共同
		チームビルディングとリーダーシップⅡ	2後		2		○								4	共同
		チームビルディングとリーダーシップⅢ	3前		2		○								3	共同

科目 区分			授業科目の名称	配当年次	主要授 業科目	単位数			授業形態			専任教員等の配置						備考
						必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験・ 実習	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	基 幹 （ 助 手 を 除 く ） 教 員 以 外 の 教 員	
教養教育科目	人間と社会 コース	チームビルディングとリーダーシップⅣ	3後			2		○								3	共同	
		リサーチ・リテラシーⅠ	2前			2		○								1		
		リサーチ・リテラシーⅡ	2後			2		○								1		
		リサーチ・リテラシーⅢ	3前			2		○								1		
		リサーチ・リテラシーⅣ	3後			2		○								3		
		スポーツイベントとボランティアリーダーⅠ	2前			2		○								1		
		スポーツイベントとボランティアリーダーⅡ	2後			2		○								2	共同	
		スポーツイベントとボランティアリーダーⅢ	3前			2		○								2	共同	
		スポーツイベントとボランティアリーダーⅣ	3後			2		○								2	共同	
		小計（12科目）	－	－	0	24	0	－		0	0	0	0	0	8			
	医療・福祉と社会 コース	現代社会と医療Ⅰ	1前			2		○								1		
		現代社会と医療Ⅱ	1前			2		○								1		
		現代社会と医療Ⅲ	1後			2		○								2	共同	
		現代社会と医療Ⅳ	1後			2		○								1		
		食と健康Ⅰ	1前			2		○								5	オムニバス	
		食と健康Ⅱ	1前			2		○								1		
		食と健康Ⅲ	1後			2		○								1		
		食と健康Ⅳ	1後			2		○								7	オムニバス	
		ライフサイクルからみた医療Ⅰ	1前			2		○								5	オムニバス	
		ライフサイクルからみた医療Ⅱ	1前			2		○								1		
	ライフサイクルからみた医療Ⅲ	1後			2		○								1			
	ライフサイクルからみた医療Ⅳ	1後			2		○								1			
	小計（12科目）	－	－	0	24	0	－		0	0	0	0	0	23				
	地域・佐賀学 コース	佐賀の歴史文化Ⅰ	2前			2		○								1		
		佐賀の歴史文化Ⅱ	2後			2		○								1		
		佐賀の歴史文化Ⅲ	3前			2		○								1		
		佐賀の歴史文化Ⅳ	3後			2		○								1		
		地域経済と社会Ⅰ	2前			2		○								1		
		地域経済と社会Ⅱ	2後			2		○								1		
		地域経済と社会Ⅲ	3前			2		○								1		
		地域経済と社会Ⅳ	3後			2		○								1		
		佐賀SDGsグローバルアクションⅠ	2前			2		○								4	オムニバス	
		佐賀SDGsグローバルアクションⅡ	2後			2		○								3	共同	
	佐賀SDGsグローバルアクションⅢ	3前			2		○			2					2	オムニバス		
	佐賀SDGsグローバルアクションⅣ	3後			2		○			2					2	共同		
	小計（12科目）	－	－	0	24	0	－		2	2	0	0	0	0	13			
	共通	インターフェース演習	3前			2			○									標準外
		小計（1科目）	－	－	0	2	0	－										
	合計（320科目）			－	－	79	523	4	－		47	44	3	6		229	－	
	学位又は称号		学士（工学）			学位又は学科の分野			工学関係									
卒業要件及び履修方法									授業期間等									
教養教育科目28単位以上，専門教育科目（必修科目76単位を含む）96単位以上，合計124単位以上を修得すること。									1学年の学期区分			2学期						
									1学期の授業期間			15週						
									1時限の授業時間			90分						

教 育 課 程 等 の 概 要																		
(理工学部理工学科 メカニカルデザインコース) 【既設】																		
科目 区分		授業科目の名称	配当年次	主要授 業科目	単位数			授業形態			専任教員等の配置						備考	
					必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験・ 実習	教 授	准 教授	講 師	助 教	助 手	基幹 教員以外 の教員		
学部共通 基礎科目		理工リテラシーS1	1通	○	1					○	3	8					オムニバス 集中講義 集中講義	
		理工リテラシーS2	2通	○	1					○		1						
		理工リテラシーS3	3通	○	1					○		1						
		サブフィールドPBL	2後	○	3				○		4	5	1					
		AI・数理・データサイエンスリテラシーS	3通	○	1			○			1	1						
		AI・数理・データサイエンスリテラシーL	3通	○	2			○			1	1						
		理工キャリア教育プログラムS	2前・後	○		1				○	5	2						
		理工キャリア教育プログラムL	2前・後	○		2				○	5	2						
		理工特別セミナー(半導体概論)	1前	○		2		○			2							
		理工特別セミナー(量子物理学の発展)	2前	○		2		○			1	1						
		微分積分学基礎演習Ⅰ	1前				1		○		6	5						
		線形代数学基礎演習Ⅰ	1前				1		○		2	2						
		微分積分学基礎演習Ⅱ	1後				1		○		6	5						
		線形代数学基礎演習Ⅱ	1後				1		○		4	3						
		小計(14科目)	—	—	9	7	4	—			18	19	1			3		
学部共通 専門科目		微分積分学Ⅰa	1前	○		2		○				2				オムニバス		
		微分積分学Ⅰb	1前	○		2		○			1	2						
		線形代数学Ⅰa	1前	○		2		○					1					
		線形代数学Ⅰb	1前	○		2		○				1						
		物理学概説	1前	○	2			○				1						
		化学概説	1前	○	2			○			5	1						
		生物学概説	1前	○	2			○				1						
		データサイエンスⅠ	1前	○	2			○			2	3						
		理工概論	1前	○	2			○			10	4						
		小計(9科目)	—	—	10	8	0	—			14	15	1					
専門教育科目	コース類 共通専門科目	微分積分学Ⅱa	1後	○		2		○				2				オムニバス オムニバス オムニバス オムニバス オムニバス 共同		
		微分積分学Ⅱb	1後	○		2		○			1	1						
		線形代数学Ⅱa	1後	○		2		○			1							
		線形代数学Ⅱb	1後	○		2		○				1						
		物理演習	1後	○	1				○			2						
		化学演習	1後	○	1				○		1	3		1				
		コンピュータプログラミング	1後	○	2			○			1							
		データサイエンスⅡ	1後	○	2			○				1						
		応用数理科学	1後	○		2		○			1							
		データサイエンス入門	1後	○		2		○			1	1						
		知能情報システム工学入門	1後	○		2		○			1	1						
		情報ネットワーク工学入門	1後	○		2		○				1						1
		基礎化学A	1後	○		2		○				2		1				
		基礎化学B	1後	○		2		○			1	1						
		基礎力学	1後	○		2		○			1							
		現代物理学	1後	○		2		○			2	2						
		機械システム工学概論	1後	○		2		○			2	6						
		機械エネルギー工学概論	1後	○		2		○				7	1					
		基礎電気回路	1後	○		2		○			4	4						1
		基礎電磁気学	1後	○		2		○			1							
		建設力学基礎	1後	○		2		○			2							1
		空間設計基礎	1後	○		2		○			1			1				
	小計(22科目)	—	—	6	36	0	—			19	29	1	3		3			
専門科目		創造工学入門	2前	○	2			○			1	7	1	1			共同	
		工業力学	2前	○	2			○				1						
		機械工作	2前	○	2			○			1							
		流体工学	2前	○	2			○			1							
		機械熱力学	2前	○	2			○			1							
		材料力学	2前	○	2			○			1							
		機械数学基礎	2前	○	2			○			1							
		機械数学応用	2後	○	2			○								1		
		ベクトル解析学	2後	○	2			○				1						
		機械設計	2後	○	2			○								1		
		機械力学	2後	○	2			○			1							
		数値計算法	3前	○	1			○				1						
		科学技術英語	3前	○	1			○				1						

科目 区分		授業科目の名称	配当年次	主要授 業科目	単位数			授業形態			専任教員等の配置						備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
					必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験・ 実習	教 授	准 教授	講 師	助 教	助 手	基 幹 （助手を 除く） 教員 以外の 教員																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
専門教育科目	専門科目	機械システム制御	3前	○	2			○					1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													</

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	主要授 業科目	単位数			授業形態			専任教員等の配置						備考
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	基幹（助手を除く） 教員以外の教員	
教養教育科目	自然科学と技術の分野	AI・数理・データサイエンスⅠ	1・2前		2		○			2					1	共同
		AI・数理・データサイエンスⅡ	1・2後		2		○				1				1	共同
		農学の世界A	1・2前		2		○								1	
		農学の世界B	1・2後		2		○								1	
		STEAM学習基礎	1・2後		2		○								1	
		生物科学・生命科学														
		生物科学の世界A	1・2前		2		○								2	オムニバス
		生物科学の世界B	1・2前		2		○								1	
		栄養科学A	1・2前		2		○								1	標準外・メディア
		栄養科学B	1・2後		2		○								1	標準外・メディア
		栄養科学C	1・2後		2		○								2	標準外・メディア
		生命科学の基礎A	1・2後		2		○								5	オムニバス
		生命科学の基礎B	1・2前		2		○								2	オムニバス
		生命科学の基礎C	1・2前		2		○								15	オムニバス・共同（一部）
		生命科学の基礎F	1・2後		2		○								3	オムニバス
		自然科学と技術の分野特別講義 九州・沖縄学Ⅱ	1・2後		2		○								3	標準外・メディア
		小計（35科目）	—	—	0	70	0	—	—	23	11	3	4	0	45	
	基本教養科目 文化の分野	言語と文化														
		ドイツの言語と文化Ⅰ	1・2前		2		○								1	
		ドイツの言語と文化Ⅱ	1・2後		2		○								1	
		フランスの言語と文化Ⅰ	1・2前		2		○								1	
		フランスの言語と文化Ⅱ	1・2後		2		○								1	
		中国の言語と文化Ⅰ	1・2前		2		○								1	
		中国の言語と文化Ⅱ	1・2後		2		○								1	
		韓国・朝鮮の言語と文化Ⅰ	1・2前		2		○								1	
		韓国・朝鮮の言語と文化Ⅱ	1・2後		2		○								1	
		Western Culture	1・2前		2		○								1	
		Intensive EnglishⅠ	1・2前		2		○								2	
		Intensive EnglishⅡ	1・2後		2		○								2	
		アカデミック英語	1・2後		1		○								1	
		ビジネス英語	1・2後		1		○								1	
		アカデミック独語	1・2前・後		1		○								1	
		ドイツ文学A	1・2前		1		○								1	
		ドイツ文学B	1・2後		1		○								1	
		ドイツ文化論A	1・2前		2		○								1	
		ドイツ文化論B	1・2後		2		○								1	
		文学と芸術														
		欧米の文化・文学	1・2前・後		2		○								1	
		芸術論	1・2前		2		○								2	隔年・オムニバス
		言語と表現														
		日本語学	1・2前		2		○								1	
		コミュニケーション論	1・2前・後		2		○								2	共同・標準外・メディア
		Critical Thinking for the Modern Age	1・2前		2		○								1	
		Cultural Metaphors	1・2後		2		○								1	
		歴史と文化														
		哲学・倫理学	1・2後		2		○								1	隔年
		考古学	1・2前		2		○								1	隔年
		日本史	1・2前・後		2		○								1	
		西洋史	1・2前・後		2		○								1	
		人類学	1・2前		2		○								2	オムニバス
		スポーツウェルネスの世界	1・2前・後		2		○								1	
		近代サッカーの成立と進歩	1・2後		2		○								1	
		サッカーの歴史と技法	1・2前		2		○								1	
		柔道の歴史と技法	1・2後		2		○								1	
		哲学の世界	1・2後		2		○								1	
		地域史	1・2後		2		○								1	標準外・メディア
		宗教学	1・2後		2		○								1	隔年
		文化の分野特別講義 九州・沖縄学Ⅰ	1・2前		2		○								1	標準外・メディア
		小計（37科目）	—	—	0	69	0	—	—	0	0	0	0	0	29	
	現代社会の分野	基礎社会科学														
		経済学	1・2前・後		2		○								1	
		会計学	1・2後		2		○								1	
		経営学	1・2前		2		○								2	

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			授業形態			専任教員等の配置						備考
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	基幹（助手を除く） 教員以外の教員	
教養教育科目	現代社会の分野 基本教養科目	法律学	1・2前		2		○								6	オムニバス
		政治学	1・2後		2		○								1	
		日本国憲法	1・2前・後		2		○								1	
		現代社会の法と政治	1・2前		2		○								1	
		地理学	1・2前		2		○								1	
		Introduction to Sociology	1・2前		2		○								1	
		社会思想	1・2後		2		○								1	
		教育と人間														
		教育と人生	1・2後		2		○								1	
		心理学A	1・2前・後		2		○								1	
		心理学B	1・2後		2		○								1	
		健康科学A	1・2前・後		2		○								2	
		健康科学B	1・2後		2		○								2	オムニバス
		スポーツと健康	1・2前		2		○								1	
		Citizenship Education	1・2後		2		○								1	
		Life in the Global World	1・2前		2		○								1	
		情報メディアと倫理	1・2前・後		2		○			1	1					
		心の病と癒しのプロセス	1・2後		2		○								1	隔年
		心身の発達過程	1・2前		2		○								1	
		情報メディアコミュニケーション	1・2前・後		2		○								2	共同・メディア
		Aspects of Modern Society	1・2後		2		○								1	
		プレゼンテーション・デザイン	1・2前・後		2		○								1	
		現代教育学	1・2後		2		○								8	オムニバス・共同（一部）
		教育学A	1・2後		2		○								1	
		教育学B	1・2前		2		○								1	
		教育学C	1・2後		2		○								1	
		体育実技Ⅰ	1・2前・後		1				○						3	共同（一部）
		体育実技Ⅱ	1・2前・後		1				○						4	共同（一部）
		現代社会の諸相														
		ジャーナリズムの現在	1・2後		2		○								1	
		アジアコミュニティ論	1・2後		2		○			1					1	
		知的財産学	1・2後		2		○									
		環境科学Ⅰ	1・2前		2		○								2	オムニバス・標準外・メディア
		環境科学Ⅲ	1・2後		2		○								2	オムニバス・標準外・メディア
		インストラクショナル・デザイン	1・2前・後		2		○								2	共同・標準外・メディア
		国際社会学	1・2後		2		○								1	
		現代社会の分野特別講義														
		グローバル化と証券投資	1・2前		2		○								1	標準外
		西洋近代社会思想史	1・2前		2		○								1	
		多文化社会論	1・2前		2		○								1	
		経営工学からみたマネジメント	1・2後		2		○								1	
		金融リテラシーと生命保険	1・2後		2		○								1	
		小計（42科目）	—	—	0	82	0	—	—	2	1	0	0	0	49	
	総合科目	海外交流実習	1・2前・後		2				○						2	標準外
		キャリアデザイン	1・2後		2		○								1	
		グループワークの技法と実践	1・2後		2				○						1	
		データサイエンスへの招待	3前		2		○								1	
		チャレンジ・インターンシップA	1・2前・後		2				○	1						標準外
		チャレンジ・インターンシップB	2通		2				○						1	標準外
		ライフデザインとセルフ・リーダーシップ	1・2前		2		○								1	
		Online Immersion Program	1・2前		2										1	標準外・メディア
		Overseas Practicum	1・2後		2										1	標準外
		データサイエンスBasicⅠ	1・2後		1		○			1					2	共同・標準外・メディア
		データサイエンスBasicⅡ	1・2後		1		○			1					2	共同・標準外・メディア
		小計（11科目）	—	—	0	20	0	—	—	1	0	0	0	0	8	
	外国人留学生 小計（3科目）	日本事情－自然科学と技術の分野	1後		2		○			1						隔年
		日本事情－文化の分野	1前		2		○								1	隔年
		日本事情－現代社会	1後		2		○								1	隔年
		小計（3科目）	—	—	0	6	0	—	—	1	0	0	0	0	2	
インターフ ェース 科 目	機械工学と環境Ⅰ	2前			2		○			1	1				1	オムニバス
	機械工学と環境Ⅱ	2後			2		○			2	2					オムニバス
	機械工学と環境Ⅲ	3前			2		○			1	5					オムニバス
	機械工学と環境Ⅳ	3後			2		○			1	3	1				オムニバス
	エレクトロニクスと環境Ⅰ	2前			2		○				1					オムニバス・共同（一部）
	エレクトロニクスと環境Ⅱ	2後			2		○			1						

科目 区分			授業科目の名称	配当年次	主要授 業科目	単位数			授業形態			専任教員等の配置						備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
						必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	基幹 (助手を除く) 教員																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
教養教育科目	環境 コース	環境	エレクトロニクスと環境Ⅲ	3前			2		○			1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					

科目 区分			授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			授業形態			専任教員等の配置						備考	
						必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	基幹（助手を除く） 教員以外の教員		
教養教育科目	人間と社会コース	チームビルディングとリーダーシップⅠ	2前			2		○									3	共同	
		チームビルディングとリーダーシップⅡ	2後			2		○									4	共同	
		チームビルディングとリーダーシップⅢ	3前			2		○									3	共同	
		チームビルディングとリーダーシップⅣ	3後			2		○									3	共同	
		リサーチ・リテラシーⅠ	2前			2		○									1		
		リサーチ・リテラシーⅡ	2後			2		○									1		
		リサーチ・リテラシーⅢ	3前			2		○									1		
		リサーチ・リテラシーⅣ	3後			2		○									3		
		スポーツイベントとボランティアリーダーⅠ	2前			2		○									1		
		スポーツイベントとボランティアリーダーⅡ	2後			2		○									2	共同	
		スポーツイベントとボランティアリーダーⅢ	3前			2		○									2	共同	
		スポーツイベントとボランティアリーダーⅣ	3後			2		○									2	共同	
		小計（12科目）			—	—	0	24	0	—			0	0	0	0	0	8	
	医療・福祉と社会コース	現代社会と医療Ⅰ	1前			2		○									1		
		現代社会と医療Ⅱ	1前			2		○									1		
		現代社会と医療Ⅲ	1後			2		○									2	共同	
		現代社会と医療Ⅳ	1後			2		○									1		
		食と健康Ⅰ	1前			2		○									5	オムニバス	
		食と健康Ⅱ	1前			2		○									1		
		食と健康Ⅲ	1後			2		○									1		
		食と健康Ⅳ	1後			2		○									7	オムニバス	
		ライフサイクルからみた医療Ⅰ	1前			2		○									5	オムニバス	
		ライフサイクルからみた医療Ⅱ	1前			2		○									1		
		ライフサイクルからみた医療Ⅲ	1後			2		○									1		
		ライフサイクルからみた医療Ⅳ	1後			2		○									1		
		小計（12科目）			—	—	0	24	0	—			0	0	0	0	0	23	
	地域・佐賀学コース	佐賀の歴史文化Ⅰ	2前			2		○									1		
		佐賀の歴史文化Ⅱ	2後			2		○									1		
		佐賀の歴史文化Ⅲ	3前			2		○									1		
		佐賀の歴史文化Ⅳ	3後			2		○									1		
		地域経済と社会Ⅰ	2前			2		○									1		
		地域経済と社会Ⅱ	2後			2		○									1		
		地域経済と社会Ⅲ	3前			2		○									1		
		地域経済と社会Ⅳ	3後			2		○									1		
		佐賀SDGsグローバルアクションⅠ	2前			2		○									4	オムニバス	
		佐賀SDGsグローバルアクションⅡ	2後			2		○									3	共同	
		佐賀SDGsグローバルアクションⅢ	3前			2		○				2					2	オムニバス	
		佐賀SDGsグローバルアクションⅣ	3後			2		○				2					2	共同	
		小計（12科目）			—	—	0	24	0	—			2	0	0	0	0	13	
	共通	インターフェース演習	3前			2			○										標準外
		小計（1科目）			—	—	0	2	0	—									
合計（323科目）			—	—	79	529	4	—			44	44	3	6		229	—		
学位又は称号		学士（工学）			学位又は学科の分野			工学関係											
卒業要件及び履修方法									授業期間等										
教養教育科目28単位以上、専門教育科目（必修科目76単位を含む）96単位以上、合計124単位以上を修得すること。									1学年の学期区分				2学期						
									1学期の授業期間				15週						
									1時限の授業時間				90分						

教 育 課 程 等 の 概 要																		
(理工学部理工学科 電気エネルギー工学コース) 【既設】																		
科目 区分		授業科目の名称	配当年次	主要授 業科目	単位数			授業形態			専任教員等の配置						備考	
					必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験・ 実習	教 授	准 教授	講 師	助 教	助 手	基幹 教員以外 の教員		
学部共通基礎科目		理工リテラシーS1	1通	○	1					○	3	8					オムニバス 集中講義 集中講義	
		理工リテラシーS2	2通	○	1					○		1						
		理工リテラシーS3	3通	○	1					○		1						
		サブフィールドPBL	2後	○	3				○		4	5	1					
		AI・数理・データサイエンスリテラシーS	3通	○	1			○			1	1						
		AI・数理・データサイエンスリテラシーL	3通	○	2			○			1	1						
		理工キャリア教育プログラムS	2前・後	○		1				○	5	2						
		理工キャリア教育プログラムL	2前・後	○		2				○	5	2						
		理工特別セミナー(半導体概論)	1前	○		2		○			2							
		理工特別セミナー(量子物理学の発展)	2前	○		2		○			1	1						
		微分積分学基礎演習Ⅰ	1前				1		○		6	5						
		線形代数学基礎演習Ⅰ	1前				1		○		2	2						
		微分積分学基礎演習Ⅱ	1後				1		○		6	5						
		線形代数学基礎演習Ⅱ	1後				1		○		4	3						
		小計(14科目)	—	—	9	7	4	—			18	19	1			3		
学部共通専門科目		微分積分学Ⅰa	1前	○		2		○				2				オムニバス		
		微分積分学Ⅰb	1前	○		2		○			1	2						
		線形代数学Ⅰa	1前	○		2		○					1					
		線形代数学Ⅰb	1前	○		2		○				1						
		物理学概説	1前	○	2			○				1						
		化学概説	1前	○	2			○			5	1						
		生物学概説	1前	○	2			○				1						
		データサイエンスⅠ	1前	○	2			○			2	3						
		理工概論	1前	○	2			○			10	4						
	小計(9科目)	—	—	10	8	0	—			14	15	1						
専門教育科目	コース類共通専門科目	微分積分学Ⅱa	1後	○		2		○				2				オムニバス オムニバス オムニバス オムニバス オムニバス 共同		
		微分積分学Ⅱb	1後	○		2		○			1	1						
		線形代数学Ⅱa	1後	○		2		○			1							
		線形代数学Ⅱb	1後	○		2		○				1						
		物理演習	1後	○	1				○			2						
		化学演習	1後	○	1				○		1	3		1				
		コンピュータプログラミング	1後	○	2			○			1							
		データサイエンスⅡ	1後	○	2			○				1						
		応用数理科学	1後	○		2		○			1							
		データサイエンス入門	1後	○		2		○			1	1						
		知能情報システム工学入門	1後	○		2		○			1	1						
		情報ネットワーク工学入門	1後	○		2		○				1						1
		基礎化学A	1後	○		2		○				2		1				
		基礎化学B	1後	○		2		○			1	1						
		基礎力学	1後	○		2		○			1							
		現代物理学	1後	○		2		○			2	2						
		機械システム工学概論	1後	○		2		○			2	6						
		機械エネルギー工学概論	1後	○		2		○				7	1					
		基礎電気回路	1後	○		2		○			4	4						1
		基礎電磁気学	1後	○		2		○			1							
		建設力学基礎	1後	○		2		○			2							1
		空間設計基礎	1後	○		2		○			1			1				
	小計(22科目)	—	—	6	36	0	—			19	29	1	3		3			
専門科目		微分方程式	2前	○	2			○				1				共同 共同		
		プログラミング論	2前	○	2			○			1							
		電気回路Ⅰ及び演習	2前	○	3				○			1						
		電気回路Ⅱ及び演習	2後	○	3				○		1	1						
		工学系電磁気学Ⅰ及び演習	2前	○	3				○		1							
		工学系電磁気学Ⅱ及び演習	2後	○	3				○									
		電気電子工学共通実験Ⅰ	2前	○	2					○		4		1				
		電気電子工学共通実験Ⅱ	2後	○	2					○		4		1				
		基礎電子回路	2後	○	2			○									1	
		電気系基礎力学	2前	○		2		○				1						
		複素関数論	2前	○		2		○				1						
		電子物性論	2前	○		2		○			1							
		電子計測	2後	○		2		○				1						

科目 区分		授業科目の名称	配当年次	主要授 業科目	単位数			授業形態			専任教員等の配置						備考				
					必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実験・ 実習	教 授	准 教授	講 師	助 教	助 手	基幹（助手を除く） 教員以外の教員					
専門教育科目	専門科目	電気電子材料学	2後	○		2		○							1			1			共同 共同 <

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	主要授 業科目	単位数			授業形態			専任教員等の配置						備考
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	基幹（助手を 除く） の教員	
教養教育科目	自然科学と技術の分野	栄養科学A	1・2前		2		○								1	標準外・メディア
		栄養科学B	1・2後		2		○								1	標準外・メディア
		栄養科学C	1・2後		2		○								2	標準外・メディア
		生命科学の基礎A	1・2後		2		○								5	オムニバス
		生命科学の基礎B	1・2前		2		○								2	オムニバス
		生命科学の基礎C	1・2前		2		○								15	オムニバス・共同（一部）
		生命科学の基礎F	1・2後		2		○								3	オムニバス
		自然科学と技術の分野特別講義														
		九州・沖縄学Ⅱ	1・2後		2		○								3	標準外・メディア
		小計（35科目）	—	—	0	70	0	—		23	11	3	4	0	45	
	文化の分野	言語と文化														
		ドイツの言語と文化Ⅰ	1・2前		2		○								1	
		ドイツの言語と文化Ⅱ	1・2後		2		○								1	
		フランスの言語と文化Ⅰ	1・2前		2		○								1	
		フランスの言語と文化Ⅱ	1・2後		2		○								1	
		中国の言語と文化Ⅰ	1・2前		2		○								1	
		中国の言語と文化Ⅱ	1・2後		2		○								1	
		韓国・朝鮮の言語と文化Ⅰ	1・2前		2		○								1	
		韓国・朝鮮の言語と文化Ⅱ	1・2後		2		○								1	
		Western Culture	1・2前		2		○								1	
		Intensive EnglishⅠ	1・2前		2		○								2	
		Intensive EnglishⅡ	1・2後		2		○								2	
		アカデミック英語	1・2後		1		○								1	
		ビジネス英語	1・2後		1		○								1	
		アカデミック独語	1・2前・後		1		○								1	
		ドイツ文学A	1・2前		1		○								1	
		ドイツ文学B	1・2後		1		○								1	
		ドイツ文化論A	1・2前		2		○								1	
		ドイツ文化論B	1・2後		2		○								1	
		文学と芸術														
		欧米の文化・文学	1・2前・後		2		○								1	
		芸術論	1・2前		2		○								2	隔年・オムニバス
		言語と表現														
		日本語学	1・2前		2		○								1	
		コミュニケーション論	1・2前・後		2		○								2	共同・標準外・メディア
		Critical Thinking for the Modern Age	1・2前		2		○								1	
		Cultural Metaphors	1・2後		2		○								1	
		歴史と文化														
		哲学・倫理学	1・2後		2		○								1	隔年
		考古学	1・2前		2		○								1	隔年
		日本史	1・2前・後		2		○								1	
		西洋史	1・2前・後		2		○								1	
		人類学	1・2前		2		○								2	オムニバス
		スポーツウェルネスの世界	1・2前・後		2		○								1	
		近代サッカーの成立と進歩	1・2後		2		○								1	
		サッカーの歴史と技法	1・2前		2		○								1	
		柔道の歴史と技法	1・2後		2		○								1	
		哲学の世界	1・2後		2		○								1	
		地域史	1・2後		2		○								1	標準外・メディア
		宗教学	1・2後		2		○								1	隔年
		文化の分野特別講義														
		九州・沖縄学Ⅰ	1・2前		2		○								1	標準外・メディア
		小計（37科目）	—	—	0	69	0	—		0	0	0	0	0	29	
	現代社会の分野	基礎社会科学														
		経済学	1・2前・後		2		○								1	
		会計学	1・2後		2		○								1	
		経営学	1・2前		2		○								2	
		法律学	1・2前		2		○								6	オムニバス
		政治学	1・2後		2		○								1	
		日本国憲法	1・2前・後		2		○								1	
		現代社会の法と政治	1・2前		2		○								1	
		地理学	1・2前		2		○								1	
		Introduction to Sociology	1・2前		2		○								1	
		社会思想	1・2後		2		○								1	

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	主要授 業科目	単位数			授業形態			専任教員等の配置						備考
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	基幹（助手を除く） 教員	
教養教育科目	現代社会の分野 基本教養科目	教育と人間														
		教育と人生	1・2後		2		○								1	
		心理学A	1・2前・後		2		○								1	
		心理学B	1・2後		2		○								1	
		健康科学A	1・2前・後		2		○								2	
		健康科学B	1・2後		2		○								2	オムニバス
		スポーツと健康	1・2前		2		○								1	
		Citizenship Education	1・2後		2		○								1	
		Life in the Global World	1・2前		2		○								1	
		情報メディアと倫理	1・2前・後		2		○			1	1				1	
		心の病と癒しのプロセス	1・2後		2		○								1	隔年
		心身の発達過程	1・2前		2		○								1	
		情報メディアコミュニケーション	1・2前・後		2		○								2	共同・メディア
		Aspects of Modern Society	1・2後		2		○								1	
		プレゼンテーション・デザイン	1・2前・後		2		○								1	
		現代教育学	1・2後		2		○								8	オムニバス・共同（一部）
		教育学A	1・2後		2		○								1	
		教育学B	1・2前		2		○								1	
		教育学C	1・2後		2		○								1	
		体育実技Ⅰ	1・2前・後		1			○							3	共同（一部）
		体育実技Ⅱ	1・2前・後		1			○							4	共同（一部）
		現代社会の諸相														
		ジャーナリズムの現在	1・2後		2		○								1	
		アジアコミュニティ論	1・2後		2		○								1	
		知的財産学	1・2後		2		○			1					2	標準外・メディア
		環境科学Ⅰ	1・2前		2		○								2	オムニバス・標準外・メディア
		環境科学Ⅲ	1・2後		2		○								2	オムニバス・標準外・メディア
		インストラクショナル・デザイン	1・2前・後		2		○								2	共同・標準外・メディア
		国際社会学	1・2後		2		○								1	
		現代社会の分野特別講義														
		グローバル化と証券投資	1・2前		2		○								1	標準外
		西洋近代社会思想史	1・2前		2		○								1	
		多文化社会論	1・2前		2		○								1	
		経営工学からみたマネジメント	1・2後		2		○								1	
		金融リテラシーと生命保険	1・2後		2		○								1	
		小計（42科目）	—	—	0	82	0	—	—	2	1	0	0	0	49	
	総合科目	海外交流実習	1・2前・後		2				○						2	標準外
		キャリアデザイン	1・2後		2		○								1	
		グループワークの技法と実践	1・2後		2			○							1	
		データサイエンスへの招待	3前		2		○								1	
		チャレンジ・インターンシップA	1・2前・後		2			○		1					1	標準外
		チャレンジ・インターンシップB	2通		2			○							1	標準外
		ライフデザインとセルフ・リーダーシップ	1・2前		2		○								1	
		Online Immersion Program	1・2前		2										1	標準外・メディア
		Overseas Practicum	1・2後		2										1	標準外
		データサイエンスBasicⅠ	1・2後		1		○			1					2	共同・標準外・メディア
		データサイエンスBasicⅡ	1・2後		1		○			1					2	共同・標準外・メディア
		小計（11科目）	—	—	0	20	0	—	—	1	0	0	0	0	8	
	外国人留学生 用科目	日本事情－自然科学と技術の分野	1後		2		○			1					1	隔年
		日本事情－文化の分野	1前		2		○								1	隔年
		日本事情－現代社会	1後		2		○								1	隔年
		小計（3科目）	—	—	0	6	0	—	—	1	0	0	0	0	2	
インターフェース科目	環境コース	機械工学と環境Ⅰ	2前		2		○			1	1				1	オムニバス
		機械工学と環境Ⅱ	2後		2		○			2	2					オムニバス
		機械工学と環境Ⅲ	3前		2		○			1	5					オムニバス
		機械工学と環境Ⅳ	3後		2		○			1	3	1				オムニバス・共同（一部）
		エレクトロニクスと環境Ⅰ	2前		2		○				1					
		エレクトロニクスと環境Ⅱ	2後		2		○			1						
		エレクトロニクスと環境Ⅲ	3前		2		○			1						
		エレクトロニクスと環境Ⅳ	3後		2		○			1						
		佐賀の環境Ⅰ	2前		2		○				1				2	オムニバス
		佐賀の環境Ⅱ	2後		2		○				1				3	共同・標準外
		佐賀の環境Ⅲ	3前		2		○								5	オムニバス
		佐賀の環境Ⅳ	3後		2		○								5	オムニバス
		小計（12科目）	—	—	0	24	0	—	—	8	13	1	0	0	10	

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			授業形態			専任教員等の配置						備考
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	基幹（助手を除く） 教員以外の教員	
教養教育科目	文化と共生コース	異文化交流Ⅰ	2前		2		○								1	標準外
		異文化交流Ⅱ	2後		2		○								1	
		異文化交流Ⅲ	3前		2		○								1	
		異文化交流Ⅳ	3後		2		○								1	
		Intercultural CommunicationⅠ	2前		2		○								2	
		Intercultural CommunicationⅡ	2後		2		○								1	
		Intercultural CommunicationⅢ	3前		2		○								2	
		Intercultural CommunicationⅣ	3後		2		○								2	
		肥前陶磁器産業体験Ⅰ	2前		2		○								1	
		肥前陶磁器産業体験Ⅱ	2前		2		○								2	
		肥前陶磁器産業体験Ⅲ	3前		2		○								4	
		肥前陶磁器産業体験Ⅳ	3後		2		○								4	
		ドイツ語とドイツ語圏の歴史・文化Ⅰ	2前		2		○								1	
		ドイツ語とドイツ語圏の歴史・文化Ⅱ	2後		2		○								1	
		ドイツ語とドイツ語圏の歴史・文化Ⅲ	3前		2		○								1	
		ドイツ語とドイツ語圏の歴史・文化Ⅳ	3後		2		○								1	
		芸術と社会Ⅰ	2前		2		○								5	
		芸術と社会Ⅱ	2後		2		○								3	
		芸術と社会Ⅲ	3前		2		○								5	
		芸術と社会Ⅳ	3後		2		○								4	
		歴史文化Ⅰ	2前		2		○								1	
		歴史文化Ⅱ	2後		2		○								1	
		歴史文化Ⅲ	3前		2		○								1	
		歴史文化Ⅳ	3後		2		○								1	
		英語コミュニケーションⅠ	2前		2		○								2	
		英語コミュニケーションⅡ	2後		2		○								2	
		英語コミュニケーションⅢ	3前		2		○								2	
		英語コミュニケーションⅣ	3後		2		○								2	
		小計（28科目）	—	—	0	56	0	—	—	0	0	0	0	0	36	
	インターフェース科目 生活と科学コース	未来を拓く材料の科学Ⅰ	2前		2		○			1	1		2			オムニバス
		未来を拓く材料の科学Ⅱ	2後		2		○			2					1	オムニバス
		未来を拓く材料の科学Ⅲ	3前		2		○			5					1	オムニバス
		未来を拓く材料の科学Ⅳ	3後		2		○			1	2		3			オムニバス・共同（一部）
		情報技術者キャリアデザインⅠ	2前		2		○				1		1			共同
		情報技術者キャリアデザインⅡ	3前		2		○			2	1					オムニバス
		情報技術者キャリアデザインⅢ	3前・後		2		○				1					
		情報技術者キャリアデザインⅣ	3後		2		○			1						
		2年間でできる「がばいベンチャー」の作り方Ⅰ	2前		2		○								1	
		2年間でできる「がばいベンチャー」の作り方Ⅱ	2後		2		○								1	
		2年間でできる「がばいベンチャー」の作り方Ⅲ	3前		2		○								1	
		2年間でできる「がばいベンチャー」の作り方Ⅳ	3後		2		○								1	
		食糧生産の科学Ⅰ	2前		2		○								1	オムニバス
		食糧生産の科学Ⅱ	2後		2		○								4	オムニバス
		食糧生産の科学Ⅲ	3前		2		○								4	オムニバス
		食糧生産の科学Ⅳ	3後		2		○								6	オムニバス
		ライフサイエンス・フードサイエンスⅠ	2前		2		○								4	オムニバス
		ライフサイエンス・フードサイエンスⅡ	2後		2		○								4	オムニバス・共同（一部）
		ライフサイエンス・フードサイエンスⅢ	3前		2		○								5	オムニバス
		ライフサイエンス・フードサイエンスⅣ	3後		2		○								5	オムニバス
		小計（20科目）	—	—	0	40	0	—	—	15	7	0	4	0	34	
	人間と社会コース	チームビルディングとリーダーシップⅠ	2前		2		○								3	共同
		チームビルディングとリーダーシップⅡ	2後		2		○								4	共同
		チームビルディングとリーダーシップⅢ	3前		2		○								3	共同
		チームビルディングとリーダーシップⅣ	3後		2		○								3	共同
		リサーチ・リテラシーⅠ	2前		2		○								1	
		リサーチ・リテラシーⅡ	2後		2		○								1	
		リサーチ・リテラシーⅢ	3前		2		○								1	

科目 区分			授業科目の名称	配当年次	主要授 業科目	単位数			授業形態			専任教員等の配置						備考
						必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	基幹（助手を除く） 教員以外の教員	
教養教育科目	人間と社会コース	リサーチ・リテラシーⅣ	3後			2		○								3	共同	
		スポーツイベントとボランティアリーダーⅠ	2前			2		○								1		
		スポーツイベントとボランティアリーダーⅡ	2後			2		○								2		
		スポーツイベントとボランティアリーダーⅢ	3前			2		○							2			
		スポーツイベントとボランティアリーダーⅣ	3後			2		○							2	共同		
		小計（12科目）	—	—	0	24	0	—		0	0	0	0	0	0	8		
	医療・福祉と社会コース	現代社会と医療Ⅰ	1前			2		○									1	共同
		現代社会と医療Ⅱ	1前			2		○									1	
		現代社会と医療Ⅲ	1後			2		○									2	
		現代社会と医療Ⅳ	1後			2		○								1		
		食と健康Ⅰ	1前			2		○									5	オムニバス
		食と健康Ⅱ	1前			2		○									1	
		食と健康Ⅲ	1後			2		○									1	
		食と健康Ⅳ	1後			2		○								7		
		ライフサイクルからみた医療Ⅰ	1前			2		○									5	オムニバス
		ライフサイクルからみた医療Ⅱ	1前			2		○									1	
		ライフサイクルからみた医療Ⅲ	1後			2		○									1	
		ライフサイクルからみた医療Ⅳ	1後			2		○									1	
		小計（12科目）	—	—	0	24	0	—		0	0	0	0	0	0	23		
	地域・佐賀学コース	佐賀の歴史文化Ⅰ	2前			2		○									1	共同
		佐賀の歴史文化Ⅱ	2後			2		○									1	
		佐賀の歴史文化Ⅲ	3前			2		○									1	
		佐賀の歴史文化Ⅳ	3後			2		○									1	
		地域経済と社会Ⅰ	2前			2		○									1	
		地域経済と社会Ⅱ	2後			2		○									1	
		地域経済と社会Ⅲ	3前			2		○									1	
		地域経済と社会Ⅳ	3後			2		○									1	
		佐賀SDGsグローバルアクションⅠ	2前			2		○									4	
		佐賀SDGsグローバルアクションⅡ	2後			2		○									3	
		佐賀SDGsグローバルアクションⅢ	3前			2		○				2					2	
		佐賀SDGsグローバルアクションⅣ	3後			2		○				2					2	
		小計（12科目）	—	—	0	24	0	—		2	0	0	0	0	0	13		
	共通	インターフェース演習	3前			2			○									標準外
		小計（1科目）	—	—	0	2	0	—										
合計（315科目）			—	—	83	525	4	—			52	54	3	7		229	—	
学位又は称号		学士（工学）			学位又は学科の分野			工学関係										
卒業要件及び履修方法									授業期間等									
教養教育科目28単位以上，専門教育科目（必修科目80単位を含む）96単位以上，合計124単位以上を修得すること。									1 学年の学期区分			2 学期						
									1 学期の授業期間			1 5 週						
									1 時限の授業時間			9 0 分						

教 育 課 程 等 の 概 要																		
(理工学部理工学科 電子デバイス工学コース) 【既設】																		
科目 区分		授業科目の名称	配当年次	主要授 業科目	単位数			授業形態			専任教員等の配置						備考	
					必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験・実 習	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	基 幹 (教員を 除く 教員		
学部共通 基礎科目		理工リテラシーS1	1通	○	1					○	3	8					オムニバス 集中講義 集中講義	
		理工リテラシーS2	2通	○	1					○	1							
		理工リテラシーS3	3通	○	1					○	1							
		サブフィールドPBL	2後	○	3				○		4	5	1			3		
		AI・数理・データサイエンスリテラシーS	3通	○	1			○			1	1						
		AI・数理・データサイエンスリテラシーL	3通	○	2			○			1	1						
		理工キャリア教育プログラムS	2前・後	○		1			○		5	2						
		理工キャリア教育プログラムL	2前・後	○		2			○		5	2						
		理工特別セミナー(半導体概論)	1前	○		2			○		2							
		理工特別セミナー(量子物理学の発展)	2前	○		2			○		1	1						
		微分積分学基礎演習Ⅰ	1前				1			○	6	5						
		線形代数学基礎演習Ⅰ	1前				1			○	2	2						
		微分積分学基礎演習Ⅱ	1後				1			○	6	5						
		線形代数学基礎演習Ⅱ	1後				1			○	4	3						
	小計 (14科目)	—	—		9	7	4	—			18	19	1			3		
学部共通 専門科目		微分積分学Ⅰa	1前	○		2			○			2					オムニバス	
		微分積分学Ⅰb	1前	○		2			○		1	2						
		線形代数学Ⅰa	1前	○		2			○				1					
		線形代数学Ⅰb	1前	○		2			○			1						
		物理学概説	1前	○	2				○			1						
		化学概説	1前	○	2				○		5	1						
		生物学概説	1前	○	2				○			1						
		データサイエンスⅠ	1前	○	2				○		2	3						
		理工概論	1前	○	2				○		10	4						
		小計 (9科目)	—	—		10	8	0	—			14	15	1				
専門教育 科目	コース 類共通 専門科目	微分積分学Ⅱa	1後	○		2			○			2					オムニバス オムニバス オムニバス オムニバス オムニバス オムニバス 共同	
		微分積分学Ⅱb	1後	○		2			○		1	1						
		線形代数学Ⅱa	1後	○		2			○		1							
		線形代数学Ⅱb	1後	○		2			○			1						
		物理演習	1後	○	1					○			2					
		化学演習	1後	○	1					○		1	3		1			
		コンピュータプログラミング	1後	○	2					○		1						
		データサイエンスⅡ	1後	○	2					○			1					
		応用数理学	1後	○		2				○		1						
		データサイエンス入門	1後	○		2				○		1	1					
		知能情報システム工学入門	1後	○		2				○		1	1					
		情報ネットワーク工学入門	1後	○		2				○			1					1
		基礎化学A	1後	○		2				○			2		1			
		基礎化学B	1後	○		2				○		1	1					
		基礎力学	1後	○		2				○		1						
		現代物理学	1後	○		2				○		2	2					
		機械システム工学概論	1後	○		2				○		2	6					
		機械エネルギー工学概論	1後	○		2				○		2	7	1				
		基礎電気回路	1後	○		2				○		4	4					1
		基礎電磁気学	1後	○		2				○		1						
		建設力学基礎	1後	○		2				○		2						1
		空間設計基礎	1後	○		2				○		1			1			
	小計 (22科目)	—	—		6	36	0	—			19	29	1	3		3		
専門科目		電子物性論	2前	○	2				○			1					共同 共同	
		微分方程式	2前	○	2				○				1					
		プログラミング論	2前	○	2				○		1							
		電気回路Ⅰ及び演習	2前	○	3					○		1						
		電気回路Ⅱ及び演習	2後	○	3					○		1	1					
		工学系電磁気学Ⅰ及び演習	2前	○	3					○		1						
		工学系電磁気学Ⅱ及び演習	2後	○	3					○		1						
		電気電子工学共通実験Ⅰ	2前	○	2							4		1				
		電気電子工学共通実験Ⅱ	2後	○	2							4		1				
		半導体デバイス工学	2後	○	2				○					1		1		
		基礎電子回路	2後	○	2											1		
		情報通信工学	2前	○		2				○			1					
		複素関数論	2前	○		2				○			1					

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	主要授 業科目	単位数			授業形態			専任教員等の配置						備考
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	基幹（助手を除く） 教員以外の教員	
専門教育科目	専門科目	電気電子材料科学	2後	○		2	○						1			共同 共同
		電子計測	2後	○		2	○				1					
		論理回路	3前	○	2		○			1						共同 共同
		応用電子回路	3前	○	2		○			1						
		電気回路Ⅲ及び演習	3前	○	2			○			1					1 1
		工学系電磁気学Ⅲ及び演習	3前	○	2			○		1						
		電子デバイス工学実験	3前	○	2				○		4		1			1 1
		応用電子デバイス工学実験	3後	○	2				○		6					
		技術者倫理	3後	○	2		○									1 1
		技術英語	3後	○	2		○			1			1			
		信号解析論	3前	○		2	○				1					1 1
		オプトエレクトロニクス	3前	○		2	○			1						
		パワーエレクトロニクス	3前	○		2	○						1			1 1
		分布定数回路	3前	○		2	○				1					
		L S I 回路設計	3後	○		2	○									1 1
		アナログ回路設計	3後	○		2	○				1					
		集積回路デバイス工学	3後	○		2	○			1						1 1
		プラズマエレクトロニクス	3後	○		2	○			1						
		マイクロ波光学	3後	○		2	○				1					1 1
		電気電子工学インターンシップ	3・4前・後	○		1			○		1					
		卒業研究	4通	○	8			○		11	10		3			集中
		小計（34科目）	—	—	50	27	0	—		10	9		4		2	
教養教育科目	大学入門科目	大学入門科目Ⅰ	1前		2		○			5	4					
		小計（1科目）	—	—	2	0	0	—		5	4	0	0	0	0	
	共通基礎科目	外国語科目	英語A	1前	1			○							11	
			英語B	1後	1			○							13	
			英語C	2前・後	1			○							14	
			英語D	2前・後	1			○							3	
			実践日本語C	1後		1		○							1	
			実践日本語D	1前		1		○							1	
			実践日本語E	2後		1		○							1	
			実践日本語F	2前		1		○							1	
			小計（8科目）	—	—	4	4	0	—	0	0	0	0	0	23	
	情報リテラシー科目	情報基礎概論	1前		2		○			2	3					
			小計（1科目）	—	—	2	0	0	—	2	3	0	0	0	0	
	基本教養科目	自然科学と技術の分野	基礎自然科学													オムニバス オムニバス オムニバス オムニバス オムニバス 隔年 オムニバス オムニバス 隔年 標準外 オムニバス・共同（一部） 共同 共同 オムニバス 標準外・メディア
			Introduction to Science	1・2後		2	○			4	4	2	1			
			物理の世界Ⅰ	1・2前		2	○			1						
			物理の世界Ⅱ	1・2後		2	○			1						
			化学の世界A	1・2後		2	○			2						
			化学の世界B	1・2前		2	○			1	1					
			実験化学Ⅰ	1・2前		2	○			2	1		1		1	
			実験化学Ⅱ	1・2後		2	○			3	1		1			
			地学の世界	1・2後		2	○								1	
			数理の世界	1・2後		2	○				1					
			原子の発見	1・2後		2	○				1					
			自然科学・技術の現代的諸相													
			情報科学の世界Ⅰ	1・2前		2	○			1	1					
			情報科学の世界Ⅱ	1・2前・後		2	○			2						
			機械工学の世界A	1・2後		2	○			2						
			機械工学の世界B	1・2前		2	○			2						
			電気電子工学の世界A	1・2前		2	○				1					
			電気電子工学の世界B	1・2後		2	○			1						
			都市と生活	1・2前		2	○			1						
			インタラクティブコンテンツ入門	1・2後		2	○								1	
			環境をはかる	1・2後		2	○			1						
			肥前セラミック学	1・2前		2	○			3	1	1	1		8	
			AI・数理・データサイエンスⅠ	1・2前		2	○			2					1	
			AI・数理・データサイエンスⅡ	1・2後		2	○				1				1	
			農学の世界A	1・2前		2	○								1	
			農学の世界B	1・2後		2	○								1	
			STEAM学習基礎	1・2後		2	○								1	
			生物科学・生命科学													
			生物科学の世界A	1・2前		2	○								2	
			生物科学の世界B	1・2前		2	○								1	
			栄養科学A	1・2前		2	○								1	

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	主要授 業科目	単位数			授業形態			専任教員等の配置						備考
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	基幹（助手を 除く） 教員	
教養教育科目	自然科学と技術の分野	栄養科学B	1・2後		2		○								1	標準外・メディア
		栄養科学C	1・2後		2		○								2	標準外・メディア
		生命科学の基礎A	1・2後		2		○								5	オムニバス
		生命科学の基礎B	1・2前		2		○								2	オムニバス
		生命科学の基礎C	1・2前		2		○								15	オムニバス・共同（一部）
		生命科学の基礎F	1・2後		2		○								3	オムニバス
		自然科学と技術の分野特別講義 九州・沖縄学Ⅱ	1・2後		2		○								3	標準外・メディア
		小計（35科目）	—	0	70	0	—	—	—	23	11	3	4	0	45	
	文化の分野	言語と文化														
		ドイツの言語と文化Ⅰ	1・2前		2		○								1	
		ドイツの言語と文化Ⅱ	1・2後		2		○								1	
		フランスの言語と文化Ⅰ	1・2前		2		○								1	
		フランスの言語と文化Ⅱ	1・2後		2		○								1	
		中国の言語と文化Ⅰ	1・2前		2		○								1	
		中国の言語と文化Ⅱ	1・2後		2		○								1	
		韓国・朝鮮の言語と文化Ⅰ	1・2前		2		○								1	
		韓国・朝鮮の言語と文化Ⅱ	1・2後		2		○								1	
		Western Culture	1・2前		2		○								1	
		Intensive EnglishⅠ	1・2前		2		○								2	
		Intensive EnglishⅡ	1・2後		2		○								2	
		アカデミック英語	1・2後		1		○								1	
		ビジネス英語	1・2後		1		○								1	
		アカデミック独語	1・2前・後		1		○								1	
		ドイツ文学A	1・2前		1		○								1	
		ドイツ文学B	1・2後		1		○								1	
		ドイツ文化論A	1・2前		2		○								1	
		ドイツ文化論B	1・2後		2		○								1	
		文学と芸術														
		欧米の文化・文学	1・2前・後		2		○								1	
		芸術論	1・2前		2		○								2	隔年・オムニバス
		言語と表現														
		日本語学	1・2前		2		○								1	
		コミュニケーション論	1・2前・後		2		○								2	共同・標準外・メディア
		Critical Thinking for the Modern Age	1・2前		2		○								1	
		Cultural Metaphors	1・2後		2		○								1	
		歴史と文化														
		哲学・倫理学	1・2後		2		○								1	隔年
		考古学	1・2前		2		○								1	隔年
		日本史	1・2前・後		2		○								1	
		西洋史	1・2前・後		2		○								1	
		人類学	1・2前		2		○								2	オムニバス
		スポーツウェルネスの世界	1・2前・後		2		○								1	
		近代サッカーの成立と進歩	1・2後		2		○								1	
		サッカーの歴史と技法	1・2前		2		○								1	
		柔道の歴史と技法	1・2後		2		○								1	
		哲学の世界	1・2後		2		○								1	
		地域史	1・2後		2		○								1	標準外・メディア
		宗教学	1・2後		2		○								1	隔年
		文化の分野特別講義 九州・沖縄学Ⅰ	1・2前		2		○								1	標準外・メディア
		小計（37科目）	—	0	69	0	—	—	—	0	0	0	0	0	29	
	現代社会の分野	基礎社会科学														
		経済学	1・2前・後		2		○								1	
		会計学	1・2後		2		○								1	
		経営学	1・2前		2		○								2	
		法律学	1・2前		2		○								6	オムニバス
		政治学	1・2後		2		○								1	
		日本国憲法	1・2前・後		2		○								1	
		現代社会の法と政治	1・2前		2		○								1	
		地理学	1・2前		2		○								1	
		Introduction to Sociology	1・2前		2		○								1	
		社会思想	1・2後		2		○								1	
		教育と人間														
		教育と人生	1・2後		2		○								1	

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	主要授 業科目	単位数			授業形態			専任教員等の配置						備考
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	基幹（助手を除く） 教員	
教養教育科目	現代社会の分野 基本教養科目	心理学A	1・2前・後		2		○								1	オムニバス
		心理学B	1・2後		2		○								1	
		健康科学A	1・2前・後		2		○								2	
		健康科学B	1・2後		2		○								2	オムニバス
		スポーツと健康	1・2前		2		○								1	
		Citizenship Education	1・2後		2		○								1	
		Life in the Global World	1・2前		2		○								1	隔年
		情報メディアと倫理	1・2前・後		2		○			1	1				1	
		心の病と癒しのプロセス	1・2後		2		○								1	
		心身の発達過程	1・2前		2		○								1	共同・メディア
		情報メディアコミュニケーション	1・2前・後		2		○								2	
		Aspects of Modern Society	1・2後		2		○								1	
		プレゼンテーション・デザイン	1・2前・後		2		○								1	オムニバス・共同（一部）
		現代教育学	1・2後		2		○								8	
		教育学A	1・2後		2		○								1	
		教育学B	1・2前		2		○								1	共同（一部）
		教育学C	1・2後		2		○								1	
		体育実技Ⅰ	1・2前・後		1			○							3	
		体育実技Ⅱ	1・2前・後		1			○							4	共同（一部）
		現代社会の諸相														
		ジャーナリズムの現在	1・2後		2		○								1	標準外
		アジアコミュニティ論	1・2後		2		○								1	
		知的財産学	1・2後		2		○			1						
		環境科学Ⅰ	1・2前		2		○								2	オムニバス・標準外・メディア
		環境科学Ⅲ	1・2後		2		○								2	オムニバス・標準外・メディア
		インストラクショナル・デザイン	1・2前・後		2		○								2	共同・標準外・メディア
		国際社会学	1・2後		2		○								1	標準外
		現代社会の分野特別講義														
		グローバル化と証券投資	1・2前		2		○								1	
		西洋近代社会思想史	1・2前		2		○								1	標準外
		多文化社会論	1・2前		2		○								1	
		経営工学からみたマネジメント	1・2後		2		○								1	
		金融リテラシーと生命保険	1・2後		2		○								1	標準外
		小計（42科目）	—	—	0	82	0	—	—	2	1	0	0	0	49	
	総合科目	海外交流実習	1・2前・後		2				○						2	標準外
		キャリアデザイン	1・2後		2		○								1	標準外
		グループワークの技法と実践	1・2後		2			○							1	
		データサイエンスへの招待	3前		2		○								1	
		チャレンジ・インターンシップA	1・2前・後		2			○		1					1	標準外
		チャレンジ・インターンシップB	2通		2			○							1	標準外
		ライフデザインとセルフ・リーダーシップ	1・2前		2		○								1	標準外・メディア
		Online Immersion Program	1・2前		2										1	
		Overseas Practicum	1・2後		2										1	
		データサイエンスBasicⅠ	1・2後		1		○			1					2	共同・標準外・メディア
		データサイエンスBasicⅡ	1・2後		1		○			1					2	共同・標準外・メディア
		小計（11科目）	—	—	0	20	0	—	—	1	0	0	0	0	8	
	外国人留学生 用科目	日本事情－自然科学と技術の分野	1後		2		○			1						隔年
		日本事情－文化の分野	1前		2		○								1	隔年
		日本事情－現代社会	1後		2		○								1	隔年
		小計（3科目）	—	—	0	6	0	—	—	1	0	0	0	0	2	
	インターフェース科目 環境コース	機械工学と環境Ⅰ	2前		2		○			1	1				1	オムニバス
		機械工学と環境Ⅱ	2後		2		○			2	2					オムニバス
		機械工学と環境Ⅲ	3前		2		○			1	5					オムニバス
		機械工学と環境Ⅳ	3後		2		○			1	3	1				オムニバス・共同（一部）
		エレクトロニクスと環境Ⅰ	2前		2		○									オムニバス
		エレクトロニクスと環境Ⅱ	2後		2		○			1					1	
		エレクトロニクスと環境Ⅲ	3前		2		○			1						
		エレクトロニクスと環境Ⅳ	3後		2		○			1						オムニバス
		佐賀の環境Ⅰ	2前		2		○				1				2	
		佐賀の環境Ⅱ	2後		2		○				1				3	
		佐賀の環境Ⅲ	3前		2		○								5	オムニバス
		佐賀の環境Ⅳ	3後		2		○								5	オムニバス
		小計（12科目）	—	—	0	24	0	—	—	8	13	1	0	0	10	

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			授業形態			専任教員等の配置						備考
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	基幹（助手を除く） 教員以外の教員	
教養教育科目	文化と共生コース	異文化交流Ⅰ	2前		2		○								1	標準外
		異文化交流Ⅱ	2後		2		○								1	
		異文化交流Ⅲ	3前		2		○								1	
		異文化交流Ⅳ	3後		2		○								1	
		Intercultural CommunicationⅠ	2前		2		○								2	
		Intercultural CommunicationⅡ	2後		2		○								1	
		Intercultural CommunicationⅢ	3前		2		○								2	
		Intercultural CommunicationⅣ	3後		2		○								2	
		肥前陶磁器産業体験Ⅰ	2前		2		○								1	
		肥前陶磁器産業体験Ⅱ	2前		2		○								2	
		肥前陶磁器産業体験Ⅲ	3前		2		○								4	
		肥前陶磁器産業体験Ⅳ	3後		2		○								4	
		ドイツ語とドイツ語圏の歴史・文化Ⅰ	2前		2		○								1	
		ドイツ語とドイツ語圏の歴史・文化Ⅱ	2後		2		○								1	
		ドイツ語とドイツ語圏の歴史・文化Ⅲ	3前		2		○								1	
		ドイツ語とドイツ語圏の歴史・文化Ⅳ	3後		2		○								1	
		芸術と社会Ⅰ	2前		2		○								5	
		芸術と社会Ⅱ	2後		2		○								3	
		芸術と社会Ⅲ	3前		2		○								5	
		芸術と社会Ⅳ	3後		2		○								4	
	生活と科学コース	歴史文化Ⅰ	2前		2		○								1	オムニバス オムニバス・標準外 オムニバス オムニバス
		歴史文化Ⅱ	2後		2		○								1	
		歴史文化Ⅲ	3前		2		○								1	
		歴史文化Ⅳ	3後		2		○								1	
		英語コミュニケーションⅠ	2前		2		○								2	
		英語コミュニケーションⅡ	2後		2		○								2	
		英語コミュニケーションⅢ	3前		2		○								2	
		英語コミュニケーションⅣ	3後		2		○								2	
		小計（28科目）	—	—	0	56	0	—	—	0	0	0	0	0	36	
	人間と社会コース	未来を拓く材料の科学Ⅰ	2前		2		○			1	1		2			オムニバス オムニバス オムニバス オムニバス・共同（一部） 共同 オムニバス オムニバス オムニバス オムニバス オムニバス オムニバス・共同（一部） オムニバス オムニバス
		未来を拓く材料の科学Ⅱ	2後		2		○			2					1	
		未来を拓く材料の科学Ⅲ	3前		2		○			5					1	
		未来を拓く材料の科学Ⅳ	3後		2		○			1	2		3			
		情報技術者キャリアデザインⅠ	2前		2		○			1	1		1			
		情報技術者キャリアデザインⅡ	3前		2		○			2	1					
		情報技術者キャリアデザインⅢ	3前・後		2		○				1					
		情報技術者キャリアデザインⅣ	3後		2		○			1						
		2年間でできる「がばいベンチャー」の作り方Ⅰ	2前		2		○								1	
		2年間でできる「がばいベンチャー」の作り方Ⅱ	2後		2		○								1	
		2年間でできる「がばいベンチャー」の作り方Ⅲ	3前		2		○								1	
		2年間でできる「がばいベンチャー」の作り方Ⅳ	3後		2		○								1	
		食糧生産の科学Ⅰ	2前		2		○								1	
		食糧生産の科学Ⅱ	2後		2		○								4	
		食糧生産の科学Ⅲ	3前		2		○								4	
		食糧生産の科学Ⅳ	3後		2		○								6	
		ライフサイエンス・フードサイエンスⅠ	2前		2		○								4	
		ライフサイエンス・フードサイエンスⅡ	2後		2		○								4	
		ライフサイエンス・フードサイエンスⅢ	3前		2		○								5	
		ライフサイエンス・フードサイエンスⅣ	3後		2		○								5	
		小計（20科目）	—	—	0	40	0	—	—	15	7	0	4	0	34	
	人間と社会コース	チームビルディングとリーダーシップⅠ	2前		2		○								3	共同
		チームビルディングとリーダーシップⅡ	2後		2		○								4	共同
		チームビルディングとリーダーシップⅢ	3前		2		○								3	共同
		チームビルディングとリーダーシップⅣ	3後		2		○								3	共同
		リサーチ・リテラシーⅠ	2前		2		○								1	
	人間と社会コース	リサーチ・リテラシーⅡ	2後		2		○								1	
		リサーチ・リテラシーⅢ	3前		2		○								1	

科目 区分		授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			授業形態			専任教員等の配置						備考	
					必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	基幹教員以外 の教員		
教養教育科目	人間と社会コース	リサーチ・リテラシーⅣ	3後			2		○								3	共同	
		スポーツイベントとボランティアリーダーⅠ	2前			2		○								1		
		スポーツイベントとボランティアリーダーⅡ	2後			2		○								2		
		スポーツイベントとボランティアリーダーⅢ	3前			2		○								2		
		スポーツイベントとボランティアリーダーⅣ	3後			2		○								2		
		小計（12科目）	—	—	0	24	0	—		0	0	0	0	0	0	8		
	医療・福祉と社会コース	現代社会と医療Ⅰ	1前			2		○									1	共同
		現代社会と医療Ⅱ	1前			2		○									1	
		現代社会と医療Ⅲ	1後			2		○									2	
		現代社会と医療Ⅳ	1後			2		○									1	
		食と健康Ⅰ	1前			2		○									5	
		食と健康Ⅱ	1前			2		○									1	オムニバス
		食と健康Ⅲ	1後			2		○									1	
		食と健康Ⅳ	1後			2		○									7	
		ライフサイクルからみた医療Ⅰ	1前			2		○									5	
		ライフサイクルからみた医療Ⅱ	1前			2		○									1	
		ライフサイクルからみた医療Ⅲ	1後			2		○									1	
		ライフサイクルからみた医療Ⅳ	1後			2		○									1	
	小計（12科目）	—	—	0	24	0	—		0	0	0	0	0	0	23			
	地域・佐賀学コース	佐賀の歴史文化Ⅰ	2前			2		○									1	共同 オムニバス オムニバス 共同
		佐賀の歴史文化Ⅱ	2後			2		○									1	
		佐賀の歴史文化Ⅲ	3前			2		○									1	
		佐賀の歴史文化Ⅳ	3後			2		○									1	
		地域経済と社会Ⅰ	2前			2		○									1	
		地域経済と社会Ⅱ	2後			2		○									1	
		地域経済と社会Ⅲ	3前			2		○									1	
		地域経済と社会Ⅳ	3後			2		○									1	
		佐賀SDGsグローバルアクションⅠ	2前			2		○									4	
		佐賀SDGsグローバルアクションⅡ	2後			2		○									3	
		佐賀SDGsグローバルアクションⅢ	3前			2		○			2						2	
		佐賀SDGsグローバルアクションⅣ	3後			2		○			2						2	
	小計（12科目）	—	—	0	24	0	—		2	0	0	0	0	0	13			
	共通	インターフェース演習	3前			2			○								標準外	
	小計（1科目）	—	—	0	2	0	—											
合計（314科目）			—	—	83	523	4	—			42	45	7	2		229	—	
学位又は称号		学士（工学）			学位又は学科の分野			工学関係										
卒業要件及び履修方法								授業期間等										
教養教育科目28単位以上，専門教育科目（必修科目80単位を含む）96単位以上，合計124単位以上を修得すること。								1学年の学期区分				2学期						
								1学期の授業期間				15週						
								1時限の授業時間				90分						

教 育 課 程 等 の 概 要																		
(理工学部理工学科 都市基盤工学コース) 【既設】																		
科目 区分		授業科目の名称	配当年次	主要授 業科目	単位数			授業形態			専任教員等の配置						備考	
					必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験・ 実習	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	基 幹 （ 助 手 以 外 の 教 員		
学部共通基礎科目		理工リテラシーS1	1通	○	1					○	3	8					オムニバス 集中講義 集中講義	
		理工リテラシーS2	2通	○	1					○		1						
		理工リテラシーS3	3通	○	1					○		1						
		サブフィールドPBL	2後	○	3				○		4	5	1					
		AI・数理・データサイエンスリテラシーS	3通	○	1			○			1	1						
		AI・数理・データサイエンスリテラシーL	3通	○	2			○			1	1						
		理工キャリア教育プログラムS	2前・後	○		1				○	5	2						
		理工キャリア教育プログラムL	2前・後	○		2				○	5	2						
		理工特別セミナー(半導体概論)	1前	○		2		○			2							
		理工特別セミナー(量子物理学の発展)	2前	○		2		○			1	1						
		微分積分学基礎演習Ⅰ	1前				1		○		6	5						
		線形代数学基礎演習Ⅰ	1前				1		○		2	2						
		微分積分学基礎演習Ⅱ	1後				1		○		6	5						
		線形代数学基礎演習Ⅱ	1後				1		○		4	3						
		小計(14科目)	—	—	9	7	4	—			18	19	1			3		
学部共通専門科目		微分積分学Ⅰa	1前	○		2		○				2					オムニバス	
		微分積分学Ⅰb	1前	○		2		○			1	2						
		線形代数学Ⅰa	1前	○		2		○					1					
		線形代数学Ⅰb	1前	○		2		○				1						
		物理学概説	1前	○	2			○				1						
		化学概説	1前	○	2			○			5	1						
		生物学概説	1前	○	2			○				1						
		データサイエンスⅠ	1前	○	2			○			2	3						
		理工概論	1前	○	2			○			10	4						
		小計(9科目)	—	—	10	8	0	—			14	15	1					
専門教育科目	コース類共通専門科目	微分積分学Ⅱa	1後	○		2		○				2					オムニバス オムニバス オムニバス オムニバス オムニバス オムニバス 共同	
		微分積分学Ⅱb	1後	○		2		○			1	1						
		線形代数学Ⅱa	1後	○		2		○			1							
		線形代数学Ⅱb	1後	○		2		○				1						
		物理演習	1後	○	1				○			2						
		化学演習	1後	○	1				○		1	3		1				
		コンピュータプログラミング	1後	○	2			○			1							
		データサイエンスⅡ	1後	○	2			○				1						
		応用数理科学	1後	○		2		○			1							
		データサイエンス入門	1後	○		2		○			1	1						
		知能情報システム工学入門	1後	○		2		○			1	1						
		情報ネットワーク工学入門	1後	○		2		○				1						1
		基礎化学A	1後	○		2		○				2		1				
		基礎化学B	1後	○		2		○			1	1						
		基礎力学	1後	○		2		○			1							
		現代物理学	1後	○		2		○			2	2						
		機械システム工学概論	1後	○		2		○			2	6						
		機械エネルギー工学概論	1後	○		2		○			2	7	1					
		基礎電気回路	1後	○		2		○			4	4						1
		基礎電磁気学	1後	○		2		○			1							
		建設力学基礎	1後	○		2		○			2							1
		空間設計基礎	1後	○		2		○			1			1				
	小計(22科目)	—	—	6	36	0	—			19	29	1	3		3			
専門科目	建設材料学	2前	○	2			○			1						オムニバス		
	工業数学Ⅰ	2前	○	2			○				1							
	構造力学演習Ⅰ	2前	○	2				○		1								
	地盤工学Ⅰ	2前	○	2			○					1						
	水理学Ⅰ	2前	○	2			○			2								
	都市計画	2前	○	2			○				1							
	測量学	2前	○		2		○					1				集中, オムニバス		
	建設技術総合演習	2通	○		2			○		2	1	1						
	現代建築とデザイン	2前	○		2		○				1							
	建築環境工学Ⅰ	2前	○		2		○				1							
	技術者倫理	2前	○		2		○									共同		
	基礎設計製図演習	2前	○		2			○		1			1					
	構造力学演習Ⅱ	2後	○	2				○		1								

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	主要授 業科目	単位数			授業形態			専任教員等の配置						備考
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	基幹（助手を除く） 教員以外の教員	
専門教育科目	専門科目	地盤工学Ⅱ	2後	○	2		○				1		1		1	共同 共同 共同
		水理学Ⅱ	2後	○	2		○									
		水環境システム工学	2後	○	2		○				1					
		鉄筋コンクリート工学	2後	○		2	○				1					共同 共同 共同
		廃棄物資源循環工学	2後	○		2	○					1				
		建設生産システム分析	2後	○		2	○					2				
		居住環境計画	2後	○		2	○				1					オムニバス、共同 オムニバス、共同
		建築空間史A	2後	○		2	○					1				
		建築都市デザイン演習Ⅰ	2後	○		4		○		2	1		1		1	
		都市基盤工学実験	3前	○	4				○	3		2				オムニバス、共同 オムニバス、共同
		工業数学Ⅱ	3前	○		2	○			1					1	
		鉄筋コンクリート構造設計	3前	○		2	○			1						
		地盤環境学	3前	○		2	○			1						オムニバス、共同
		構造・材料実験演習	3前	○		2			○	2						
		環境生態工学	3前	○		2	○			1						
		鉄骨構造学	3前	○		2	○			1						共同
		都市解析演習	3前	○		2		○			2					
		環境衛生工学	3前	○		2	○					1				
		地域・建築保全再生学	3前	○		2	○			1						集中 共同 共同
		都市工学インターンシップ	3前	○		2			○	1						
		都市基盤工学ユニット演習	3後	○	4			○		2					2	
		建設環境デザインユニット演習	3後	○	4			○		3	3		1			オムニバス 集中、共同
		構造解析学	3後	○	2		○			1						
		流域水工学	3後	○	2		○			1						
		道路工学	3後	○	2		○					1				オムニバス 集中、共同
		都市防災工学	3後	○	2		○			3					1	
		建設プロジェクト演習	3後	○	2			○		3	1	1				
		建築法制度とデザイン	3後	○	2		○			1						共同
		卒業研究	4通	○	8			○		9	5	2	1			
		小計（42科目）	—	—	32	66	0	—	—	9	7	2	1		7	
教養教育科目	大学入門科目	大学入門科目Ⅰ	1前		2		○			5	4					
		小計（1科目）	—	—	2	0	0	—	—	5	4	0	0	0	0	
	共通基礎科目	外国語科目	英語A	1前	1			○								11
			英語B	1後	1			○								13
			英語C	2前・後	1			○								14
			英語D	2前・後	1			○								3
			実践日本語C	1後		1		○								1
			実践日本語D	1前		1		○								1
			実践日本語E	2後		1		○								1
			実践日本語F	2前		1		○								1
		小計（8科目）	—	—	4	4	0	—	—	0	0	0	0	0	0	23
	情報リテラシー科目	情報基礎概論	1前		2		○			2	3					
		小計（1科目）	—	—	2	0	0	—	—	2	3	0	0	0	0	0
	自然科学与技術の分野	基礎自然科学	基礎自然科学													
			Introduction to Science	1・2後		2	○			4	4	2	1			オムニバス
			物理の世界Ⅰ	1・2前		2	○			1						
			物理の世界Ⅱ	1・2後		2	○			1						
			化学の世界A	1・2後		2	○			2						オムニバス オムニバス オムニバス
			化学の世界B	1・2前		2	○			1	1					
			実験化学Ⅰ	1・2前		2	○			2	1		1		1	
			実験化学Ⅱ	1・2後		2	○			3	1		1			オムニバス 隔年
			地学の世界	1・2後		2	○									
			数理の世界	1・2後		2	○				1					
			原子の発見	1・2後		2	○				1					オムニバス オムニバス
			自然科学・技術の現代的諸相													
			情報科学の世界Ⅰ	1・2前		2	○			1	1					
			情報科学の世界Ⅱ	1・2前・後		2	○			2						オムニバス オムニバス
			機械工学の世界A	1・2後		2	○			2						
			機械工学の世界B	1・2前		2	○			2						
			電気電子工学の世界A	1・2前		2	○				1					隔年 標準外
			電気電子工学の世界B	1・2後		2	○			1						
			都市と生活	1・2前		2	○			1						
			インタラクティブコンテンツ入門	1・2後		2	○								1	オムニバス・共同（一部） 共同
			環境をはかる	1・2後		2	○			1						
			肥前セラミック学	1・2前		2	○			3	1	1	1		8	
			AI・数理・データサイエンスⅠ	1・2前		2	○			2					1	

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	主要授 業科目	単位数			授業形態			専任教員等の配置						備考
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	基幹（助手を除く） 教員以外の教員	
教養教育科目	自然科学と技術の分野	AI・数理・データサイエンスⅡ	1・2後		2		○				1				1	共同
		農学の世界A	1・2前		2		○								1	
		農学の世界B	1・2後		2		○								1	
		STEAM学習基礎	1・2後		2		○								1	
		生物科学・生命科学														
		生物科学の世界A	1・2前		2		○								2	オムニバス
		生物科学の世界B	1・2前		2		○								1	
		栄養科学A	1・2前		2		○								1	標準外・メディア
		栄養科学B	1・2後		2		○								1	標準外・メディア
		栄養科学C	1・2後		2		○								2	標準外・メディア
		生命科学の基礎A	1・2後		2		○								5	オムニバス
		生命科学の基礎B	1・2前		2		○								2	オムニバス
		生命科学の基礎C	1・2前		2		○								15	オムニバス・共同（一部）
		生命科学の基礎F	1・2後		2		○								3	オムニバス
		自然科学と技術の分野特別講義														
		九州・沖縄学Ⅱ	1・2後		2		○								3	標準外・メディア
		小計（35科目）	—	—	0	70	0	—	—	23	11	3	4	0	45	
	基本教養科目	言語と文化														
		ドイツの言語と文化Ⅰ	1・2前		2		○								1	
		ドイツの言語と文化Ⅱ	1・2後		2		○								1	
		フランスの言語と文化Ⅰ	1・2前		2		○								1	
		フランスの言語と文化Ⅱ	1・2後		2		○								1	
		中国の言語と文化Ⅰ	1・2前		2		○								1	
		中国の言語と文化Ⅱ	1・2後		2		○								1	
		韓国・朝鮮の言語と文化Ⅰ	1・2前		2		○								1	
		韓国・朝鮮の言語と文化Ⅱ	1・2後		2		○								1	
		Western Culture	1・2前		2		○								1	
		Intensive EnglishⅠ	1・2前		2		○								2	
		Intensive EnglishⅡ	1・2後		2		○								2	
		アカデミック英語	1・2後		1		○								1	
		ビジネス英語	1・2後		1		○								1	
		アカデミック独語	1・2前・後		1		○								1	
		ドイツ文学A	1・2前		1		○								1	
		ドイツ文学B	1・2後		1		○								1	
		ドイツ文化論A	1・2前		2		○								1	
		ドイツ文化論B	1・2後		2		○								1	
		文学と芸術														
		欧米の文化・文学	1・2前・後		2		○								1	
		芸術論	1・2前		2		○								2	隔年・オムニバス
		言語と表現														
		日本語学	1・2前		2		○								1	
		コミュニケーション論	1・2前・後		2		○								2	共同・標準外・メディア
		Critical Thinking for the Modern Age	1・2前		2		○								1	
		Cultural Metaphors	1・2後		2		○								1	
		歴史と文化														
		哲学・倫理学	1・2後		2		○								1	隔年
		考古学	1・2前		2		○								1	隔年
		日本史	1・2前・後		2		○								1	
		西洋史	1・2前・後		2		○								1	
		人類学	1・2前		2		○								2	オムニバス
		スポーツウェルネスの世界	1・2前・後		2		○								1	
		近代サッカーの成立と進歩	1・2後		2		○								1	
		サッカーの歴史と技法	1・2前		2		○								1	
		柔道の歴史と技法	1・2後		2		○								1	
		哲学の世界	1・2後		2		○								1	
		地域史	1・2後		2		○								1	標準外・メディア
		宗教学	1・2後		2		○								1	隔年
		文化の分野特別講義														
		九州・沖縄学Ⅰ	1・2前		2		○								1	標準外・メディア
		小計（37科目）	—	—	0	69	0	—	—	0	0	0	0	0	29	
	現代社会の分野	基礎社会科学														
		経済学	1・2前・後		2		○								1	
		会計学	1・2後		2		○								1	
		経営学	1・2前		2		○								2	
		法律学	1・2前		2		○								6	オムニバス

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	主要授 業科目	単位数			授業形態			専任教員等の配置						備考
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	基幹（助手を除く） 教員以外の教員	
教養教育科目	現代社会の分野	政治学	1・2後		2		○								1	オムニバス
		日本国憲法	1・2前・後		2		○								1	
		現代社会の法と政治	1・2前		2		○								1	
		地理学	1・2前		2		○								1	
		Introduction to Sociology	1・2前		2		○								1	
		社会思想	1・2後		2		○								1	
		教育と人間														
		教育と人生	1・2後		2		○								1	
		心理学A	1・2前・後		2		○								1	
		心理学B	1・2後		2		○								1	
		健康科学A	1・2前・後		2		○								2	
		健康科学B	1・2後		2		○								2	
		スポーツと健康	1・2前		2		○								1	
		Citizenship Education	1・2後		2		○								1	
		Life in the Global World	1・2前		2		○								1	
		情報メディアと倫理	1・2前・後		2		○			1	1				1	
		心の病と癒しのプロセス	1・2後		2		○								1	
		心身の発達過程	1・2前		2		○								1	
		情報メディアコミュニケーション	1・2前・後		2		○								2	
		Aspects of Modern Society	1・2後		2		○								1	
		プレゼンテーション・デザイン	1・2前・後		2		○								1	
		現代教育学	1・2後		2		○								8	
		教育学A	1・2後		2		○								1	
		教育学B	1・2前		2		○								1	
		教育学C	1・2後		2		○								1	
		体育実技Ⅰ	1・2前・後		1			○							3	
		体育実技Ⅱ	1・2前・後		1			○							4	
		現代社会の諸相														
		ジャーナリズムの現在	1・2後		2		○								1	
		アジアコミュニティ論	1・2後		2		○								1	
		知的財産学	1・2後		2		○			1						
		環境科学Ⅰ	1・2前		2		○								2	
		環境科学Ⅲ	1・2後		2		○								2	
		インストラクショナル・デザイン	1・2前・後		2		○								2	
		国際社会学	1・2後		2		○								1	
		現代社会の分野特別講義														
		グローバル化と証券投資	1・2前		2		○								1	
		西洋近代社会思想史	1・2前		2		○								1	
		多文化社会論	1・2前		2		○								1	
		経営工学からみたマネジメント	1・2後		2		○								1	
		金融リテラシーと生命保険	1・2後		2		○								1	
		小計（42科目）	—	—	0	82	0	—	—	2	1	0	0	0	49	
	総合科目	海外交流実習	1・2前・後		2				○						2	標準外
		キャリアデザイン	1・2後		2		○								1	
		グループワークの技法と実践	1・2後		2			○							1	
		データサイエンスへの招待	3前		2		○								1	
		チャレンジ・インターンシップA	1・2前・後		2			○		1						
		チャレンジ・インターンシップB	2通		2			○							1	
		ライフデザインとセルフ・リーダーシップ	1・2前		2		○								1	
		Online Immersion Program	1・2前		2										1	
		Overseas Practicum	1・2後		2										1	
		データサイエンスBasicⅠ	1・2後		1		○			1					2	
		データサイエンスBasicⅡ	1・2後		1		○			1					2	
		小計（11科目）	—	—	0	20	0	—	—	1	0	0	0	0	8	
	外国人留学生 用科目	日本事情－自然科学と技術の分野	1後		2		○			1						隔年
		日本事情－文化の分野	1前		2		○								1	
		日本事情－現代社会	1後		2		○								1	
		小計（3科目）	—	—	0	6	0	—	—	1	0	0	0	0	2	
	インターフェース 環境コース	機械工学と環境Ⅰ	2前		2		○			1	1				1	オムニバス オムニバス オムニバス オムニバス・共同（一部）
		機械工学と環境Ⅱ	2後		2		○			2	2					
		機械工学と環境Ⅲ	3前		2		○			1	5					
		機械工学と環境Ⅳ	3後		2		○			1	3	1				
		エレクトロニクスと環境Ⅰ	2前		2		○				1					
		エレクトロニクスと環境Ⅱ	2後		2		○			1						
		エレクトロニクスと環境Ⅲ	3前		2		○			1						

科目 区分			授業科目の名称	配当年次	主要授 業科目	単位数			授業形態			専任教員等の配置						備考	
						必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験・実 習	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	基 幹 （ 助 手 以 外 の 教 員		
教養教育科目	環境 コー ス	エレクトロニクスと環境Ⅳ	3後			2		○			1								
		佐賀の環境Ⅰ	2前			2		○				1					2	オムニバス	
		佐賀の環境Ⅱ	2後			2		○				1					3	共同・標準外	
		佐賀の環境Ⅲ	3前			2		○									5	オムニバス	
		佐賀の環境Ⅳ	3後			2		○									5	オムニバス	
		小計（12科目）	—	—	0	24	0	—			8	13	1	0	0	0	10		
	文化と共生 コー ス	異文化交流Ⅰ	2前			2		○										1	
		異文化交流Ⅱ	2後			2		○										1	
		異文化交流Ⅲ	3前			2		○										1	
		異文化交流Ⅳ	3後			2		○										1	
		Intercultural CommunicationⅠ	2前			2		○										2	
		Intercultural CommunicationⅡ	2後			2		○										1	標準外
		Intercultural CommunicationⅢ	3前			2		○										2	
		Intercultural CommunicationⅣ	3後			2		○										2	
		肥前陶磁器産業体験Ⅰ	2前			2		○										1	
		肥前陶磁器産業体験Ⅱ	2前			2		○										2	共同・標準外
		肥前陶磁器産業体験Ⅲ	3前			2		○										4	共同
		肥前陶磁器産業体験Ⅳ	3後			2		○										4	共同
		ドイツ語とドイツ語圏の歴史・文化Ⅰ	2前			2		○										1	
		ドイツ語とドイツ語圏の歴史・文化Ⅱ	2後			2		○										1	
		ドイツ語とドイツ語圏の歴史・文化Ⅲ	3前			2		○										1	
		ドイツ語とドイツ語圏の歴史・文化Ⅳ	3後			2		○										1	
		芸術と社会Ⅰ	2前			2		○										5	オムニバス
		芸術と社会Ⅱ	2後			2		○										3	オムニバス・標準外
		芸術と社会Ⅲ	3前			2		○										5	オムニバス
		芸術と社会Ⅳ	3後			2		○										4	オムニバス
		歴史文化Ⅰ	2前			2		○										1	
		歴史文化Ⅱ	2後			2		○										1	
	歴史文化Ⅲ	3前			2		○										1		
	歴史文化Ⅳ	3後			2		○										1		
	英語コミュニケーションⅠ	2前			2		○										2		
	英語コミュニケーションⅡ	2後			2		○										2		
	英語コミュニケーションⅢ	3前			2		○										2		
	英語コミュニケーションⅣ	3後			2		○										2		
		小計（28科目）	—	—	0	56	0	—			0	0	0	0	0	0	36		
	生活と科学 コー ス	未来を拓く材料の科学Ⅰ	2前			2		○			1	1		2				1	オムニバス
		未来を拓く材料の科学Ⅱ	2後			2		○			2							1	オムニバス
		未来を拓く材料の科学Ⅲ	3前			2		○			5							1	オムニバス
		未来を拓く材料の科学Ⅳ	3後			2		○			1	2		3					オムニバス・共同（一部）
		情報技術者キャリアデザインⅠ	2前			2		○				1		1					共同
		情報技術者キャリアデザインⅡ	3前			2		○			2	1							オムニバス
		情報技術者キャリアデザインⅢ	3前・後			2		○				1							
		情報技術者キャリアデザインⅣ	3後			2		○			1								
		2年間でできる「がばいベンチャー」 の作り方Ⅰ	2前			2		○										1	
		2年間でできる「がばいベンチャー」 の作り方Ⅱ	2後			2		○										1	
		2年間でできる「がばいベンチャー」 の作り方Ⅲ	3前			2		○										1	
		2年間でできる「がばいベンチャー」 の作り方Ⅳ	3後			2		○										1	
食糧生産の科学Ⅰ		2前			2		○										1	オムニバス	
食糧生産の科学Ⅱ		2後			2		○										4	オムニバス	
食糧生産の科学Ⅲ		3前			2		○										4	オムニバス	
食糧生産の科学Ⅳ		3後			2		○										6	オムニバス	
ライフサイエンス・フードサイエンスⅠ		2前			2		○										4	オムニバス	
ライフサイエンス・フードサイエンスⅡ		2後			2		○										4	オムニバス・共同（一部）	
ライフサイエンス・フードサイエンスⅢ		3前			2		○										5	オムニバス	
ライフサイエンス・フードサイエンスⅣ		3後			2		○										5	オムニバス	
	小計（20科目）	—	—	0	40	0	—			15	7	0	4	0	0	34			

科目 区分		授業科目の名称	配当年次	主要授 業科目	単位数			授業形態			専任教員等の配置						備考
					必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験・ 実習	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	基 幹 （ 助 手 以 外 の 教 員	
教養教育科目	人間と社会コース	チームビルディングとリーダーシップⅠ	2前		2		○									3	共同
		チームビルディングとリーダーシップⅡ	2後		2		○									4	共同
		チームビルディングとリーダーシップⅢ	3前		2		○									3	共同
		チームビルディングとリーダーシップⅣ	3後		2		○									3	共同
		リサーチ・リテラシーⅠ	2前		2		○									1	
		リサーチ・リテラシーⅡ	2後		2		○									1	
		リサーチ・リテラシーⅢ	3前		2		○									1	
		リサーチ・リテラシーⅣ	3後		2		○									3	
		スポーツイベントとボランティアリーダーⅠ	2前		2		○									1	
		スポーツイベントとボランティアリーダーⅡ	2後		2		○									2	共同
		スポーツイベントとボランティアリーダーⅢ	3前		2		○									2	共同
		スポーツイベントとボランティアリーダーⅣ	3後		2		○									2	共同
		小計（12科目）	—	—	0	24	0	—		0	0	0	0	0	8		
	医療・福祉と社会コース	現代社会と医療Ⅰ	1前		2		○									1	
		現代社会と医療Ⅱ	1前		2		○									1	
		現代社会と医療Ⅲ	1後		2		○									2	共同
		現代社会と医療Ⅳ	1後		2		○									1	
		食と健康Ⅰ	1前		2		○									5	オムニバス
		食と健康Ⅱ	1前		2		○									1	
		食と健康Ⅲ	1後		2		○									1	
		食と健康Ⅳ	1後		2		○									7	オムニバス
		ライフサイクルからみた医療Ⅰ	1前		2		○									5	オムニバス
		ライフサイクルからみた医療Ⅱ	1前		2		○									1	
		ライフサイクルからみた医療Ⅲ	1後		2		○									1	
		ライフサイクルからみた医療Ⅳ	1後		2		○									1	
		小計（12科目）	—	—	0	24	0	—		0	0	0	0	0	23		
	地域・佐賀学コース	佐賀の歴史文化Ⅰ	2前		2		○									1	
		佐賀の歴史文化Ⅱ	2後		2		○									1	
		佐賀の歴史文化Ⅲ	3前		2		○									1	
		佐賀の歴史文化Ⅳ	3後		2		○									1	
		地域経済と社会Ⅰ	2前		2		○									1	
		地域経済と社会Ⅱ	2後		2		○									1	
		地域経済と社会Ⅲ	3前		2		○									1	
		地域経済と社会Ⅳ	3後		2		○									1	
		佐賀SDGsグローバルアクションⅠ	2前		2		○									4	オムニバス
		佐賀SDGsグローバルアクションⅡ	2後		2		○									3	共同
		佐賀SDGsグローバルアクションⅢ	3前		2		○				2					2	オムニバス
		佐賀SDGsグローバルアクションⅣ	3後		2		○				2					2	共同
		小計（12科目）	—	—	0	24	0	—		2	0	0	0	0	13		
	共通	インターフェース演習	3前		2			○									標準外
	小計（1科目）	—	—	0	2	0	—										
合計（322科目）			—	—	65	562	4	—		44	47	5	3		229	—	
学位又は称号		学士（工学）			学位又は学科の分野				工学関係								
卒業要件及び履修方法									授業期間等								
教養教育科目28単位以上、専門教育科目（必修科目66単位を含む）96単位以上、合計124単位以上を修得すること。									1学年の学期区分				2学期				
									1学期の授業期間				15週				
									1時限の授業時間				90分				

教 育 課 程 等 の 概 要																		
(理工学部理工学科 建築環境デザインコース) 【既設】																		
科目 区分		授業科目の名称	配当年次	主要授 業科目	単位数			授業形態			専任教員等の配置						備考	
					必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験・ 実習	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	基 幹 （ 助 手 以 外 の 教 員		
学部共通基礎科目		理工リテラシーS1	1通	○	1					○	3	8					オムニバス 集中講義 集中講義	
		理工リテラシーS2	2通	○	1					○		1						
		理工リテラシーS3	3通	○	1					○		1						
		サブフィールドPBL	2後	○	3				○		4	5	1					
		AI・数理・データサイエンスリテラシーS	3通	○	1			○			1	1						
		AI・数理・データサイエンスリテラシーL	3通	○	2			○			1	1						
		理工キャリア教育プログラムS	2前・後	○		1				○	5	2						
		理工キャリア教育プログラムL	2前・後	○		2				○	5	2						
		理工特別セミナー(半導体概論)	1前	○		2		○			2							
		理工特別セミナー(量子物理学の発展)	2前	○		2		○			1	1						
		微分積分学基礎演習Ⅰ	1前				1		○		6	5						
		線形代数学基礎演習Ⅰ	1前				1		○		2	2						
		微分積分学基礎演習Ⅱ	1後				1		○		6	5						
		線形代数学基礎演習Ⅱ	1後				1		○		4	3						
		小計(14科目)	—	—	9	7	4	—			18	19	1			3		
学部共通専門科目		微分積分学Ⅰa	1前	○		2		○				2					オムニバス	
		微分積分学Ⅰb	1前	○		2		○			1	2						
		線形代数学Ⅰa	1前	○		2		○					1					
		線形代数学Ⅰb	1前	○		2		○				1						
		物理学概説	1前	○	2			○				1						
		化学概説	1前	○	2			○			5	1						
		生物学概説	1前	○	2			○				1						
		データサイエンスⅠ	1前	○	2			○			2	3						
		理工概論	1前	○	2			○			10	4						
		小計(9科目)	—	—	10	8	0	—			14	15	1					
専門教育科目	コース類共通専門科目	微分積分学Ⅱa	1後	○		2		○				2					オムニバス オムニバス オムニバス オムニバス オムニバス 共同	
		微分積分学Ⅱb	1後	○		2		○			1	1						
		線形代数学Ⅱa	1後	○		2		○			1							
		線形代数学Ⅱb	1後	○		2		○				1						
		物理演習	1後	○	1				○			2						
		化学演習	1後	○	1				○		1	3		1				
		コンピュータプログラミング	1後	○	2			○			1							
		データサイエンスⅡ	1後	○	2			○				1						
		応用数理科学	1後	○		2		○			1							
		データサイエンス入門	1後	○		2		○			1	1						
		知能情報システム工学入門	1後	○		2		○			1	1						
		情報ネットワーク工学入門	1後	○		2		○				1						1
		基礎化学A	1後	○		2		○				2		1				
		基礎化学B	1後	○		2		○			1	1						
		基礎力学	1後	○		2		○			1							
		現代物理学	1後	○		2		○			2	2						
		機械システム工学概論	1後	○		2		○			2	6						
		機械エネルギー工学概論	1後	○		2		○				7	1					
		基礎電気回路	1後	○		2		○			4	4						1
		基礎電磁気学	1後	○		2		○			1							
		建設力学基礎	1後	○		2		○			2							1
		空間設計基礎	1後	○		2		○			1			1				
	小計(22科目)	—	—	6	36	0	—			19	29	1	3		3			
専門科目		基礎設計製図演習	2前	○	2				○		1			1			共同 オムニバス 集中、オムニバス オムニバス、共	
		現代建築とデザイン	2前	○	2			○				1						
		建築環境工学Ⅰ	2前	○	2			○				1						
		構造力学演習Ⅰ	2前	○	2				○		1							
		建設材料学	2前	○	2			○			1							
		都市計画	2前	○	2			○				1						
		技術者倫理	2前	○		2		○								1		
		測量学	2前	○		2		○					1					
		地盤工学Ⅰ	2前	○		2		○					1					
		水理学Ⅰ	2前	○		2		○			2							
		建設技術総合演習	2通	○		2			○		2	1	1					
		工業数学Ⅰ	2前	○		2		○				1						
		建築都市デザイン演習Ⅰ	2後	○	4				○		2	1		1		1		

[illegible]

教養教育科目	基本教養科目	自然科学と技術の分野	栄養科学A	1・2前		2	○								1	標準外・メディア
			栄養科学B	1・2後		2	○								1	標準外・メディア
			栄養科学C	1・2後		2	○								2	標準外・メディア
			生命科学の基礎A	1・2後		2	○								5	オムニバス
			生命科学の基礎B	1・2前		2	○								2	オムニバス
			生命科学の基礎C	1・2前		2	○								15	オムニバス・共同（一部）
			生命科学の基礎F	1・2後		2	○								3	オムニバス
			自然科学と技術の分野特別講義													
			九州・沖縄学Ⅱ	1・2後		2	○								3	標準外・メディア
		小計（35科目）		—	—	0	70	0	—		23	11	3	4	0	45
		文化の分野	言語と文化													
			ドイツの言語と文化Ⅰ	1・2前		2	○								1	
			ドイツの言語と文化Ⅱ	1・2後		2	○								1	
			フランスの言語と文化Ⅰ	1・2前		2	○								1	
			フランスの言語と文化Ⅱ	1・2後		2	○								1	
			中国の言語と文化Ⅰ	1・2前		2	○								1	
			中国の言語と文化Ⅱ	1・2後		2	○								1	
			韓国・朝鮮の言語と文化Ⅰ	1・2前		2	○								1	
			韓国・朝鮮の言語と文化Ⅱ	1・2後		2	○								1	
			Western Culture	1・2前		2	○								1	
			Intensive EnglishⅠ	1・2前		2	○								2	
			Intensive EnglishⅡ	1・2後		2	○								2	
			アカデミック英語	1・2後		1	○								1	
			ビジネス英語	1・2後		1	○								1	
			アカデミック独語	1・2前・後		1	○								1	
			ドイツ文学A	1・2前		1	○								1	
			ドイツ文学B	1・2後		1	○								1	
			ドイツ文化論A	1・2前		2	○								1	
			ドイツ文化論B	1・2後		2	○								1	
			文学と芸術													
			欧米の文化・文学	1・2前・後		2	○								1	
			芸術論	1・2前		2	○								2	隔年・オムニバス
			言語と表現													
			日本語学	1・2前		2	○								1	
			コミュニケーション論	1・2前・後		2	○								2	共同・標準外・メディア
			Critical Thinking for the Modern Age	1・2前		2	○								1	
			Cultural Metaphors	1・2後		2	○								1	
			歴史と文化													
			哲学・倫理学	1・2後		2	○								1	隔年
			考古学	1・2前		2	○								1	隔年
			日本史	1・2前・後		2	○								1	
			西洋史	1・2前・後		2	○								1	
			人類学	1・2前		2	○								2	オムニバス
			スポーツウェルネスの世界	1・2前・後		2	○								1	
			近代サッカーの成立と進歩	1・2後		2	○								1	
			サッカーの歴史と技法	1・2前		2	○								1	
			柔道の歴史と技法	1・2後		2	○								1	
			哲学の世界	1・2後		2	○								1	
			地域史	1・2後		2	○								1	標準外・メディア
			宗教学	1・2後		2	○								1	隔年
			文化の分野特別講義													
			九州・沖縄学Ⅰ	1・2前		2	○								1	標準外・メディア
		小計（37科目）		—	—	0	69	0	—		0	0	0	0	0	29
		現代社会の分野	基礎社会科学													
			経済学	1・2前・後		2	○								1	
			会計学	1・2後		2	○								1	
			経営学	1・2前		2	○								2	
			法律学	1・2前		2	○								6	オムニバス
			政治学	1・2後		2	○								1	
			日本国憲法	1・2前・後		2	○								1	
			現代社会の法と政治	1・2前		2	○								1	
			地理学	1・2前		2	○								1	
			Introduction to Sociology	1・2前		2	○								1	
			社会思想	1・2後		2	○								1	
			教育と人間													
			教育と人生	1・2後		2	○								1	
			心理学A	1・2前・後		2	○								1	
			心理学B	1・2後		2	○								1	
			健康科学A	1・2前・後		2	○								2	
			健康科学B	1・2後		2	○								2	オムニバス
			スポーツと健康	1・2前		2	○								1	
			Citizenship Education	1・2後		2	○								1	

教養教育科目	基本教養科目	現代社会の分野	Life in the Global World	1・2前		2	○			1	1					1	
			情報メディアと倫理	1・2前・後		2	○										
			心の病と癒しのプロセス	1・2後		2	○									1	隔年
			心身の発達過程	1・2前		2	○									1	
			情報メディアコミュニケーション	1・2前・後		2	○									2	共同・メディア
			Aspects of Modern Society	1・2後		2	○									1	
			プレゼンテーション・デザイン	1・2前・後		2	○									1	
			現代教育学	1・2後		2	○									8	オムニバス・共同（一部）
			教育学A	1・2後		2	○									1	
			教育学B	1・2前		2	○									1	
			教育学C	1・2後		2	○									1	
			体育実技Ⅰ	1・2前・後		1		○								3	共同（一部）
			体育実技Ⅱ	1・2前・後		1		○								4	共同（一部）
			現代社会の諸相														
			ジャーナリズムの現在	1・2後		2	○									1	
			アジアコミュニティ論	1・2後		2	○									1	
			知的財産学	1・2後		2	○			1							標準外・メディア
			環境科学Ⅰ	1・2前		2	○									2	オムニバス・標準外・メディア
			環境科学Ⅲ	1・2後		2	○									2	オムニバス・標準外・メディア
			インスタラショナル・デザイン	1・2前・後		2	○									2	共同・標準外・メディア
			国際社会学	1・2後		2	○									1	
			現代社会の分野特別講義														
			グローバル化と証券投資	1・2前		2	○									1	標準外
			西洋近代社会思想史	1・2前		2	○									1	
			多文化社会論	1・2前		2	○									1	
			経営工学からみたマネジメント	1・2後		2	○									1	
			金融リテラシーと生命保険	1・2後		2	○									1	
			小計（42科目）	—	—	0	82	0	—	2	1	0	0	0	0	49	
	総合科目		海外交流実習	1・2前・後		2			○							2	標準外
			キャリアデザイン	1・2後		2	○									1	
			グループワークの技法と実践	1・2後		2		○								1	
			データサイエンスへの招待	3前		2	○									1	
			チャレンジ・インターンシップA	1・2前・後		2		○		1							標準外
			チャレンジ・インターンシップB	2通		2		○								1	標準外
			ライフデザインとセルフ・リーダーシップ	1・2前		2	○									1	
			Online Immersion Program	1・2前		2										1	標準外・メディア
			Overseas Practicum	1・2後		2										1	標準外
			データサイエンスBasicⅠ	1・2後		1	○			1						2	共同・標準外・メディア
			データサイエンスBasicⅡ	1・2後		1	○			1						2	共同・標準外・メディア
			小計（11科目）	—	—	0	20	0	—	1	0	0	0	0	0	8	
	外国人留学生用科目		日本事情－自然科学と技術の分野	1後		2	○			1							隔年
			日本事情－文化の分野	1前		2	○									1	隔年
			日本事情－現代社会	1後		2	○									1	隔年
			小計（3科目）	—	—	0	6	0	—	1	0	0	0	0	0	2	
	インターフェース科目	環境コース	機械工学と環境Ⅰ	2前		2	○			1	1					1	オムニバス
			機械工学と環境Ⅱ	2後		2	○			2	2						オムニバス
			機械工学と環境Ⅲ	3前		2	○			1	5						オムニバス
			機械工学と環境Ⅳ	3後		2	○			1	3	1					オムニバス・共同（一部）
			エレクトロニクスと環境Ⅰ	2前		2	○				1						
			エレクトロニクスと環境Ⅱ	2後		2	○			1							
			エレクトロニクスと環境Ⅲ	3前		2	○			1							
			エレクトロニクスと環境Ⅳ	3後		2	○			1							
			佐賀の環境Ⅰ	2前		2	○				1					2	オムニバス
			佐賀の環境Ⅱ	2後		2	○				1					3	共同・標準外
			佐賀の環境Ⅲ	3前		2	○									5	オムニバス
			佐賀の環境Ⅳ	3後		2	○									5	オムニバス
			小計（12科目）	—	—	0	24	0	—	8	13	1	0	0	0	10	
		文化と共生コース	異文化交流Ⅰ	2前		2	○									1	
			異文化交流Ⅱ	2後		2	○									1	
			異文化交流Ⅲ	3前		2	○									1	
			異文化交流Ⅳ	3後		2	○									1	
			Intercultural CommunicationⅠ	2前		2	○									2	
			Intercultural CommunicationⅡ	2後		2	○									1	標準外
			Intercultural CommunicationⅢ	3前		2	○									2	
			Intercultural CommunicationⅣ	3後		2	○									2	
			肥前陶磁器産業体験Ⅰ	2前		2	○									1	
			肥前陶磁器産業体験Ⅱ	2前		2	○									2	共同・標準外
			肥前陶磁器産業体験Ⅲ	3前		2	○									4	共同
			肥前陶磁器産業体験Ⅳ	3後		2	○									4	共同
			ドイツ語とドイツ語圏の歴史・文化Ⅰ	2前		2	○									1	
			ドイツ語とドイツ語圏の歴史・文化Ⅱ	2後		2	○									1	
			ドイツ語とドイツ語圏の歴史・文化Ⅲ	3前		2	○									1	

教養教育科目	文化と共生コース	ドイツ語とドイツ語圏の歴史・文化Ⅳ	3後		2	○									1	
		芸術と社会Ⅰ	2前		2	○									5	オムニバス
		芸術と社会Ⅱ	2後		2	○									3	オムニバス・標準外
		芸術と社会Ⅲ	3前		2	○									5	オムニバス
		芸術と社会Ⅳ	3後		2	○									4	オムニバス
		歴史文化Ⅰ	2前		2	○									1	
		歴史文化Ⅱ	2後		2	○									1	
		歴史文化Ⅲ	3前		2	○									1	
		歴史文化Ⅳ	3後		2	○									1	
		英語コミュニケーションⅠ	2前		2	○									2	
		英語コミュニケーションⅡ	2後		2	○									2	
		英語コミュニケーションⅢ	3前		2	○									2	
		英語コミュニケーションⅣ	3後		2	○									2	
		小計（28科目）	—	—	0	56	0	—		0	0	0	0	0	36	
	生活と科学コース	未来を拓く材料の科学Ⅰ	2前		2	○				1	1		2		1	オムニバス
		未来を拓く材料の科学Ⅱ	2後		2	○				2					1	オムニバス
		未来を拓く材料の科学Ⅲ	3前		2	○				5					1	オムニバス
		未来を拓く材料の科学Ⅳ	3後		2	○				1	2		3			オムニバス・共同（一部）
		情報技術者キャリアデザインⅠ	2前		2	○					1		1			共同
		情報技術者キャリアデザインⅡ	3前		2	○				2	1					オムニバス
		情報技術者キャリアデザインⅢ	3前・後		2	○					1					
		情報技術者キャリアデザインⅣ	3後		2	○				1						
		2年間でできる「がばいベンチャー」の作り方Ⅰ	2前		2	○									1	
		2年間でできる「がばいベンチャー」の作り方Ⅱ	2後		2	○									1	
		2年間でできる「がばいベンチャー」の作り方Ⅲ	3前		2	○									1	
		2年間でできる「がばいベンチャー」の作り方Ⅳ	3後		2	○									1	
		食糧生産の科学Ⅰ	2前		2	○									1	オムニバス
		食糧生産の科学Ⅱ	2後		2	○									4	オムニバス
		食糧生産の科学Ⅲ	3前		2	○									4	オムニバス
		食糧生産の科学Ⅳ	3後		2	○									6	オムニバス
		ライフサイエンス・フードサイエンスⅠ	2前		2	○									4	オムニバス
		ライフサイエンス・フードサイエンスⅡ	2後		2	○									4	オムニバス・共同（一部）
		ライフサイエンス・フードサイエンスⅢ	3前		2	○									5	オムニバス
		ライフサイエンス・フードサイエンスⅣ	3後		2	○									5	オムニバス
		小計（20科目）	—	—	0	40	0	—		15	7	0	4	0	34	
	人間と社会コース	チームビルディングとリーダーシップⅠ	2前		2	○									3	共同
		チームビルディングとリーダーシップⅡ	2後		2	○									4	共同
		チームビルディングとリーダーシップⅢ	3前		2	○									3	共同
		チームビルディングとリーダーシップⅣ	3後		2	○									3	共同
		リサーチ・リテラシーⅠ	2前		2	○									1	
		リサーチ・リテラシーⅡ	2後		2	○									1	
		リサーチ・リテラシーⅢ	3前		2	○									1	
		リサーチ・リテラシーⅣ	3後		2	○									3	
		スポーツイベントとボランティアリーダーⅠ	2前		2	○									1	
		スポーツイベントとボランティアリーダーⅡ	2後		2	○									2	共同
		スポーツイベントとボランティアリーダーⅢ	3前		2	○									2	共同
		スポーツイベントとボランティアリーダーⅣ	3後		2	○									2	共同
		小計（12科目）	—	—	0	24	0	—		0	0	0	0	0	8	
	医療・福祉と社会コース	現代社会と医療Ⅰ	1前		2	○									1	
		現代社会と医療Ⅱ	1前		2	○									1	
		現代社会と医療Ⅲ	1後		2	○									2	共同
		現代社会と医療Ⅳ	1後		2	○									1	
		食と健康Ⅰ	1前		2	○									5	オムニバス
		食と健康Ⅱ	1前		2	○									1	
		食と健康Ⅲ	1後		2	○									1	
		食と健康Ⅳ	1後		2	○									7	オムニバス
		ライフサイクルからみた医療Ⅰ	1前		2	○									5	オムニバス
		ライフサイクルからみた医療Ⅱ	1前		2	○									1	
		ライフサイクルからみた医療Ⅲ	1後		2	○									1	
		ライフサイクルからみた医療Ⅳ	1後		2	○									1	
		小計（12科目）	—	—	0	24	0	—		0	0	0	0	0	23	

教養教育科目	イン ター フ ェ ー ス 科 目	地 域 ・ 佐 賀 学 科 ス	佐賀の歴史文化Ⅰ	2前		2		○								1	オムニバス 共同 オムニバス 共同
			佐賀の歴史文化Ⅱ	2後		2		○								1	
			佐賀の歴史文化Ⅲ	3前		2		○								1	
			佐賀の歴史文化Ⅳ	3後		2		○								1	
			地域経済と社会Ⅰ	2前		2		○								1	
			地域経済と社会Ⅱ	2後		2		○								1	
			地域経済と社会Ⅲ	3前		2		○								1	
			地域経済と社会Ⅳ	3後		2		○								1	
			佐賀SDGsグローバルアクションⅠ	2前		2		○								4	
			佐賀SDGsグローバルアクションⅡ	2後		2		○								3	
			佐賀SDGsグローバルアクションⅢ	3前		2		○			2					2	
			佐賀SDGsグローバルアクションⅣ	3後		2		○			2					2	
	小計（12科目）	—	—	0	24	0	—		2	0	0	0	0	13			
	共 通	インターフェース演習	3前		2			○								標準外	
		小計（1科目）	—	—	0	2	0	—									
	合計（322科目）				—	—	65	562	4	—		44	47	5	3		229
学位又は称号		学士（工学）				学位又は学科の分野				工学関係							
卒業要件及び履修方法										授業期間等							
教養教育科目28単位以上、専門教育科目（必修科目66単位を含む）96単位以上、合計124単位以上を修得すること。										1 学年の学期区分				2 学期			
										1 学期の授業期間				1 5 週			
										1 時限の授業時間				9 0 分			

教 育 課 程 等 の 概 要 （農学部生物資源科学科 生物科学コース）【既設】																
科目 区分	授業科目の名称	配当年次	主要授 業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置						備考
				必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験・実 習	教授	准 教授	講 師	助 教	助 手	基 幹 教 員 以 外 （助手を除く）	
学部 基礎 科目	生物学	1前	○	2			○			3	2					オムニバス
	物理学	1前	○	2			○				1				1	オムニバス
	化学	1前	○	2			○			1	1	1				オムニバス
	基礎数学	1前	○		2		○								1	
	基礎統計学	1前	○		2		○								1	
	小計（5科目）	—	—	6	4	0	—			4	4	1	0	0	3	
	アグリキャリアデザイン	1前	○	2			○			2	1					オムニバス
	農学概論	1後	○	2			○			5	9		1		1	オムニバス
	農業ICT学	1後	○	2			○			2	1					オムニバス
	生物化学	1後	○		2		○			3						オムニバス
	栽培学汎論	1後	○		2		○			2						オムニバス
	土壌学	1後	○		2		○				1					オムニバス
	生物統計学	1後	○		2		○						1			
	農業経済学	1後	○		2		○			1						
	食品科学	1後	○		2		○			9	5	1	4			オムニバス
	小計（9科目）	—	—	6	12	0	—			17	15	1	4	0	0	
	生物科学概論Ⅰ	2前	○	2			○			9	4				1	オムニバス
	生物科学概論Ⅱ	2後	○	2			○			4	4	1	2		1	オムニバス
	応用動物昆虫学	2前	○	2			○			2					1	オムニバス
	植物生理学	2前	○	2			○			2					1	オムニバス
	遺伝学	2前	○	2			○				2					オムニバス
	食用作物学	2後	○	2			○			2	1					オムニバス
	園芸学	2前	○	2			○			3	1	1				オムニバス
	生物学実験	2前	○	1					○	8	4	1	1		1	オムニバス
	フィールド科学基礎実習Ⅰ	2前	○	1					○	1	3					共同
	群集生態学	2前	○		2		○			1						隔年
	昆虫学	2後	○		2		○								1	集中
	線虫学	2前	○		2		○			1						
	微生物学	2前	○		2		○			1						
	植物育種学	2後	○	2			○				2					オムニバス
	植物病理学	2後	○	2			○			1						
	畜産学	2後	○	2			○				2				1	オムニバス
	行動生態学	2後	○		2		○			1						メディア・隔年
	植物栄養学	2後	○		2		○				1					
	熱帯作物学	2後	○		2		○			1	1					オムニバス
	蔬菜花卉園芸学	2後	○		2		○			2		1				オムニバス
	果樹園芸学	2後	○		2		○			1	1					オムニバス
	動物繁殖生理学	2後	○		2		○				1					
	環境保全型農業論	2後	○		2		○				1	1				オムニバス
	応用化学実験	2後	○	1					○	5	1	1	1			オムニバス
	応用生物学実験	2後	○	1					○	4	4					オムニバス
	フィールド科学基礎実習Ⅱ	2後	○	1					○	1	3					共同
専門 教育 科目	有機化学	3前	○		2		○									
	植物代謝解析学実験Ⅰ	3前	○		1				○						1	
	果樹園芸学実験Ⅰ	3前	○		1				○	1						
	熱帯作物改良学実験Ⅰ	3前	○		1				○	1	1					オムニバス
	蔬菜花卉園芸学実験Ⅰ	3前	○		1				○	2						オムニバス
	植物分子育種学実験Ⅰ	3前	○		1				○		1					
	動物資源開発学実験Ⅰ	3前	○		1				○							
	植物病理学実験Ⅰ	3前	○		1				○	1						
	線虫学実験Ⅰ	3前	○		1				○	1						
	生態学実験Ⅰ	3前	○		1				○	1						
	作物学実験Ⅰ	3前	○		1				○	1	1					共同
	遺伝資源フィールド科学実験Ⅰ	3前	○		1				○	1	3	1				
	科学英語	3前	○	2				○		9	7	1			1	
	食品化学	3後	○		2		○			1	1	1				オムニバス
	動物飼養管理学	3前	○		2		○				1					
	インターンシップ S	3前・後	○		1				○	10	7	1	2			集中
	農業気象学	3前	○		2		○								1	隔年・集中
	農業ビジネスマネジメント学	3前	○		2		○			1						

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	主要授 業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置						備考
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	基幹教員以外 (助手を除く)	
専門教育科目	専門科目	応用微生物学	3前	○	2		○			1						オムニバス オムニバス
		分子遺伝学	3前	○	2		○				1					
		生物有機化学	3前	○	2		○				1					
		施設園芸学	3前	○	2		○			1						
		植物代謝解析学実験Ⅱ	3後	○	1				○							
		果樹園芸学実験Ⅱ	3後	○	1				○	1						
		熱帯作物改良学実験Ⅱ	3後	○	1				○	2	1					
		蔬菜花卉園芸学実験Ⅱ	3後	○	1				○	3						
		植物分子育種学実験Ⅱ	3後	○	1				○		1					
		動物資源開発学実験Ⅱ	3後	○	1				○		1					
		植物病理学実験Ⅱ	3後	○	1				○	1						オムニバス
		線虫学実験Ⅱ	3後	○	1				○	1						
		生態学実験Ⅱ	3後	○	1				○	1						
		作物学実験Ⅱ	3後	○	1				○	2	2		1			
		遺伝資源フィールド科学実験Ⅱ	3後	○	1				○	1	3	1				
		生物科学英語	3後	○	2			○		9	7	1	1		1	集中 メディア
		生物情報処理演習	3後	○	2			○		9	7	1			1	
		動物遺伝育種学	3後	○	2		○									
		インターンシップ L	3前・後	○	2				○	10	7	1	2			
		農業生産機械学	3後	○	2		○				1					
		農薬化学	3後	○	2		○				1					オムニバス
		栄養化学	3後	○	2		○			1						
		分子細胞生物学	3後	○	2		○				1					
		分析化学	3前	○	2		○			1		1				
		生物科学演習Ⅰ	4前	○	2			○		10	7	1				
		生物科学演習Ⅱ	4後	○	2			○		10	7	1	1			オムニバス
		卒業研究	4前・後	○	8			○		10	7	1	2			
		小計（71科目）	—	—	43	77	0	—	—	20	17	2	2	0	3	
教養教育科目	大学入門科目	大学入門科目Ⅰ	1前	—	2		○			5	8	1	1	0	0	オムニバス
		小計（1科目）	—	—	2	0	0	—	—	5	8	1	1	0	0	
		英語A	1前		1			○								
	共通基礎科目	英語B	1後		1			○								
		英語C	2前・後		1			○								
		英語D	2前・後		1			○								
		実践日本語C	1後		1			○								
		実践日本語D	1前		1			○								
		実践日本語E	2後		1			○								
		実践日本語F	2前		1			○								
		小計（8科目）	—	—	4	4	0	—	—	0	0	0	0	0	16	
	情報リテラシー科目	情報基礎概論	1前		2		○			1			1			オムニバス
		情報基礎演習Ⅰ	1前		1			○			1					
		小計（2科目）	—	—	3	0	0	—	—	1	1	0	1	0	0	
	基本教養科目	基礎自然科学														オムニバス
		Introduction to Science	1・2後		2		○									
		物理の世界Ⅰ	1・2前		2		○									
		物理の世界Ⅱ	1・2後		2		○									
		化学の世界A	1・2後		2		○									
		化学の世界B	1・2前		2		○									
		実験化学Ⅰ	1・2前		2		○									
		実験化学Ⅱ	1・2後		2		○									
		地学の世界	1・2後		2		○									
		数理の世界	1・2後		2		○									
		原子の発見	1・2後		2		○									オムニバス 隔年 標準外
		自然科学・技術の現代的諸相														
		情報科学の世界Ⅰ	1・2前		2		○									
		情報科学の世界Ⅱ	1・2前・後		2		○									
		機械工学の世界A	1・2後		2		○									
		機械工学の世界B	1・2前		2		○									
		電気電子工学の世界A	1・2前		2		○									
		電気電子工学の世界B	1・2後		2		○									
		都市と生活	1・2前		2		○									
		インタラクティブコンテンツ入門	1・2後		2		○									
		環境をはかる	1・2後		2		○									
		肥前セラミック学	1・2前		2		○			1						オムニバス・共同（一部）

科目 区分			授業科目の名称	配当年次	主要授 業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置						備考	
						必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	基幹教員以外 (助手を除く)		
教養教育科目	自然科学と技術の分野	AI・数理・データサイエンスⅠ	1・2前			2		○								3	共同		
		AI・数理・データサイエンスⅡ	1・2後			2		○								2	共同		
		農学の世界A	1・2前			2		○				1							
		農学の世界B	1・2後			2		○			1								
		STEAM学習基礎	1・2後			2		○							1				
		生物科学・生命科学																	
		生物科学の世界A	1・2前			2		○			2						オムニバス		
		生物科学の世界B	1・2前			2		○				1							
		栄養科学A	1・2前			2		○								1	標準外・メディア		
		栄養科学B	1・2後			2		○								1	標準外・メディア		
		栄養科学C	1・2後			2		○								2	標準外・メディア		
		生命科学の基礎A	1・2後			2		○								5	オムニバス		
		生命科学の基礎B	1・2前			2		○								2	オムニバス		
		生命科学の基礎C	1・2前			2		○								15	オムニバス・共同（一部）		
		生命科学の基礎F	1・2後			2		○								3	オムニバス		
		自然科学と技術の分野特別講義 九州・沖縄学Ⅱ	1・2後			2		○				3						標準外・メディア	
	小計（35科目）			—	—	0	70	0	—			3	4	0	0	0	79		
	文化の分野	言語と文化																	
		ドイツの言語と文化Ⅰ	1・2前			2		○									1		
		ドイツの言語と文化Ⅱ	1・2後			2		○									1		
		フランスの言語と文化Ⅰ	1・2前			2		○									1		
		フランスの言語と文化Ⅱ	1・2後			2		○									1		
		中国の言語と文化Ⅰ	1・2前			2		○									1		
		中国の言語と文化Ⅱ	1・2後			2		○									1		
		韓国・朝鮮の言語と文化Ⅰ	1・2前			2		○									1		
		韓国・朝鮮の言語と文化Ⅱ	1・2後			2		○									1		
		Western Culture	1・2前			2		○									1		
		Intensive EnglishⅠ	1・2前			2		○									2		
		Intensive EnglishⅡ	1・2後			2		○									2		
		アカデミック英語	1・2後			1		○									1		
		ビジネス英語	1・2後			1		○									1		
		アカデミック独語	1・2前・後			1		○									1		
		ドイツ文学A	1・2前			1		○									1		
		ドイツ文学B	1・2後			1		○									1		
		ドイツ文化論A	1・2前			2		○									1		
		ドイツ文化論B	1・2後			2		○									1		
		文学と芸術																	
		欧米の文化・文学	1・2前・後			2		○									1		
		芸術論	1・2前			2		○									2	隔年・オムニバス	
		言語と表現																	
		日本語学	1・2前			2		○										1	
		コミュニケーション論	1・2前・後			2		○										2	共同・標準外・メディア
		Critical Thinking for the Modern Age	1・2前			2		○										1	
		Cultural Metaphors	1・2後			2		○										1	
		歴史と文化																	
		哲学・倫理学	1・2後			2		○										1	隔年
		考古学	1・2前			2		○										1	隔年
		日本史	1・2前・後			2		○										1	
		西洋史	1・2前・後			2		○										1	
		人類学	1・2前			2		○										2	オムニバス
		スポーツウェルネスの世界	1・2前・後			2		○										1	
		近代サッカーの成立と進歩	1・2後			2		○										1	
		サッカーの歴史と技法	1・2前			2		○										1	
		柔道の歴史と技法	1・2後			2		○										1	
		哲学の世界	1・2後			2		○										1	
		地域史	1・2後			2		○										1	標準外・メディア
		宗教学	1・2後			2		○										1	隔年
		文化の分野特別講義 九州・沖縄学Ⅰ	1・2前			2		○										1	標準外・メディア
	小計（37科目）			—	—	0	69	0	—			0	0	0	0	0	29		

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	主要授 業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置						備考
				必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験・ 実習	教授	准 教授	講 師	助 教	助 手	基 幹 教 員 以 外 (助手を 除く)	
教養教育科目	現代社会の分野	基礎社会科学														
		経済学	1・2前・後		2		○								1	オムニバス
		会計学	1・2後		2		○								1	
		経営学	1・2前		2		○								2	
		法律学	1・2前		2		○								6	
		政治学	1・2後		2		○								1	
		日本国憲法	1・2前・後		2		○								1	オムニバス
		現代社会の法と政治	1・2前		2		○								1	
		地理学	1・2前		2		○								1	
		Introduction to Sociology	1・2前		2		○								1	
		社会思想	1・2後		2		○								1	
		教育と人間														オムニバス
		教育と人生	1・2後		2		○								1	
		心理学A	1・2前・後		2		○								1	
		心理学B	1・2後		2		○								1	
		健康科学A	1・2前・後		2		○								2	
		健康科学B	1・2後		2		○								2	
		スポーツと健康	1・2前		2		○								1	隔年
		Citizenship Education	1・2後		2		○								1	
		Life in the Global World	1・2前		2		○								1	
		情報メディアと倫理	1・2前・後		2		○								2	
		心の病と癒しのプロセス	1・2後		2		○								1	
		心身の発達過程	1・2前		2		○								1	共同・メディア
		情報メディアコミュニケーション	1・2前・後		2		○								2	
		Aspects of Modern Society	1・2後		2		○								1	
		プレゼンテーション・デザイン	1・2前・後		2		○								1	
		現代教育学	1・2後		2		○								8	
		教育学A	1・2後		2		○								1	オムニバス・共同（一部）
		教育学B	1・2前		2		○								1	
		教育学C	1・2後		2		○								1	
		体育実技Ⅰ	1・2前・後		1			○							3	
		体育実技Ⅱ	1・2前・後		1			○							4	
		現代社会の諸相														標準外
		ジャーナリズムの現在	1・2後		2		○								1	
		アジアコミュニティ論	1・2後		2		○								1	
		知的財産学	1・2後		2		○								1	
		環境科学Ⅰ	1・2前		2		○								2	
		環境科学Ⅲ	1・2後		2		○								2	共同・標準外・メディア
		インストラクショナル・デザイン	1・2前・後		2		○								2	
		国際社会学	1・2後		2		○								1	
		現代社会の分野特別講義														標準外
		グローバル化と証券投資	1・2前		2		○								1	
		西洋近代社会思想史	1・2前		2		○								1	
		多文化社会論	1・2前		2		○								1	
		経営工学からみたマネジメント	1・2後		2		○								1	
		金融リテラシーと生命保険	1・2後		2		○								1	
		小計（42科目）	—	—	0	82	0	—		0	0	0	0	0	52	
	総合科目	海外交流実習	1・2前・後		2				○						2	標準外
		キャリアデザイン	1・2後		2		○								1	
		グループワークの技法と実践	1・2後		2			○							1	標準外
		データサイエンスへの招待	3前		2		○								1	
		チャレンジ・インターンシップA	1・2前・後		2			○							1	標準外
		チャレンジ・インターンシップB	2通		2			○		1					1	
		ライフデザインとセルフ・リーダーシップ	1・2前		2		○								1	標準外
		Online Immersion Program	1・2前		2										1	
		Overseas Practicum	1・2後		2										1	共同・標準外・メディア
		データサイエンスBasicⅠ	1・2後		1		○								3	
		データサイエンスBasicⅡ	1・2後		1		○								3	共同・標準外・メディア
		小計（11科目）	—	—	0	20	0	—		1	0	0	0	0	8	
	外国人留学生	日本事情－自然科学と技術の分野	1後		2		○								1	隔年
		日本事情－文化の分野	1前		2		○								1	隔年
		日本事情－現代社会	1後		2		○								1	隔年
		小計（3科目）	—	—	0	6	0	—		0	0	0	0	0	3	

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	主要授 業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置						備考
				必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験・ 実習	教授	准 教授	講 師	助 教	助 手	基 幹 教 員 以 外 (助手を除く)	
教養教育科目	環境コース	機械工学と環境Ⅰ	2前		2		○								3	オムニバス
		機械工学と環境Ⅱ	2後		2		○								4	オムニバス
		機械工学と環境Ⅲ	3前		2		○								6	オムニバス
		機械工学と環境Ⅳ	3後		2		○								5	オムニバス・共同（一部）
		エレクトロニクスと環境Ⅰ	2前		2		○								1	
		エレクトロニクスと環境Ⅱ	2後		2		○								1	
		エレクトロニクスと環境Ⅲ	3前		2		○								1	
		エレクトロニクスと環境Ⅳ	3後		2		○								1	
		佐賀の環境Ⅰ	2前		2		○				2				1	オムニバス
		佐賀の環境Ⅱ	2後		2		○				2				2	共同・標準外
		佐賀の環境Ⅲ	3前		2		○				4				1	オムニバス
		佐賀の環境Ⅳ	3後		2		○				4		1			オムニバス
		小計（12科目）	—	—	0	24	0	—	—	0	5	0	1	0	26	
	文化と共生コース インターフェース科目	異文化交流Ⅰ	2前		2		○								1	
		異文化交流Ⅱ	2後		2		○								1	
		異文化交流Ⅲ	3前		2		○								1	
		異文化交流Ⅳ	3後		2		○								1	
		Intercultural CommunicationⅠ	2前		2		○								2	
		Intercultural CommunicationⅡ	2後		2		○								1	標準外
		Intercultural CommunicationⅢ	3前		2		○								2	
		Intercultural CommunicationⅣ	3後		2		○								2	
		肥前陶磁器産業体験Ⅰ	2前		2		○								1	
		肥前陶磁器産業体験Ⅱ	2前		2		○								2	共同・標準外
		肥前陶磁器産業体験Ⅲ	3前		2		○								4	共同
		肥前陶磁器産業体験Ⅳ	3後		2		○								4	共同
		ドイツ語とドイツ語圏の歴史・文化Ⅰ	2前		2		○								1	
		ドイツ語とドイツ語圏の歴史・文化Ⅱ	2後		2		○								1	
		ドイツ語とドイツ語圏の歴史・文化Ⅲ	3前		2		○								1	
		ドイツ語とドイツ語圏の歴史・文化Ⅳ	3後		2		○								1	
		芸術と社会Ⅰ	2前		2		○								5	オムニバス
		芸術と社会Ⅱ	2後		2		○								3	オムニバス・標準外
		芸術と社会Ⅲ	3前		2		○								5	オムニバス
		芸術と社会Ⅳ	3後		2		○								4	オムニバス
		歴史文化Ⅰ	2前		2		○								1	
		歴史文化Ⅱ	2後		2		○								1	
		歴史文化Ⅲ	3前		2		○								1	
		歴史文化Ⅳ	3後		2		○								1	
		英語コミュニケーションⅠ	2前		2		○								2	
		英語コミュニケーションⅡ	2後		2		○								2	
		英語コミュニケーションⅢ	3前		2		○								2	
		英語コミュニケーションⅣ	3後		2		○								2	
		小計（28科目）	—	—	0	56	0	—	—	0	0	0	0	0	36	
	生活と科学コース	未来を拓く材料の科学Ⅰ	2前		2		○								4	オムニバス
		未来を拓く材料の科学Ⅱ	2後		2		○								3	オムニバス
		未来を拓く材料の科学Ⅲ	3前		2		○								5	オムニバス
		未来を拓く材料の科学Ⅳ	3後		2		○								6	オムニバス・共同（一部）
		情報技術者キャリアデザインⅠ	2前		2		○								2	共同
		情報技術者キャリアデザインⅡ	3前		2		○								3	オムニバス
		情報技術者キャリアデザインⅢ	3前・後		2		○								1	
		情報技術者キャリアデザインⅣ	3後		2		○								1	
		2年間でできる「がばいベンチャー」の作り方Ⅰ	2前		2		○			1						
		2年間でできる「がばいベンチャー」の作り方Ⅱ	2後		2		○			1						
		2年間でできる「がばいベンチャー」の作り方Ⅲ	3前		2		○			1						
		2年間でできる「がばいベンチャー」の作り方Ⅳ	3後		2		○			1						
		食糧生産の科学Ⅰ	2前		2		○			1						オムニバス
		食糧生産の科学Ⅱ	2後		2		○			3	1					オムニバス
		食糧生産の科学Ⅲ	3前		2		○			1	3					オムニバス
		食糧生産の科学Ⅳ	3後		2		○			2	4					オムニバス

科目 区分			授業科目の名称	配当年次	主要授 業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置						備考
						必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験・ 実習	教授	准 教授	講 師	助 教	助 手	基 幹 教 員 以 外 (助手を除く)	
教養教育科目		人間 と社会 コース	ライフサイエンス・フードサイエ ンスⅠ	2前			2		○			2	1	1				オムニバス
			ライフサイエンス・フードサイエ ンスⅡ	2後			2		○			1	1		2			オムニバス・共同（一部）
			ライフサイエンス・フードサイエ ンスⅢ	3前			2		○			2	3					オムニバス
			ライフサイエンス・フードサイエ ンスⅣ	3後			2		○			4			1			オムニバス
			小計（20科目）	—	—	0	40	0	—		17	12	1	3	0	27		
		人間 と社会 コース	チームビルディングとリーダーシ ップⅠ	2前			2		○								3	共同
			チームビルディングとリーダーシ ップⅡ	2後			2		○								4	共同
			チームビルディングとリーダーシ ップⅢ	3前			2		○								3	共同
			チームビルディングとリーダーシ ップⅣ	3後			2		○								3	共同
			リサーチ・リテラシーⅠ	2前			2		○								1	
			リサーチ・リテラシーⅡ	2後			2		○								1	
			リサーチ・リテラシーⅢ	3前			2		○								1	
			リサーチ・リテラシーⅣ	3後			2		○			1					2	
			スポーツイベントとボランティア リーダーⅠ	2前			2		○								1	
			スポーツイベントとボランティア リーダーⅡ	2後			2		○								2	共同
			スポーツイベントとボランティア リーダーⅢ	3前			2		○								2	共同
			スポーツイベントとボランティア リーダーⅣ	3後			2		○								2	共同
	小計（12科目）			—	—	0	24	0	—		0	1	0	0	0	7		
		医療・福祉と社会 コース	現代社会と医療Ⅰ	1前			2		○								1	
			現代社会と医療Ⅱ	1前			2		○								1	
			現代社会と医療Ⅲ	1後			2		○								2	共同
			現代社会と医療Ⅳ	1後			2		○								1	
			食と健康Ⅰ	1前			2		○			1	1	1			2	オムニバス
			食と健康Ⅱ	1前			2		○								1	
			食と健康Ⅲ	1後			2		○								1	
			食と健康Ⅳ	1後			2		○								7	オムニバス
			ライフサイクルからみた医療Ⅰ	1前			2		○								5	オムニバス
			ライフサイクルからみた医療Ⅱ	1前			2		○								1	
			ライフサイクルからみた医療Ⅲ	1後			2		○								1	
			ライフサイクルからみた医療Ⅳ	1後			2		○								1	
	小計（12科目）			—	—	0	24	0	—		1	1	1	0	0	20		
		地域・佐賀学 コース	佐賀の歴史文化Ⅰ	2前			2		○								1	
			佐賀の歴史文化Ⅱ	2後			2		○								1	
			佐賀の歴史文化Ⅲ	3前			2		○								1	
			佐賀の歴史文化Ⅳ	3後			2		○								1	
			地域経済と社会Ⅰ	2前			2		○								1	
			地域経済と社会Ⅱ	2後			2		○								1	
			地域経済と社会Ⅲ	3前			2		○								1	
			地域経済と社会Ⅳ	3後			2		○								1	
			佐賀SDGsグローバルアクションⅠ	2前			2		○				1				3	オムニバス
			佐賀SDGsグローバルアクションⅡ	2後			2		○				1				2	共同
			佐賀SDGsグローバルアクションⅢ	3前			2		○			2					2	オムニバス
			佐賀SDGsグローバルアクションⅣ	3後			2		○			2					2	共同
	小計（12科目）			—	—	0	24	0	—		2	1	0	0	0	12		
	共通	インターフェース演習	3前			2			○									標準外
		小計（1科目）	—	—	0	2	0	—										
合計（321科目）				—	—	64	538	0	—		24	18	2	6	0	264		
学位又は称号		学士（農学）			学位又は学科の分野			農学関係										
卒業・修了要件及び履修方法									授業期間等									
教養教育科目29単位以上、専門教育科目（必修科目55単位を含む）97単位以上、合 計126単位以上を修得すること。 （履修科目の登録の上限：44単位（年間））									1学年の学期区分			2期						
									1学期の授業期間			15週						
									1時限の授業の標準時間			90分						

教 育 課 程 等 の 概 要 (農学部生物資源科学科 食資源環境科学コース) 【既設】																	
科目 区分		授業科目の名称	配当年次	主要授 業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置						備考
					必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験・実 習	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	基 幹 教 員 以 外 の 教 員 (助手を 除く)	
学部 基 礎 科 目	生物学	1前	○	2			○			3	2				1	オムニバス	
	物理学	1前	○	2			○				1					オムニバス	
	化学	1前	○	2			○			1	1	1					
	基礎数学	1前	○		2		○								1		
	基礎統計学	1前	○		2		○								1		
	小計(5科目)	—	—	6	4	0	—			4	4	1	0	0	3		
専 門 導 入 科 目	アグリキャリアデザイン	1前	○	2			○			2	1				1	オムニバス	
	農学概論	1後	○	2			○			5	9		1			オムニバス	
	農業ICT学	1後	○	2			○			2	1					オムニバス	
	生物化学	1後	○		2		○			3						オムニバス	
	栽培学汎論	1後	○		2		○			2						オムニバス	
	土壌学	1後	○		2		○				1						
	生物統計学	1後	○		2		○					1					
	農業経済学	1後	○		2		○			1				1			
	食品科学	1後	○		2		○			9	5	1	4			オムニバス	
小計(9科目)	—	—	6	12	0	—			17	15	1	4	0	0			
専 門 教 育 科 目	環境基礎解析学Ⅰ	2前	○	2			○			1					1		
	応用力学	2前	○	2			○			1							
	応用力学演習	2前	○	2				○		1							
	生産情報処理学	2前	○		2		○				1						
	農業水文学	2前	○		2		○			1							
	農業気象学	2前	○		2		○								1	隔年・集中 共同	
	フィールド科学基礎実習Ⅰ	2前	○		1				○	1	3						
	栽培環境制御学	2前	○		2		○			1							
	生化学	2前	○	2			○			1	1						
	土壌環境科学	2後	○		2		○								1		
	地盤環境学Ⅰ	2後	○	2			○			1							
	環境基礎解析学Ⅱ	2後	○		2		○				1						
	環境水理学Ⅰ	2後	○	2			○				1						
	環境水理学演習Ⅰ	2後	○		2			○			1						
	農業生産機械学	2後	○		2		○				1						
	農産食品流通貯蔵学	2後	○		2		○			1							
	フィールド科学基礎実習Ⅱ	2後	○		1				○	1	3					共同	
	栄養化学	2後	○		2		○			1							
	食品化学	2後	○		2		○			1	1	1				オムニバス	
	植物栄養学	2後	○		2		○				1						
	遺伝学	2前	○		2		○				2					オムニバス	
	植物生理学	3前	○		2		○			3						オムニバス	
	植物病理学	3後	○		2		○			1						オムニバス	
	昆虫学	3後	○		2		○								1	集中	
	環境水理学Ⅱ	3前	○		2		○			1							
	環境水理学演習Ⅱ	3前	○		2			○		1							
	生物有機化学	3前	○		2		○				1						
	園芸学	3前	○		2		○			3	1	1				オムニバス	
	植物育種学	3後	○		2		○				1						
	地球環境学	3前	○	2			○				1						
	有機化学	3前	○		2		○				1						
	分析化学	3前	○		2		○			1		1				オムニバス	
	物理化学	3前	○		2		○			1			1				
英書講読	3前	○	2			○			6	6							
測地学Ⅰ	3前	○		2		○			1	1							
測地学演習Ⅰ	3前	○		2			○		1	1							
地盤環境学Ⅱ	3前	○		2		○			1								
農村環境計画学	3前	○		2		○			1								
食資源物質工学	3前	○		2		○			1								
実験水気圏環境学	3前	○		2				○			1						
インターンシップ S	3前・後	○		1				○	6	6					集中		
インターンシップ L	3前・後	○		2				○	6	6					集中		

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	主要授 業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置						備考
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	基幹教員以外 (助手を除く)	
教養 教育 科目	基本 教養 科目	栄養科学C	1・2後		2		○								2	標準外・メディア
		生命科学の基礎A	1・2後		2		○								5	オムニバス
		生命科学の基礎B	1・2前		2		○								2	オムニバス
		生命科学の基礎C	1・2前		2		○								15	オムニバス・共同（一部）
		生命科学の基礎F	1・2後		2		○								3	オムニバス
		自然科学と技術の分野特別講義 九州・沖縄学Ⅱ	1・2後		2		○				3					標準外・メディア
		小計（35科目）	—	—	0	70	0	—		3	4	0	0	0	79	
	文化の 分野	言語と文化														
		ドイツの言語と文化Ⅰ	1・2前		2		○								1	
		ドイツの言語と文化Ⅱ	1・2後		2		○								1	
		フランスの言語と文化Ⅰ	1・2前		2		○								1	
		フランスの言語と文化Ⅱ	1・2後		2		○								1	
		中国の言語と文化Ⅰ	1・2前		2		○								1	
		中国の言語と文化Ⅱ	1・2後		2		○								1	
		韓国・朝鮮の言語と文化Ⅰ	1・2前		2		○								1	
		韓国・朝鮮の言語と文化Ⅱ	1・2後		2		○								1	
		Western Culture	1・2前		2		○								1	
		Intensive EnglishⅠ	1・2前		2		○								2	
		Intensive EnglishⅡ	1・2後		2		○								2	
		アカデミック英語	1・2後		1		○								1	
		ビジネス英語	1・2後		1		○								1	
		アカデミック独語	1・2前・後		1		○								1	
		ドイツ文学A	1・2前		1		○								1	
		ドイツ文学B	1・2後		1		○								1	
		ドイツ文化論A	1・2前		2		○								1	
		ドイツ文化論B	1・2後		2		○								1	
		文学と芸術														
		欧米の文化・文学	1・2前・後		2		○								1	
		芸術論	1・2前		2		○								2	隔年・オムニバス
		言語と表現														
		日本語学	1・2前		2		○								1	
		コミュニケーション論	1・2前・後		2		○								2	共同・標準外・メディア
		Critical Thinking for the Modern Age	1・2前		2		○								1	
		Cultural Metaphors	1・2後		2		○								1	
		歴史と文化														
		哲学・倫理学	1・2後		2		○								1	隔年
		考古学	1・2前		2		○								1	隔年
		日本史	1・2前・後		2		○								1	
		西洋史	1・2前・後		2		○								1	
		人類学	1・2前		2		○								2	オムニバス
		スポーツウェルネスの世界	1・2前・後		2		○								1	
		近代サッカーの成立と進歩	1・2後		2		○								1	
		サッカーの歴史と技法	1・2前		2		○								1	
		柔道の歴史と技法	1・2後		2		○								1	
		哲学の世界	1・2後		2		○								1	
		地域史	1・2後		2		○								1	標準外・メディア
		宗教学	1・2後		2		○								1	隔年
		文化の分野特別講義 九州・沖縄学Ⅰ	1・2前		2		○								1	標準外・メディア
		小計（37科目）	—	—	0	69	0	—		0	0	0	0	0	29	
	現代 社会 の 分野	基礎社会科学														
		経済学	1・2前・後		2		○								1	
		会計学	1・2後		2		○								1	
		経営学	1・2前		2		○								2	
		法律学	1・2前		2		○								6	オムニバス
		政治学	1・2後		2		○								1	
		日本国憲法	1・2前・後		2		○								1	
		現代社会の法と政治	1・2前		2		○								1	
		地理学	1・2前		2		○								1	
		Introduction to Sociology	1・2前		2		○								1	

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	主要授 業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置						備考
				必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験・ 実習	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	基 幹 教 員 以 外 (助手を除く)	
教養教育科目	現代社会の分野 基本教養科目	社会思想	1・2後		2		○								1	オムニバス
		教育と人間	1・2後		2		○								1	
		教育と人生	1・2前・後		2		○								1	
		心理学A	1・2後		2		○								1	
		心理学B	1・2後		2		○								1	
		健康科学A	1・2前・後		2		○								2	
		健康科学B	1・2後		2		○								2	
		スポーツと健康	1・2前		2		○								1	
		Citizenship Education	1・2後		2		○								1	
		Life in the Global World	1・2前		2		○								1	
		情報メディアと倫理	1・2前・後		2		○								2	
		心の病と癒しのプロセス	1・2後		2		○								1	隔年
		心身の発達過程	1・2前		2		○								1	
		情報メディアコミュニケーション	1・2前・後		2		○								2	共同・メディア
		Aspects of Modern Society	1・2後		2		○								1	
		プレゼンテーション・デザイン	1・2前・後		2		○								1	オムニバス・共同（一部）
		現代教育学	1・2後		2		○								8	
		教育学A	1・2後		2		○								1	共同（一部）
		教育学B	1・2前		2		○								1	
		教育学C	1・2後		2		○								1	共同（一部）
		体育実技Ⅰ	1・2前・後		1			○							3	
		体育実技Ⅱ	1・2前・後		1			○							4	共同（一部）
		現代社会の諸相														
		ジャーナリズムの現在	1・2後		2		○								1	標準外・メディア
		アジアコミュニティ論	1・2後		2		○								1	
		知的財産学	1・2後		2		○								1	オムニバス・標準外・メディア
		環境科学Ⅰ	1・2前		2		○								2	
		環境科学Ⅲ	1・2後		2		○								2	オムニバス・標準外・メディア
		インストラクショナル・デザイン	1・2前・後		2		○								2	
		国際社会学	1・2後		2		○								1	標準外
		現代社会の分野特別講義														
		グローバル化と証券投資	1・2前		2		○								1	標準外
		西洋近代社会思想史	1・2前		2		○								1	
		多文化社会論	1・2前		2		○								1	標準外
		経営工学からみたマネジメント	1・2後		2		○								1	
		金融リテラシーと生命保険	1・2後		2		○								1	標準外
		小計（42科目）	—	—	0	82	0	—	—	0	0	0	0	0	52	
	総合科目	海外交流実習	1・2前・後		2				○						2	標準外
		キャリアデザイン	1・2後		2		○								1	
		グループワークの技法と実践	1・2後		2			○							1	標準外
		データサイエンスへの招待	3前		2		○								1	
		チャレンジ・インターンシップA	1・2前・後		2			○							1	標準外
		チャレンジ・インターンシップB	2通		2			○		1					1	
		ライフデザインとセルフ・リーダーシップ	1・2前		2		○								1	標準外
		Online Immersion Program	1・2前		2										1	
		Overseas Practicum	1・2後		2										1	標準外
		データサイエンスBasicⅠ	1・2後		1		○								3	
		データサイエンスBasicⅡ	1・2後		1		○								3	共同・標準外・メディア
		小計（11科目）	—	—	0	20	0	—	—	1	0	0	0	0	8	
	外国人留学生 用科目	日本事情－自然科学と技術の分野	1後		2		○								1	隔年
		日本事情－文化の分野	1前		2		○								1	隔年
		日本事情－現代社会	1後		2		○								1	隔年
		小計（3科目）	—	—	0	6	0	—	—	0	0	0	0	0	3	
インター フェース科	環境 コース	機械工学と環境Ⅰ	2前		2		○								3	オムニバス
		機械工学と環境Ⅱ	2後		2		○								4	オムニバス
		機械工学と環境Ⅲ	3前		2		○								6	オムニバス
		機械工学と環境Ⅳ	3後		2		○								5	オムニバス・共同（一部）
		エレクトロニクスと環境Ⅰ	2前		2		○								1	
		エレクトロニクスと環境Ⅱ	2後		2		○								1	
		エレクトロニクスと環境Ⅲ	3前		2		○								1	
		エレクトロニクスと環境Ⅳ	3後		2		○								1	

科目 区分	目	授業科目の名称	配当年次	主要授 業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置						備考
					必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験・ 実習	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	基 幹 教 員 以 外 (助手を除く)	
教養教育科目	インターフェース科目	佐賀の環境Ⅰ	2前			2		○				2				1	オムニバス
		佐賀の環境Ⅱ	2後			2		○				2				2	共同・標準外
		佐賀の環境Ⅲ	3前			2		○				4				1	オムニバス
		佐賀の環境Ⅳ	3後			2		○				4		1			オムニバス
		小計(12科目)	—	—	0	24	0	—			0	5	0	1	0	26	
		異文化交流Ⅰ	2前			2		○								1	標準外
		異文化交流Ⅱ	2後			2		○								1	
		異文化交流Ⅲ	3前			2		○								1	
		異文化交流Ⅳ	3後			2		○								1	
		Intercultural CommunicationⅠ	2前			2		○								2	標準外
		Intercultural CommunicationⅡ	2後			2		○								1	
		Intercultural CommunicationⅢ	3前			2		○								2	
		Intercultural CommunicationⅣ	3後			2		○								2	
		肥前陶磁器産業体験Ⅰ	2前			2		○								1	共同・標準外
		肥前陶磁器産業体験Ⅱ	2前			2		○								2	
		肥前陶磁器産業体験Ⅲ	3前			2		○								4	
		肥前陶磁器産業体験Ⅳ	3後			2		○								4	
	文化と共生コース	ドイツ語とドイツ語圏の歴史・文化Ⅰ	2前			2		○								1	共同
		ドイツ語とドイツ語圏の歴史・文化Ⅱ	2後			2		○								1	
		ドイツ語とドイツ語圏の歴史・文化Ⅲ	3前			2		○								1	
		ドイツ語とドイツ語圏の歴史・文化Ⅳ	3後			2		○								1	
		芸術と社会Ⅰ	2前			2		○								5	オムニバス
		芸術と社会Ⅱ	2後			2		○								3	オムニバス・標準外
		芸術と社会Ⅲ	3前			2		○								5	オムニバス
		芸術と社会Ⅳ	3後			2		○								4	オムニバス
		歴史文化Ⅰ	2前			2		○								1	オムニバス
		歴史文化Ⅱ	2後			2		○								1	
		歴史文化Ⅲ	3前			2		○								1	
		歴史文化Ⅳ	3後			2		○								1	
		英語コミュニケーションⅠ	2前			2		○								2	オムニバス
		英語コミュニケーションⅡ	2後			2		○								2	
		英語コミュニケーションⅢ	3前			2		○								2	
		英語コミュニケーションⅣ	3後			2		○								2	
		小計(28科目)	—	—	0	56	0	—			0	0	0	0	0	36	
	生活と科学コース	未来を拓く材料の科学Ⅰ	2前			2		○								4	オムニバス
		未来を拓く材料の科学Ⅱ	2後			2		○								3	オムニバス
		未来を拓く材料の科学Ⅲ	3前			2		○								5	オムニバス
		未来を拓く材料の科学Ⅳ	3後			2		○								6	オムニバス・共同(一部)
		情報技術者キャリアデザインⅠ	2前			2		○								2	共同
		情報技術者キャリアデザインⅡ	3前			2		○								3	オムニバス
		情報技術者キャリアデザインⅢ	3前・後			2		○								1	オムニバス
		情報技術者キャリアデザインⅣ	3後			2		○								1	
		2年間でできる「がばいベンチャー」の作り方Ⅰ	2前			2		○			1						
		2年間でできる「がばいベンチャー」の作り方Ⅱ	2後			2		○			1						
		2年間でできる「がばいベンチャー」の作り方Ⅲ	3前			2		○			1						オムニバス
		2年間でできる「がばいベンチャー」の作り方Ⅳ	3後			2		○			1						
		食糧生産の科学Ⅰ	2前			2		○			1						
		食糧生産の科学Ⅱ	2後			2		○			3	1					
		食糧生産の科学Ⅲ	3前			2		○			1	3					オムニバス
		食糧生産の科学Ⅳ	3後			2		○			2	4					オムニバス
		ライフサイエンス・フードサイエンスⅠ	2前			2		○			2	1	1				オムニバス
		ライフサイエンス・フードサイエンスⅡ	2後			2		○			1	1		2			オムニバス・共同(一部)
		ライフサイエンス・フードサイエンスⅢ	3前			2		○			2	3					オムニバス

科目 区分			授業科目の名称	配当年次	主要授 業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置						備考	
						必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	基幹教員以外の教員 (助手を除く)		
教養教育科目	人間と社会コース	ライフサイエンス・フードサイエンスⅣ	3後			2		○			4			1			オムニバス		
		小計 (20科目)	—	—	0	40	0	—			17	12	1	3	0	27			
		チームビルディングとリーダーシップⅠ	2前			2		○									3	共同	
		チームビルディングとリーダーシップⅡ	2後			2		○									4	共同	
		チームビルディングとリーダーシップⅢ	3前			2		○									3	共同	
		チームビルディングとリーダーシップⅣ	3後			2		○									3	共同	
		リサーチ・リテラシーⅠ	2前			2		○									1		
		リサーチ・リテラシーⅡ	2後			2		○									1		
		リサーチ・リテラシーⅢ	3前			2		○									1		
		リサーチ・リテラシーⅣ	3後			2		○				1					2		
		スポーツイベントとボランティアリーダーⅠ	2前			2		○									1		
		スポーツイベントとボランティアリーダーⅡ	2後			2		○									2	共同	
		スポーツイベントとボランティアリーダーⅢ	3前			2		○									2	共同	
		スポーツイベントとボランティアリーダーⅣ	3後			2		○									2	共同	
		小計 (12科目)	—	—	0	24	0	—			0	1	0	0	0	7			
		医療・福祉と社会コース	現代社会と医療Ⅰ	1前			2		○									1	
			現代社会と医療Ⅱ	1前			2		○									1	
			現代社会と医療Ⅲ	1後			2		○									2	共同
			現代社会と医療Ⅳ	1後			2		○									1	
			食と健康Ⅰ	1前			2		○				1	1	1			2	オムニバス
	食と健康Ⅱ		1前			2		○									1		
	食と健康Ⅲ		1後			2		○									1		
	食と健康Ⅳ		1後			2		○									7	オムニバス	
	ライフサイクルからみた医療Ⅰ		1前			2		○									5	オムニバス	
	ライフサイクルからみた医療Ⅱ		1前			2		○									1		
	ライフサイクルからみた医療Ⅲ		1後			2		○									1		
	ライフサイクルからみた医療Ⅳ		1後			2		○									1		
	小計 (12科目)		—	—	0	24	0	—			1	1	1	0	0	20			
	地域・佐賀学コース	佐賀の歴史文化Ⅰ	2前			2		○									1		
		佐賀の歴史文化Ⅱ	2後			2		○									1		
		佐賀の歴史文化Ⅲ	3前			2		○									1		
		佐賀の歴史文化Ⅳ	3後			2		○									1		
		地域経済と社会Ⅰ	2前			2		○									1		
		地域経済と社会Ⅱ	2後			2		○									1		
		地域経済と社会Ⅲ	3前			2		○									1		
		地域経済と社会Ⅳ	3後			2		○									1		
		佐賀SDGsグローバルアクションⅠ	2前			2		○					1				3	オムニバス	
		佐賀SDGsグローバルアクションⅡ	2後			2		○					1				2	共同	
		佐賀SDGsグローバルアクションⅢ	3前			2		○				2					2	オムニバス	
		佐賀SDGsグローバルアクションⅣ	3後			2		○				2					2	共同	
		小計 (12科目)	—	—	0	24	0	—			2	1	0	0	0	12			
	共通	インターフェース演習	3前			2			○									標準外	
		小計 (1科目)	—	—	0	2	0	—											
合計 (306科目)			—	—	50	545	0	—			25	18	2	4	0	264			
学位又は称号			学士 (農学)			学位又は学科の分野			農学関係										
卒業・修了要件及び履修方法									授業期間等										
教養教育科目29単位以上、専門教育科目 (必修科目41単位を含む) 97単位以上、合計126単位以上を修得すること。 (履修科目の登録の上限: 44単位 (年間))									1 学年の学期区分					2 期					
									1 学期の授業期間					1 5 週					
									1 時限の授業の標準時間					9 0 分					

教 育 課 程 等 の 概 要 (農学部生物資源科学科 生命機能科学コース) 【既設】																
科目 区分	授業科目の名称	配当年次	主要授 業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置						備考
				必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験・ 実習	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	基 幹 教 員 以 外 (助手を除く)	
専 門 教 育 科 目	学部基礎科目	生物学	1前	○	2		○			3	2					オムニバス
		物理学	1前	○	2		○				1				1	オムニバス
		化学	1前	○	2		○			1	1	1				オムニバス
		基礎数学	1前	○	2	2	○								1	
		基礎統計学	1前	○	2	2	○								1	
		小計（5科目）	—	—	6	4	0	—		4	4	1	0	0	3	
	専門導入科目	アグリキャリアデザイン	1前	○	2		○			2	1					オムニバス
		農学概論	1後	○	2		○			5	9		1		1	オムニバス
		農業ICT学	1後	○	2		○			2	1					オムニバス
		生物化学	1後	○	2	2	○			3						オムニバス
		栽培学汎論	1後	○	2	2	○			2						オムニバス
		土壌学	1後	○	2	2	○				1					
		生物統計学	1後	○	2	2	○						1			
		農業経済学	1後	○	2	2	○			1						
		食品科学	1後	○	2	2	○			9	5	1	4			オムニバス
		小計（9科目）	—	—	6	12	0	—		17	15	1	4	0	0	
	専門教育科目	物理化学	2前	○	2		○			1						
		有機化学	2前	○	2		○			1						
		分析化学	2前	○	2		○			1		1				オムニバス
		遺伝学	4前	○	2	2	○				2					オムニバス
		植物生理学	4前	○	2	2	○			3						オムニバス
		応用動物昆虫学	2前	○	2	2	○			2					1	オムニバス
		生物有機化学	2前	○	2	2	○				1					
		生化学	2前	○	2	2	○			2						
		酵素化学	2前	○	2	2	○			1			2			オムニバス
		微生物学	2前	○	2	2	○			1						
		生命機能科学概説	3前	○	2	2	○			9	5	1	4			オムニバス
		植物病理学	2後	○	2	2	○			1						
		線虫学	4前	○	2	2	○			1						
		昆虫学	2後	○	2	2	○								1	集中
		地球環境学	3前	○	2	2	○				1					
		化学基礎実験	2前	○	1	1			○	6	7	1	3			オムニバス・隔年・集中
		フィールド科学基礎実習Ⅰ	4前	○	1	1			○	1	3					共同
		化学実験Ⅰ	2後	○	1	1			○	4	3	1				オムニバス
		食品衛生学	2後	○	2	2	○			2						
		栄養化学	2後	○	2	2	○			1						
		化学実験Ⅱ	2後	○	3	3			○	4	3	1				
		分子生物学	2後	○	2	2	○			1	1					オムニバス
		食品化学	2後	○	2	2	○			1	1	1				オムニバス
		動物繁殖生理学	3後	○	2	2	○				1					
		農薬化学	4後	○	2	2	○				1					メディア
		人間開発論	2前	○	2	2	○								1	
		植物栄養学	2後	○	2	2	○				1					
		フィールド科学基礎実習Ⅱ	3後	○	1	1			○	4						共同
		食糧安全学	3前	○	2	2	○			2						オムニバス
		食品工学	3前	○	2	2	○								1	集中
		食品機能化学	3前	○	2	2	○			1	1					
		分子細胞生物学	3後	○	2	2	○				1					
		生化学実験	3前	○	2	2			○	3	1		1			オムニバス
		微生物学実験	3前	○	2	2			○	2	1		2			
		応用微生物学	3前	○	2	2	○			1						
		食糧流通貯蔵学	3前	○	2	2	○				1					集中
		水圏生物学	3前	○	2	2	○						1			
		生物資源化学	3後	○	2	2	○			1	1					
		遺伝子工学	3後	○	2	2	○									オムニバス
		基礎放射線科学	3後	○	2	2	○				1		1			
		コスメ産業学	3後	○	2	2	○			2	1					
		藻類学	3後	○	2	2	○				1					
		インターンシップ S	3前・後	○	1	1			○	9	5	1	4			集中
		インターンシップ L	3前・後	○	2	2			○	9	5	1	4			集中

科目区分		授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置						備考
					必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	基幹教員以外の教員 (助手を除く)	
専門教育科目	専門科目	専門外書講読	3後	○	2				○		9	5	1	4			集中
		基礎演習	3後	○	2				○		9	5	1	4			
		生命機能科学演習Ⅰ	3後	○	2				○		9	5	1	4			
		生物学基礎実験	4前	○	1					○	9	5	1	4			
		生命機能科学演習Ⅱ	4前	○	2				○		9	5	1	4			
		生命機能科学演習Ⅲ	4後	○	2				○		9	5	1	4			
		卒業研究	4通	○	8				○		9	5	1	4			
		小計（51科目）	—	—	51	52	0		—		16	13	1	4	0	4	
教養教育科目	大学入門科目	大学入門科目Ⅰ	1前		2			○			5	8	1	1	0	0	オムニバス
		小計（1科目）	—	—	2	0	0		—		5	8	1	1	0	0	
	共通基礎科目	英語A	1前		1				○								10
		英語B	1後		1				○								12
		英語C	2前・後		1				○								9
		英語D	2前・後		1				○								2
		実践日本語C	1後			1			○								1
		実践日本語D	1前			1			○								1
		実践日本語E	2後			1			○								1
		実践日本語F	2前			1			○								1
		小計（8科目）	—	—	4	4	0		—		0	0	0	0	0	0	16
	情報リテラシー科目	情報基礎概論	1前		2			○			1			1			
		情報基礎演習Ⅰ	1前		1				○			1					
		小計（2科目）	—	—	3	0	0		—		1	1	0	1	0	0	
	基本教養科目	基礎自然科学															
		Introduction to Science	1・2後			2			○								11
		物理の世界Ⅰ	1・2前			2			○								1
		物理の世界Ⅱ	1・2後			2			○								1
		化学の世界A	1・2後			2			○								2
		化学の世界B	1・2前			2			○								2
		実験化学Ⅰ	1・2前			2			○								5
		実験化学Ⅱ	1・2後			2			○								5
		地学の世界	1・2後			2			○								1
		数理の世界	1・2後			2			○								1
		原子の発見	1・2後			2			○								1
		自然科学・技術の現代的諸相															
		情報科学の世界Ⅰ	1・2前			2			○								2
		情報科学の世界Ⅱ	1・2前・後			2			○								2
		機械工学の世界A	1・2後			2			○								2
		機械工学の世界B	1・2前			2			○								2
		電気電子工学の世界A	1・2前			2			○								1
		電気電子工学の世界B	1・2後			2			○								1
		都市と生活	1・2前			2			○								1
		インタラクティブコンテンツ入門	1・2後			2			○								1
		環境をはかる	1・2後			2			○								1
		肥前セラミック学	1・2前			2			○		1						13
		AI・数理・データサイエンスⅠ	1・2前			2			○								3
		AI・数理・データサイエンスⅡ	1・2後			2			○								2
		農学の世界A	1・2前			2			○			1					
		農学の世界B	1・2後			2			○		1						
		STEAM学習基礎	1・2後			2			○								1
		生物科学・生命科学															
		生物科学の世界A	1・2前			2			○		2						
		生物科学の世界B	1・2前			2			○			1					
		栄養科学A	1・2前			2			○								1
		栄養科学B	1・2後			2			○								1
		栄養科学C	1・2後			2			○								2
		生命科学の基礎A	1・2後			2			○								5
		生命科学の基礎B	1・2前			2			○								2
		生命科学の基礎C	1・2前			2			○								15
		生命科学の基礎F	1・2後			2			○								3
		自然科学と技術の分野特別講義															
		九州・沖縄学Ⅱ	1・2後			2			○			3					
		小計（35科目）	—	—	0	70	0		—		3	4	0	0	0	0	79

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	主要授 業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置						備考
				必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験・ 実習	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	基 幹 教 員 以 外 (助手を除く)	
教養教育科目	文化の分野	言語と文化														
		ドイツの言語と文化Ⅰ	1・2前		2		○								1	
		ドイツの言語と文化Ⅱ	1・2後		2		○								1	
		フランスの言語と文化Ⅰ	1・2前		2		○								1	
		フランスの言語と文化Ⅱ	1・2後		2		○								1	
		中国の言語と文化Ⅰ	1・2前		2		○								1	
		中国の言語と文化Ⅱ	1・2後		2		○								1	
		韓国・朝鮮の言語と文化Ⅰ	1・2前		2		○								1	
		韓国・朝鮮の言語と文化Ⅱ	1・2後		2		○								1	
		Western Culture	1・2前		2		○								1	
		Intensive EnglishⅠ	1・2前		2		○								2	
		Intensive EnglishⅡ	1・2後		2		○								2	
		アカデミック英語	1・2後		1		○								1	
		ビジネス英語	1・2後		1		○								1	
		アカデミック独語	1・2前・後		1		○								1	
		ドイツ文学A	1・2前		1		○								1	
		ドイツ文学B	1・2後		1		○								1	
		ドイツ文化論A	1・2前		2		○								1	
		ドイツ文化論B	1・2後		2		○								1	
		文学と芸術														
		欧米の文化・文学	1・2前・後		2		○								1	
		芸術論	1・2前		2		○								2	隔年・オムニバス
		言語と表現														
		日本語学	1・2前		2		○								1	
		コミュニケーション論	1・2前・後		2		○								2	共同・標準外・メディア
		Critical Thinking for the Modern Age	1・2前		2		○								1	
		Cultural Metaphors	1・2後		2		○								1	
		歴史と文化														
		哲学・倫理学	1・2後		2		○								1	隔年
		考古学	1・2前		2		○								1	隔年
		日本史	1・2前・後		2		○								1	
		西洋史	1・2前・後		2		○								1	
		人類学	1・2前		2		○								2	オムニバス
		スポーツウェルネスの世界	1・2前・後		2		○								1	
		近代サッカーの成立と進歩	1・2後		2		○								1	
		サッカーの歴史と技法	1・2前		2		○								1	
		柔道の歴史と技法	1・2後		2		○								1	
		哲学の世界	1・2後		2		○								1	
		地域史	1・2後		2		○								1	標準外・メディア
		宗教学	1・2後		2		○								1	隔年
		文化の分野特別講義														
		九州・沖縄学Ⅰ	1・2前		2		○								1	標準外・メディア
	小計(37科目)		—	—	0	69	0	—	—	0	0	0	0	0	29	
	現代社会の分野	基礎社会科学														
		経済学	1・2前・後		2		○								1	
		会計学	1・2後		2		○								1	
		経営学	1・2前		2		○								2	
		法律学	1・2前		2		○								6	オムニバス
		政治学	1・2後		2		○								1	
		日本国憲法	1・2前・後		2		○								1	
		現代社会の法と政治	1・2前		2		○								1	
		地理学	1・2前		2		○								1	
		Introduction to Sociology	1・2前		2		○								1	
		社会思想	1・2後		2		○								1	
		教育と人間														
		教育と人生	1・2後		2		○								1	
		心理学A	1・2前・後		2		○								1	
		心理学B	1・2後		2		○								1	
		健康科学A	1・2前・後		2		○								2	
		健康科学B	1・2後		2		○								2	オムニバス
		スポーツと健康	1・2前		2		○								1	
		Citizenship Education	1・2後		2		○								1	
		Life in the Global World	1・2前		2		○								1	

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	主要授 業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置						備考
				必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験・ 実習	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	基 幹 教 員 以 外 (助手を除く)	
教養教育科目	現代社会の分野	情報メディアと倫理	1・2前・後		2		○								2	隔年
		心の病と癒しのプロセス	1・2後		2		○								1	
		心身の発達過程	1・2前		2		○								1	共同・メディア
		情報メディアコミュニケーション	1・2前・後		2		○								2	
		Aspects of Modern Society	1・2後		2		○								1	オムニバス・共同（一部）
		プレゼンテーション・デザイン	1・2前・後		2		○								1	
		現代教育学	1・2後		2		○								8	共同（一部）
		教育学A	1・2後		2		○								1	
		教育学B	1・2前		2		○								1	共同（一部）
		教育学C	1・2後		2		○								1	
		体育実技Ⅰ	1・2前・後		1			○							3	共同（一部）
		体育実技Ⅱ	1・2前・後		1			○							4	
		現代社会の諸相														標準外・メディア
		ジャーナリズムの現在	1・2後		2		○								1	
		アジアコミュニティ論	1・2後		2		○								1	オムニバス・標準外・メディア
		知的財産学	1・2後		2		○								1	
		環境科学Ⅰ	1・2前		2		○								2	オムニバス・標準外・メディア
		環境科学Ⅲ	1・2後		2		○								2	
		インストラクショナル・デザイン	1・2前・後		2		○								2	共同・標準外・メディア
		国際社会学	1・2後		2		○								1	
		現代社会の分野特別講義														標準外
		グローバル化と証券投資	1・2前		2		○								1	
		西洋近代社会思想史	1・2前		2		○								1	標準外
		多文化社会論	1・2前		2		○								1	
		経営工学からみたマネジメント	1・2後		2		○								1	標準外
		金融リテラシーと生命保険	1・2後		2		○								1	
	小計（42科目）		—	—	0	82	0	—		0	0	0	0	0	52	標準外
	総合科目	海外交流実習	1・2前・後		2				○						2	
		キャリアデザイン	1・2後		2		○								1	標準外
		グループワークの技法と実践	1・2後		2			○							1	
		データサイエンスへの招待	3前		2		○								1	標準外
		チャレンジ・インターンシップA	1・2前・後		2			○							1	
		チャレンジ・インターンシップB	2通		2			○		1						標準外
		ライフデザインとセルフ・リーダーシップ	1・2前		2		○								1	
		Online Immersion Program	1・2前		2										1	標準外・メディア
		Overseas Practicum	1・2後		2										1	
		データサイエンスBasicⅠ	1・2後		1		○								3	共同・標準外・メディア
		データサイエンスBasicⅡ	1・2後		1		○								3	
	小計（11科目）		—	—	0	20	0	—		1	0	0	0	0	8	標準外
	外国人留学生	日本事情－自然科学と技術の分野	1後		2		○								1	
		日本事情－文化の分野	1前		2		○								1	隔年
		日本事情－現代社会	1後		2		○								1	
		小計（3科目）	—	—	0	6	0	—		0	0	0	0	0	3	隔年
	インターフェース科目	機械工学と環境Ⅰ	2前		2		○								3	
		機械工学と環境Ⅱ	2後		2		○								4	オムニバス
		機械工学と環境Ⅲ	3前		2		○								6	
		機械工学と環境Ⅳ	3後		2		○								5	オムニバス・共同（一部）
		エレクトロニクスと環境Ⅰ	2前		2		○								1	
		エレクトロニクスと環境Ⅱ	2後		2		○								1	オムニバス
		エレクトロニクスと環境Ⅲ	3前		2		○								1	
		エレクトロニクスと環境Ⅳ	3後		2		○								1	共同・標準外
		佐賀の環境Ⅰ	2前		2		○				2				1	
		佐賀の環境Ⅱ	2後		2		○				2				2	オムニバス
		佐賀の環境Ⅲ	3前		2		○				4				1	
		佐賀の環境Ⅳ	3後		2		○				4		1			オムニバス
		小計（12科目）	—	—	0	24	0	—		0	5	0	1	0	26	
	文化と共生コース	異文化交流Ⅰ	2前		2		○								1	標準外
		異文化交流Ⅱ	2後		2		○								1	
		異文化交流Ⅲ	3前		2		○								1	標準外
		異文化交流Ⅳ	3後		2		○								1	
		Intercultural CommunicationⅠ	2前		2		○								2	標準外
		Intercultural CommunicationⅡ	2後		2		○								1	
		Intercultural CommunicationⅢ	3前		2		○								2	標準外

科目 区分			授業科目の名称	配当年次	主要授 業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置						備考		
						必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	基幹教員以外の教員		(助手を除く)	
教養教育科目	文化と共生コース	Intercultural CommunicationⅣ	3後			2		○									2	共同・標準外 共同 共同		
		肥前陶磁器産業体験Ⅰ	2前			2		○									1			
		肥前陶磁器産業体験Ⅱ	2前			2		○									2			
		肥前陶磁器産業体験Ⅲ	3前			2		○									4			
		肥前陶磁器産業体験Ⅳ	3後			2		○									4			
		ドイツ語とドイツ語圏の歴史・文化Ⅰ	2前			2		○										1		
		ドイツ語とドイツ語圏の歴史・文化Ⅱ	2後			2		○										1		
		ドイツ語とドイツ語圏の歴史・文化Ⅲ	3前			2		○										1		
		ドイツ語とドイツ語圏の歴史・文化Ⅳ	3後			2		○										1		
		芸術と社会Ⅰ	2前			2		○										5	オムニバス	
		芸術と社会Ⅱ	2後			2		○										3	オムニバス・標準外	
		芸術と社会Ⅲ	3前			2		○										5	オムニバス	
		芸術と社会Ⅳ	3後			2		○										4	オムニバス	
		歴史文化Ⅰ	2前			2		○											1	
		歴史文化Ⅱ	2後			2		○											1	
		歴史文化Ⅲ	3前			2		○											1	
		歴史文化Ⅳ	3後			2		○											1	
		英語コミュニケーションⅠ	2前			2		○											2	
		英語コミュニケーションⅡ	2後			2		○											2	
		英語コミュニケーションⅢ	3前			2		○											2	
		英語コミュニケーションⅣ	3後			2		○											2	
		小計（28科目）	—	—	0	56	0	—					0	0	0	0	0		36	
		インターフェース科目 生活と科学コース	未来を拓く材料の科学Ⅰ	2前			2		○										4	オムニバス
			未来を拓く材料の科学Ⅱ	2後			2		○										3	オムニバス
			未来を拓く材料の科学Ⅲ	3前			2		○										5	オムニバス
			未来を拓く材料の科学Ⅳ	3後			2		○										6	オムニバス・共同（一部）
			情報技術者キャリアデザインⅠ	2前			2		○										2	共同
			情報技術者キャリアデザインⅡ	3前			2		○										3	オムニバス
	情報技術者キャリアデザインⅢ		3前・後			2		○										1	オムニバス オムニバス オムニバス オムニバス オムニバス オムニバス オムニバス オムニバス	
	情報技術者キャリアデザインⅣ		3後			2		○										1		
	2年間でできる「がばいベンチャー」の作り方Ⅰ		2前			2		○				1								
	2年間でできる「がばいベンチャー」の作り方Ⅱ		2後			2		○				1								
	2年間でできる「がばいベンチャー」の作り方Ⅲ		3前			2		○				1								
	2年間でできる「がばいベンチャー」の作り方Ⅳ		3後			2		○				1								
	食糧生産の科学Ⅰ		2前			2		○				1								
	食糧生産の科学Ⅱ		2後			2		○				3	1							
	食糧生産の科学Ⅲ		3前			2		○				1	3							
	食糧生産の科学Ⅳ		3後			2		○				2	4							
	ライフサイエンス・フードサイエンスⅠ		2前			2		○				2	1	1						
	ライフサイエンス・フードサイエンスⅡ		2後			2		○				1	1		2					
	ライフサイエンス・フードサイエンスⅢ		3前			2		○				2	3							
	ライフサイエンス・フードサイエンスⅣ		3後			2		○				4			1					
小計（20科目）	—		—	0	40	0	—				17	12	1	3	0		27			
人間と社会コース	チームビルディングとリーダーシップⅠ		2前			2		○										3	共同	
	チームビルディングとリーダーシップⅡ		2後			2		○										4	共同	
	チームビルディングとリーダーシップⅢ		3前			2		○										3	共同	
	チームビルディングとリーダーシップⅣ	3後			2		○										3	共同		
	リサーチ・リテラシーⅠ	2前			2		○										1			
	リサーチ・リテラシーⅡ	2後			2		○										1			
	リサーチ・リテラシーⅢ	3前			2		○									1				
	リサーチ・リテラシーⅣ	3後			2		○				1					2				

科目 区分			授業科目の名称	配当年次	主要授 業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置						備考
						必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験・ 実習	教 授	准 教授	講 師	助 教	助 手	基 幹 教 員 以 外 (助 手 を 除 く)	
教養教育科目	人間と社会コース	スポーツイベントとボランティアリーダーⅠ	2前		2		○									1	共同	
		スポーツイベントとボランティアリーダーⅡ	2後		2		○									2		
		スポーツイベントとボランティアリーダーⅢ	3前		2		○									2		
		スポーツイベントとボランティアリーダーⅣ	3後		2		○									2		
		小計（12科目）	—	—	0	24	0	—	—	0	1	0	0	0	7			
	医療・福祉と社会コース	現代社会と医療Ⅰ	1前		2		○									1	共同	
		現代社会と医療Ⅱ	1前		2		○									1		
		現代社会と医療Ⅲ	1後		2		○									2		
		現代社会と医療Ⅳ	1後		2		○									1		
		食と健康Ⅰ	1前		2		○				1	1	1			2	オムニバス	
		食と健康Ⅱ	1前		2		○									1		
		食と健康Ⅲ	1後		2		○									1		
		食と健康Ⅳ	1後		2		○									7		
		ライフサイクルからみた医療Ⅰ	1前		2		○									5	オムニバス オムニバス	
		ライフサイクルからみた医療Ⅱ	1前		2		○									1		
		ライフサイクルからみた医療Ⅲ	1後		2		○									1		
		ライフサイクルからみた医療Ⅳ	1後		2		○									1		
		小計（12科目）	—	—	0	24	0	—	—	1	1	1	0	0	20			
	地域・佐賀学コース	佐賀の歴史文化Ⅰ	2前		2		○									1	オムニバス 共同 オムニバス 共同	
		佐賀の歴史文化Ⅱ	2後		2		○									1		
		佐賀の歴史文化Ⅲ	3前		2		○									1		
		佐賀の歴史文化Ⅳ	3後		2		○									1		
		地域経済と社会Ⅰ	2前		2		○									1		
		地域経済と社会Ⅱ	2後		2		○									1		
		地域経済と社会Ⅲ	3前		2		○									1		
		地域経済と社会Ⅳ	3後		2		○									1		
		佐賀SDGsグローバルアクションⅠ	2前		2		○				1					3		
		佐賀SDGsグローバルアクションⅡ	2後		2		○				1					2		
		佐賀SDGsグローバルアクションⅢ	3前		2		○									2		
	佐賀SDGsグローバルアクションⅣ	3後		2		○				2					2			
	小計（12科目）	—	—	0	24	0	—	—	2	1	0	0	0	12				
	共通	インターフェース演習	3前		2			○									標準外	
		小計（1科目）	—	—	0	2	0	—	—									
合計（301科目）			—	—	72	513	0	—	—	24	19	1	4	0	264			
学位又は称号			学士（農学）			学位又は学科の分野			農学関係									
卒業・修了要件及び履修方法									授業期間等									
教養教育科目29単位以上、専門教育科目（必修科目63単位を含む）97単位以上、合計126単位以上を修得すること。 （履修科目の登録の上限：44単位（年間））									1学年の学期区分				2期					
									1学期の授業期間				15週					
									1時限の授業の標準時間				90分					

教 育 課 程 等 の 概 要 （農学部生物資源科学科 国際・地域マネジメントコース）【既設】																
科目 区分	授業科目の名称	配当年次	主要授 業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置						備考
				必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験・ 実習	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	基 幹 教 員 以 外 の 教 員 （助手を除く）	
学部 基礎 科目	生物学	1前	○	2			○			3	2					オムニバス
	物理学	1前	○	2			○			1	1				1	オムニバス
	化学	1前	○	2			○			1	1	1			1	オムニバス
	基礎数学	1前	○		2		○								1	オムニバス
	基礎統計学	1前	○		2		○								1	オムニバス
	小計（5科目）	—	—	6	4	0	—			4	4	1	0	0	3	
	専門導入科目															
	アグリキャリアデザイン	1前	○	2			○			2	1				1	オムニバス
	農学概論	1後	○	2			○			5	9		1		1	オムニバス
	農業ICT学	1後	○	2			○			2	1					オムニバス
	生物化学	1後	○		2		○			3						オムニバス
	栽培学汎論	1後	○		2		○			2						オムニバス
	土壌学	1後	○		2		○				1					オムニバス
	生物統計学	1後	○		2		○						1			オムニバス
	農業経済学	1後	○		2		○			1						オムニバス
	食品科学	1後	○		2		○			9	5	1	4			オムニバス
	小計（9科目）	—	—	6	12	0	—			17	15	1	4	0	0	
	専門教育科目															
	国際・地域マネジメント入門	2前	○	2			○			2	1					オムニバス
	食用作物学	2後	○		2		○			2	1					オムニバス
	アジア地誌	2前	○		2		○				1					オムニバス
	農村地理学	2前	○		2		○								1	オムニバス
	農業市場流通学	2前	○		2		○								1	オムニバス
	群集生態学	2前	○		2		○			1						オムニバス
	地域再生論	2後	○		2		○								1	オムニバス
	地域マネジメント論	2前	○		2		○								1	オムニバス
	園芸学	2前	○		2		○			2	1					オムニバス
	農業水利学	2前	○		2		○			1						オムニバス
	人間開発論	2前	○		2		○								1	オムニバス
	社会調査実習Ⅰ	2前	○	1					○	2	1					集中
	フィールド科学基礎実習Ⅰ	2前	○	1					○	1	3					共同
	環境社会学	2前	○		2		○				1					オムニバス
	国際地域調査法	2前	○	2				○		1	3					オムニバス
	国際関係学要説	2前	○		2		○								1	隔年
	栽培環境制御学	2前	○		2		○			1						オムニバス
	経済法Ⅰ	2後	○		2		○									オムニバス
	経営管理論	2後	○		2		○								1	オムニバス
	農業生産機械学	2後	○		2		○				1					オムニバス
	農村開発論	2後	○		2		○								1	オムニバス
	島嶼・半島地域社会経済論	2後	○		2		○								1	集中
	社会統計学	2後	○	2			○			1						オムニバス
	畜産学	2後	○		2		○				2				1	オムニバス
	昆虫学	2後	○		2		○								1	集中
	干潟環境学	3後	○		2		○				1					オムニバス
	農産物食品流通貯蔵学	2後	○		2		○			1						オムニバス
	熱帯作物学	2後	○		2		○			1	1					オムニバス
	農村の環境・健康問題	2後	○		2		○			1						メディア・集中
	社会調査実習Ⅱ	2後	○	2					○	2	1					集中
	フィールド科学基礎実習Ⅱ	2後	○	1					○		3					共同
	生態人類学	3前	○		2		○				1					集中
	農業ビジネスマネジメント学	3前	○		2		○			1						集中
	比較農政学	3後	○		2		○								1	集中
	開発経済論	3前	○		2		○								1	集中
	農村環境計画学	3前	○		2		○			1						オムニバス
	農村と産業演習Ⅰ	3前	○		1			○		1						オムニバス
	環境と生活演習Ⅰ	3前	○		1			○		1	1					オムニバス
	実践語学	3前	○	2				○		2	1					オムニバス
	インターンシップ S	3前	○		1				○							集中
	インターンシップ L	3前	○		2				○							集中
	アジア・フィールドワーク	3前	○		1				○	2	1					集中

科目 区分	授業科目の名称	配当年度	主要授 業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置						備考
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	基幹教員以外 (助手を除く)	
教養教育科目	自然科学と技術の分野	生物科学・生命科学														
		生物科学の世界A	1・2前		2		○			2	1					オムニバス
		生物科学の世界B	1・2前		2		○									
		栄養科学A	1・2前		2		○								1	標準外・メディア
		栄養科学B	1・2後		2		○								1	標準外・メディア
		栄養科学C	1・2後		2		○								2	標準外・メディア
		生命科学の基礎A	1・2後		2		○								5	オムニバス
		生命科学の基礎B	1・2前		2		○								2	オムニバス
		生命科学の基礎C	1・2前		2		○								15	オムニバス・共同（一部）
		生命科学の基礎F	1・2後		2		○								3	オムニバス
		自然科学と技術の分野特別講義 九州・沖縄学Ⅱ	1・2後		2		○				3					標準外・メディア
	小計（35科目）		—	—	0	70	0	—	—	3	4	0	0	0	79	
	基本教養科目 文化の分野	言語と文化														
		ドイツの言語と文化Ⅰ	1・2前		2		○								1	
		ドイツの言語と文化Ⅱ	1・2後		2		○								1	
		フランスの言語と文化Ⅰ	1・2前		2		○								1	
		フランスの言語と文化Ⅱ	1・2後		2		○								1	
		中国の言語と文化Ⅰ	1・2前		2		○								1	
		中国の言語と文化Ⅱ	1・2後		2		○								1	
		韓国・朝鮮の言語と文化Ⅰ	1・2前		2		○								1	
		韓国・朝鮮の言語と文化Ⅱ	1・2後		2		○								1	
		Western Culture	1・2前		2		○								1	
		Intensive EnglishⅠ	1・2前		2		○								2	
		Intensive EnglishⅡ	1・2後		2		○								2	
		アカデミック英語	1・2後		1		○								1	
		ビジネス英語	1・2後		1		○								1	
		アカデミック独語	1・2前・後		1		○								1	
		ドイツ文学A	1・2前		1		○								1	
		ドイツ文学B	1・2後		1		○								1	
		ドイツ文化論A	1・2前		2		○								1	
		ドイツ文化論B	1・2後		2		○								1	
		文学と芸術														
		欧米の文化・文学	1・2前・後		2		○								1	
		芸術論	1・2前		2		○								2	隔年・オムニバス
		言語と表現														
		日本語学	1・2前		2		○								1	
		コミュニケーション論	1・2前・後		2		○								2	共同・標準外・メディア
		Critical Thinking for the Modern Age	1・2前		2		○								1	
		Cultural Metaphors	1・2後		2		○								1	
		歴史と文化														
		哲学・倫理学	1・2後		2		○								1	隔年
		考古学	1・2前		2		○								1	隔年
		日本史	1・2前・後		2		○								1	
		西洋史	1・2前・後		2		○								1	
		人類学	1・2前		2		○								2	オムニバス
		スポーツウェルネスの世界	1・2前・後		2		○								1	
		近代サッカーの成立と進歩	1・2後		2		○								1	
		サッカーの歴史と技法	1・2前		2		○								1	
		柔道の歴史と技法	1・2後		2		○								1	
		哲学の世界	1・2後		2		○								1	
		地域史	1・2後		2		○								1	標準外・メディア
		宗教学	1・2後		2		○								1	隔年
		文化の分野特別講義 九州・沖縄学Ⅰ	1・2前		2		○								1	標準外・メディア
	小計（37科目）		—	—	0	69	0	—	—	0	0	0	0	0	29	
	現代社会の分野	基礎社会科学														
		経済学	1・2前・後		2		○								1	
		会計学	1・2後		2		○								1	
		経営学	1・2前		2		○								2	
		法律学	1・2前		2		○								6	オムニバス

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	主要授 業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置						備考
				必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験・ 実習	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	基 幹 教 員 以 外 (助手を除く)	
教養 教育科目	現代 社会の 分野	政治学	1・2後		2		○								1	オムニバス
		日本国憲法	1・2前・後		2		○								1	
		現代社会の法と政治	1・2前		2		○								1	
		地理学	1・2前		2		○								1	
		Introduction to Sociology	1・2前		2		○								1	
		社会思想	1・2後		2		○								1	
		教育と人間														
		教育と人生	1・2後		2		○								1	
		心理学A	1・2前・後		2		○								1	
		心理学B	1・2後		2		○								1	
		健康科学A	1・2前・後		2		○								2	
		健康科学B	1・2後		2		○								2	
		スポーツと健康	1・2前		2		○								1	
		Citizenship Education	1・2後		2		○								1	
		Life in the Global World	1・2前		2		○								1	
		情報メディアと倫理	1・2前・後		2		○								2	
		心の病と癒しのプロセス	1・2後		2		○								1	
		心身の発達過程	1・2前		2		○								1	
		情報メディアコミュニケーション	1・2前・後		2		○								2	
		Aspects of Modern Society	1・2後		2		○								1	
		プレゼンテーション・デザイン	1・2前・後		2		○								1	
		現代教育学	1・2後		2		○								8	
		教育学A	1・2後		2		○								1	
		教育学B	1・2前		2		○								1	
		教育学C	1・2後		2		○								1	
		体育実技Ⅰ	1・2前・後		1			○							3	
		体育実技Ⅱ	1・2前・後		1			○							4	
		現代社会の諸相														
		ジャーナリズムの現在	1・2後		2		○								1	
		アジアコミュニティ論	1・2後		2		○								1	
		知的財産学	1・2後		2		○								1	
		環境科学Ⅰ	1・2前		2		○								2	
		環境科学Ⅲ	1・2後		2		○								2	
		インストラクショナル・デザイン	1・2前・後		2		○								2	
		国際社会学	1・2後		2		○								1	
		現代社会の分野特別講義														
		グローバル化と証券投資	1・2前		2		○								1	
		西洋近代社会思想史	1・2前		2		○								1	
		多文化社会論	1・2前		2		○								1	
		経営工学からみたマネジメント	1・2後		2		○								1	
		金融リテラシーと生命保険	1・2後		2		○								1	
	小計 (42科目)		—	—	0	82	0	—		0	0	0	0	0	52	
	総合 科目	海外交流実習	1・2前・後		2				○						2	標準外
		キャリアデザイン	1・2後		2		○								1	
		グループワークの技法と実践	1・2後		2			○							1	
		データサイエンスへの招待	3前		2		○								1	
		チャレンジ・インターンシップA	1・2前・後		2			○							1	
		チャレンジ・インターンシップB	2通		2			○		1						
		ライフデザインとセルフ・リーダーシップ	1・2前		2		○								1	
		Online Immersion Program	1・2前		2										1	
		Overseas Practicum	1・2後		2										1	
		データサイエンスBasicⅠ	1・2後		1		○								3	
		データサイエンスBasicⅡ	1・2後		1		○								3	
	小計 (11科目)		—	—	0	20	0	—		1	0	0	0	0	8	
	外国 人留 学生	日本事情－自然科学と技術の分野	1後		2		○								1	隔年
		日本事情－文化の分野	1前		2		○								1	
		日本事情－現代社会	1後		2		○								1	
		小計 (3科目)	—	—	0	6	0	—		0	0	0	0	0	3	

科目 区分	授業科目の名称	配当年度	主要授業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置						備考
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	基幹教員以外 (助手を除く)	
教養教育科目	環境コース	機械工学と環境Ⅰ	2前		2		○								3	オムニバス
		機械工学と環境Ⅱ	2後		2		○								4	オムニバス
		機械工学と環境Ⅲ	3前		2		○								6	オムニバス
		機械工学と環境Ⅳ	3後		2		○								5	オムニバス・共同（一部）
		エレクトロニクスと環境Ⅰ	2前		2		○								1	
		エレクトロニクスと環境Ⅱ	2後		2		○								1	
		エレクトロニクスと環境Ⅲ	3前		2		○								1	
		エレクトロニクスと環境Ⅳ	3後		2		○								1	
		佐賀の環境Ⅰ	2前		2		○				2				1	オムニバス
		佐賀の環境Ⅱ	2後		2		○				2				2	共同・標準外
		佐賀の環境Ⅲ	3前		2		○				4				1	オムニバス
		佐賀の環境Ⅳ	3後		2		○				4		1			オムニバス
		小計（12科目）	—	—	0	24	0	—	—	0	5	0	1	0	26	
	文化と共生コース インターフェース科目	異文化交流Ⅰ	2前		2		○								1	
		異文化交流Ⅱ	2後		2		○								1	
		異文化交流Ⅲ	3前		2		○								1	
		異文化交流Ⅳ	3後		2		○								1	
		Intercultural CommunicationⅠ	2前		2		○								2	
		Intercultural CommunicationⅡ	2後		2		○								1	標準外
		Intercultural CommunicationⅢ	3前		2		○								2	
		Intercultural CommunicationⅣ	3後		2		○								2	
		肥前陶磁器産業体験Ⅰ	2前		2		○								1	
		肥前陶磁器産業体験Ⅱ	2前		2		○								2	共同・標準外
		肥前陶磁器産業体験Ⅲ	3前		2		○								4	共同
		肥前陶磁器産業体験Ⅳ	3後		2		○								4	共同
		ドイツ語とドイツ語圏の歴史・文化Ⅰ	2前		2		○								1	
		ドイツ語とドイツ語圏の歴史・文化Ⅱ	2後		2		○								1	
		ドイツ語とドイツ語圏の歴史・文化Ⅲ	3前		2		○								1	
		ドイツ語とドイツ語圏の歴史・文化Ⅳ	3後		2		○								1	
		芸術と社会Ⅰ	2前		2		○								5	オムニバス
		芸術と社会Ⅱ	2後		2		○								3	オムニバス・標準外
		芸術と社会Ⅲ	3前		2		○								5	オムニバス
		芸術と社会Ⅳ	3後		2		○								4	オムニバス
		歴史文化Ⅰ	2前		2		○								1	
		歴史文化Ⅱ	2後		2		○								1	
		歴史文化Ⅲ	3前		2		○								1	
		歴史文化Ⅳ	3後		2		○								1	
		英語コミュニケーションⅠ	2前		2		○								2	
		英語コミュニケーションⅡ	2後		2		○								2	
		英語コミュニケーションⅢ	3前		2		○								2	
		英語コミュニケーションⅣ	3後		2		○								2	
		小計（28科目）	—	—	0	56	0	—	—	0	0	0	0	0	36	
	生活と科学コース	未来を拓く材料の科学Ⅰ	2前		2		○								4	オムニバス
		未来を拓く材料の科学Ⅱ	2後		2		○								3	オムニバス
		未来を拓く材料の科学Ⅲ	3前		2		○								5	オムニバス
		未来を拓く材料の科学Ⅳ	3後		2		○								6	オムニバス・共同（一部）
		情報技術者キャリアデザインⅠ	2前		2		○								2	共同
		情報技術者キャリアデザインⅡ	3前		2		○								3	オムニバス
		情報技術者キャリアデザインⅢ	3前・後		2		○								1	
		情報技術者キャリアデザインⅣ	3後		2		○								1	
		2年間でできる「がばいベンチャー」の作り方Ⅰ	2前		2		○			1						
		2年間でできる「がばいベンチャー」の作り方Ⅱ	2後		2		○			1						
		2年間でできる「がばいベンチャー」の作り方Ⅲ	3前		2		○			1						
		2年間でできる「がばいベンチャー」の作り方Ⅳ	3後		2		○			1						
		食糧生産の科学Ⅰ	2前		2		○			1						オムニバス

科目 区分		授業科目の名称	配当年次	主要授 業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置						備考
					必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験・ 実習	教 授	准 教授	講 師	助 教	助 手	基 幹 教員 以外 （助手を除く）	
教養教育科目	生活と科学 コース	食糧生産の科学Ⅱ	2後		2		○			3	1					オムニバス	
		食糧生産の科学Ⅲ	3前		2		○			1	3					オムニバス	
		食糧生産の科学Ⅳ	3後		2		○			2	4					オムニバス	
		ライフサイエンス・フードサイエンスⅠ	2前		2		○			2	1	1				オムニバス	
		ライフサイエンス・フードサイエンスⅡ	2後		2		○			1	1		2			オムニバス・共同（一部）	
		ライフサイエンス・フードサイエンスⅢ	3前		2		○			2	3					オムニバス	
		ライフサイエンス・フードサイエンスⅣ	3後		2		○			4			1			オムニバス	
		小計（20科目）	—	—	0	40	0	—	—	17	12	1	3	0	27		
		人間と社会 コース	チームビルディングとリーダーシップⅠ	2前		2		○								3	共同
			チームビルディングとリーダーシップⅡ	2後		2		○								4	共同
	チームビルディングとリーダーシップⅢ		3前		2		○								3	共同	
	チームビルディングとリーダーシップⅣ		3後		2		○								3	共同	
	リサーチ・リテラシーⅠ		2前		2		○								1		
	リサーチ・リテラシーⅡ		2後		2		○								1		
	リサーチ・リテラシーⅢ		3前		2		○								1		
	リサーチ・リテラシーⅣ		3後		2		○				1				2		
	スポーツイベントとボランティアリーダーⅠ		2前		2		○								1		
	スポーツイベントとボランティアリーダーⅡ		2後		2		○								2	共同	
	スポーツイベントとボランティアリーダーⅢ		3前		2		○								2	共同	
	スポーツイベントとボランティアリーダーⅣ		3後		2		○								2	共同	
	小計（12科目）		—	—	0	24	0	—	—	0	1	0	0	0	7		
	医療・福祉と社会 コース	現代社会と医療Ⅰ	1前		2		○								1		
		現代社会と医療Ⅱ	1前		2		○								1		
		現代社会と医療Ⅲ	1後		2		○								2	共同	
		現代社会と医療Ⅳ	1後		2		○								1		
		食と健康Ⅰ	1前		2		○			1	1	1			2	オムニバス	
		食と健康Ⅱ	1前		2		○								1		
		食と健康Ⅲ	1後		2		○								1		
		食と健康Ⅳ	1後		2		○								7	オムニバス	
		ライフサイクルからみた医療Ⅰ	1前		2		○								5	オムニバス	
		ライフサイクルからみた医療Ⅱ	1前		2		○								1		
		ライフサイクルからみた医療Ⅲ	1後		2		○								1		
		ライフサイクルからみた医療Ⅳ	1後		2		○								1		
		小計（12科目）	—	—	0	24	0	—	—	1	1	1	0	0	20		
	地域・佐賀学 コース	佐賀の歴史文化Ⅰ	2前		2		○								1		
		佐賀の歴史文化Ⅱ	2後		2		○								1		
		佐賀の歴史文化Ⅲ	3前		2		○								1		
		佐賀の歴史文化Ⅳ	3後		2		○								1		
		地域経済と社会Ⅰ	2前		2		○								1		
		地域経済と社会Ⅱ	2後		2		○								1		
		地域経済と社会Ⅲ	3前		2		○								1		
		地域経済と社会Ⅳ	3後		2		○								1		
		佐賀SDGsグローバルアクションⅠ	2前		2		○				1				3	オムニバス	
		佐賀SDGsグローバルアクションⅡ	2後		2		○				1				2	共同	
		佐賀SDGsグローバルアクションⅢ	3前		2		○			2					2	オムニバス	
		佐賀SDGsグローバルアクションⅣ	3後		2		○			2					2	共同	
		小計（12科目）	—	—	0	24	0	—	—	2	1	0	0	0	12		
	共通	インターフェース演習	3前		2			○								標準外	
	小計（1科目）	—	—	0	2	0	—	—									
	合計（310科目）			—	—	48	547	0	—	—	22	19	1	4	0	264	
学位又は称号		学士（農学）			学位又は学科の分野				農学関係								

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	主要授 業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置							備考
				必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験・ 実 習	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	基 幹 教 員 以 外 (助手を除く)		
卒 業 ・ 修 了 要 件 及 び 履 修 方 法							授業期間等										
教養教育科目29単位以上、専門教育科目（必修科目39単位を含む）97単位以上、合計126単位以上を修得すること。 （履修科目の登録の上限：44単位（年間））							1 学年の学期区分								2 期		
							1 学期の授業期間								1 5 週		
							1 時限の授業の標準時間								9 0 分		

授 業 科 目 の 概 要					
(コスメティックサイエンス学環)					
科目 区分		授業科目の名称	主要授業科目	講義等の内容	備考
教養教育科目	大学入門科目	大学入門科目Ⅰ		本学に入学した学生に、大学における学習への転換を促し、高校から大学への接続を円滑にし、本学の新入生として必要とされる知識やスキルを身に付けることを目的とします。更に、学環の特性に応じて、論理的な理解、分析、思考及び表現等の能力またはデザイン力を養うことを目的とします。 北垣 浩志2回 大学生活のルールとマナーに関する講義を担当 鯉川 雅之2回 学修ポートフォリオ、大学での学習方法に関する講義を担当 長田 聡史2回 佐賀大学の紹介に関する講義を担当 梅木 辰也2回 ハラスメント講習を担当 川口 真一2回 環境教育、研究倫理教育を担当 徳留 嘉寛2回 キャリア教育を担当 全員3回 ガイダンス、チューター面談	オムニパス
教養教育科目	共通基礎科目	外国語科目	英語A	中学・高校の6年間で培った基礎学力を基盤として、4技能をバランスよく高め、英語の運用能力とコミュニケーション能力の育成を目指す。異文化についての知識と理解を深め、国際的な視野の養成を目指す。意思や情報の発信及び情報の収集に必要な英語運用能力を育成・強化することで、学生の専門分野を問わず、国際的な場面で通用する英語コミュニケーション能力を養う。多様な文化に関する知識と異文化への理解を深めることで、今日的課題に対して国際的な視点で対応・判断できる能力を養う。	
教養教育科目	共通基礎科目	外国語科目	英語B	中学・高校の6年間で培った基礎学力を基盤として、4技能をバランスよく高め、英語の運用能力とコミュニケーション能力の育成を目指す。異文化についての知識と理解を深め、国際的な視野の養成を目指す。意思や情報の発信及び情報の収集に必要な英語運用能力を育成・強化することで、学生の専門分野を問わず、国際的な場面で通用する英語コミュニケーション能力を養う。多様な文化に関する知識と異文化への理解を深めることで、今日的課題に対して国際的な視点で対応・判断できる能力を養う。	
教養教育科目	共通基礎科目	外国語科目	英語C	中学・高校の6年間で培った基礎学力を基盤として、4技能をバランスよく高め、英語の運用能力とコミュニケーション能力の育成を目指す。異文化についての知識と理解を深め、国際的な視野の養成を目指す。意思や情報の発信及び情報の収集に必要な英語運用能力を育成・強化することで、学生の専門分野を問わず、国際的な場面で通用する英語コミュニケーション能力を養う。多様な文化に関する知識と異文化への理解を深めることで、今日的課題に対して国際的な視点で対応・判断できる能力を養う。 少人数クラスの利点を活かして、コミュニケーション志向型の授業を行う。	
教養教育科目	共通基礎科目	外国語科目	英語D	中学・高校の6年間で培った基礎学力を基盤として、4技能をバランスよく高め、英語の運用能力とコミュニケーション能力の育成を目指す。異文化についての知識と理解を深め、国際的な視野の養成を目指す。意思や情報の発信及び情報の収集に必要な英語運用能力を育成・強化することで、学生の専門分野を問わず、国際的な場面で通用する英語コミュニケーション能力を養う。多様な文化に関する知識と異文化への理解を深めることで、今日的課題に対して国際的な視点で対応・判断できる能力を養う。 e-learningを活用した自学自習型の授業を行う。	
教養教育科目	共通基礎科目	外国語科目	実践日本語C	(概要) 本科目は『実践日本語』シリーズA～Fの中級後半の科目のひとつで、①ひとつひとつの文を理解する方法、②項構造一格表示・後置詞対応と活用型を含む動詞・形容詞・名詞の項構造と活用型と文の対応を説明し、学生に機会ー1) 文章で表されていることを検証・確認したり、筆者の主張へコメントをしたりして、それらを作文し、それをクラスで発表し、クラスで議論するーを提供する。読む文章は教科書のEU、雑談力、日本の自殺者数、カラオケボックスの他の利用法の4本である。	外国人留学生のための科目
教養教育科目	共通基礎科目	外国語科目	実践日本語D	(概要) 本科目は『実践日本語』シリーズA～Fの中級Ⅱの科目のひとつで、①ひとつひとつの文を理解する方法、②項構造と活用型を含む動詞・形容詞・名詞の項構造と活用型と文の対応、③関連のある言葉を探す方法を説明し、学生に機会ー1) 文章で表されていることを検証・確認したり、筆者の主張へコメントをしたりして、それらを作文し、それをクラスで発表し、クラスで議論するーを提供する。読む文章は教科書の外国語の勉強方法、巨大ロボット、主食、アジアとヨーロッパで好まれる色の違いの4本である。	外国人留学生のための科目
教養教育科目	共通基礎科目	外国語科目	実践日本語E	(概要) 本科目は『実践日本語』シリーズA～Fの上級の科目のひとつで、①ひとつひとつの文を理解する方法、②項構造と活用型を含む動詞・形容詞・名詞の項構造と活用型と文の対応、③筆者の意見を見抜く、筆者の立場を見分ける、大切なことを伝えるサインをつかむ、目印を使って内容を整理する方法を説明し、学生に機会ー1) 文章で表されていることを検証・確認したり、筆者の主張へコメントをしたりして、それらを作文し、それをクラスで発表し、クラスで議論するーを提供する。読む文章は教科書の日本の町のごみ、レジ袋の有料化、ワークシェアリング、優先席の4本である。	外国人留学生のための科目
教養教育科目	共通基礎科目	外国語科目	実践日本語F	(概要) この講義では、中・上級レベルの学習者を対象にした授業を行います。読解ストラテジーに焦点を当てながら、日本語の文章が正しく理解できるように様々な読解課題を実施します。また、テキストの情報をテーマにしてグループ・ディスカッションを行い作文にまとめるなど、四技能の伸長にも配慮して進めます。 様々な読解ストラテジーについて知りそれを実践することを通して、より複雑な日本語の文章を効率的に理解できるようになる。また、日本を題材としたテーマについて自分の考えを他者と共有し、深める中で日本語コミュニケーション能力を高める。	外国人留学生のための科目

科目 区分			授業科目の名称	主要授業科目	講義等の内容	備考
教養教育科目	共通基礎科目	情報リテラシー科目	情報基礎概論		情報技術は、我々の生活を便利してくれるものです。同時に、普及にもなって様々な負の側面も現れています。「情報リテラシー」科目は、現代の社会で生きていく上で不可欠な情報技術の基礎について学ぶとともに、情報化された社会とその仕組みについて、利点と課題について学びます。また、大学での専門教育及び卒業後に必要とされる情報に関する基礎技術を習得することを目的とします。そのため、情報技術に関する基礎知識の習得と、社会で日常的に使われている様々なインターネット媒体の活用に関する利点と課題の把握を目標とします。特に、利用者としてのセキュリティ対策の基本態度の習得を行います。また、大学での学習を行う上で必要となるAIやその背景となる学問についての知識を、学環の特性に応じて習得することを目標とします。	
教養教育科目	基本教養科目	自然科学と技術の分野	基礎自然科学	Introduction to Science	アカデミックな英語力育成の一環として、理工学の7つの分野（数理学、物理学、情報科学、知能情報システム学、化学、機械システム工学、電気電子工学、都市工学）の概要や研究内容、最近の話題などを英語を用いて紹介する。 (オムニバス方式／全15回) (藤澤知織／2回) 化学分野についての講義 (三島悠一郎／2回) 都市工学分野についての講義 (ナルモン／1回) 都市工学分野についての講義 (高橋智／1回) 物理学分野についての講義 (YOH WEN LIANG／2回) 知能情報システム学分野についての講義 (長谷川裕之／1回) 機械システム工学についての講義 (郭其新／2回) 電気電子工学分野についての講義 (加藤孝盛／2回) 数理学分野についての講義 (富永昌人／1回) 化学分野についての講義 (石田賢治／1回) 機械システム工学についての講義	オムニバス
教養教育科目	基本教養科目	自然科学と技術の分野	基礎自然科学	物理の世界Ⅰ	古典物理学（力学、波動、電磁気学）の基本法則を知り、典型的な物理現象を理解する力を身に付けることを目指します。物理の世界Ⅰの概要、力と運動の表し方、運動の法則、等速円運動、放物運動、雨滴の落下、振動、仕事とエネルギー、運動量、慣性力、回転運動、波動、熱、電場と地場についての講義を行います。力学を学んだ後、波動、熱力学、電磁気学など、物理的な世界観を構成するために必要な基本的な考え方と意味について簡単に説明しますので、毎回予習復習を行い、物理的な見方を学んで下さい。	
教養教育科目	基本教養科目	自然科学と技術の分野	基礎自然科学	物理の世界Ⅱ	現代物理学の基本法則を知り、典型的な物理現象を理解する力を身に付けることを目指します。物理の世界Ⅱの概要、相対性理論、時計の遅れと棒の収縮、質量とエネルギー、原子の構造、光の粒子性、電子の波動性、不確定性原理、水素原子、原子核の構造、核エネルギー、放射能、素粒子、宇宙のビッグバンについての講義を行います。相対性理論、原子の構造、不確定性原理、原子核、素粒子、宇宙論に関する、現代物理学を理解するために必要な知識について、初歩的な説明をしますので、毎回予習復習を行い、現代物理的な見方を学んで下さい。	
教養教育科目	基本教養科目	自然科学と技術の分野	基礎自然科学	化学の世界A	化学の世界Ⅰでは現代の生活に関わる、大気汚染、オゾン層破壊、地球温暖化、エネルギー問題、飲料水、酸性雨の6つのテーマを扱う。社会および個人として見た各課題の諸側面を提示した後でそれぞれの課題と化学との関わりを示し、次いで、その化学の中身を説明し、最後に、社会および個人の関わりを改めて議論する。 (オムニバス方式／全15回) (坂口幸一／7回) 大気、オゾン、気候変動に関する化学について講義する (富永昌人／8回) エネルギー、水、酸性雨に関する化学について講義する	オムニバス
教養教育科目	基本教養科目	自然科学と技術の分野	基礎自然科学	化学の世界B	現代の生活に関わる、原子力、電池、高分子化合物、薬、栄養、遺伝子工学の6つのテーマを扱い、実際の生活に関係する様々な場面において、化学がどのように関わっているのか、具体例を紹介しながら講義する。 (オムニバス方式／全15回) (鯉川雅之／7回) 核化学、電池、高分子に関する化学について講義する (藤澤知織／8回) 薬、栄養、遺伝に関する化学について講義する	オムニバス
教養教育科目	基本教養科目	自然科学と技術の分野	基礎自然科学	実験化学A	(概要) 様々な化学現象を理解するための化学実験を行ない、化学現象の基礎を理解することを目標とし、安全に化学実験するためのポイントを学ぶ。 (オムニバス方式／全15回) (山田泰教／5回) 諸注意と安全教育、無機化合物の実験と講義 (成田貴行／2回) ナイロンの合成の実験と講義 (矢田光徳／2回) 人工イクラの実験と講義 (梅本辰也／2回) ヨウ素デンプン反応の実験と講義 (磯野健一／2回) 石鹸からろうそくを作る実験と講義 (江良正直／2回) 電気を流すプラスチックの実験と講義	オムニバス

科目区分				授業科目の名称	主要授業科目	講義等の内容	備考
教養教育科目	基本教養科目	自然科学と技術の分野	基礎自然科学	実験化学B		〔概要〕 化学のおもしろさは、モルの計算でもなければ、反応式でもない。実験をすることである。この講義では、高校や中学で紹介された実験や生活の中で役立つ簡単な化学実験を中心に、「なぜだろう」から「簡単な原理」までを紹介する。 （オムニバス方式／全15回） （坂口幸一／5回） ガイダンスと安全教育、アミノ酸の匂い・化学平衡 （長田聡史／2回） ナイロンの合成 （鯉川雅之／2回） 化学発光と炎症反応 （海野雅司／3回） 色と光の吸収 （藤澤知織／3回） 高吸水性樹脂	オムニバス
教養教育科目	基本教養科目	自然科学と技術の分野	基礎自然科学	地学の世界		〔概要〕 地球の構造や運動と、地球環境の変遷と生物進化および環境問題について講義を行う。 地球の構造や歴史を知り、その上で現在起こっている地球環境問題について考えていき、我々が住んでいる「地球」について理解を深める。 地球の構造、プレートテクトニクス、地球の誕生、生命の誕生、先カンブリア紀の環境と生物進化、古生代の環境と生物進化、中生代の環境と生物進化、新生代の環境と生物進化、気候変動、地球環境問題に項目をわけて講義を行う。	隔年
教養教育科目	基本教養科目	自然科学と技術の分野	基礎自然科学	数理の世界		この講義では、主に初等整数論を解説する。 この分野は「数学A」の内容にもあるが、その単元の知識を前提とはしない。 「初等整数論は早期の数学教育にとってもっともよい教材の一つであろう。〈BR〉それは予備知識をほとんど必要としない。その主題は確実で親しみやすく、用いられる推論の過程は単純で、一般的で、また新しい。そして人間の自然な好奇心に訴える点では、数学的な学問のなかでは独自のものがある。整数論を一ヶ月うまうま教えると、微積分学を一ヶ月教えたよりは2倍も教育的で2倍も役に立ち、10倍も面白い。 (Hardy, 1877-1947)」	
教養教育科目	基本教養科目	自然科学と技術の分野	基礎自然科学	原子の発見		〔概要〕 この世界にあるすべての物質は、原子という小さな粒子が多数集まってできています。これは、現代では常識です。しかし、我々は普段の生活の中で原子の存在を意識することはありません。原子はとても小さいので、その一つ一つを直接目で見ることができないからです。理科の時間に使った光学顕微鏡を使っても見えません。原子を見るには電子顕微鏡が必要です。 原子は今から100年ほど昔の20世紀初頭に、その存在が確立されました。その時代には、電子顕微鏡はありませんでした。電子顕微鏡は、原子の存在が確かめられ、原子がさらに小さな原子核と電子からできていることがわかった後に開発されたからです。虫眼鏡や光学顕微鏡しかない時代に、どのようにして原子の存在を確かめたのでしょうか？この授業では、人類がどのようにして原子の存在を確かめたのかを、じっくりと講義します。	
教養教育科目	基本教養科目	自然科学と技術の分野	自然科学・技術の現代的諸相	情報科学の世界A		コンピュータの理論的な動作原理を簡易型プログラミング言語〔Scratch〕での演習を含め、解説する。 具体的には有限状態オートマトン、プッシュダウンオートマトン、チューリングマシンについて講義する。 それらをプログラミング言語で実際にプログラミングする演習を行い、動作確認を行う。 授業と教員の研究内容との関連 本講義の内容は、担当教員の研究テーマのひとつであるプログラミング言語の基礎知識に相当する。	
教養教育科目	基本教養科目	自然科学と技術の分野	自然科学・技術の現代的諸相	情報科学の世界B		情報システムは、現代社会を支える基本的な仕組みとなっている。いまや社会基盤となった情報システムを理解することは、現代社会に生きる者として必須となっている。情報システムを理解するために、情報科学の基礎、情報システムの仕組み、情報システムを支えるインターネットの仕組み、情報システムを活用した様々なサービスの仕組み、そして安心して情報システムが使えるようにするためのセキュリティについて講義する。 【授業と教員の研究内容との関連】 担当教員は、永く総合情報基盤センター教員を務め、情報システムの設計・導入・運用に携わってきた。実務に関連した論文も執筆している。実務経験に基づく話題を取り入れながら講義を行う。	
教養教育科目	基本教養科目	自然科学と技術の分野	自然科学・技術の現代的諸相	機械工学の世界A		機械工学の世界において、安全で、かつ経済的なものづくりを行うには、材料の力学、製図、加工などの知識が欠かせない。この科目は二人の教員で担当する。 （オムニバス方式／全15回） （萩原世也／8回） 力学の基礎となる力のつり合い、モーメントのつり合いなど初歩的な内容から説明した後、材料力学の基礎となる応力とひずみなどについて解説する。 （服部信祐／7回） 機械材料、製図、および加工などの基礎的な内容について解説を行う。	オムニバス

科目 区分				授業科目の名称	主要授業科目	講義等の内容	備考
教養教育科目	基本教養科目	自然科学と技術の分野	自然科学・技術の現代的諸相	機械工学の世界 B		機械工学のもっとも基礎的な力学の一つである流体力学（流れの力学）の初歩を理解する。 （木上洋一／7回） 流体力学（流れの力学）の初歩を講義する。具体的には、粘性と圧縮性、圧力と水深の関連性、浮力の働き、渦運動や加速度運動、流体のエネルギーなどについて、具体例を交えて解説する。 （松尾繁／8回） 引き続き流体力学（流れの力学）の初歩を講義する。具体的には、ジェット推進、流線曲率の定理、コアンダ効果、はく離、境界層、揚力、マグナス効果などについて、具体例を交えて解説する。	オムニバス
教養教育科目	基本教養科目	自然科学と技術の分野	自然科学・技術の現代的諸相	電気電子工学の世界 A		普段の生活の中で使われている様々なセンサ（光を使ったセンサ、電波を使ったセンサ、磁気を使ったセンサ、（超）音波を用いたセンサなど）やセンシング技術、さらには、医療及び産業界で開発されている先端センシング技術を紹介し、それらの原理や開発に至るまでの過程について説明する。普段の生活で利用しているセンサ及びセンシング技術の基本を理解する。また、センサ及びセンシング技術の開発に至る過程での基礎知識と発想や想像力の大切さを理解する。	
教養教育科目	基本教養科目	自然科学と技術の分野	自然科学・技術の現代的諸相	電気電子工学の世界 B		電気電子工学を学ぶにあたり必要となる知識を、中学と高校で学んだ理科・物理の内容を含め、簡単な歴史に触れながら説明する。 続いて、システム制御について概説し、その例として、様々な用途に利用されている機器について紹介する。 電気電子工学の基本となる、発電、モータ、電気回路等について、その基礎を理解する。システム制御と、その実社会での応用例（農作業ロボット、介護ロボットなど）についての知識を得る。	
教養教育科目	基本教養科目	自然科学と技術の分野	自然科学・技術の現代的諸相	都市と生活		（概要） 暑さ寒さを和らげて快適な室内空間を作り出すために、住宅やビルなどの建築には様々な工夫がなされています。特に最近では住宅においても断熱と気密の性能が向上しており、省エネルギー性だけでなく、安全性も高くなりつつあります。この講義では、住宅やオフィスビルなどにおける室内熱・空気環境調節技術について、建築的ならびに設備的な観点から説明します。 また、建築を取り巻く昨今のエネルギー問題や地球環境問題についても紹介します。	隔年
教養教育科目	基本教養科目	自然科学と技術の分野	自然科学・技術の現代的諸相	インタラクティブコンテンツ入門		（概要） 主な授業内容は以下の4点 （1）Springin' Classroomを用いて2Dインタラクティブコンテンツ制作の基礎について理解する （2）3次元空間についての基礎知識を理解する （3）Unityを用いて3Dインタラクティブコンテンツ制作の基礎について理解する （4）VRやMR、メタバースなどの先端的社会状況について論考する。 授業は、講義が半分、演習が半分です。 講義では、話を聞くだけではなく、グループ等でのディスカッションも取り入れます。 教え合い・学び合いを基本方針とします。 演習では、上記ソフトウェア（アプリ）を使った初歩的なコンテンツの作り方を学んだ後、上記のソフトウェア（アプリ）のどちらかオリジナルのコンテンツを作成してもらいます。 オリジナルのコンテンツはシンプルなものでも構いません。	
教養教育科目	基本教養科目	自然科学と技術の分野	自然科学・技術の現代的諸相	環境をはかる		（概要） 本講義では、毎回、身近な環境問題から地球規模的な問題をいくつかを取り上げ、広範な「環境」問題を読み解かせる。 社会生活の高度化とともに多種多様な物質が意図的あるいは非意図的に環境中へ放出され、人間を含めた生態系に大きな影響をもたらしている。また、近年ではこのような環境問題は、多方面にわたって、その被害や影響は地球規模に及んでいる。ここでは、環境問題が意味することを読み解くための基礎的知識の習得を行うことを目指す。	
教養教育科目	基本教養科目	自然科学と技術の分野	自然科学・技術の現代的諸相	肥前セラミック学		（概要） 佐賀県の代表的産業であるやきもの・セラミックスに関連する講義を行うとともに、実験や実習やフィールドワーク等の実践的な教育も行う。 （オムニバス方式／全15回） （矢田光徳／1回） ガイダンス、やきもの・セラミックスとは （一ノ瀬弘道／1回） サイエンスの視点から見たやきもの作り （近藤文義／1回） やきもので使う土・泉山陶石 （海野雅司／1回） やきもの鑑定 （根上武仁／1回） やきもの・セラミック廃材の有効利用 （川喜田英孝／1回） 実験1：セラミックス粒子を導入したゾル （磯野健一、三沢達也／1回）（共同） 実験1：セラミックスを用いた電池の作成 （山本長次／2回） 有田の磁器生産や販売 （湯之原淳、甲斐広文／2回）（共同） カップの排泥鉢込み （有馬隆文／2回） 有田の街並み・建築 （田中右紀／1回） 肥前窯業の歴史や仕組み （三木悦子／1回） 鉢込み体験したカップの仕上げ	オムニバス・共同（一部）

科目 区分				授業科目の名称	主要授業科目	講義等の内容	備考
教養教育科目	基本 教養科目	自然科学と 技術の分野	自然科学・ 技術の現代 的諸相	AI・数理・データサイエンス I		〔概要〕 プログラミングができれば、大量のデータを処理する、あるいは作業を自動化することができます。効率があがるだけでなく、間違いも少なくなります。しかし、プログラミングは難しいのでは？Pythonは、比較的簡単に習得でき、かつ短いプログラムで様々なことができるプログラミング言語です。本講義は、プログラミングを全く知らない人が、Pythonの初歩を習得させることを目指します。併せてMATLABの最初の一步も提供します。	共同
教養教育科目	基本 教養科目	自然科学と 技術の分野	自然科学・ 技術の現代 的諸相	AI・数理・データサイエンス II		現代のAI・データサイエンスには機械学習が必要不可欠です。 この講義では「機械学習とは何か？」をテーマとして、機械学習の数理的背景とそのプログラミングについて講義します。 また、AIやデータサイエンスではどのように機械学習を使っているかを事例を通して説明します。 データさえ入力すれば自動的に結果が出てくるというような、計算機が出力した結果を鵜呑みにするのではなく、その機械学習モデルの背景の知識とそれを実際に計算する能力を身につけてください。	共同
教養教育科目	基本 教養科目	自然科学と 技術の分野	自然科学・ 技術の現代 的諸相	農学の世界A		本授業では、農業従事者が生活する農村における生活環境及び自然環境と人々の活動との関連について学びます。 本授業では、佐賀県の地形、佐賀県の気象、佐賀県の農業、農村の水環境、農村の土壌環境、農村の大気環境、農村における開発行為、農村における環境保全についての講義を行います。 講義では、人々の生活や農業に欠かすことのできない水（質・量）や大気に関する佐賀県内での事例を中心に紹介します。	
教養教育科目	基本 教養科目	自然科学と 技術の分野	自然科学・ 技術の現代 的諸相	農学の世界B		農業生産の基盤である農地は、高い土地生産性と労働生産性、および環境に関する保全性を併せ持つ必要がある。本授業は、地域による特殊性を考慮した農地の造成、整備、環境保全に関わる基本的な事項について講義します。国内外の農業と農地環境に関わる基本的知識を習得します。具体的には、農地の造成と整備に係わる農業土木的な計画・設計・維持管理に加えて、農地の果たす環境保全的な役割について理解することを目指します。	
教養教育科目	基本 教養科目	自然科学と 技術の分野	自然科学・ 技術の現代 的諸相	STEAM学習基礎		講義前半では、STEAM教育の基本概念や歴史、デザイン思考、社会事例から見るSTEAMの意義、ロジカルシンキング、チームビルディングのスキル等について理解する。また、CADソフト（Fusion）を用いた3次元モデリングの練習を行い、プロダクト設計の基礎的なスキルを身につける。授業後半では、チームごとに身近な課題を解決するためのプロダクトを考案するとともに、Fusionを用いて設計し、更に3Dプリンターを用いて製作する。また、学びの総括として製作した小物を用いたプレゼンテーションコンテストを行う。	
教養教育科目	基本 教養科目	自然科学と 技術の分野	生物科学・ 生命科学	生物科学の世界A		〔概要〕 本講義では「生命の科学」分野の中でも、特に細胞と遺伝子について、それらはどのようなものなのか？私達の生活とどのような関わりがあるのかなどを学ぶ。 なお、本講義は基本的に前半を鈴木章弘教授、後半を後藤文之教授が担当する。 （オムニバス方式／全15回） （鈴木章弘／8回） 主に高等植物の細胞と遺伝子の働きについて具体例を交えて解説する。 （後藤文之／7回） 生命の機能単位としての細胞等について解説する。	オムニバス
教養教育科目	基本 教養科目	自然科学と 技術の分野	生物科学・ 生命科学	生物科学の世界B		〔概要〕 多くの生物のゲノム配列が解読された現在、生物に対する分子レベルでの理解が急速に深まりつつある。この新しい生命科学の潮流を踏まえつつ、生命科学、特に遺伝学・分子生物学の基礎について学習する。ネット上の教科書であるDNA from the beginning（ http://www.dnafb.org/ ）に沿って、生命科学の基礎について学習する。 生命科学、特に遺伝学・分子生物学の基礎の基本的な知識を得ることができることを目指す。	
教養教育科目	基本 教養科目	自然科学と 技術の分野	生物科学・ 生命科学	栄養科学A		〔概要〕 栄養と人体のいくつかの器官系の構造や機能、疾病を関連させて講義する。なお、筋骨格系（運動）については、「こころに関する恒常性（ホメオスタシス）」と関連づけて後期の「栄養科学B」で扱う。また、五大栄養素のうち、ビタミンとミネラルについても「栄養科学B」で扱う。 「健康」を考える上で、人体を「モノ（身体）に関する恒常性（ホメオスタシス）」が成立しているシステムと捉え、健全に維持するための知識と日常生活上の技能を紹介する。	
教養教育科目	基本 教養科目	自然科学と 技術の分野	生物科学・ 生命科学	栄養科学B		〔概要〕 生体の恒常性（ホメオスタシス）とその維持について、心身（身心）の構造と働きを視点として講義する。 三大栄養素、人体の機能を保つために必要な有機化合物とミネラル（無機質）、人体の構造と機能、「ヘルス」「ウェルネス」「ウェルビーイング」あるいは「ハピネス」という概念、生体（概日）リズムと睡眠、「メンタルヘルス」、心理療法などについて解説する。 心身（身心）の構造と働きについて意識し、生体の恒常性（ホメオスタシス）と関連事項を理解し、日常生活に役立てられるようになることを目指す。	
教養教育科目	基本 教養科目	自然科学と 技術の分野	生物科学・ 生命科学	栄養科学C		〔概要〕 食品、調理、食品衛生、公衆衛生の概論（全体像）について講義する。 食及び食の周辺事項に関する知識を獲得し、知識を基に思考や行動を主体的にでき、知り得た知識を基に食に関する生活場面での必要に応じて、技術を調べて自ら試することができるようになる等、学生自ら食生活の質の向上を図れるようになることを意図する。 （オムニバス方式／全15回） （岡島俊哉／11回） 食品、調理、食品衛生について講義する （市場正良／4回） 公衆衛生について講義する	オムニバス

科目 区分				授業科目の名称	主要授業科目	講義等の内容	備考
教養教育科目	基本教養科目	自然科学と技術の分野	生物科学・生命科学	生命科学の基礎 A		男女の「性差」についての知見は、遺伝子やDNAの発見によって大きく進展し、性ホルモンや脳の機能にまで研究が及ぶようになったが、日本社会の全般的な認識としては旧来の常識がまだ根深く残っており、影響を及ぼしている。そこで、多分野にわたる講師によるオムニバス形式で、概説や専門的で多様な視点からの分析を通して「性」とは何か、また「性差」について統合的に幅広く学ぶ。 (オムニバス方式／全15回) (鈴木智恵子／4回) 脳機能と性差、総括 (池田智哉／4回) 男女間の社会的・法的问题 (大坪美由紀／4回) 性とは 発達と性差 (吉岡剛彦／3回) 生殖とジェンダー	オムニバス
教養教育科目	基本教養科目	自然科学と技術の分野	生物科学・生命科学	生命科学の基礎 B		人類が幸福な生活を送るために医学・医療は不可欠なものである。医学・医療の発達には動物実験が不可欠であることは多くのヒトが認めることではあるが、不適切な動物実験に対する反対運動があることも事実である。適切な動物実験を理解し、社会に認知された動物実験を行うことが求められている。本講義では、動物実験に使用される実験動物の種類、適切な維持・管理の方法と動物福祉に基づいた適切な動物実験について講義する。 (オムニバス方式／全15回) (北嶋修司／10回) 実験動物概論、規則・法律、実験動物の種類、実験動物の遺伝学的統御、環境統御、飼育管理と取扱い、動物福祉 (松久葉一／5回) 実験動物の微生物学的統御、人獣共通感染症、発生病学	オムニバス
教養教育科目	基本教養科目	自然科学と技術の分野	生物科学・生命科学	生命科学の基礎 C		(概要) 医学・看護学研究の最新の話題を、主に基礎医学系、看護系の研究室から紹介する。後半は臨床医学の導入や臨床研究に関して紹介する。模擬研究も行う予定。臨床的な視点に興味は向きがらだが、医学・看護学の基礎研究も重要であることを知ってほしい。 (オムニバス方式／全15回) (岩本脩平／1回) 病因病態と研究1 (加藤省一／1回) 病因病態と研究2 (岡田貴裕／1回) 分子生物学と研究1 (石塚茂宜／1回) 分子生物学と研究2 (山田小織／1回) 看護学と研究1 (折橋隆三／1回) 看護学と研究2 (倉岡晃夫／1回) 生体構造機能と研究1 (塩谷孝夫／1回) 生体構造機能と研究2 (原めぐみ／1回) 社会医学と研究 (山下駿／1回) 医学教育開発と研究 (徳島圭宣／1回) 臨床医学と研究1 (香月尚子／1回) 臨床医学と研究2 (青木茂久、小田康友／2回) 模擬研究の解説・演習と発表	オムニバス・共同（一部）
教養教育科目	基本教養科目	自然科学と技術の分野	生物科学・生命科学	生命科学の基礎 F		生命現象の分子の基盤について、いろいろな生体分子の構造・機能・生合成という点から解説する。 酵素学およびタンパク質や糖鎖などの生体高分子の構造と機能が内容の多くを占めるので、このような分野に全く興味がない場合にはかなりの苦痛をともなう可能性がある。医学に関連した生物化学の知識を深めたい人で、かつ興味を維持出来る人の受講を希望する。また、この講義をきっかけにして、各自興味のある生体分子やそれが関与する生命現象についての理解を深め、各自の専門教育に活かしてもらいたい。 (オムニバス方式／全15回) (池田義孝／6回) 酵素反応のしくみ、活性酸素と酸化ストレスについての講義、総括 (井原秀之／5回) 糖鎖の機能と生合成、血液型と糖鎖、糖鎖と疾患、糖鎖工学、翻訳後修飾についての講義 (岡田貴裕／5回) 免疫系の概要、自然免疫、獲得免疫、ワクチンとアジュバントについての講義	オムニバス
教養教育科目	基本教養科目	自然科学と技術の分野	自然科学と技術の分野 特別講義	九州・沖縄学Ⅱ		(概要) 本授業は、九州地区の国立大学が連携して実施する「九州学—九州の自然編」の授業である。各大学が提供する下記のトピック科目の中から7つのトピックを受講生が選択し、九州各県・各地域の特色を活かし、それらの魅力について多角的に学修する。	
教養教育科目	基本教養科目	自然科学と技術の分野	自然科学と技術の分野 特別講義	やさしい電子回路		現代の高度情報化社会を支える基盤技術は、スマートフォンを含めたコンピュータなしでは語れない。現在、そこに蓄積される膨大な情報には、想像以上の価値が見出されているものの、それを可能としているのは、トランジスタなどで構成される電子回路である。普段、我々の目には触れないため、概して関心は低いかもしれないが、現状では、このような技術なしで世の中は動いていけないのも事実である。そこで、本講義では、このようなトランジスタを用いた電子回路の働きについて理解する。 まず電気回路の復習から始め、能動素子（ダイオードやトランジスタ）、増幅回路、オペアンプを用いた電子回路という順番で、少しずつ段階的に説明していく。	

科目 区分				授業科目の名称	主要授業科目	講義等の内容	備考
教養教育科目	基本教養科目	文化の分野	言語と文化	ドイツの言語と文化Ⅰ		〔概要〕 本講義はドイツ語の初級文法を学ぶことを目的とする授業です。文法事項は本学オンライン試験システム（＝eラーニング）を使って学んだ項目の課題を毎週提出する形で学習を勧めます。教室での対面授業では発音と聞き取りに重点をおいて学んでいきます。毎回の文法説明は指定した辞書と教科書を連動させた形で進めます。 ドイツ語の習得を通してドイツ語圏の言語と文化への関心を高めるために、毎回教科書に沿って文法項目をひとつずつ学びつつ、eラーニングを使った練習問題でドイツ語の理解の定着を目指します。	
教養教育科目	基本教養科目	文化の分野	言語と文化	ドイツの言語と文化Ⅱ		〔概要〕 本講義はドイツ語の初級文法を学ぶことを目的とする授業です。文法事項は本学オンライン試験システム（＝eラーニング）を使って学んだ項目の課題を毎週提出する形で学習を勧めます。教室での対面授業では発音と聞き取りに重点をおいて学んでいきます。毎回の文法説明は指定した辞書と教科書を連動させた形で進めます。 ドイツ語の習得を通してドイツ語圏の言語と文化への関心を高めるために、毎回教科書に沿って文法項目をひとつずつ学びつつ、表現演習でドイツ語の理解の定着を目指します。	
教養教育科目	基本教養科目	文化の分野	言語と文化	フランスの言語と文化Ⅰ		〔概要〕 テキスト『 なびふらんせ1ーバリーをめぐって 』は豊富なバリエーションや文化紹介の写真をしながら、パリにいるイメージで学習が進みます。自然なフランス語を通してフランスでの生活や文化に触れ、「聞く・話す」「読む・書く」ために必要な基礎を固めます。まずフランス語の音に触れ、状況を目で見て想像力を働かせて理解するよう努めます。その流れの中でフランス語の使い方を発見しましょう。文法を理解し語彙を増やしたら、フランス語をコミュニケーション・ツールとして使ってみます。状況に応じてフランス語を使えるよう、知り得た情報から考えながらフランス語で表現できるように実践しましょう。フランス語を学ぶことにより、フランス語を使う人々の文化や習慣を知り、価値観の多様性を認識し、国際社会に対する複眼的視野を育成します。	
教養教育科目	基本教養科目	文化の分野	言語と文化	フランスの言語と文化Ⅱ		〔概要〕 テキスト『 なびふらんせ1ーバリーをめぐって 』は豊富なバリエーションや文化紹介の写真をしながら、パリにいるイメージで学習が進みます。自然なフランス語を通してフランスでの生活や文化に触れ、「聞く・話す」「読む・書く」ために必要な基礎を固めます。まずフランス語の音に触れ、状況を目で見て想像力を働かせて理解するよう努めます。その流れの中でフランス語の使い方を発見しましょう。文法を理解し語彙を増やしたら、フランス語をコミュニケーション・ツールとして使ってみます。状況に応じてフランス語を使えるよう、知り得た情報から考えながらフランス語で表現できるように実践しましょう。フランス語を学ぶことにより、フランス語を使う人々の文化や習慣を知り、価値観の多様性を認識し、国際社会に対する複眼的視野を育成します。	
教養教育科目	基本教養科目	文化の分野	言語と文化	中国の言語と文化Ⅰ		中国語の学習を通して中国の文化についてふれる。発音練習から始めて、中国語の基礎的な事項について講義する。文法・語法についても詳しく解説する。教科書に沿って授業を進めていく。毎回小テストを課すので、予習・復習をした上で、授業に臨むこと。 発音や文法・語法の基礎を習得したり、日常会話によく用いられる語彙のうち、比較的簡単なものを覚えることを目指します。	
教養教育科目	基本教養科目	文化の分野	言語と文化	中国の言語と文化Ⅱ		〔概要〕 中国語の基礎的な事項について学ぶ。教科書に沿って授業を進めていく。毎回小テストを課すので、予習・復習をした上で、授業に臨むこと。後期は前期の続きですので、受講登録は、中国の言語と文化Ⅰを受講したことがある者に限ります。 発音や文法・語法の基礎を習得したり、日常会話によく用いられる語彙のうち、比較的簡単なものを覚える、そして簡単な自己紹介ができるようになることを目指します。	
教養教育科目	基本教養科目	文化の分野	言語と文化	韓国・朝鮮の言語と文化Ⅰ		〔概要〕 日本語と系統を同じくする韓国・朝鮮語は日本語を母語とする学習者にとって学びやすい言語ですが、発音及び音の構造が日本語とは異なります。言語構造及び音素文字でハングルを学びながら音の構造を学びます。 韓国語の発音の構造を理解し、表音文字であるハングルを正しく読めるようになる、韓国語の構造を理解し、基本的な文法を習得することを目指します。また、韓国語を学ぶことで韓国についての理解を深めます。	
教養教育科目	基本教養科目	文化の分野	言語と文化	韓国・朝鮮の言語と文化Ⅱ		〔概要〕 韓国・朝鮮の言語と文化Ⅰを受講した学生もしくはハングルが読める学生が対象です。韓国語の用言の活用を学び、作文及び翻訳ができるようになることを目指します。また、会話練習を行います。 韓国語で作文・翻訳ができるようになり、会話を楽しむことができます。	

科目 区分				授業科目の名称	主要授業科目	講義等の内容	備考
教養教育科目	基本教養科目	文化の分野	言語と文化	Western Culture		This course explores key aspects of Western culture, focusing on cultural values, traditions, social structures, language, and the arts. It encourages comparative analysis between Western and Japanese cultures, helping students develop a deeper understanding of cultural similarities and differences. Through discussions, research, and the study of English idioms and sayings, students will enhance their cultural awareness and language skills. English Proficiency Requirement: This course is designed for students with a TOEIC score of 500 or higher or at least an intermediate (B1) level of English proficiency. Students should be able to comprehend lectures, participate in discussions, and express their ideas in both written and spoken English. This class will be conducted entirely in English. このコースでは、文化的価値観、伝統、社会構造、言語、芸術に焦点を当て、西洋文化の主要な側面を探究します。西洋文化と日本文化の比較分析を促し、文化の類似点と相違点についての理解を深めます。ディスカッション、リサーチ、英語の慣用句やことわざの学習を通して、文化認識と言語能力を高めます。 英語力の要件 このコースはTOEIC500点以上、または中級（B1）以上の英語力を持つ学生を対象としています。講義を理解し、ディスカッションに参加し、書き言葉と話し言葉の両方で自分の考えを表現することが望ましい。このクラスはすべて英語で行われます。	
						This course will guide students to sharpen their skills in reading, listening, speaking, and writing so that they may attend the academic and social events offered in English at the University more confidently. They will be instructed on how to initiate and continue self-learning outside of class hours to expedite the learning process. Since the classes will mainly be conducted as seminars where collaborative learning is encouraged and task-based learning (TBL) is a major approach, students will be given individual, pair, and group work. Those who happen to miss out on any class may be given one or more additional assignments as homework このコースでは、学生がリーディング、リスニング、スピーキング、ライティングのスキルを磨き、大学で提供される英語の学術的および社会的イベントに自信を持って参加できるようにすることを目的としています。授業外の時間に自己学習を開始し、継続する方法についても指導され、学習プロセスを迅速化します。授業は主にセミナー形式で行われ、協働学習が奨励され、タスク・ベースド・ラーニング（TBL）が主要なアプローチとなります。学生は個人、ペア、グループでの課題が与えられます。授業を欠席した場合、追加の宿題が一つ以上与えられることがあります。	
						This course will guide students to enhance their knowledge of and skills in all areas of English so that they may continue self-learning taking classes offered in English more confidently. How to develop skills in critical thinking and converting such thinking to argumentative writing also will be a focus in this class. Since the classes will mainly be conducted as seminars where collaborative learning is encouraged and task-based learning (TBL) is a major approach, students will be given individual, pair, and group work. このコースでは、英語のあらゆる分野の知識とスキルを高め、英語で行われる授業をより自信をもって受けられるよう、自己学習を継続できるよう指導します。また、クリティカル・シンキング（批判的思考）をいかに身につけ、それを論述につなげるかという点にも重点を置く。授業は主にゼミ形式で行われ、共同学習が奨励され、タスク・ベースド・ラーニング（TBL）が主要なアプローチとなるため、学生には個人ワーク、ペアワーク、グループワークが与えられる。	
						In academic settings, it is extremely important to convey information in a logical, orderly, and easy-to-understand manner, and to deepen understanding of through questions and answers. In this course, students will develop presentation skills along with the English expressions needed to do so, and then have the opportunity to put what they have learned into practice. The course will include presentations and practice of English expressions that can be used for introductions, sign-posting, chunking and intonation, emphasizing important content, summarizing a presentation, and responding to questions and answers, and will finally put these into practice in a presentation on education-related content. アカデミックな場では、情報を論理的・整然とわかりやすく伝え、質疑応答を通して理解を深めることが非常に重要です。本講座では、プレゼンテーション能力とそれに必要な英語表現を身につけ、実践の場で活用できるようにします。 イントロダクション、サインポスト、チャンクとイントネーション、重要な内容の強調、プレゼンテーションの要約、質疑応答などに使える英語表現の発表と練習を行い、最終的には教育関連の内容のプレゼンテーションで実践します。	
教養教育科目	基本教養科目	文化の分野	言語と文化	Academic English			隔年

科目 区分				授業科目の名称	主要授業科目	講義等の内容	備考
教養教育科目	基本教養科目	文化の分野	言語と文化	Business English		(英文) This course will focus on improving English listening and reading skills through study efforts for TOEIC® and other English language exams. Due to the compressed format of the class, some units will not be covered in full. This course aims to provide students with strategies to improve their vocabulary, listening, and reading skills in each of the areas covered by the TOEIC. TOEIC®をはじめとする英語検定試験の学習を通して、英語のリスニング力とリーディング力の向上を目指します。圧縮された授業形式のため、一部の単元は完全にカバーされません。 このコースでは、TOEICでカバーされる各分野の語彙力、リスニング力、リーディング力を向上させるためのストラテジーの習得を目指します。	隔年
教養教育科目	基本教養科目	文化の分野	言語と文化	アカデミック独語		(概要) 本講義は中級レベルのドイツ語力の定着を目的とする授業です。ドイツ語検定3級、2級の過去問や同レベルの類似の問題を用い、文法の総復習を行うことでこれまで学んできた文法事項を確認し、自由に使える能力を養います。 独検受験を取り掛かりとして中級以上(独検2級合格に要求される以下のレベル)のドイツ語力を定着させることを目指します。 ①ドイツ語の文法と語彙についての知識を前提に日常生活に必要な会話や社会生活で出会う文章を理解できる。②長めの文章の主旨を理解し、内容についての質問に答えることができる。	
教養教育科目	基本教養科目	文化の分野	言語と文化	ドイツ文化論 A		(概要) ドイツ人は何を食べ、どう暮らし、何を考えてきたのか タキトウスの記述に見られる古代ゲルマンから、宮廷叙事詩を生んだ騎士文化の花開いた中世、三十年戦争の影を色濃く残すバロック、近代の科学技術の扉を開いた啓蒙期、豊かな芸術と思想を生み出したロマン主義の19世紀前半までのドイツ語圏の様々な文化事象を解説する。 地理的に見てヨーロッパの中央に位置するドイツの歴史と文化事象を概観するには、ヨーロッパそのものを視野に入れなければならないし、近世以降は、世界を視野に入れて、ドイツとは何かを問う必要がある。ヨーロッパ文化史、世界文化史の文脈でドイツ文化を見ると新たな見えてくるかを示唆する。従って第一に、ヨーロッパの歴史の流れを理解する。そして第二に、その流れの中にドイツ語圏の文化を位置づける。この二つの作業を通じて、受講者はドイツとは何かという問いを考察してゆく。	隔年
教養教育科目	基本教養科目	文化の分野	言語と文化	ドイツ文化論 B		(概要) ドイツ人は何を食べ、どう暮らし、何を考えてきたのか 文化爛熟の19世紀末、ナショナリズムと20世紀の二度の世界大戦、そして東西への分断と統一を経験した今日までのドイツとドイツ語圏の歴史を概観し、そこに生まれた芸術作品を中心に紹介する。芸術作品の鑑賞を通じてドイツ語圏の豊かな文化を照らし出す。 地理的に見てヨーロッパの中央に位置するドイツの歴史と文化事象を概観するには、ヨーロッパそのものを視野に入れなければならないし、近世以降は、世界を視野に入れて、ドイツとは何かを問う必要がある。ヨーロッパ文化史、世界文化史の文脈でドイツ文化を見ると新たな見えてくるかを示唆する。従って第一に、ヨーロッパの歴史の流れを理解する。そして第二に、その流れの中にドイツ語圏の文化を位置づける。この二つの作業を通じて、受講者はドイツとは何かという問いを考察してゆく。	隔年
教養教育科目	基本教養科目	文化の分野	言語と文化	ドイツ文化論 C		ヨーロッパのなかのドイツ語圏-生活文化の比較と考察ー ヨーロッパ古代から現代までの衣食住についてドイツ語圏とその他の地域の特徴を比較しながら、ドイツ語圏特有のありさを把握する。服装の意味や、食卓の変化、建築様式の変遷などを、文学や絵画や音楽などの文化事象を手がかりに考察する。 地理的に見てヨーロッパの中央に位置するドイツの文化史という観点から、ヨーロッパそのものを視野に入れ、ドイツ語圏とは何かを問う。ヨーロッパ文化史、世界文化史の文脈のなかにドイツ語圏の文化を位置付けることによって見えてくる影響関係と特異性を取り上げる。主に生活文化という視点から考察を進めてゆく。	隔年
教養教育科目	基本教養科目	文化の分野	言語と文化	ドイツ文化論 D		ヨーロッパのなかのドイツ語圏-言語文化の比較と考察ー ヨーロッパ古代から現代までの言語文化についてドイツ語圏とその他の地域の特徴を比較しながら、ドイツ語圏特有のありさを把握する。文字の歴史や、音声の変化、文学の誕生と存在意義などを考察する。絵画や音楽などの芸術や生活文化にかかわるメタテキストとしての批評をも手がかりとして考察する。 地理的に見てヨーロッパの中央に位置するドイツの文化史という観点から、ヨーロッパそのものを視野に入れ、ドイツ語圏とは何かを問う。ヨーロッパ文化史、世界文化史の文脈のなかにドイツ語圏の文化を位置付けることによって見えてくる影響関係と特異性を取り上げる。主に言語文化という視点から考察を進めてゆく。	隔年
教養教育科目	基本教養科目	文化の分野	文学と芸術	日本古典文学 A		日本の平安時代の古典文学、具体的には『竹取物語』『伊勢物語』を読む。日本の平安時代の古典文学を読み、物語文学の読み方や考え、また古典文学の常識を学ぶことにより、平安文学という異文化を理解することを目的とする。また、基礎的な語彙力を養成することを目指す。	
教養教育科目	基本教養科目	文化の分野	文学と芸術	日本古典文学 B		日本の平安時代の古典文学、具体的には『源氏物語』若菜上・若菜下を読む。古典文学の最高傑作『源氏物語』の中でも、特にドラマチックとされる若菜上・若菜下を読み、そこから物語文学の読み方や考え、また古典文学の常識を学ぶ。平安文学という異文化を理解することを目的とする。また、日本の文学史の知識を習得する。	

科目 区分				授業科目の名称	主要授業科目	講義等の内容	備考
教養教育科目	基本教養科目	文化の分野	文学と芸術	欧米の文化・文学		イギリスの中世文学作品の解説を通して、それらがイギリス国民意識の成長にいかに関与したかを探っていきます。 第1回で、授業の構成等について説明した後、第2回から第6回までは、「アーサー王物語」の歴史的背景と物語の継承について概説します。続いて、第7回から第11回までは、「ロビン=フッド物語」の歴史的背景と物語の継承について解説します。第12回から第15回までは、中世に生まれたこれらの伝承文学が、どのようにしてイギリスの国民文学に発展し、国民のアイデンティティ形成に影響を及ぼしたかを考察していきます。	
教養教育科目	基本教養科目	文化の分野	文学と芸術	ドイツ文学A		(概要) 本講義は、読書を通じて異文化への興味を高めることを目指す授業です。ドイツ語圏の代表的な文学から2作品を取り上げ、作品が成立した背景や作者について学び、内容や表現の分析を通じて様々な角度から作品を味わいます。作品の引用箇所は履修者の皆さんで順番に音読してもらいます。 今回取り上げるのは次の2作品です。 ●ヨハン・ヴォルフガング・ゲーテ『若きウェルテルの悩み』 ●ベルンハルト・シュリンク『朗読者』 異文化への興味を高め、読書を身近なものとして感じる体験をしてもらいたいです。	
教養教育科目	基本教養科目	文化の分野	文学と芸術	ドイツ文学B		(概要) 本講義は、読書を通じて異文化への興味を高めることを目指す授業です。ドイツ語圏の代表的な文学から2作品を取り上げ、作品が成立した背景や作者について学び、内容や表現の分析を通じて様々な角度から作品を味わいます。作品の引用箇所は履修者の皆さんで順番に音読してもらいます。 今回取り上げるのは次の2作品です。 ●ヨハンナ・シュビリ『ハイジ』 ●ミヒャエル・エンデ『モモ』 異文化への興味を高め、読書を身近なものとして感じる体験をしてもらいたいです。	
教養教育科目	基本教養科目	文化の分野	文学と芸術	芸術論		(概要) 講義は二人の講師によって前半と後半に分けて行ないます。 (オムニバス方式／全15回) (栗山 裕至／8回) 精神医学や臨床心理学の基礎理論に基づきながら、人間の精神構造や無意識の心理、創造性や病理の関係などを概説する。それらの内容を受けて、具体的に造形芸術家の例をあげ、病跡学的解説を行います。 (吉住 磨子／7回) 社会の中で周縁におかれた人々の図像を通して、ヨーロッパ社会の権力や中心を相対化することを試みます。	隔年・オムニバス
教養教育科目	基本教養科目	文化の分野	文学と芸術	音楽史・音楽論		生きている時代の文化や社会構造、政治的背景に翻弄される人間の感性の痕跡を、その時々音楽から読み解いていく。それぞれの時代に聴かれた音楽を多面的に理解することで、近現代史における多様な社会の側面を理解する。	
教養教育科目	基本教養科目	文化の分野	言語と表現	日本語学		(概要) 上古から近現代まで日本語がどのように変化してきたかについて、音韻・文字・表記・語彙・文法などの側面から見ていきます。当時の言語資料を知るために、簡単な文学史の復習と作品講読を取り入れ、当時の文章に触れながら言葉の変化を理解することを目指します。 奈良時代、平安時代、鎌倉・室町時代、江戸時代前期・後期、明治以降ごとに、それぞれの時代背景と言葉の変化が大きく関わっていることを認識し、いくつかの古典作品の講読を通して、各時代の日本語の様相を理解します。	
教養教育科目	基本教養科目	文化の分野	言語と表現	コミュニケーション論		(概要) 本科目は、総合的なコミュニケーション能力の向上につながる基本的な知識や技能を修得するための講義を行います。基礎理論、言語、非言語コミュニケーション、対人的コミュニケーションから異文化コミュニケーションまでを包括的に取り扱います。講義は複数名の教員で担当するオムニバス形式の授業です。 現代社会において最も重要なスキルであるコミュニケーションについて学問的な知識を身につけるために、さまざまな観点からコミュニケーションの概念について理解します。	共同
教養教育科目	基本教養科目	文化の分野	言語と表現	Critical Thinking for the Modern Age		(英文) This course introduces students to key aspects of critical thinking essential for navigating today's world, including logical reasoning, media literacy, ethical decision-making, and problem-solving. Students will analyze real-world case studies from both Japanese society and the wider world. Through interactive discussions, presentations, and written assignments, they will refine their ability to think critically and apply these skills to contemporary issues. The primary aim of this course is to cultivate a mindset of critical inquiry and rational thinking. By engaging with real-world examples and practical exercises, students will enhance their ability to question information, evaluate evidence, and articulate well-founded arguments. Ultimately, the course seeks to equip students with the skills necessary to make informed decisions, contribute meaningfully to discussions, and adapt to an ever-evolving global landscape. このコースでは、論理的推論、メディア・リテラシー、倫理的意思決定、問題解決など、現代社会を生き抜くために不可欠なクリティカル・シンキングの重要な側面を紹介します。受講生は、日本社会および世界における実際のケーススタディを分析します。双方向のディスカッション、プレゼンテーション、レポート課題を通して、批判的に考える力を磨き、これらのスキルを現代の問題に応用していきます。このコースの第一の目的は、批判的探究心と合理的思考を養うことである。実際の事例や実践的な演習に取り組むことで、情報を疑い、証拠を評価し、根拠のある議論を明確にする能力を高めます。最終的には、十分な情報に基づいた意思決定を行い、議論に有意義に貢献し、進化し続けるグローバルな状況に適応するために必要なスキルを身につけることを目指します。	

科目 区分				授業科目の名称	主要授業科目	講義等の内容	備考
教養教育科目	基本教養科目	文化の分野	言語と表現	Cultural Metaphors		(英文) This course will consist of lectures, discussions, note-taking activities, critical thinking activities and writing activities about the values of various cultures around the world. During the course, students will be expected to take notes and actively participate in discussions. Regular attendance and participation are very important. This class will let the students develop a framework for understanding and interpreting the cultural of other societies and help them grow as members of a global society. このコースは、世界中のさまざまな文化の価値観についての講義、ディスカッション、ノートテイキング活動、批判的思考活動、ライティング活動で構成されます。コース期間中、受講生はノートを取り、ディスカッションに積極的に参加することが求められます。定期的な出席と参加は非常に重要です。 この授業を通して、他国の文化を理解・解釈するための枠組みを身に付け、グローバル社会の一員として成長することを目指します。	
教養教育科目	基本教養科目	文化の分野	歴史と文化	哲学・倫理学		哲学は、前提条件をつけずに、あらゆる事柄をとことん最後まで考え抜くところに、その特徴があります。哲学が、様々な学問が前提にしている知識や概念（自然、生命、歴史、経済、法、道徳）を自明視せずに、それらの根拠を更に問おうとするのは、哲学的思惟の本質に属しているといえます。 ところで、予備知識がなくても素手でもものを考えることができる点に哲学の一つの醍醐味がありますが、とはいえ、哲学を理解するうえで、論理的にものを考えるトレーニングを積むことや、哲学の古典を読解する能力を身につけることや、哲学史の流れを把握することも重要です。 本講義では、いくつかのテーマに沿って、現代日本の哲学者の主張を紹介しながら、そのテーマに関する哲学思想のエッセンスについて概説します。授業の後半では倫理思想に関する話題も取り上げます。	隔年
教養教育科目	基本教養科目	文化の分野	歴史と文化	考古学		(概要) 考古学の方法等の概要について講義形式で学習する。 考古学的な成果が歴史学に占める比重は、次第に高まっている。その歴史的な意義を的確に判断するためには、考古学の方法等についての知識が不可欠である。本講義では考古学の方法、理論等の現状について、日本各地はもとより他国の例もみながら概観することにした。具体的には、考古学の対象範囲と抗議の概要、考古学の成り立ちと展開、考古学の資料、考古学の方法、考古学と古環境、考古学からの食生活の復元、などの講義を行う。	隔年
教養教育科目	基本教養科目	文化の分野	歴史と文化	日本史		(概要) 本講義では、日本史上の政治的変遷を中心にその基礎的内容の解説を行うが、特に各時代の政治・経済・文化等の様々な社会システムの中核施設だった「城」と「城下町」の発達史を通じて、最新の調査・分析成果を交えながら日本社会の変化の実像を学習してもらう。 日本史を考え、より深く理解するためには様々な媒体（古文書、古記録、絵画史料、遺跡、遺物…等々）からのアプローチが欠かせない。一つのテーマを追究するために、多面的な事象や情報を駆使しながら考える習慣を身に付けていく。そして、社会人として必要な文化的素養の習得と充実に繋げる。	
教養教育科目	基本教養科目	文化の分野	歴史と文化	東洋史		(概要) 中国の歴史を、古代から現代まで概説する。各時代において重要な役割を担った人物にも光を当て、また、その歴史に様々な形で影響を与えてきた儒教・仏教・道教についても解説する。中国と日本との関係についても適宜紹介していきたい。日本をはじめ東アジアに多大な影響を与えてきた中国の歴史を学ぶことで、隣国中国について学び、佐賀大学士力に示された「3-1」多様な文化と価値観を理解し共生に向かう力を身につける。	
教養教育科目	基本教養科目	文化の分野	歴史と文化	西洋史		(概要) 近現代ヨーロッパ（フランス）の歴史をさまざまなトピックに分けて学んでいく。現代社会には教育、家族、宗教、移民、言語、政治などの分野において、さまざまな社会問題が存在する。しかし、これらの問題は現代に突然発生したものではなく、その起源と本質を知るためには19世紀にまで遡らなければならない。これらの社会問題の起源・本質を知るために19世紀のヨーロッパの歴史を考察する。また、同時代の日本の歴史を比較検討することで、近現代の歴史についてグローバルに学んでいく。	
教養教育科目	基本教養科目	文化の分野	歴史と文化	人類学		人類学は大きく分けて2つある。一つは、ヒトの文化的特徴や社会的営みを研究対象にする文化人類学、もう一つは、霊長類全般（ヒト包括したサル仲間）を含め、身体的特徴や遺伝的情報など生物学的特徴を研究対象にする自然人類学である。この講義では、自然人類学を学んでいく。特に、どのような動物・霊長類からヒトが進化して現在に至るのか、さらには日本列島のヒト・地域集団は、どのような集団から分かれて現在のものとなったのか、形態学的特徴と遺伝的情報の2つの側面から探っていく。毎回の講義は、スライドと配布資料を用いて行う。 (オムニバス方式／全15回) (菊池泰弘／7回) 人類学の歴史、現生霊長類、現生類人猿についての講義 (川久保善智／7回) 原人、旧人、新人、縄文人、弥生人、復顔についての講義 (大野憲五／1回) 発掘の方法や研究についての講義	オムニバス

科目 区分				授業科目の名称	主要授業科目	講義等の内容	備考
教養教育科目	基本教養科目	文化の分野	歴史と文化	スポーツウェルネスの世界		(概要) ゴルフ、ボウリングというポピュラーなスポーツを題材とし、主にスライドを用いてこれらの競技が成立するに至った時代背景、ルール変遷の歴史的経緯、著しい技術革新がもたらした道具の進化など、主に歴史的・文化的側面からスポットを当てつつ解説する。 WHOによって提示された“ウェルネス (wellness)”とは、いわゆる「健康」の枠組みを超えた多面的な健康観であり、各人が自身の価値観や人生観に基づき、目的としてではなく、より良く生きるための手段として健康をとらえることを指す。当該講義は、学生が歴史的・文化的視点から競技としてのゴルフとボウリングの成熟過程を学ぶことで、社会を形成する市民として必要なスポーツ文化に対する理解を深めることを目的とし、さらにウェルネスの概念との接続によって、生涯スポーツの実践につながる布石と成すことを期待したい。	
教養教育科目	基本教養科目	文化の分野	歴史と文化	近代サッカーの成立と進歩		(概要) この授業科目は、単にサッカーをする授業ではない。近代サッカーの理論を講義から理解すると共に、その理論を基とした技術・戦術の理解と体得を目指す科目である。 近年、大きく発展したサッカーの理論を元にした技術・戦術を体得してもらうために、毎回の授業では近代サッカーの理論について理解すると共に、演習として学んだ技術・戦術をゲーム等の中で表現してもらう。	
教養教育科目	基本教養科目	文化の分野	歴史と文化	サッカーの歴史と技法		(概要) サッカーを取り巻くあらゆる諸相を取り上げ、様々な観点からサッカー競技の課題研究・分析する科目である。主にグループワークが中心となるが、それぞれが関心のあるテーマでプレゼンテーションを行いながら、サッカー競技全般を取り巻く諸相について見識を深め理解する。 スポーツとしてのサッカーの技術的な問題に加え、その背景にある成り立ち、歴史、文化、規則等と関連させながら深く学ぶことで、サッカーに関する知識を文化的側面まで理解、発展させる素養を養いつつ、目指す。	
教養教育科目	基本教養科目	文化の分野	歴史と文化	柔道の歴史と技法		本講義は、柔道未経験者を対象にして柔道の歴史背景や文化、理論、哲学等と関連させながら初歩的な技術を学ぶ科目です。技術の理解・習得には多くの時間を要しますので、多くの時間を稽古の時間に充てます。基本的には試合は原則しませんので、争うことが苦手な人でも問題ない内容になっています。授業の最終回後には授業内容を「振り返りシート」に整理してもらいます。「実技試験」の結果と「振り返りシート」の記載内容が評価対象になります。	
教養教育科目	基本教養科目	文化の分野	歴史と文化	哲学の世界		(概要) 本授業では、哲学的な「心身問題」を取り上げます。前半は、近代哲学の父と言われるR.デカルトが考えた心身二元論（デカルトの神話）の理解です。後半は、古代ギリシャや西洋中世の魂論を取り上げます。 哲学は常識批判ともいわれます。あたり前のことがあたり前ではないことに気づくとき、私たちの日常が再度活性化されます。それを体験していただくことが第一目的です。哲学者たちが私たちを取り巻く世界をどう説明しようとしたのかと一緒に見ていきましょう。映像資料もまじえ、分かり易い授業を心がけます。	
教養教育科目	基本教養科目	文化の分野	歴史と文化	地域史		この授業のサブタイトルは「チャレンジ佐賀学」である。 「佐賀学」とは、地域学の一つとして、佐賀の文化や歴史、文化的伝統や風土、自然や環境などを総合的に捉えることにより、新しい研究分野と教育の創造を目指すものである。佐賀は古来より、大陸文化流入の通路、いわば知のシルクロードであり、とりわけ江戸時代末期から明治維新にかけて、政治、教育、科学等の各分野の我が国社会改革の原動力の一つとなった。 本講義では佐賀学の入門・基礎編として、①それらの革新性と保守性（限界）などについて、②維新に貢献した人物に焦点をあて、③ネット授業の利点をいかして、視覚的に時間と空間を超えて探求する。佐賀学にチャレンジし、チャレンジ精神にあふれて新たならしい世代と社会を切り開いた佐賀人たちと気持を一つにして、自分たちのチャレンジ精神を育ててもらいたい。	
教養教育科目	基本教養科目	文化の分野	歴史と文化	宗教学		「生きる助けともなれば、苦悩の元凶ともなる宗教。人類の誕生以来存在し続けてきた宗教。人間はなぜ宗教という営みをするのか？ 何が宗教を形作ってきたのか？ 現代社会の宗教はどのような状況にあるのか？」（教科書の帯文句より） 最新の研究成果に基づく教科書を用いて、生と死や悪といった宗教哲学的な問題からスピリチュアリティや聖地巡礼ツーリズムなどの現代社会の宗教現象まで、現代において宗教を理解するために必要な知識を概説します。世界や日本の伝統宗教の基礎知識を確認する機会も設けます。	隔年
教養教育科目	基本教養科目	文化の分野	歴史と文化	水中文化遺産学		わが国の海・河川・湖沼には、古代以来の物流や人の交流の歴史を証明する多様な水没文化財（水中歴史遺産・水中遺跡）が数多く存在するが、その内容については陸上の歴史文化遺産に比べて一般的な認知度が低い。 本講義では、その性格と概要を解説し、これまでの調査・保存・研究の状況を紹介しつつ、陸上を舞台とする歴史文化の世界に対して、水城から見た「海洋国・日本」の歴史の特徴を教示する。 東シナ海と玄海灘に接する九州・沖縄地方は、古来、日本と東アジア諸国との交流史上の窓口であり続けた。そのため国際的注目を浴びる水中遺跡の分布地帯となっており、我が国の海中考古学調査の先進地域でもある。そのような恵まれた歴史文化的環境下に集う本学の学生に、水中の文化遺産学・海事史学の基本と概要を学んでもらいたい。	
教養教育科目	基本教養科目	文化の分野	文化の分野 特別講義	九州・沖縄学Ⅰ		(概要) 九州・沖縄地区の国立大学が連携して実施する「九州・沖縄学」の歴史文化編である。受講生は各大学が提供する下記のトピックの中から7つを選択し、九州・沖縄地区の歴史と文化の背景を知るとともに、各県、各地域の魅力と特色について学ぶ。	

科目 区分				授業科目の名称	主要授業科目	講義等の内容	備考
教養教育科目	基本教養科目	現代社会の分野	基礎社会科学	経済学		高等学校では地歴教科を選択していた方が多いと思われますが、公民教科の政治・経済を選択した方はどれだけのでしょうか。また、「経済学」という学問の存在さえ知らなかった方もいるかもしれません。新聞等で「経済」という言葉をよく耳にしますが、その意味を問われて答えることができますか？特に学問である「経済学」で用いられる専門用語はその漢字から意味を読み取ることができないことが少なくありません。そこで、「経済学」に必要な基礎的概念について、日常的に報道される経済統計データから探っていきたいと思います。	
教養教育科目	基本教養科目	現代社会の分野	基礎社会科学	会計学		(概要) 本講義は、税理士法人諸井会計の提供講義です。企業の経営状況を示す鏡であろう会計学の基礎と会計の社会における役割について学習します。 会計とは何か、会計によって何が分かるのか、会計の仕組みはどうなっているのか、会計は社会においてどのような役割をしているのかを学びます。また、会計情報が企業経営を知る上でどのように役立つかを理解します。	
教養教育科目	基本教養科目	現代社会の分野	基礎社会科学	経営学		本講義では企業(組織)運営に焦点を当て、経営戦略およびマーケティング戦略に関する基本原理について事例を交えながら体系的に習得することを目指します。 昨今、我々を取り巻く環境は大きく変化していると言われています。よく耳にするIoT、FinTech、コーポレートガバナンスという言葉も、この変化を捉えた1つの例であるといえます。 この変化に対応する手段の1つとして「経営学」の手法や知見に注目が集まり、様々な書籍や雑誌を目にすることが多くなっています。しかしこのような「経営学」に関する情報は増えている一方で、その情報量に圧倒されて学習を諦めた方や、何を読めばよいかと途方に暮れている方もいるのではないのでしょうか。 本講義では「経営学」の分析対象や基本知識を中心に引き上げ、「経営学」に対する理解や関心を少しでも高められるようにアシストしたいと考えています。	
教養教育科目	基本教養科目	現代社会の分野	基礎社会科学	法学		地球温暖化、環境汚染、高齢化に伴う老後問題、少子化による労働力不足、雇用形態の変化、貧富の格差、民族・男女等による差別、新しい財産権の登場など現代社会には様々な問題が十分に解決されないまま存在する。いま社会で何が起きているのか。原因は何か。どうすれば解決できるかについて、法の観点から広く概観する。 (オムニバス方式／全15回) (中山泰道／3回) 授業ガイダンス、民法についての講義 (内山真由美／2回) 刑法についての講義 (平部康子／2回) 社会保障法についての講義 (早川智津子／2回) 労働法についての講義 (樫澤秀木／2回) 環境法についての講義 (孫友容／2回) 知的財産法についての講義	オムニバス
教養教育科目	基本教養科目	現代社会の分野	基礎社会科学	政治学		私たちは、現在気候危機や少子化、格差や貧困の拡大など深刻な課題に直面しています。戦後に築いてきた社会や経済が揺らぎ、政治のあり方が問われています。本授業では、戦後の日本政治を振り返り、そして、現在と未来の社会や政治を考えてみたいと思います。それと同時に、政治と金をめぐる政治の混乱など最新の政治に関する知識や情報を身に付けてほしいと思います。そのことで、主権者であるみなさんが政治に関心をもち、日本政治について考え、行動するヒントを得ることができればと思います。	
教養教育科目	基本教養科目	現代社会の分野	基礎社会科学	日本国憲法		(概要) 日本国憲法は私たち個人にとって、普段、あまり意識されない法律です。ところが、憲法の背後にあるさまざまな原理（国民主権や基本的人権の尊重、平和主義など）は、私たちが生きている現代社会に実にさまざまな問題を投げかけています。この講義では、できるかぎり具体的な憲法上の事件・争いを検討しながら、憲法の基本的知識としくみについて解説します。実際に憲法が国家の中で用いられている現状を見ながら、政治権力や死刑制度、あるいは福祉のあり方など社会の様々な問題に触れながら、私たちの価値観をできるだけ柔軟にするような多様な立場を日本国憲法から学びます。 受講者には自分たちが現在生きている社会状況を常に意識しながら、国家や法が引き起こす様々な問題を自分たち自身の問題として捉えるよう求めます。色々な立場を考えながら自らの立場について論理的・客観的に考えるという「問題の悩み方」を学習してほしいと思います。	
教養教育科目	基本教養科目	現代社会の分野	基礎社会科学	現代社会の法と政治		アメリカで1999年から約7年間放送され、人気を博したテレビドラマ・シリーズ『ザ・ホワイトハウス』（原題：The West Wing）を素材としながら、現代アメリカ政治のいくつかのトピック（論点・争点）について担当教員が講ずる。民主党／共和党の二大政党制、黒人（アフリカ系）などに対する人種差別や、妊娠中絶・同性愛・銃規制などをめぐる価値観の対立、死刑制度の動向、連邦最高裁判事指名の仕組み、核兵器・原子力政策などを取り上げて、日本の現状や制度と比較をまじえながら解説する予定である。題材とする上記ドラマについては、適宜に内容の説明や一部の上映を行なう。	
教養教育科目	基本教養科目	現代社会の分野	基礎社会科学	地理学		(概要) 地理学における主要なテーマである景観と環境について考える。特に、人間が作った文化景観（Cultural Landscape）や二次的な生態系である里山や里地の環境について、グローバルに考え、ローカルな実践への糸口を見出すことを目的とする。地理的環境論、環境と文化的景観の諸相、環境と文化的景観の保全・活用について講義を行います。景観や環境と人間との関係について理解し、それらを保全する意味について理解できるようになることを目指します。	

科目 区分				授業科目の名称	主要授業科目	講義等の内容	備考
教養教育科目	基本教養科目	現代社会の分野	基礎社会科学	Introduction to Sociology		(英文) In-depth class and group discussions about difficult issues in today's society. To enhance student's English speaking and vocabulary through thoughtful discussions about issues in society and how best to address them. -This class will be held in person, but it is possible that some class will be conducted online via Zoom or Teams. -Students must join the Microsoft Teams group for this class. -A link to the Microsoft Team group will be shared with all enrolled students via Live Campus. -In general all communications will be sent via Microsoft Teams, NOT Live Campus. -A special assignment may be given to students unable to attend class when necessary. 今日の社会における難しい問題について、クラスやグループで徹底的にディスカッションします。社会における問題や、それらに対処する最善の方法について思慮深く議論することで、生徒の英語力と語彙力を高めます。 -本授業は対面式で行われますが、一部ZoomやTeamsを利用したオンライン授業が行われる可能性があります。 -この授業では、Microsoft Teams グループに参加する必要があります。 -Microsoft Teamsグループへのリンクは、Live Campusを通じて受講生全員に共有されます。 -一般的に、すべての連絡は Live Campus ではなく Microsoft Teams 経由で行われます。 -授業に出席できない学生には、必要に応じて特別な課題を与えることがあります。	
教養教育科目	基本教養科目	現代社会の分野	基礎社会科学	社会思想		(概要) 本講義では、社会的正義に関する現代政治哲学の一連の議論及び自由や平等をめぐる論争を概観する。まず実際の社会問題や公共政策と政治理論の関係を議論し、これまでに行われてきた議論の意義や問題点を参加者と共に考える。今日の公共政策においても有力な考え方である功利主義や、ジョン・ロールズの社会的正義論を紹介し、これらに関連する論争を紹介し、参加者と共にその意義や課題を検討する。現代社会における課題や政策には、その根底に自由、平等、福祉、共同体、民主主義といった理念をめぐる論争が存在する。このような理念をめぐる現代政治哲学の論争を概観し、私たちの社会における問題や政策のあり方について思考を深めることが、本講義の開講意図である。このような教養の習得はシティズンシップ教育の一部としても有意義である	
教養教育科目	基本教養科目	現代社会の分野	教育と人間	教育と人生		(概要) 「心（の）理」「物（の）理」「生（の）理」を基盤に、人の発達と人生について考える。自分自身が人生を肯定し、かつ、他者を時には教育あるいは指導し、（親、職業としては医師、看護師あるいは教師として）まずは思いやりを持って寄り添うことができる人になって欲しい。 本科目では、医療、福祉・介護、学校における教育活動などに応用されている心理的・社会的（精神的）活動の基礎理論（特に、「個の心」あるいは「社会との接点」に影響するさまざまな要素）を紹介し、考えてもらうことを目的としています。	
教養教育科目	基本教養科目	現代社会の分野	教育と人間	心理学A		(概要) 医療において活用されている心理学を中心とした講義を行う。 具体的には、心理学の歴史。代表的な心理学者。心理学に関連する代表的な理論、モデル、枠組み。社会における心理学。発達段階と心理学。認知と心理学。パーソナリティと心理学。災害における心理学。臨床心理学。心理検査。心理尺度。医療における心理学的アプローチやカウンセリングなどについて講義する。 医療者に求められる対象理解の一助として心理学に関する基本的な考え方の習得を目指す。	
教養教育科目	基本教養科目	現代社会の分野	教育と人間	心理学B		心理学Bは、副題を「人間と社会の心理学」とする。 本講義では、認知と認識の心理学、対人関係の社会心理学、メンタルヘルスの心理学を講ずる。 錯視と錯覚、認知と認識、ゲシュタルト、好意の成り立ち、同調と服従、協調と責任の拡散、印象形成、メンタルヘルス、ストレス、うつ、過労死と突然死等について展望する。 講義及び視聴覚資料の視聴を中心に進める。 なお、遠隔授業においては著作権の関係上、視聴覚資料の提示は大幅に制限する。	
教養教育科目	基本教養科目	現代社会の分野	教育と人間	健康科学A		(概要) 生涯にわたって、健康に関する自己管理能力は必要不可欠である。健康管理を適切に行うには様々な知識が必要となる。この講義では、心身の健康に関する様々な科学的な知識や体得すべき生活習慣について学び、健康の保持増進、健康的なライフスタイルの確立についての理解を深める。 この講義は医師としての実務経験を有している教員が、健康についての実践的な教育を行う科目である。 心身の健康や運動に関する知識の向上を目標とする。加えて、学生が自分自身の健康についても興味、関心を持ち、身近な健康に関しての事項（飲酒、喫煙、感染症、生活習慣病等）についての理解をさらに深めることをめざす。	

科目 区分				授業科目の名称	主要授業科目	講義等の内容	備考
教養教育科目	基本教養科目	現代社会の分野	教育と人間	健康科学B		(概要) 一般的な病気について学習する。 病気になったときのために、日本の医療事情を知ってもらおう。健康に関わる情報を取得するスキルを身につけることを目的とする。 (オムニバス方式／全15回) (福岡健司／14回) イントロダクション、命を守る身のこなし方、生活習慣病にならないために、誰のためのメタボ検診？、さまよえる血圧、発がんリスク、なぜアレルギーは増えたのか、脳梗塞、心筋梗塞、エコノミー症候群、沈黙の臓器、サイレントキラー、認知症との付き合い方、なぜ、うつ病が増えているのか、心のストレス、体のストレス、細胞のストレス、日本の医療は、素晴らしい？ (山下佳雄／1回) 知らないことを損をする口腔ケア	オムニバス
教養教育科目	基本教養科目	現代社会の分野	教育と人間	スポーツと健康		本授業は、これまで学生が体育の授業等で経験してきたスポーツ題材にルールの機能と役割、さらにルールを使い熟するための思考方法や動作等の習得方法について実際の実技経験を通して理解してもらう科目です。そのため、多くの時間を運動の時間に充てます。毎回の授業の前半では準備体操などの具体的な運動や動作の指示もありますが、後半はチーム毎に分かれ教員が提示するテーマの範囲内で学生同士が考えた練習と試合を行う予定です。授業の最終回後には授業内容を「振り返りシート」に整理してもらいます。「実技試験」の結果と「振り返りシート」の記載内容が評価対象になります。	
教養教育科目	基本教養科目	現代社会の分野	教育と人間	Citizenship Education		This course is focused on studying some of the most important issues facing the world today. Through studying a variety of issues that face the world, and Japan. By studying such topical content in English, students will evaluate their own role as individuals and as members of society. The course will support and enable learners to critically evaluate and understand the impact of their choices and how they can live and work in responsible ways to ensure that our home, planet earth, can thrive and remain habitable for future generations. このコースは、今日の世界が直面している最も重要な問題を学ぶことに重点を置いている。世界、そして日本が直面する様々な問題を学ぶことを通じて、日本、そして世界が直面する様々な問題を理解する。このような時事的な内容を英語で学ぶことにより、学習者は個人として、また社会の一員としての自分自身の役割を評価することになります。このコースは、学習者が自分の選択が及ぼす影響を批判的に評価し、理解し、私たちの故郷である地球が繁栄し、未来の世代のために住み続けられるようにするために、どのように責任ある方法で生活し、働くことができるかをサポートし、理解できるようにします。	
教養教育科目	基本教養科目	現代社会の分野	教育と人間	Life in the Global World		The course examines what has constituted globalization in the past, what it is for us today, and what globalization means for our lives economically, politically, culturally, and ecologically. The intention is to develop knowledge and understanding of the issues that a globalized economy means for our lives in the 21st century. By the end of the course, students will: - gain a clearer understanding of globalization and its economic, political, cultural and ecological effects; - expand knowledge and understandings of what it means to live as a global citizen このコースでは、過去においてグローバリゼーションとは何であったのか、現在の私たちにとってグローバリゼーションとは何であるのか、そしてグローバリゼーションが経済的、政治的、文化的、環境的に私たちの生活にとって何を意味するのかを考察します。その目的は、グローバル化した経済が21世紀の私たちの生活にとって何を意味するかについての知識と理解を深めることです。コース終了時には、受講生は以下のことを修得することを目指します。 - グローバリゼーションとその経済的、政治的、文化的、生態学的影響についてより明確に理解する。 - 地球市民として生きるとはどういうことかについての知識と理解を深める。	
教養教育科目	基本教養科目	現代社会の分野	教育と人間	情報メディアと倫理		近年のインターネットの普及によって、現代社会は様々な場面でデジタル化された情報を活用するユビキタス情報社会へと向かおうとしている。このようなユビキタス情報社会の基盤を形成していくためには、情報技術に関する知識だけでなく、情報倫理、道德規律、法律の知識といったものが必要となる。この授業では、情報社会に適合できる人間育成を目的とし、情報化社会における倫理観、その中での行動規範、知的所有権、プライバシーの尊重といった考えを身に付けて貰うことを目的とする。 【授業と教員の研究内容との関連】 本講義の内容は総合情報基盤センターにおける「情報ネットワーク運営・管理」「情報サービス」に関する業務や研究成果、関連分野の基礎的事項が含まれている。	
教養教育科目	基本教養科目	現代社会の分野	教育と人間	心の病と癒しのプロセス		うつ病や統合失調症、アディクション、不登校、発達障害、人間関係の問題などの心の病や心の問題について、共感的な理解を促すため、できる限り具体的に解説していく。各回、資料を用いる。個人が特定されないようデフォルメされた典型的な事例などを具体例として採り上げながら、心の病や問題に関する基本的な知識や、痛みを抱えた心が回復していくプロセスについて解説する。 心の病や問題に対し、学生各自の理解や心的距離感は異なることと思います。授業を通して、様々な心の病や問題に関心をもち、その痛みについて現実感をもってイメージができるようになり、加えて回復のプロセスについても基礎的な知識を獲得できるよう、開講します。	隔年

科目 区分				授業科目の名称	主要授業科目	講義等の内容	備考
教養教育科目	基本 教養科目	現代社会の 分野	教育と人間	心身の発達過程		(概要) メンタルヘルスに関連する心身の発達のプロセスについて、発達心理学および臨床心理学の視点から学ぶ。学士力番号 1-(1)に相当。 生涯発達という昨今の視点から、心身の成長や変化のプロセスを各年齢区分で整理する。発達に関する正しい知識に基づいた理解の視座が獲得できる。乳幼児期から老年期の様々な発達理論や、心身の適応に関連するモデルを各年代ごとに理解することで、広く発達の概要が理解できる。職業人や家庭人としての今後を見据えた場合、これらは教育のみならず福祉や医療など支援を鑑みた際に有効である。基礎知識をもとに、社会人として必要な、子育て・障害・老い・喪失体験といった、各種の困難を受け止めるための臨床心理学・発達心理学における技を習得する。	
教養教育科目	基本 教養科目	現代社会の 分野	教育と人間	情報メディアコミュニケーション		この授業は、(1)メディア(伝達媒体)とは何かについて理解し、メディアを媒介にした情報伝達をコミュニケーションとして理解する。それを踏まえ(2)インターネットを中心としたメディア、(3)VRやMRなどのサイバースペース(電脳空間)の社会、(4)AIやIoTを含むデジタルトランスフォーメーションについて個人やグループで論考する。 履修者が講義を聴くだけでなく、調べて・考えて・議論し・評価し・自己省察(振り返り)をするという学習活動を重視した(皆さんが積極的に学習活動を行う必要がある)授業です。 履修者には、人に話をする、人の話を聞いて・理解して・受け入れてうえで、ディスカッションすることを求めます。	共同
教養教育科目	基本 教養科目	現代社会の 分野	教育と人間	Aspects of Modern Society		An examination of the changes that have happened over the past hundred years and how they have shaped our modern world and how we see ourselves and others. No text will be used in this lesson so class notes will be important. To show how the modern world has developed and to understand different ways of thinking among generations and cultures. Lessons includes: Introduction to modern society and historical background, Human rights, Gender roles and equality, LGBTQ+ rights and acceptance, Environmental awareness and nature conservation, Technological innovation, Mental health awareness, and more. 過去 100 年間に起こった変化と、それらが現代世界をどのように形作ったか、そして私たちが自分自身や他者をどのように見ているかを考察します。このレッスンではテキストは使用しないので、授業ノートが重要になります。 現代世界がどのように発展してきたかを示し、世代や文化による考え方の違いを理解します。 授業内容は以下の通り：現代社会の紹介と歴史的背景、人権、ジェンダーの役割と平等、LGBTQ+の権利と受容、環境意識と自然保護、技術革新、メンタルヘルスへの意識、ほか	
教養教育科目	基本 教養科目	現代社会の 分野	教育と人間	プレゼンテーション・デザイン		(概要) プレゼンテーションとは、相手(聴衆)に情報を伝達し、相手の理解や行動を得るためのものである。我々は、実に様々な場面でプレゼンテーションを行っているが、本科目では主に教育や研究発表、そしてビジネスの場面を想定したプレゼンテーションについて学ぶ。これまでは相手と同じ空間で対面して行われることが多かったプレゼンテーションも、新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、オンラインで行う機会が増えるなど、その環境も大きく変化し、それに対応した方法を理解しておく必要がある。本科目では、現代社会に求められる対面やオンラインでのプレゼンテーションについて学ぶ。 本科目は対面授業とオンライン授業(オンデマンド型)を組み合わせ実施する。また、PCを使った演習もあるため、PCとインターネット接続環境が必須である。	
教養教育科目	基本 教養科目	現代社会の 分野	教育と人間	現代教育学		本科目は全学部の学生対象とし、現代教育の現状と課題、並びに「教育」への自己の適性を見極める機会となる科目である。その中で国内における教職や教員養成のしくみについての基礎的な知識を身に付け、「カリキュラム・マネジメント」の観点から現代教育を分析する。講義に加え、実際に、本学で実施されている「教師へのとびら」に参画し、現職教員や大学生(学部・大学院)と懇談し、さまざまな視点に立つて、教育機関と地域社会の連携を生かした現代教育の在り方について検討・提案を行う。	
教養教育科目	基本 教養科目	現代社会の 分野	教育と人間	教育学A		(概要) 現代社会の制度として教育に焦点を当て、教育学における教育の研究課題を俯瞰すると共に、社会における教育の営みを多角的な視点から考え、教育をめぐる諸問題への関心を高める。人間形成と発達、現代社会と子ども、学校と教師、学校経営・管理、国家と人権、宗教と道徳、学校法制、社会変動と教育を主たるテーマとして、教育学者が教育をめぐる人の営みに対して、どのような視座から、何を課題として、いかなる研究を行ってきたのかを解説する。その上で、教育の機能について受講生と共に客観的に解題することをめざす。	
教養教育科目	基本 教養科目	現代社会の 分野	教育と人間	教育学B		(概要) 現代社会の制度として教育に焦点を当て、教育をめぐる人の営みがどのような教育の仕組みを作り上げ、いかなる問題を生み出してきたのかを、社会学的な視点から考える。学力、入試・就職のような選抜、いじめなど社会病理を主たるテーマとして、教育の仕組みを作り上げる人の営みに関する社会学的な研究の系譜を整理しながら解説する。その上で、教育の機能について受講生と共に客観的に解題することをめざす。	
教養教育科目	基本 教養科目	現代社会の 分野	教育と人間	教育学C		(概要) 授業では、現在の教育学において多用される”グループワーク”について、その技法と実践を通じて学びます。特に、グループワークなど能動的な学びを支援するために不可欠な”ファシリテーション”の技法と考え方を実践的に習得します。大学生活や就職活動、さらには社会人になってからも活用することができる「ファシリテーション」の考え方と知識・技能を習得後、学びの確認として、教育/人材育成を目的としたワークショップをデザインします。	

科目 区分				授業科目の名称	主要授業科目	講義等の内容	備考
教養教育科目	基本教養科目	現代社会の分野	教育と人間	体育実技Ⅰ		体育実技Ⅰでは、大人数で行うスポーツ（ソフトボール、バレーボール、サッカー、バスケットボールなど）の中の2種目を学期中の前半と後半で実施します。今年度は前半にソフトボール、後半にバレーボールを行う予定です。スポーツ基本法の第2条第2項では「スポーツは、とりわけ心身の成長の過程にある青少年のスポーツが、体力を向上させ、公正さと規律を尊ぶ態度や克己心を培う等人格の形成に大きな影響を及ぼすもの」とされています。本授業ではスポーツ基本法の理念を尊重し、特に「公正さと規律を尊ぶ態度や克己心を培う等人格の形成」への理解と可能なら実践につなげていきたいと考えています。本授業では試合時間を多く確保しますし、授業外の学習時間を確保いただく必要があります。また、本授業は教職の必修科目としての側面も有することから、学んだことを実社会で活かしていただきたいと思います。	共同（一部）
教養教育科目	基本教養科目	現代社会の分野	教育と人間	体育実技Ⅱ		本授業は、少人数で行うスポーツ（前半バドミントン、後半卓球）を題材に、楽しさを作り出すために必要な個人とチームの動き方の習得方法や楽しさを作り出すための環境整備のための視点について実際の実技経験を通して理解してもらう科目です。そのため、多くの時間を運動の時間に充てます。毎回の授業の前半では準備体操などの具体的な運動や動作の指示もしますが、後半はチーム毎に分かれ教員が提示するテーマの範囲内で学生同士が考えた練習と試合を行う予定です。授業の最終回後には授業内容を「振り返りシート」に整理してもらいます。「実技試験」の結果と「振り返りシート」の記載内容が評価対象になります。	共同（一部）
教養教育科目	基本教養科目	現代社会の分野	現代社会の諸相	ジャーナリズムの現在		主に新聞を媒体としたジャーナリズムの実践について理解を深めるとともに、その将来についても展望する。 講師は、佐賀新聞社員、報道の最前線にいる記者、紙面のレイアウトを担当する整理部記者をはじめとする編集部だけでなく、広告、事業、販売のほか、ウェブ・携帯速報、テレビタリなど新聞社のクロスメディア担当らキャップクラスと若手を中心に選び、それぞれ現場の雰囲気やスライド・紙面・実習等を用いて伝える予定です。 なお、講義は授業計画にも示すように、複数名の佐賀新聞社社員で担当するオムニバス形式の授業である。	
教養教育科目	基本教養科目	現代社会の分野	現代社会の諸相	アジアコミュニティ論		本講義では、ワンアジア財団の寄付により、学内外・海外から14人の素晴らしい講師陣をお招きし、アジアを中心に社会経済、安全、文化等の多様な面で、アジアの「共生・協働」を模索します。現代の世界は、グローバル化が進む中、「地域の平和と繁栄」を理念とした地域共同体の形成を求めています。そのモデルとなっているのがEUです。本講義では、EUの動向を含めて、アジア各国の現状等を検討しながら、地域コミュニティとしての東アジア共同体構想について、その可能性と課題を議論します。	
教養教育科目	基本教養科目	現代社会の分野	現代社会の諸相	知的財産学		10年前ぐらいまでは、情報を受信することは簡単にできていたのですが、不特定多数への発信はまだ特定の人々に限られておりました。しかし、現在、私たちはインターネットを通じて、さまざまな情報を瞬時に世界中の不特定の人々に対し、個人の知的活動の成果を発信することができるようになりました。一方、個人の不注意が大変な事態をひきおこしかつ、後始末が個人の能力を超えてしまう時代になってきました。そこでこの講義では、知的財産のエキスパートであられる振造弁護士をお招きし、知的財産に関する法律をその発生原理から理解し、実務の現場で役立てることを目的としてつくりました。	
教養教育科目	基本教養科目	現代社会の分野	現代社会の諸相	環境科学Ⅰ		（概要） 我が国の環境保全の取組の概要を、“自然”・“社会”・“暮らし”の3つの視点から講義する。 （オムニバス方式／全15回） （岡島俊哉／12回） ガイダンス、検定試験の説明、持続可能な社会に向けて、地球を知る ①地球の基礎知識 ②いま地球で起きていること、（地球温暖化と脱炭素社会、エネルギー、生物多様性・自然共生社会、地球環境問題、持続可能な社会に向けたアプローチ）、各主体の役割・行動（各主体の役割・活動とパブリックセクター、企業の環境への取組み、個人の行動、NPO、各主体の連携） （市場正良／3回） 環境問題を知る（循環型社会、地域環境問題、化学物質、災害・放射性物質）	オムニバス
教養教育科目	基本教養科目	現代社会の分野	現代社会の諸相	環境科学Ⅲ		（概要） 持続可能な社会の形成に向けた一つのテーマである「3R」および「気候変動」に関する理論、手法および取組事例など、将来の社会人として知っておくべき知識等の範囲を紹介する。 （オムニバス方式／全15回） （岡島俊哉／12回） ガイダンス、融合分野（持続可能な社会、公害と環境問題、生物多様性と自然共生）3R分野（ゴミ処理の歴史と概念、3Rとは、3Rの取組み、ゴミ処理の現状、有害廃棄物など）、特別講義を担当する （市場正良／5回）気候変動分野（気候変動対策の国際議論、地球温暖化のメカニズムと影響、温室効果ガス排出の実態など）を担当する	オムニバス
教養教育科目	基本教養科目	現代社会の分野	現代社会の諸相	インストラクショナル・デザイン		（概要） 教育機関などで行われている授業設計を目的としたインストラクショナル・デザインを講義する。インストラクショナル・デザインを学ぶ上での基礎を学んだ後、ニーズ分析、タスク分析、学習目標分析、ICTの活用、メディア分析などについて学ぶ。講義は全ての回をオンデマンド型のオンライン授業で行う。 インストラクショナル・デザインの基本概念を理解する。学生が自分で自分の学生生活の設計や生涯設計ができるようになることを目指す。	共同

科目 区分				授業科目の名称	主要授業科目	講義等の内容	備考
教養教育科目	基本教養科目	現代社会の分野	現代社会の諸相	国際社会学		私たちがその中を生活しているグローバリゼーションとはどのような現象なのだろうか？本講義では、「グローバリゼーション」という言葉の意味を検討し、その現状、成果、課題について議論する。「情報とグローバル化」では、情報伝達の加速・情報量の増大とリアリティの把握の可能性に関して、「貿易とグローバル化」では、市場の開拓の必要とその歴史的展開を、「格差とグローバル化」では、富の移動と平等・不平等につき検討する。さらに、「環境とグローバル化」では、地球の歴史及び今日の環境問題につき概観し「人とグローバル化」では、人の移動、人的資本に関する現状を紹介する。グローバリゼーションへの理解を深め、受講者が今後の人生に、その知見を活かしていけるようになることが本講義の目的である。	
教養教育科目	基本教養科目	現代社会の分野	現代社会の諸相	現代日本の経済社会問題		本講義は現代日本の経済社会問題を解説し、経済学的背景も加味しながら、社会科学や社会問題に関する基本的リテラシーを養成しようとするものである。今年度はその中で、特に現代日本の経済政策について論じる。 経済政策学は経済諸学の中でも歴史のある分野であるが、最近の社会情勢の急激な変化を織り込んだ対応、発展及び変革が求められる状況にある。 特に2010年代以降の経済政策の展開は、従来の経済理論では解釈が困難な政策展開が行われることが多く、以後経済論壇も世論の経済政策議論も混乱したままである。 しかしながら、実際には多くの問題は既存の経済学の基礎部分と照らし合わせて十分に解釈可能であることが多い。今年度の本講義では、最近の日本の経済政策を紹介し、経済学の視点からどう解釈できるかを議論する。さらにそのことを通じて受講者の社会理解を促進、併せて経済学の初歩的な理解も促そうとするものである。	
教養教育科目	基本教養科目	現代社会の分野	現代社会の分野特別講義	グローバル化と証券投資		(概要) 本特殊講義は各現場で活躍する野村証券グループ・野村資本市場研究所の講師陣により実施される資本市場と証券業務の実践についての講義です。 株式市場、債券市場、外国為替市場についての基礎知識、金融商品と生活設計におけるその活用、これからの産業展望と企業評価の方法など、就職だけでなく、生きていくうえで必要な金融知識を学びます。実際に業務に携わる方の講義を聴き、国際化が進展し変貌しつつある資本市場と証券業務の実践について、実社会の「生きた経済」を学びます。 金融の仕組みについて学び、経済社会についての理解を深めながら、生活設計にも役立てる知識をえることを目指します。	
教養教育科目	基本教養科目	現代社会の分野	現代社会の分野特別講義	西洋近代社会思想史		(概要) 近代初頭のマキャベリから今日のリベラリズムに至る西洋の社会思想史につき、それぞれの思想が出現した時代と思想の文脈、思想家が直面していた問題を概観する。まず、講師がそれぞれの思想家の理論を紹介し、その今日における意義や問題点などにつき参加者で討論する。 私たちは今日、法の支配と市場経済を柱とする近代社会の枠組みの中に生きている。このような近代社会は15～16世紀以降のヨーロッパでそのシステムの原型が形作られ、今日に至る。近代社会の揺籃期から現在に至るまでのヨーロッパおよび北米の思想家による、法、道德、経済を中心とした世界観を概観することで、今日私たちが生きる社会のあり方を認識し、今後のそのありかたを検討するための基盤を得ることを開講意図とする。	
教養教育科目	基本教養科目	現代社会の分野	現代社会の分野特別講義	多文化社会論		今日の多文化的・多文化的な社会において、他者や異文化との共生の必要性につき議論が行われている。グローバリゼーションが進行する中、国境を越えた人の移動も多くなり、複数の文化によって構成される国においては、先住権や文化維持権をめぐる論争などもしばしば見受けられる。今日の多元社会や多文化社会においてはなにが問題視されており、他者や異文化と共生するために、どのような課題が解決されなければならないのか。この講義では、主に現代政治理論の分野における多文化社会の理論や論争を紹介し、ヨーロッパの多文化社会をめぐる問題と共生に向けての制度やその他の取り組みを紹介する。	
教養教育科目	基本教養科目	現代社会の分野	現代社会の分野特別講義	経営工学からみたマネジメント		経営工学の対象範囲は大変広く、関連する技術は私達の身の回りの様々な場面で用いられています。しかし、他の工学(例えば機械工学など)と異なり、経営工学では直接「モノ(ハード)」を取り扱いません。その代わり、経営をInput/Outputシステムとして捉えた時、システムの構成要素それぞれがスムーズに、全体最適で作用するような「モノゴトの間にある仕組み(ソフト)」を方法論(メソッドロジー)として取り扱います。仕組みはシステムの内部に隠れてしまいますので、私達の目には映りづらい縁の下力持的な学問分野であり、ある意味でインタジブルな工学とも言えます。 この授業では経営工学のエッセンスを身近な例を取り上げながらわかりやすく解説していきます。講義が主ですが、理解を助けるために簡単な演習も交えながら進めていきます。	
教養教育科目	基本教養科目	現代社会の分野	現代社会の分野特別講義	金融リテラシーと生命保険		本講義は一般社団法人生命保険協会、佐賀財務事務所、日本銀行佐賀事務所により提供されるもので、金融庁が公表している「最低限身に付けるべき金融リテラシー(知識・判断)」4分野15項目をカバーする講義である。はじめに「金融経済の基礎知識」を学び現状を理解した上で、人生設計における「家計管理と資金計画(資産形成)等」と「リスク管理(生命保険)」について、複数の実務家(全て現役の実務家を予定)により具体的かつ多面的に講じられる予定である。 とりわけ、公的保障(社会保障制度)の内容について学習し、少子高齢化社会の一層の進展により、表面化している諸課題の理解を深めた上で、自助努力の必要性や有用性について理解し、考察を深めて行く。また、講座の後半では、成年年齢引き下げの中、様々な金融トラブルが起こっているが、その現状と防止策についても学習する。	

科目 区分			授業科目の名称	主要授業科目	講義等の内容	備考
教養教育科目	基本教養科目	総合科目	海外交流実習		①本学が交流協定を締結している大学等を訪問し、学生との交流、授業見学、自主課題調査、現地視察、海外で活躍する日本人との交流等を行います。 (実習プログラム) 韓国 大邱大学校 オーストラリア ラートローブ大学 インドネシア・スラバヤ工科大学 台湾・東華大学 米国・バシフィック大学 スペイン・アルメリア大学 ②佐賀大学副専攻プログラム欧米の言語文化専攻一独語コースの選択必修科目であるこの授業では「ドイツの言語と文化IとII」(基本教養科目)、「ドイツ語とドイツ語圏の歴史・文化I-IV」(インターフェース科目)を通してドイツ語の語学力を伸ばすと同時にドイツ語圏の教会や協会関連施設で歴史・文化について学ぶ機会を提供している。 この授業の授業にはつぎの2つの重点がある。 1) ドイツ語での会話。2) キリスト教に関する学び。	
教養教育科目	基本教養科目	総合科目	キャリアデザイン		(概要) 授業を通して、キャリアデザインについての基本的な知識を習得し、学生一人ひとりのキャリアオーナーシップの獲得を目指す。 授業では、多様なキャリアのゲスト(佐賀大学卒業生をはじめ多様な方々)を招聘し、異なる職種におけるキャリア形成と、実践的な能力を身に付けるための学修の計画や行動のモデルを示す。この授業を通じて、自分自身で納得のいくキャリアをデザインしていくことができる人材となることを期待する。 キャリアや就職活動に関する様々な情報があふれる現代社会において、情報に惑わされることなく、自分自身の価値観やビジョンを確立し、生涯にわたりキャリアをデザインしていける力を身につける。	
教養教育科目	基本教養科目	総合科目	グループワークの技法と実践		授業では、ワークショップを通して、グループでの話し合いや会議等を行う際に必要なファシリテーションの技法と考え方を実践的に習得します。また、同時に人材育成を目的としたワークショップを自らデザインします。(ワークショップとは、参加者が持つ既知を共有しながら新たな知を想像する場やその手法のことです。そのため、参加者の主体性が非常に重要な要素となります。) 大学生活や就職活動、さらには社会人になってからも活用することができる「ファシリテーション」の考え方と知識・技能を習得後、学びの確認として、人材育成を目的としたワークショップをデザインします。	
教養教育科目	基本教養科目	総合科目	チャレンジ・インターンシップA		(概要) 本学学生に、基礎的なデータサイエンス等に関する企業実務等を経験させることにより、将来の職業選択に向けての準備や新たな学習意欲の喚起を図ることを目的とする。 企業と協力し、社会への興味関心を喚起し、ビジネス課題の整理と解決力と基礎力を身に付ける。 受け入れ企業・日程が決まり次第、情報を更新する。 受け入れ企業例：一般社団法人地域デザイン総合研究所 各種ビッグデータ、佐賀市中心市街地に設置するIoTセンサーで取得した環境データ、人流データ、オープンデータ等を使い、佐賀市中心市街地を活性化するためのデータ分析を行う。 データ分析結果は、定期的にレポートにまとめ、街なかの事業者等にフィードバックをする。	
教養教育科目	基本教養科目	総合科目	チャレンジ・インターンシップB		(概要) 佐賀大学内に本社をおくIT企業において、社会人基礎力とIT業界の業務内容を理解することを目的とした研修を行う。実際には、企画立案、営業、開発等の一連の業務を座学にて説明を受けたのち、チームごとに分かれて、IoT、AI、ICT等を用いたサービス開発及びプログラミング、調査事業、ビジネスモデル構築といった業務を経験する。 IT企業の実務を経験することによって、社会人基礎力、アントレプレナーシップ、知財知識の重要性を理解できる。また、異業種間の協業の重要性と効果を理解でき、一領域にとらわれずに、様々な価値観を繋げるためのコミュニケーション力を習得できるようになることを目指す。	
教養教育科目	基本教養科目	総合科目	ライフデザインとセルフ・リーダーシップ		(概要) ライフプラン、生きる目的や夢の実現、仕事、恋愛、家族、友情、趣味といった、人間にとって大きなテーマといえるものの重要性を講義形式(視聴覚教材等含む)で学んだ上で、ディスカッションを行い、ワークで自己の考え方を明確にし、ライフプランを構築する。ライフマネジメントを行なうためのセルフ・リーダーシップ(セルフ・コーチング)の手法を修得する。 学生が、自らの人生観、生きる目的や夢の実現、家庭と仕事の両立、恋愛と友情等の重要性を知ることにより、自分の生き様を確立し、その生き様を全うするために学生時代の学びや生活が如何に大切かを理解することを目指す。	

科目 区分			授業科目の名称	主要授業科目	講義等の内容	備考
教養教育科目	基本教養科目	総合科目	Online Immersion Program		This online immersion program consists of three components: 1. Pre-program workshops: these will be held both on the Honjo campus and on Zoom. The workshops will help students tackle for the unique challenges of participating actively and overcoming barriers to communication related to both language and the online environment. 2. Online immersion program: this will be conducted by Slippery Rock University. Program details are available in advance by request. 3. Post-program workshop: students provide a final assessment of what they learned. このオンライン イマージョン プログラムは 3 つのコンポーネントで構成されています。 1. 事前ワークショップ：本庄キャンパスとZoomの両方で開催します。このワークショップは、学生が積極的に参加し、言語とオンライン環境の両方に関連するコミュニケーションの障壁を克服するという独特の課題に取り組むのに役立ちます。 2. オンライン イマージョン プログラム：これはスリッパリー ロック大学によって実施されます。プログラムの詳細については、リクエストに応じて事前にご確認いただけます。 3. プログラム後のワークショップ：学生は学んだことの最終評価を行います。	
教養教育科目	基本教養科目	総合科目	Overseas Practicum		Study abroad preparation program To prepare students for a 10 day trip to Slippery Rock University. Limited to 15 students who have met the requirements of interview and placement. This program allows participants to directly experience university classes. It includes a short-term language training of about 10 days, along with a rich academic content unique to partner schools. At the end of the program, a certificate of completion will be awarded. 留学支援プログラム スリッパリーロック大学への 10 日間の留学に備える。 面接と選抜の条件を満たした15名限定です。 実際に大学の授業を直に体験するプログラムです。約10日間という短期間での語学研修を始め、豊富な学術的内容を含むプログラムは、提携校ならではのものです。プログラムの最後に修了証書が授与されます。	
教養教育科目	基本教養科目	総合科目	データサイエンスBasic I		〔概要〕 本講義では、数理・データサイエンス・AIを日常生活や仕事などの場で活用できる基礎的素養を身に付け、これらを問題解決や他者との円滑なコミュニケーション等に正しく活用できる人材を育成することを目的として、授業計画に記した内容について学ぶ。 ビッグデータという言葉に象徴されるように、ビジネス、医療、教育、農業、工業など様々な分野で大量かつ多様なデータが得られるようになってきた。そのため、このデータを新しい資源ととらえ、データに基づいて様々な問題を解決していく能力、「データサイエンス力」を備えた人材があらゆる分野で求められている。ぜひ本講義を通して、文系理系を問わず、データサイエンスに興味をもってもらいたい。なお、本講義は、高大連携活動の一環として高校生も受講できるように開講する。	共同
教養教育科目	基本教養科目	総合科目	データサイエンスBasic II		〔概要〕 データを読み解くために必要な基本的な統計知識と、データを活用するために必要な基本的な統計手法について解説し、演習課題を通してスキルの定着を図る。 現在、ビッグデータという言葉に象徴されるように、ビジネス、医療、教育、農業、工業など様々な分野で大量かつ多様なデータが得られるようになってきた。そのため、このデータを新しい資源ととらえ、データに基づいて様々な問題を解決していく能力、「データサイエンス力」を備えた人材があらゆる分野で求められている。そこで本講義では、データ活用には欠かせない、基本的な統計手法について学ぶ。なお、本講義は、高大連携活動の一環として高校生も受講できるように開講する。なお、数学Aの『場合の数と確率』及び数学B『統計的な推測』を学習していることが望ましい。	共同
教養教育科目	基本教養科目	外国人留学生用科目	日本事情－自然科学と技術の分野		〔概要〕 本講義は、外国人留学生を対象に、日本語をもって行います。講義では、主に新聞や雑誌などの記事を用いて、日本に関係する自然科学と技術について考えます。講義における解説とともに、受講生に発言や討議を求めます。 本講義は、外国人留学生に日本に関連する自然科学や技術についての知識を身につけさせ、自然科学と技術に関する幅広い知識を習得するとともに、科学的素養を基に合理的および論理的に判断する力を養います。日本語による文書と会話を通じて、自然科学と技術に関連するトピックについて意思疎通を行う能力を養成します。	隔年
教養教育科目	基本教養科目	外国人留学生用科目	日本事情－文化の分野		〔概要〕 この講義は、外国人留学生が日本の歴史と文化を学ぶための授業です。 約2,000年前からの日本の政治や文化の流れを中心とした講義を行います。特に、武士による政治が行われた時代を重点的に取りあげます。授業は日本語で進めます。日本史の講義なので漢字を多く使います。したがって、一定の日本語の読解力が必要になります。 履修する人は、語学の勉強にも励んでおいてください。 留学先での異文化を学ぶことで、自分の母国の歴史と文化の特徴を、再認識するきっかけにしましょう。	隔年

科目 区分			授業科目の名称	主要授業科目	講義等の内容	備考
教養教育科目	基本教養科目	外国人留学生用科目	日本事情－現代社会		(概要) 日本の教育と社会の関係性に焦点を当て、人間形成と発達、現代社会と子ども、学校と教師、学校経営・管理、国家と人権、宗教と道徳、学校法制、社会変動と教育などを主たるテーマとして、日本の社会事情を解説する。その上で、外国人留学生在が個々にもつ理解を日本の文脈において相対化できるよう、受講生間で教育と社会の関係性についてディスカッションする。 現代社会において大部分が経験する制度の1つである教育に焦点を当て、教育の営みを社会との関係性に照らして多角的な視点から考え、日本社会への理解を深める。	隔年
教養教育科目	インターフェース科目	環境コース	機械工学と環境 A－I		近年の国際的な緊急課題の一つであるエネルギーと環境問題を取り上げ、最新の現状と展望とともに、その本質および考え方について教授する。また、佐賀大学で行われているエネルギーと環境に関する最先端の研究内容について詳細に概説する。特に、エネルギーの歴史と課題、自然エネルギーの開発の現状、資源リサイクルと社会問題などについて解説する。 (オムニバス方式／全15回) (今井康孝／5回) 温暖化ガス排出規制(パリ協定、欧州の取り組み、国内の取り組み)、温暖化予測とモデル検証、再生可能エネルギー転換とその問題についての講義 (池上康之／5回) エネルギー問題の概説、海洋温度差発電開発(歴史、複合利用)、再生可能エネルギー開発と地域振興、エネルギー問題の将来 (鶴若菜／5回) 自然エネルギー概説、海洋発電概説、波力・風力・潮流発電、その他海洋開発、海洋エネルギーの有効利用と課題	オムニバス
教養教育科目	インターフェース科目	環境コース	機械工学と環境 A－II		機械設計および機械加工は、自動車を代表とするいわゆる“機械”を生み出す基盤技術となる。本科目では、機械設計・機械加工の基本理論と緒現象について詳述するとともに、近年の環境問題への取り組み、技術動向について説明する。本講義はオムニバス形式となり、各教員の専門分野およびその周辺分野に関する内容を取り扱う。授業を通じて、機械設計・加工にかかわる技術や機器についての理解を深め、設計生産技術と環境の関わりについての知識を習得するとともに、各教員が与えた課題について調査・検討を行い、小論文・レポートとしてまとめ提出する。 (オムニバス方式／全15回) (長谷川裕之／5回) 授業概要説明、機構学の基礎、環境と機構学 (大島史洋／5回) 歯車設計・歯切り加工の基礎、環境と歯車設計 (馬渡俊文／5回) トライボロジー、環境とトライボロジー	オムニバス
教養教育科目	インターフェース科目	環境コース	機械工学と環境 III		(概要) 本講義においては、医工学に関連した流体の基礎と流体機器への応用、流体機械や自然エネルギーを利用した機器、数値シミュレーションの工学分野での応用、蒸気タービン、翼周り、冷凍サイクルのエジェクターなどで生ずる圧縮性を伴う流動場や関連した流体現象について説明する。 (オムニバス形式／全15回) (橋本時忠／5回) 医工学における流体機器の基礎と応用 (住隆博／5回) 数値シミュレーションの基礎と応用 (堀見憲正／5回) 流れのふしぎに基づく流体工学の基礎と応用 --- (概要) 本講義では、金属を中心とした機械材料の基礎について概説するとともに、その関連技術および環境問題との関連について学習する。 (オムニバス形式／全15回) (只野裕一／5回) 機械材料と環境の関わり、環境問題を考慮した材料評価 (森田繁樹／5回) 機械材料の構造と力学特性 (武富紳也／5回) 機械材料の環境影響評価	オムニバス方式・クラスを選択して履修
教養教育科目	インターフェース科目	環境コース	機械工学と環境 IV		熱工学の基礎、伝熱とエネルギー変換、エネルギー利用と様々なエネルギー機器、エネルギー環境問題とその対策技術について講義する。佐賀県および九州におけるエネルギー事情および新エネルギーへの取り組みについても扱う。 (オムニバス形式／全15回) 一部共同 (石田賢治／9回) 熱工学の基礎、エネルギー・環境問題とその対策技術 (有馬博史／7回) エネルギーの利用と様々なエネルギー機器 (飯屋圭史／7回) 伝熱とエネルギー変換 --- (概要) Arduinoに代表されるマイクロコントローラを用いて、我々を取りまく環境情報の一部を自動的に取得し、PCと通信し、判断し、動作をする簡単なシステムを構築する。 (オムニバス形式／全15回) 一部共同 (寺本頼武／12回) マイクロコントローラ、電子回路初歩、Arduinoプログラミング概要など (MD. T. ISLAM KHAN／3回) Arduinoスケッチ	オムニバス・共同(一部)・クラスを選択して履修
教養教育科目	インターフェース科目	環境コース	エレクトロニクスと環境 A－I		電波と電波を用いたアプリケーションを理解する上で必要な基礎知識(波動、電波伝搬、電気回路・電子回路など)、について講義し、電波の応用を考える上での基礎を養う。8週目までは基礎知識(波動、電波伝搬、電気回路・電子回路)、レーダの原理、各種レーダについて説明する。10週目は佐賀県出身の技術者を紹介する。9週目、11週目以降は、現代社会における電波の応用について調査し、調査内容についてプレゼンテーションを行うことにより電波の社会に対する役割を理解し、よりよい社会の実現を考えることができるようにする。	

科目 区分			授業科目の名称	主要授業科目	講義等の内容	備考
教養教育科目	インターフェース科目	環境コース	エレクトロニクスと環境A－Ⅱ		電磁工学の基礎について概説するとともに、その関連技術および環境問題との関連について、講義および調査を通じて学習し、電磁工学と環境とのかかわりについて理解させる。環境・資源・エネルギー問題の解決に資する電磁工学の歴史と最近の技術動向について理解を深める。 6回までは電磁工学の基礎、電磁工学と環境の関わりについての講義や、佐賀県における電磁工学の課題及び関連企業の取り組みについて紹介する。後半は、電磁工学に関する普評問題や対策技術について調査し、発表を行う。	
教養教育科目	インターフェース科目	環境コース	エレクトロニクスと環境Ⅲ		プラズマエレクトロニクスの基礎及びその関連技術および環境問題との関連について解説する。班分けを行い、班毎にプラズマエレクトロニクスに関する環境問題やその対策技術に関するグループ調査を行い、プレゼンテーションを実施させ、プラズマエレクトロニクスと環境との関わりについて理解させる。環境・資源・エネルギー問題の解決に資するプラズマエレクトロニクスの歴史やその知識、最近の技術動向について理解を深める。	
教養教育科目	インターフェース科目	環境コース	エレクトロニクスと環境Ⅳ		半導体産業は裾野が広く、電気電子工学のみならず、理工学部のすべての分野、さらには経済学等を含めた学部の学問分野にも関係する。本講義では、半導体とは何か、半導体の基礎、応用、半導体産業の動向について概説する。また、オプトエレクトロニクスに関して、太陽電池、発光ダイオードなど各種光デバイスの開発の歴史、材料、動作原理などについても概説する。これらと環境・エネルギー問題との関連についても紹介する。インターフェース科目として、自ら学ぶ専門分野や知識が社会とどのような接点を持つのか把握することも重要であるので、半導体やオプトエレクトロニクスに関連した調査学習を行い、プレゼンにまとめる。これらを通して、電気電子工学（エレクトロニクス）と環境および生活について理解を深める。地域との関わりも学ぶ。	
教養教育科目	インターフェース科目	環境コース	佐賀の環境A－Ⅰ		環境に関連した様々な問題を身の回りの話題から考え、科学技術、地域、経済、政治など社会全体の変化と対応させる。メディアを通して得られる環境に関する知識は断片的であり、時には誤っている場合もあるため、これらを科学的考察に基づいて精査し、相互に関連づける。環境問題についての“正しい”知識を得るための方法を学ぶ。これまでのライフスタイルを「自然と共生する」ことに主眼をおいて考え直す契機とする。 10回（外部講師5名、内部講師のべ5名を予定）のオムニバス講義と体験学習（ゴミ体験隊、自然観察会）、現地見学会、グループ討論で構成される。講義内容、講師は変更する可能性あり。 （オムニバス方式／15回） （児玉宏樹／14回）フォーラム概略説明、環境問題総論、グループ討論会、環境学習会 （郡山益実／1回）沿岸域の環境保全 （原口智和／1回）再生可能エネルギーは「エコ」？	オムニバス
教養教育科目	インターフェース科目	環境コース	佐賀の環境A－Ⅱ		(A) 市民と共に身近な環境問題について調査研究し、佐賀市の環境施策や佐賀大学の環境研究と関連づける。 (B) 一線て活躍する環境活動グループの活動に参加し、その実情を体験し、その意義を知る。 身近な環境問題について自ら解決のために活動し、その中から問題解決のための様々な手法を学ぶ。学生同士や社会人など意見や都合の異なる人間同士の意見を調整、集約し議論や交渉、協働作業を通じ、知識や経験を共有し、活動を行なう社会人としての能力を培う。	共同
教養教育科目	インターフェース科目	環境コース	佐賀の環境Ⅲ		佐賀の環境Ⅲ（有明海学Ⅰ） 佐賀大学がある佐賀市は、広大な干潟があり、独特の生き物が息する有明海に面しています。この海の自然とそこに生きる人の暮らし、そして今起きている環境問題について概観します。 原則として対面で講義しますが、第1回はワークショップを含む形式で実施し、第9-10回は実際に干潟を訪れてフィールドワークを行います。フィールドワークは土曜日あるいは日曜日に1日かけて実施します。 （オムニバス方式／全15回） （連水祐一／7回）グリーンマップ作り、海水の物性、干潟とエスチュアリー、波と潮汐、内湾の流れほか （郡山益実／5回）有明海底泥の役割、干潟の環境、ガタ土の環境、干潟現地見学 （阿南光政／1回）集水域がもたらす有明海への影響 （木村圭／2回）生物の代謝、有明海の生物生産構造、有明海の水産業	オムニバス
教養教育科目	インターフェース科目	環境コース	佐賀の環境Ⅳ		佐賀の環境Ⅳ（有明海学Ⅱ） 有明海を対象に、沿岸海域の物理学、生物学等の基礎について講義した後、沿岸海域の環境問題や人と海のかかわりについて講義します。実際の有明海の調査データ等を扱ったアクティブラーニングを含みます。 （オムニバス方式／全15回） （連水祐一／6回）有明海の地形と地史、海の構造と貧酸素、有明海の海洋調査の実際、人による有明海の利用、有明海の干拓と謙早干拓問題、沿岸域の持続的利用に向けた取り組み （郡山益実／3回）干潟の物質環境、野鳥や陸生植物、干潟調査と研究例紹介 （阿南光政／1回）泥と濁り （木村圭／4回）植物プランクトンと赤潮、海藻とノリ養殖、有明海の生物とその問題 （折田亮／3回）有明海の動物プランクトン等、有明海の生物とその問題、	オムニバス・一部共同
教養教育科目	インターフェース科目	文化と共生コース	異文化交流Ⅰ－Ⅰ		現代において、異文化の人間が交わることは、他の地域と比べて閉鎖的とも言われる日本国内ですら、もはや常態化していると言っている。必然的な異文化交流の行き着く先は多文化共生であり、日本国内においても多文化共生の重要性はますます高まりつつある。本講義では、平和学及び紛争解決学の理論に則って、平和的な異文化交流及び多文化共生の形を追求すると同時に、講師の現場体験も踏まえつつ多文化共生の事例をわかりやすく紐解く。さらには、その発展系としての世界平和の実現の可能性と困難性について、模擬国際会議で理解を深める。	

科目 区分			授業科目の名称	主要授業科目	講義等の内容	備考
教養教育科目	インターフェース科目	文化と共生コース	異文化交流Ⅰ－Ⅱ		協働、会話・交流を通じて異文化交流を体験する。外国人の留学生に長めの自己紹介（3,4分間、英語で）をしたり、異文化交流に関するトピックで外国人と協働して口頭発表（英語で）をしたり、海外での学位取得を体験した教師の講演を聞いたり、日本の文化・事情（有田焼）を外国人に英語で紹介・説明したり、外国人と一緒に学外研修に行ったりする。 異文化・事情に育った海外の人との交流を通じて、彼らに、自分自身（および一般の日本人）の経験してきた日本の文化や事情を説明し、彼らから彼ら自身（およびさまざまな国の外国人）の経験してきた海外の文化・事情を聞き、理解する。グループ口頭発表はこれを基にして協働して行う。	
教養教育科目	インターフェース科目	文化と共生コース	異文化交流Ⅲ		この授業では、日常生活で遭遇する倫理的問題（死生観、様々なライフスタイル、学校教育、ソーシャルメディアの使い方、動物と人間の関係など）について異文化交流の観点から考察します。この授業では、文化的背景が違う参加者との対話を通して、現代社会が抱える様々な倫理的問題について考察する機会を提供します。この授業の第一の目的は、留学生と日本の学生が対話や協同作業を通して交流することにあります。文化や倫理に関する多様なテーマを取り上げる予定ですが、日本社会や日本文化の専門的知識を系統立て講義する授業ではありません。	
教養教育科目	インターフェース科目	文化と共生コース	異文化交流Ⅳ		「異文化交流Ⅳ」はインターフェイスの最後の科目です。本授業では、インターフェイスの総仕上げとして、多文化環境下において文化や言語の異なる他者と協働するために必要な知識、態度、スキルを養います。国内学生と交換留学生による多文化チームをつくり、世界共通の課題について多様な背景を持つ仲間と議論します。本授業では、グループメンバーとともにテーマに関連する議論やプロジェクトワークを行います。データを分析し、ローカルとグローバルの両面から検証し、解決方法を提示します。プロジェクトの成果物はプレゼンテーションとレポートでアウトプットします。	
教養教育科目	インターフェース科目	文化と共生コース	Intercultural Communication 1－Ⅰ		As one of the Interface subjects with the theme of Culture and Coexistence in General Education, this is designed for the English Course, fully conducted in English. The class provides hands-on practices in authentic contexts for students to find values in understanding of other cultures as well as their own and to develop intercultural communicative competence to prepare students to become a global citizen. The class activities require student's high engagement such as discussions, group works, presentations, and written communication. The topics include intercultural communication, communication strategies in English, and connecting the local community to the world and this study to their individual future goals. The end project will reflect on what students have learned throughout the course. Students will have study-abroad like experiences throughout the class as it will be taught by Instructor from a U.S. partner university in a typical method used in U.S. higher education. このクラスは、英語コース向けに設定されており、完全英語で行われます。このクラスでは、学生が自国の文化だけでなく他文化を理解する価値観を見つけ、学生が地球市民になる準備をするための異文化コミュニケーション能力を開発するための、本物の文脈での実践的な練習を提供します。クラス活動では、ディスカッション、グループワーク、プレゼンテーション、書面によるコミュニケーションなど、学生の高い関与が求められます。トピックには、異文化コミュニケーション、英語でのコミュニケーション戦略、地元コミュニティと世界、そしてこの研究を各自の将来の目標に結び付けることが含まれます。最終プロジェクトでは、学生がコース全体で学んだことを振り返ります。 米国提携大学の講師が米国の高等教育で使用される典型的な方法で授業を行うため、学生は授業全体を通して留学のような体験をすることができます。	
教養教育科目	インターフェース科目	文化と共生コース	Intercultural Communication 1－Ⅱ		本授業は佐賀県にまつわる土地、物、文化のどれかを国内外に発信する成果物を英語で作ります。その過程でアカデミック英語と異文化コミュニケーションについて学ぶことを目的とします。 佐賀に関する紹介プレゼンテーションを英語で作成することで、次の事項に係る英語力を身に付けます。1) 調査、2) 交渉、3) 発信。 調査は、主に国外のデータを調べます。交渉は、国内外の企業や機関へのメール送信を行います。発信は、英語での動画制作が主たる活動です。これらに加えて、授業が終わった後も自律的に学習を続けられるように、SNSを使った英語学習方法についても指導していきます。	
教養教育科目	インターフェース科目	文化と共生コース	Intercultural Communication Ⅲ		This class will focus on practical experiences with intercultural communication and understanding via virtual exchange activities. Students will discuss their perception of other cultures, discuss topics with people from other cultures, research other cultures and present information about other cultures. This class will be conducted entirely in English. This class will help students develop intercultural communication skills in order to prepare them for participation in global society. Sufficient English language ability - Class is intended for students with an intermediate understanding of English このクラスでは、バーチャルな交流活動を通して、異文化コミュニケーションと異文化理解の実践的な体験に焦点を当てます。異文化に対する認識、異文化の人々とのディスカッション、異文化リサーチ、異文化情報のプレゼンテーションなどを行います。この授業はすべて英語で行われます。 グローバル社会に参加するための異文化コミュニケーション能力を身につけることを意図とします。 十分な英語力 - 中級程度の英語力を有する学生を対象とします。	

科目 区分			授業科目の名称	主要授業科目	講義等の内容	備考
教養教育科目	インターフェース科目	文化と共生コース	Intercultural Communication IV		This course introduces students to the principles of intercultural communication. It covers themes such as self-introductions, hospitality, social norms, relationships, and communication styles. Students will enhance their English skills through discussions and activities while developing cultural awareness and sensitivity in everyday interactions. The course aims to prepare students to navigate intercultural communication effectively by examining cultural differences in daily life. Students will gain insights into cross-cultural interactions, promoting adaptability, respect, and open-mindedness in a globalized world. このコースは、学生に異文化コミュニケーションの原則を紹介し、自己紹介、ホスピタリティ、社会的規範、関係性、コミュニケーションスタイルなどのテーマを扱います。学生はディスカッションや活動を通じて英語スキルを向上させながら、日常のやり取りにおける文化的な意識と感受性を育成します。 このコースは、日常生活における文化の違いを検討することで、学生が異文化コミュニケーションを効果的に行えるように準備することを目的としています。学生は異文化間の交流についての洞察を得ることで、グローバル化した世界において適応力、尊重、そして柔軟な思考を促進します。	
教養教育科目	インターフェース科目	文化と共生コース	肥前陶磁器産業体験Ⅰ		本授業では、有田を中心に肥前地区の古くから伝わる伝統的な材料、道具、釉、火の扱いから、近年の新しい産業構造の側面までを、外部からの視点ではなく、窯元、陶磁器商社、陶磁研究機関、分業専門工房等の立場から学ぶ。講義や演習をつづいて陶器や磁器についての知識理解と産業全体の成り立ちについて学ぶ。後期は、実際に窯元にて陶磁器産業体験をおこなうのでその基礎知識を身につける。 1. 日本陶磁器の産地と流れ 2. 肥前陶磁器の流れ 3. 窯と焼成 4. LP、ボタンガス窯の構造 5. ガス窯の焼成 6. 有田の産業構造 7. 有田の産業構造2 8. 肥前陶磁器の高台削り 9. 「焼き物の表情」他3篇 10. 「急須の後引き」 11. 後引きのない急須の作図 12. 陶磁器製造における欠点及び、対処法 13. 思いを託した土の形―鈴木治 14. 制作の主題について 15. 制作に主題について2 以上は、学生の状況で並び、内容によって変化する。	
教養教育科目	インターフェース科目	文化と共生コース	肥前陶磁器産業体験ⅠⅡ		本授業では、有田の窯元での陶磁器産業体験をつづいて、古くから伝わる伝統的な材料、道具、釉、火の扱いから、近年の新しい産業構造の側面までを、外部からの視点ではなく、窯元、陶磁器商社、陶磁研究機関、分業専門工房等の立場から、職人の仕事を支えるための作業や雑用を行う中で、自ら感じ取る方法を体験的に学ぶ。（場所・有田キャンパス）。実際に窯元にて陶磁器産業体験をおこなう（一窯元に一人が原則）。窯元の通常業務に支障をきたさない範囲でインターンシップを行い労働経験を積むことによって、佐賀の主要産業の一つである陶磁産業のことを深く理解する。	共同
教養教育科目	インターフェース科目	文化と共生コース	肥前陶磁器産業体験Ⅲ		本授業は前期「肥前陶磁器産業体験Ⅲ」後期「肥前陶磁器産業体験Ⅳ」通して行う。 肥前地区の窯業事業者との協働を通して、自己の陶磁器制作を行い、やきものの専門性と表現領域を深める。また肥前地区の窯業の実態を学び、技術や表現の面において思考し、自己の制作に繋げることを目的とする。 プロジェクトの成果物として最終的に展示発表を行う。 また、肥前陶磁器産業への理解や窯業事業者との協働を通して、対外的な対応や関係構築や、自主的な制作を行うことで、制作や展示において全体的なスケジュールが把握・管理できるようになることを目指す。	共同
教養教育科目	インターフェース科目	文化と共生コース	肥前陶磁器産業体験Ⅳ		本授業は前期「肥前陶磁器産業体験Ⅲ」後期「肥前陶磁器産業体験Ⅳ」通して行う。 肥前地区の窯業事業者との協働を通して、自己の陶磁器制作を行い、やきものの専門性と表現領域を深める。また肥前地区の窯業の実態を学び、技術や表現の面において思考し、自己の制作に繋げることを目的とする。 プロジェクトの成果物として最終的に展示発表を行う。 また、肥前陶磁器産業への理解や窯業事業者との協働を通して、対外的な対応や関係構築や、自主的な制作を行うことで、制作や展示において全体的なスケジュールが把握・管理できるようになることを目指す。	共同
教養教育科目	インターフェース科目	文化と共生コース	ドイツ語とドイツ語圏の歴史・文化ⅠⅠ		基本教養科目「ドイツの言語と文化」でやり残していた初級文法を学びつつ、ドイツ語圏の歴史・文化に関するテーマのテキストを読みます。 ドイツ語圏の社会や文化、宗教などの見聞をより深めるために、ドイツ語圏の情報を読みながらドイツ語の文法や内容について学びます。さらに、実際にドイツ語を身に付けるために対面授業では発音練習と聞き取り練習に力を入れます。 また、キリスト教の基礎知識についても学びます。	
教養教育科目	インターフェース科目	文化と共生コース	ドイツ語とドイツ語圏の歴史・文化ⅠⅡ		基本教養科目「ドイツの言語と文化」でやり残していた初級文法を学びつつ、ドイツ語圏の歴史・文化に関するテーマのテキストを読みます。 ドイツ語圏の社会や文化、宗教などの見聞をより深めるために、ドイツ語圏の情報を読みながらドイツ語の文法や内容について学びます。さらに、実際にドイツ語を身に付けるために対面授業では発音練習と聞き取り練習に力を入れます。 また、キリスト教の基礎知識についても学びます。	

科目 区分			授業科目の名称	主要授業科目	講義等の内容	備考
教養教育科目	インターフェース科目	文化と共生コース	ドイツ語とドイツ語圏の歴史・文化Ⅲ		◎ドイツ語圏の歴史・文化に関するテーマのテキストを読んでいきます。 ◎佐賀県内の市町村と姉妹都市の関係にある都市を取り上げ、佐賀とドイツの国際交流の一端を学びます。（ピアノがつかない国際交流 鳥栖市とツァイツ） ドイツ語圏の社会や文化、宗教などの見聞をより深めるために、ドイツ語圏の最新情報を読みながらドイツ語の文法や内容について学びます。 さらに、実際にドイツ語を身につけるために対面授業では発音・聞き取り練習に力を入れます。	
教養教育科目	インターフェース科目	文化と共生コース	ドイツ語とドイツ語圏の歴史・文化Ⅳ		◎ドイツ語圏の歴史・文化に関するテーマのテキストを読んでいきます。 ◎佐賀県内の市町村と姉妹都市の関係にある都市を取り上げ、佐賀とドイツの国際交流の一端を学びます。（磁器がつかない国際交流 有田町とマイセン） ドイツ語圏の社会や文化、宗教などの見聞をより深めるために、ドイツ語圏の最新情報を読みながらドイツ語の文法や内容について学びます。 さらに、実際にドイツ語を身につけるために対面授業では発音・聞き取り練習に力を入れます。	
教養教育科目	インターフェース科目	文化と共生コース	芸術と社会 A－Ⅰ		絵画や彫刻の歴史から現代美術やデザインの歴史まで幅広く講義し、芸術への理解を深めます。 あわせて芸術理論の基礎を学ぶことで、芸術作品をより深く鑑賞できるように知識を身につけます。 （オムニバス方式／全15回） （阿部浩之／4回）現代のデジタル表現、現代のアートとデザイン （徳安和博／4回）身近にある彫刻（銅像）の制作過程、拡張を続ける彫刻の定義、西洋の彫刻、東洋の彫刻 （土屋貴哉／3回）構造の操作 （世利幸代／4回）デザイン・建築・人間社会の形成史（古代、中世～近世、近代、モダニズム）	オムニバス
教養教育科目	インターフェース科目	文化と共生コース	芸術と社会 A－Ⅱ		芸術の鑑賞・体験について3人の教員がそれぞれのテーマに基づき講義・見学等を担当。 （必要に応じて現地体験、美術館見学、ゲスト講義等を行う） 佐賀の伝統的な工芸や芸能について施設見学や体験等を通して理解を深める。現代アーティストと社会の関わりについて関係者の話を聞きながら理解を深める。 （オムニバス方式／全15回） （花田伸一／6回）近代美術館見学2回 （石井美恵／4回）佐賀の無形文化財（※令和7年度は花田が代理開講） （ホートン／5回）異文化コミュニケーション、芸術と社会について講義を実践	オムニバス
教養教育科目	インターフェース科目	文化と共生コース	芸術と社会Ⅲ		（概要） 芸術と社会の繋がりをめぐる講義および有田地域の現地見学を行う。各自の専門分野と芸術の繋がりを考える。 （オムニバス方式／全15回） （花田伸一／10回）美・美術・美術館、美の諸相についての講義、各自の専門分野と美についての学生発表 （湯之原淳／5回）有田見学 ―― （概要） 芸術地域デザイン学部教員によって行われるアクティブラーニング。日本画、西洋画、木工の3分野における作品制作を各5回の授業で経験する。 （オムニバス方式／全15回） （近藤恵介／5回）絵画を学ぶ、日本画を学ぶ （井川 健／5回）西洋画を学ぶ （富田俊明／5回）染色を学ぶ	オムニバス方式、クラスを選択して履修
教養教育科目	インターフェース科目	文化と共生コース	芸術と社会Ⅳ		音楽、人権、歴史、建築・都市などのさまざまな領域と芸術の関係性を学ぶことで、これまでに獲得した視野をさらに広げることを目指します。音楽、人権、歴史、建築・都市などの具体的テーマから「芸術と社会」について考えます。 （オムニバス方式／全15回） （有馬隆文／5回）建築と都市：近代の都市デザイン、戦後の都市デザイン、戦後からバブル期までの都市デザイン、現代の都市デザイン （藤井康隆／3回）歴史：中国南京の文化遺産と都市、中国六朝芸術と東アジア、中国江南の風景とミュージアム （吉岡剛彦／3回）人権：性表現とその限界（芸術家猥褻か、ポルノ規制論、限界事例から） （今井治人／4回）音楽：レナード・バーンスタインはどこから来たのか、グレン・グールドでバッハを聞く、社会が求めた音楽カルチャーの変容、社会と音楽	オムニバス
教養教育科目	インターフェース科目	文化と共生コース	歴史文化 1－Ⅰ		ー「鎖国」時代の異文化接触ー 「江戸時代は鎖国であった」という先入観から脱却し、異文化接触の観点から、日本の近世史をとらえなおします。 ①日本の近世における異文化接触について、調査研究の上、パワーポイントを使って発表してもらう。 ②他の受講生には発表内容についてコメント・質問を提出してもらい、発表者にはそれに答えてもらう。 ③期末にはレポートを提出してもらう。 本授業では、佐賀大学学士力に示された「3(2) 持続的な学習力と社会への参画力」を身につけることを目指します。	

科目 区分			授業科目の名称	主要授業科目	講義等の内容	備考
教養教育科目	インターフェース科目	文化と共生コース	歴史文化Ⅰ－Ⅱ		－映画で学ぶ幕末維新－ 幕末から明治維新までの歴史を、映画やテレビドラマの映像を参考にしながら、分かりやすく解説する。 年代を覚えるだけの歴史教育ではなくて、時代を輝くように生きた偉人たちの“無私”の人間像や、さまざまな時代状況に適合していく各藩の生き方を伝える。 本授業では、佐賀藩が参加したバリエーション、悲劇の藩・会津藩のたどった道、薩摩藩はなぜ雄藩になりえたか？、長州藩の関ヶ原以来の恨みなどのテーマで講義を行います。	
教養教育科目	インターフェース科目	文化と共生コース	歴史文化Ⅲ		－佐賀「賢」人の足跡－ 佐賀は多くの賢人を輩出しました。佐賀「賢」人の足跡をたどり、その生きざまについて学びます。 ①地域（佐賀）の賢人について、調査研究の上、パワーポイントをを使って発表してもらう。 ②他の受講生には発表内容について質問やコメントを提出してもらい、発表者にはそれに答えてもらう。 ③期末にはレポートを提出してもらう。 本授業では、佐賀大学学士力に示された「3(2) 持続的な学習力と社会への参画力」を身につけることを目指します。	
教養教育科目	インターフェース科目	文化と共生コース	歴史文化Ⅳ		－地域の文化遺産－ 各自、文献調査とフィールドワークをとおして、地域の文化遺産の歴史背景と意義について発表し、議論を行います。 ①地域（佐賀県）の文化遺産について、調査研究の上、パワーポイントを使って発表してもらう。 ②他の受講生には発表内容についてコメント・質問を提出してもらい、発表者にはそれに答えてもらう。 ③期末にはレポートを提出してもらう。 本授業では、佐賀大学学士力に示された「3(2) 持続的な学習力と社会への参画力」を身につけることを目指します。	
教養教育科目	インターフェース科目	文化と共生コース	英語コミュニケーションA－Ⅰ		This course is focused on studying some of the most important issues facing the world today. Through studying a variety of issues that face the world, and Japan. By studying such topical content in English, students will evaluate their own role as individuals and as members of society. The course will support and enable learners to critically evaluate and understand the impact of their choices and how they can live and work in responsible ways to ensure that our home, planet earth, can thrive and remain habitable for future generations. このコースは、今日世界が直面している最も重要な問題のいくつかを学ぶことに焦点を当てています。世界と日本が直面するさまざまな問題を学びます。このような時事的な内容を英語で学ぶことで、学生は個人として、また社会の一員としての自分の役割を評価します。このコースは、学習者が自分の選択の影響と、私たちの家である地球が確実に繁栄し、将来の世代にとって住み続けられるようにするために責任ある方法で生活し働く方法を批判的に評価して理解できるようにサポートし、可能にします。	
教養教育科目	インターフェース科目	文化と共生コース	英語コミュニケーションA－Ⅱ		This course is designed to help students develop confidence and fluency in English conversation through engaging, practical, and interactive speaking activities. Using “New Conversations in Class 2” as the core textbook, students will explore real-life topics such as travel, entertainment, family, and future dreams. Each week, students will practice speaking, listening, and critical thinking skills through pair work, group discussions, and role-plays. このコースは、学生が実践的でインタラクティブなスピーキング活動を通じて、英会話に自信と流暢さを身につけることを目的としています。コアテキストとして「New Conversations in Class 2」を使用し、旅行、エンターテインメント、家族、将来の夢などの現実的なトピックを探索します。毎週、学生はペアワーク、グループディスカッション、ロールプレイを通じてスピーキング、リスニング、クリティカルシンキングのスキルを練習します。	
教養教育科目	インターフェース科目	文化と共生コース	英語コミュニケーションⅢ		This class is focused on improving general communicative competence, by using a textbook, reading & listening practices, writing assignments, class presentations and group discussions. In each class, the contents of the textbook will be explained and students will be required to answer the questions, participate actively in group discussions and check each other's writing assignments. Face-to-face classes will be conducted weekly. It is essential to prepare the contents of the textbook before each class and submit homework weekly. このクラスは、教科書の使用、リーディングとリスニングの練習、ライティング課題、クラスでのプレゼンテーション、グループディスカッションを通じて、一般的なコミュニケーション能力を向上させることに重点を置いています。各授業では、教科書の内容を説明し、質問に答えたり、グループディスカッションに積極的に参加したり、お互いの作文課題を確認したりすることが求められます。対面授業は毎週行われます。各授業の前に教科書の内容を準備し、毎週宿題を提出することが不可欠です。	

科目 区分			授業科目の名称	主要授業科目	講義等の内容	備考
教養教育科目	インターフェース科目	文化と共生コース	英語コミュニケーションⅣ		This class will consist of reading, listening, grammar, viewing videos and having discussions about the content of the reading and viewing exercises. The intention of this class is to provide the tools for students to improve their academic skills. The aim of this class is for students to use the skills they acquire in this course to improve not only their English skills, but also to help them improve their communication skills and academic skills in all aspects of their academic career and beyond. The classes will be a mixture of lecture time, question and answer time, discussion time and viewing time, so it is important to attend all classes. このクラスは、読解、リスニング、文法、ビデオ視聴、および読解と視聴の練習内容についてのディスカッションで構成されます。このクラスの目的は、学生が学力を向上させるためのツールを提供することです。 このクラスの目的は、学生がこのコースで習得したスキルを使用して、英語スキルだけでなく、学術的キャリアおよびその先のあらゆる面でコミュニケーションスキルと学術スキルを向上させることです。授業は講義時間、質疑応答時間、ディスカッション時間、視聴時間の混合で行われるため、すべての授業に出席することが重要です。	
					人類の生活を支える材料の開発の歴史とその機構ならびに利用を講義し、新しい材料が新たに生み出す世界を考察させる。その中でも、有機機能性材料の科学について講義をおこなう。未来の有機材料について、グループワークならびに発表会を実施している。 ※この授業科目は、民間企業で有機機能材料について研究していた経験を持つ教員による、有機機能材料に関する実務経験を活かした授業内容を含んでいる。 (オムニバス方式／全15回) (竹下道範／7回) オリエンテーションと有機機能材料の基礎、液晶と液晶材料、フォトリソミック材料、分子認識と超分子化学、双方向授業 (江良正直／4回) 機能性有機材料とエレクトロニクス、有機EL素子、有機太陽電池、有機トランジスタ、メソスコピック有機材料とフォトリソ (小山田重蔵／2回) 高分子化学概論、機能性高分子材料 (米田宏／2回) 錯体化学の基礎と応用	オムニバス
					身近な無機材料や陶磁器の開発の歴史とその機構ならびに利用を、板書や配布資料やPowerPointファイルを用いて講義し、新しい無機材料が新たに生み出す世界を考察することができる人材の育成を目標とする。特に、陶磁器の歴史・研究開発の講義については、肥前セラミック研究センターの教員による講義を実施する。 ※この授業は、県の研究開発センター（佐賀県窯業技術センター）で企業と共同した陶磁器の研究開発の実務経験を有している教員が、陶磁器の歴史や研究開発に関する実践的な教育を行う科目である。 (オムニバス方式／全15回) (矢田光徳／5回) 光触媒材料、医療材料に関する講義 (山田泰教／5回) 錯体系無機材料に関する講義 (一ノ瀬弘道／5回) 陶磁器の歴史について、陶器・磁器の製造法、構造、特性について、機能性陶磁器の機能発現理由について	オムニバス
					人類の生活を支える生体機能材料の開発の歴史とその機構ならびに利用を講義し、新しい生体機能材料が新たに生み出す世界を考察する。また、学生との議論をおこなうことがある。 この授業科目は、民間企業で水質と金属材料の腐食との関係について研究していた経験を持つ教員による、水質と金属材料に関する実務経験を活かした授業内容を含んでいる。 (オムニバス方式／全15回) (川喜田英孝／3回) 工学的な酵素利用、多糖の構造と糖類、生体分子の分離材料 (高橋利幸／3回) 水の性質、溶けるということ、宇宙、地球及び生物と水 (大渡啓介／3回) 生体模倣の材料、分子間力と超分子、人工生体模倣分子の機能と構造 (海野雅司／3回) 生体分子（糖類、タンパク質）、生体分子（DNA）、薬について、薬と生体材料 (徳留嘉寛／2回) 佐賀県コスメティック構想と佐賀大学の関わり、化粧品に使用されている科学（技術）	オムニバス
					人類の生活を支える様々な機能性材料に関する講義と実験を行う。また佐賀地域の特色を考えた化学関連商品についての試案させる。 ※この授業科目は、民間企業でビジネスプランニング（企画書）に関する経験を持つ教員による、ビジネスプランニング（企画書）に関する実務経験を活かした授業内容を含んでいる。 グループに別れ、実験テーマ(LED)を実施する。 材料を用いたビジネスプランを個人または小グループで考え、教員および他の学生に向けて発表を行う。 (オムニバス方式／全15回) (成田貴行／11回) ・(小山田重蔵／3回) イオン液体実験 (梅木辰也／3回) ・(米田宏／3回) イオン液体実験 (藤澤知績／3回) ・(磯野健一／3回) LED実験	オムニバス・共同（一部）
教養教育科目	インターフェース科目	生活と科学コース	未来を拓く材料の科学Ⅰ		人類の生活を支える材料の開発の歴史とその機構ならびに利用を講義し、新しい材料が新たに生み出す世界を考察させる。その中でも、有機機能性材料の科学について講義をおこなう。未来の有機材料について、グループワークならびに発表会を実施している。 ※この授業科目は、民間企業で有機機能材料について研究していた経験を持つ教員による、有機機能材料に関する実務経験を活かした授業内容を含んでいる。 (オムニバス方式／全15回) (竹下道範／7回) オリエンテーションと有機機能材料の基礎、液晶と液晶材料、フォトリソミック材料、分子認識と超分子化学、双方向授業 (江良正直／4回) 機能性有機材料とエレクトロニクス、有機EL素子、有機太陽電池、有機トランジスタ、メソスコピック有機材料とフォトリソ (小山田重蔵／2回) 高分子化学概論、機能性高分子材料 (米田宏／2回) 錯体化学の基礎と応用	オムニバス
					身近な無機材料や陶磁器の開発の歴史とその機構ならびに利用を、板書や配布資料やPowerPointファイルを用いて講義し、新しい無機材料が新たに生み出す世界を考察することができる人材の育成を目標とする。特に、陶磁器の歴史・研究開発の講義については、肥前セラミック研究センターの教員による講義を実施する。 ※この授業は、県の研究開発センター（佐賀県窯業技術センター）で企業と共同した陶磁器の研究開発の実務経験を有している教員が、陶磁器の歴史や研究開発に関する実践的な教育を行う科目である。 (オムニバス方式／全15回) (矢田光徳／5回) 光触媒材料、医療材料に関する講義 (山田泰教／5回) 錯体系無機材料に関する講義 (一ノ瀬弘道／5回) 陶磁器の歴史について、陶器・磁器の製造法、構造、特性について、機能性陶磁器の機能発現理由について	オムニバス
					人類の生活を支える生体機能材料の開発の歴史とその機構ならびに利用を講義し、新しい生体機能材料が新たに生み出す世界を考察する。また、学生との議論をおこなうことがある。 この授業科目は、民間企業で水質と金属材料の腐食との関係について研究していた経験を持つ教員による、水質と金属材料に関する実務経験を活かした授業内容を含んでいる。 (オムニバス方式／全15回) (川喜田英孝／3回) 工学的な酵素利用、多糖の構造と糖類、生体分子の分離材料 (高橋利幸／3回) 水の性質、溶けるということ、宇宙、地球及び生物と水 (大渡啓介／3回) 生体模倣の材料、分子間力と超分子、人工生体模倣分子の機能と構造 (海野雅司／3回) 生体分子（糖類、タンパク質）、生体分子（DNA）、薬について、薬と生体材料 (徳留嘉寛／2回) 佐賀県コスメティック構想と佐賀大学の関わり、化粧品に使用されている科学（技術）	オムニバス
					人類の生活を支える様々な機能性材料に関する講義と実験を行う。また佐賀地域の特色を考えた化学関連商品についての試案させる。 ※この授業科目は、民間企業でビジネスプランニング（企画書）に関する経験を持つ教員による、ビジネスプランニング（企画書）に関する実務経験を活かした授業内容を含んでいる。 グループに別れ、実験テーマ(LED)を実施する。 材料を用いたビジネスプランを個人または小グループで考え、教員および他の学生に向けて発表を行う。 (オムニバス方式／全15回) (成田貴行／11回) ・(小山田重蔵／3回) イオン液体実験 (梅木辰也／3回) ・(米田宏／3回) イオン液体実験 (藤澤知績／3回) ・(磯野健一／3回) LED実験	オムニバス・共同（一部）
教養教育科目	インターフェース科目	生活と科学コース	未来を拓く材料の科学Ⅱ		身近な無機材料や陶磁器の開発の歴史とその機構ならびに利用を、板書や配布資料やPowerPointファイルを用いて講義し、新しい無機材料が新たに生み出す世界を考察することができる人材の育成を目標とする。特に、陶磁器の歴史・研究開発の講義については、肥前セラミック研究センターの教員による講義を実施する。 ※この授業は、県の研究開発センター（佐賀県窯業技術センター）で企業と共同した陶磁器の研究開発の実務経験を有している教員が、陶磁器の歴史や研究開発に関する実践的な教育を行う科目である。 (オムニバス方式／全15回) (矢田光徳／5回) 光触媒材料、医療材料に関する講義 (山田泰教／5回) 錯体系無機材料に関する講義 (一ノ瀬弘道／5回) 陶磁器の歴史について、陶器・磁器の製造法、構造、特性について、機能性陶磁器の機能発現理由について	オムニバス
					身近な無機材料や陶磁器の開発の歴史とその機構ならびに利用を、板書や配布資料やPowerPointファイルを用いて講義し、新しい無機材料が新たに生み出す世界を考察することができる人材の育成を目標とする。特に、陶磁器の歴史・研究開発の講義については、肥前セラミック研究センターの教員による講義を実施する。 ※この授業は、県の研究開発センター（佐賀県窯業技術センター）で企業と共同した陶磁器の研究開発の実務経験を有している教員が、陶磁器の歴史や研究開発に関する実践的な教育を行う科目である。 (オムニバス方式／全15回) (矢田光徳／5回) 光触媒材料、医療材料に関する講義 (山田泰教／5回) 錯体系無機材料に関する講義 (一ノ瀬弘道／5回) 陶磁器の歴史について、陶器・磁器の製造法、構造、特性について、機能性陶磁器の機能発現理由について	オムニバス
					人類の生活を支える生体機能材料の開発の歴史とその機構ならびに利用を講義し、新しい生体機能材料が新たに生み出す世界を考察する。また、学生との議論をおこなうことがある。 この授業科目は、民間企業で水質と金属材料の腐食との関係について研究していた経験を持つ教員による、水質と金属材料に関する実務経験を活かした授業内容を含んでいる。 (オムニバス方式／全15回) (川喜田英孝／3回) 工学的な酵素利用、多糖の構造と糖類、生体分子の分離材料 (高橋利幸／3回) 水の性質、溶けるということ、宇宙、地球及び生物と水 (大渡啓介／3回) 生体模倣の材料、分子間力と超分子、人工生体模倣分子の機能と構造 (海野雅司／3回) 生体分子（糖類、タンパク質）、生体分子（DNA）、薬について、薬と生体材料 (徳留嘉寛／2回) 佐賀県コスメティック構想と佐賀大学の関わり、化粧品に使用されている科学（技術）	オムニバス
					人類の生活を支える様々な機能性材料に関する講義と実験を行う。また佐賀地域の特色を考えた化学関連商品についての試案させる。 ※この授業科目は、民間企業でビジネスプランニング（企画書）に関する経験を持つ教員による、ビジネスプランニング（企画書）に関する実務経験を活かした授業内容を含んでいる。 グループに別れ、実験テーマ(LED)を実施する。 材料を用いたビジネスプランを個人または小グループで考え、教員および他の学生に向けて発表を行う。 (オムニバス方式／全15回) (成田貴行／11回) ・(小山田重蔵／3回) イオン液体実験 (梅木辰也／3回) ・(米田宏／3回) イオン液体実験 (藤澤知績／3回) ・(磯野健一／3回) LED実験	オムニバス・共同（一部）
教養教育科目	インターフェース科目	生活と科学コース	未来を拓く材料の科学Ⅲ		人類の生活を支える生体機能材料の開発の歴史とその機構ならびに利用を講義し、新しい生体機能材料が新たに生み出す世界を考察する。また、学生との議論をおこなうことがある。 この授業科目は、民間企業で水質と金属材料の腐食との関係について研究していた経験を持つ教員による、水質と金属材料に関する実務経験を活かした授業内容を含んでいる。 (オムニバス方式／全15回) (川喜田英孝／3回) 工学的な酵素利用、多糖の構造と糖類、生体分子の分離材料 (高橋利幸／3回) 水の性質、溶けるということ、宇宙、地球及び生物と水 (大渡啓介／3回) 生体模倣の材料、分子間力と超分子、人工生体模倣分子の機能と構造 (海野雅司／3回) 生体分子（糖類、タンパク質）、生体分子（DNA）、薬について、薬と生体材料 (徳留嘉寛／2回) 佐賀県コスメティック構想と佐賀大学の関わり、化粧品に使用されている科学（技術）	オムニバス
					人類の生活を支える様々な機能性材料に関する講義と実験を行う。また佐賀地域の特色を考えた化学関連商品についての試案させる。 ※この授業科目は、民間企業でビジネスプランニング（企画書）に関する経験を持つ教員による、ビジネスプランニング（企画書）に関する実務経験を活かした授業内容を含んでいる。 グループに別れ、実験テーマ(LED)を実施する。 材料を用いたビジネスプランを個人または小グループで考え、教員および他の学生に向けて発表を行う。 (オムニバス方式／全15回) (成田貴行／11回) ・(小山田重蔵／3回) イオン液体実験 (梅木辰也／3回) ・(米田宏／3回) イオン液体実験 (藤澤知績／3回) ・(磯野健一／3回) LED実験	オムニバス・共同（一部）
						オムニバス・共同（一部）
教養教育科目	インターフェース科目	生活と科学コース	未来を拓く材料の科学Ⅳ		人類の生活を支える様々な機能性材料に関する講義と実験を行う。また佐賀地域の特色を考えた化学関連商品についての試案させる。 ※この授業科目は、民間企業でビジネスプランニング（企画書）に関する経験を持つ教員による、ビジネスプランニング（企画書）に関する実務経験を活かした授業内容を含んでいる。 グループに別れ、実験テーマ(LED)を実施する。 材料を用いたビジネスプランを個人または小グループで考え、教員および他の学生に向けて発表を行う。 (オムニバス方式／全15回) (成田貴行／11回) ・(小山田重蔵／3回) イオン液体実験 (梅木辰也／3回) ・(米田宏／3回) イオン液体実験 (藤澤知績／3回) ・(磯野健一／3回) LED実験	オムニバス・共同（一部）
					人類の生活を支える様々な機能性材料に関する講義と実験を行う。また佐賀地域の特色を考えた化学関連商品についての試案させる。 ※この授業科目は、民間企業でビジネスプランニング（企画書）に関する経験を持つ教員による、ビジネスプランニング（企画書）に関する実務経験を活かした授業内容を含んでいる。 グループに別れ、実験テーマ(LED)を実施する。 材料を用いたビジネスプランを個人または小グループで考え、教員および他の学生に向けて発表を行う。 (オムニバス方式／全15回) (成田貴行／11回) ・(小山田重蔵／3回) イオン液体実験 (梅木辰也／3回) ・(米田宏／3回) イオン液体実験 (藤澤知績／3回) ・(磯野健一／3回) LED実験	オムニバス・共同（一部）
						オムニバス・共同（一部）

科目 区分			授業科目の名称	主要授業科目	講義等の内容	備考
教養教育科目	インターフェース科目	生活と科学コース	情報技術者キャリアデザイン A－Ⅰ		情報技術者として身につけておくべき基礎的知識を講義するとともに、ITパスポート試験（ストラテジ分野およびマネジメント分野）に合格するレベルにスキルアップするための演習を行う。 情報技術者＝SE・プログラマーとの誤解があるが、情報系の職業はそれよりもはるかに多様である。また、情報技術は社会的ニーズや企業活動との関連も強い。最近DX（Digital Transformation）の推進が強く求められており、そのための人材育成も重要である。本科目を学ぶことにより、学生は情報系の様々な職業や、IT（情報技術）と企業活動や社会とのつながりを正しく理解するための基礎を身に付けることができる。	共通
教養教育科目	インターフェース科目	生活と科学コース	情報技術者キャリアデザイン A－Ⅱ		職業人が共通に備えておくべき情報技術を講義するとともに、ITパスポート試験に合格するレベルにスキルアップするための演習をおこなう。 なお、この授業は情報系企業の勤務経験を有している教員がその経験をもとにITパスポート試験の有用性を解説します。 本授業の内容は情報処理技術者試験シラバスに従っており、具体的なトピックとしては、情報の基礎理論、ハードウェア、ソフトウェア、マルチメディア、システム構成、ネットワーク、セキュリティ、データベース、アルゴリズムとプログラミングが挙げられる。	
教養教育科目	インターフェース科目	生活と科学コース	情報技術者キャリアデザイン Ⅱ		情報技術者として身につけておくべき論理的思考能力、プレゼンテーション能力を講義や演習を通じて養う。 論理的思考による問題解決や、知識や情報を分かりやすく伝えるための技術は、情報技術者としての基本的な要件の一つである。 本授業では、論理的思考能力（ロジカルシンキング）・問題解決・コミュニケーション技術の学習を行うことにより、パーソナルスキルを向上することができる。 （オムニバス方式／全15回） （岡崎泰久／6回）ロジカルシンキング（概要および基本となる思考）、Whatツリー、Whyツリー、Howツリーおよびピラミッドストラクチャーの概要と活用方法 （皆本晃弥／3回）コミュニケーション（自己紹介、説明・報告）およびプレゼンの組み立て方 （木村拓馬／6回）マトリクスおよびプロセスの概要と活用方法、問題解決（問題発見、原因分析、解決手段検討）	オムニバス
教養教育科目	インターフェース科目	生活と科学コース	情報技術者キャリアデザイン Ⅳ		「敵を知り己を知らば百戦危うべからず」・・・の格言にもあるように、今後、情報技術研究あるいは情報技術関連業界へ巣立っていく者として身につけておかなければならない様々な周辺知識を修得させる。 なお、この授業では、佐賀県内に本社、支社、事業拠点のある情報・通信関連企業を対象とし、業界研究を実施する。 ● 情報技術者倫理 ● 情報技術者の多様な進路 ● 情報関連業界の現状と情報技術者の責務	
教養教育科目	インターフェース科目	生活と科学コース	2年間でできる「がばいベンチャー」の作り方A－Ⅰ		本講義は、1年間を通して、起業を目指したビジネスプランを作るための講義である。Ⅰでは、アントレプレナーシップ（起業家精神）、起業の技術～論理的思考、マーケティング理論、アイデアの発散と収束等についてトライする。 また、この講義は、佐賀を中心とした社会人向けビジネススクールを手掛けるNPO鳳雛塾の全面協力のもと、起業に必須のロジカルシンキング、ケースメソッドを活用した企業分析、自ら考える地力をつけるためのキャリア教育を中心にして展開する。横尾敏史（ビジネスモデル構築担当、NPO鳳雛塾、佐賀銀行）、大島 清美（NPO鳳雛塾、農学部特任講師）、田中宗浩（農学部）が講義を担当する。	
教養教育科目	インターフェース科目	生活と科学コース	2年間でできる「がばいベンチャー」の作り方A－Ⅱ		本講義は、1年間を通して、起業を目指したビジネスプランを作るための講義である。 この講義は、佐賀を中心とした社会人向けビジネススクールを手掛けるNPO鳳雛塾の全面協力のもと、起業に必須のロジカルシンキング、ケースメソッドを活用した企業分析、自ら考える地力をつけるためのキャリア教育を中心にして展開する。横尾敏史（ビジネスモデル構築担当、NPO鳳雛塾、佐賀銀行）、大島 清美（NPO鳳雛塾、農学部特任講師）、田中宗浩（農学部）が講義を担当する。 Ⅱでは、5名程度のグループを構成してビジネスプランの構築に取り組む。	
教養教育科目	インターフェース科目	生活と科学コース	2年間でできる「がばいベンチャー」の作り方Ⅲ		IoTの進展には、主体的に行動し、自ら課題を解決する「アントレプレナーシップ」が重要である。同時に、社会のあらゆる局面を見渡しながら、IoTの実装とその効果を自らの力で判断し、モノを作り出すことが重要となる。 この能力を「業を起こす（がばいベンチャーを作る）」をテーマに2年間の一連した積み上げ式の講義、演習で身に付けることを目的とする。 本講義は2年目の開講科目である。この講義では、実際にブレインストーミングでアイデア創造を行う。商品企画のケースを活用した事例研究により意思決定、行動力、問題解決能力を育む。 今学期は、清川隼矢、千住和久、オブティムエンジニアチーム（プログラミング担当、（株）オブティム）、横尾敏史（ビジネスモデル構築担当 NPO鳳雛塾、佐賀銀行）、NPO鳳雛塾スタッフ、田中宗浩（農学部）が講義を担当する。	
教養教育科目	インターフェース科目	生活と科学コース	2年間でできる「がばいベンチャー」の作り方Ⅳ		この講義では、Ⅰ～Ⅲの講義の中で身に付けた知識やITスキル及び自らの専門知識を用いて、自らの専門知識とITを融合させたビジネスプランを考え、実際に形とする力とアントレプレナーシップを身に付けることを目的とする。実際にビジネスプランを検討し、サービスの構築、プレゼンテーションを行う。また、佐賀県内の産業と連携をした地域振興につながるビジネスモデルの仕上げと発表を行う。今期の講義は、プログラミング関係は、清川隼矢、千住和久、オブティムエンジニアチーム（株式会社オブティム）、ビジネスプラン構築については、横尾敏史（NPO鳳雛塾、佐賀銀行）、NPO鳳雛塾スタッフ、及び田中宗浩（農学部）が担当する。また、外部からのゲストスピーカーを招いた講演も実施する。	
教養教育科目	インターフェース科目	生活と科学コース	食糧生産の科学B－Ⅰ		食糧生産に関わる諸問題を対象に、園芸科学、植物の病害虫と生態系、作物と家畜の生産、作物育種と栽培環境の観点から、現状の理解、問題点の把握、解決方法のアイデアや実際の社会で行われている取り組みについて理解を深め、日本や世界を取り巻く農業生産や生態系の諸問題について理解を深める。	

科目 区分			授業科目の名称	主要授業科目	講義等の内容	備考
教養教育科目	インターフェース科目	生活と科学コース	食糧生産の科学B－Ⅱ		食糧や農作物の生産に関係する動植物や微生物の生態について教授するとともに、それらを生産する際に問題となる病虫害やそれらの防除方法について教授する。 (オムニバス方式／全15回) (吉賀豊司／3回) 農薬の安全性、農薬の作用機序、遺伝子組み換え作物による防除 (徳田誠／4回) 害虫防除の歴史、害虫防除の実際、生態系と食糧生産、生物多様性と食糧生産 (辻田有紀／4回) 花卉園芸作物の分類、花卉園芸作物の生産（用途別にみた生産体系、植物の生態的特徴からみた生産体系）、花卉園芸作物の利用 (草場基章／4回) 食糧生産に関係する微生物、食糧生産への微生物の利用、食糧生産で問題となる微生物、食糧生産と微生物	オムニバス
教養教育科目	インターフェース科目	生活と科学コース	食糧生産の科学Ⅲ		食糧生産に関わる諸問題を対象に、作物と家畜の生産、作物育種と栽培環境の観点から、現状の理解、問題点の把握、解決方法のアイディアや実際の社会で行われている取り組みについて理解を深め、日本や世界を取り巻く農業生産や生態系の諸問題について理解を深める。 (オムニバス方式／全15回) (鄭紹輝／4回) 日本における食用作物の生産事情、佐賀県の農業環境と作物生産、豆類作物の栽培と利用、イモ類雑穀類作物の栽培と利用 (上笠喜八／4回) 日本におけるイネの生産、米の特性と利用法、日本における麦類の生産、麦類の生育環境と品種特性 (江原史雄／3回) 動物の管理、動物への配慮、アニマルウェルフェア畜産の現在と未来 (山中賢一／4回) 動物生産とSDGs、繁殖技術①人工授精、繁殖技術②体外受精、繁殖技術③生殖細胞の凍結保存	オムニバス
教養教育科目	インターフェース科目	生活と科学コース	食糧生産の科学Ⅳ		食糧生産に関わる諸問題を対象に、作物学、育種学、植物生理学、園芸科学の観点から、現状の理解、問題点の把握、解決方法のアイディアや実際の社会で行われている取り組みについて理解を深め、日本や世界を取り巻く農業生産や生態系の諸問題について理解を深める。 (オムニバス方式／全15回) (鈴木章弘／3回) 作物生態生理学（作物とは、作物栽培の実際、微生物共生の作物栽培への応用） (渡邊啓史／3回) 日本における食糧生産の実際、世界における遺伝子組み換え作物の利用、作物育種の方法と現状 (藤田大輔／3回) イネについて、イネ生産の課題（非生物学的ストレス、生物学的ストレス） (西田翔／3回) 土壌の役割と性質、植物の栄養吸収と利用、食糧生産における環境問題 (後藤文之／3回) 施設園芸学（施設園芸の定義、歴史、施設園芸における植物生理学、オランダの園芸と植物工場）	オムニバス
教養教育科目	インターフェース科目	生活と科学コース	ライフサイエンス・フードサイエンスA－Ⅰ		毎日の食事は私たちの生命活動を維持する上で不可欠であるばかりか、日々の生活に潤いを与える嗜好物の側面も持つ。それぞれの食品成分を適切に分析・評価し、消費者に説明することは現代では必須の作業である。加えて、補完的なサプリメントの摂取は、健康維持の側面から、広く受け入れられているが、その機能的側面の詳細な理解は進んでいないように思う。本科目では、これらの事柄について、講義・演習・実習形式で学ぶ。 (オムニバス方式／全15回) (辻田忠志／3回) 食品の機能性を判断する細胞実験、実験体験 (川添嘉徳／3回) 海産物・植物・キノコなどの菌類が生産する機能性物質 (堀谷正樹／3回) 食品中のタンパク質、食品を消化する酵素、タンパク質と疾患 (関清彦／3回) タンパク質・脂質の一般分析、炭水化物（糖質）の分析 (吉田和広／3回) 光と色の測定法、植物・海藻の色を決める色素の測定法、植物の非破壊測定技術	オムニバス
教養教育科目	インターフェース科目	生活と科学コース	ライフサイエンス・フードサイエンスA－Ⅱ		毎日の食事は私たちの生命活動を維持する上で不可欠であるばかりか、日々の生活に潤いを与える嗜好物の側面、機能的側面も持つ。食品が消費者の手に届くまでにはこれら食品の特性を保持しつつ食中毒等のリスクを低減させる処理がなされる。また、加工食品の開発には市場調査も欠かせない。さらに近年では、食糧枯渇問題を背景に新たな食資源の開発も行われている。本科目では、これらの事柄について、講義・演習・実習形式で学ぶ。 (オムニバス方式／全15回) 一部共同 (野間誠司／5回) 食品の加熱殺菌と微生物数評価、食品の新しい殺菌技術と品質評価、食品保存技術と品質評価、演習 (濱洋一郎／4回) 食中毒の概要、食品製造現場での食品衛生、食中毒についてグループワーク、演習 (龍田勝輔／4回) 食資源としての昆虫利用、昆虫食の利点と欠点、昆虫を利用した機能性成分、演習 (本島浩之／4回) 食品アンケートの概要、食品アンケート調査と解析、演習	オムニバス・共同（一部）
教養教育科目	インターフェース科目	生活と科学コース	ライフサイエンス・フードサイエンスⅢ		毎日の食事は私たちの生命活動を維持する上で不可欠であるばかりか、日々の生活に潤いを与える嗜好物の側面も持つ。それぞれの食品成分を適切に分析・評価し、消費者に説明することは現代では必須の作業である。加えて、補完的なサプリメントの摂取は、健康維持の側面から、広く受け入れられているが、その機能的側面の詳細な理解は進んでいないように思う。本科目では、これらの事柄について、講義・演習・実習形式で学ぶ。 (オムニバス方式／全15回) (川口真一／3回) 食品・サプリメント・化粧品に含まれる有機低分子 (光武進／3回) 食品の安全を担保するための規制、HACCPによる食品製造管理、HACCPを自炊に生かそう (永野幸生／3回) 分子系統解析に関する演習 (木村圭／3回) 藻類食品、海苔の食味官能評価、藻類養殖と栄養成分の講義 (井上奈穂／3回) 食品機能に関する講義、食品の機能性研究に関する演習、機能性食品に関する発表	オムニバス

科目 区分			授業科目の名称	主要授業科目	講義等の内容	備考
教養教育科目	インターフェース科目	生活と科学コース	ライフサイエンス・フードサイエンスⅣ		毎日の食事は私たちの生命活動を維持する上で不可欠であるばかりか、日々の生活に潤いを与える嗜好物の側面も持つ。それぞれの食品成分を適切に分析・評価し、消費者に説明することは現代では必須の作業である。加えて、補完的なサプリメントの摂取は、健康維持の側面から、広く受け入れられているが、その機能的側面の詳細な理解は進んでいないように思う。本科目では、これらの事柄について、講義・演習・実習形式で学ぶ。 (オムニバス方式／全15回) (永尾晃治／3回) 健康に関する食品表示制度の講義、特別用途食品の機能性に関する演習 (折田亮／3回) 魚介類の利活用に関する講義と演習 (宗伸明／3回) 食品の分析と調理の科学に関する講義と演習 (後藤正利／3回) 発酵食品の製造と分析に関する講義と演習 (小林元太／3回) 発酵食品の製造と分析に関する講義と演習	オムニバス
教養教育科目	インターフェース科目	人間と社会コース	チームビルディングとリーダーシップⅠ－Ⅰ		本授業は、「①チームビルディングのスキル」、「②リーダーシップ理論の知識」、「③課題発見能力」をテーマとして扱う。毎回の授業では、「①チームビルディングを目的とした30分程度のアクティビティ」と「②リーダーシップ理論の知識」あるいは「③課題発見能力」に関する講義およびグループワークを実施する。特に③の事柄は、本授業の中核となる活動である。具体的には、教員からテーマ（問い）の提示→資料収集やディスカッション等のグループ活動→結論や主張を示す資料作成→振り返りという流れで実施する。1つのテーマにつき3コマ程度の時間をかけて、グループの主張や結論を導き出す。全15回の授業中に4つ程度のテーマ（問い）に取り組むことで、後述の開講意図および到達目標に掲げる能力の修得を目指す。	共同
教養教育科目	インターフェース科目	人間と社会コース	チームビルディングとリーダーシップⅠ－Ⅱ		本授業では、前期授業で学習した「チームビルディング」「リーダーシップ」「課題発見・設定」に関する知識や技術を活用し、提示された「テーマ」に対する「課題」を特定した上で、その解決のための企画立案およびプレゼンテーションする。本プログラムは、「組織および社会において自己の役割と責任を認識し、主体的にリーダーシップを発揮し行動できる人材の輩出」を目指している。本授業では、そのために必要な能力の育成を目的とする。	共同
教養教育科目	インターフェース科目	人間と社会コース	チームビルディングとリーダーシップⅢ		特定の佐賀県内企業から提示されたテーマを題材として、テーマに基づいた課題解決のための企画提案を行う。学習者は複数人でチームを形成し、提示されたテーマについて現状分析や課題把握を行った上で、その解決策について企画を行う。一連の学習プロセスには、チャーターとして企業から社会人が参画し学びをサポートする。チームで構築した企画については、プレゼンテーションを行う。なお、本授業については、主に佐賀県内企業に対しての公開授業として、自由な参観があることを申し添える。	共同
教養教育科目	インターフェース科目	人間と社会コース	チームビルディングとリーダーシップⅣ		本授業ではプログラムの集大成として、リーダーシップとチームビルディングに関するプロジェクトを実施する。プロジェクトの内容等については、佐賀県あるいは佐賀市が抱える問題・課題を解決するものを前提とするが、詳細は受講生間で議論し決めることとする。授業の進め方は、基本的にはPBL (Project-Based Learning) を基本とし、プロジェクト実施とそれまでのプロセスを学生が主体となって進める。	共同
教養教育科目	インターフェース科目	人間と社会コース	リサーチ・リテラシーⅠ－Ⅰ		人が決断を迫られる時、何らかの事実に基づいて望ましい決断をしたと考えることがしばしばある。噂話に耳を傾けることもあれば、信頼している誰かに経験談を語ってもらおうとするかもしれない。統計も事実を知るための一つの方法である。だが、統計が作成され、利用される過程で政治的な仮定が入り込むことや、意図的もしくは無意図的に誤用されることさえる。 本プログラムは、統計を適切に活用できるリサーチ・リテラシーの修得を目指す「リサーチ・リテラシー」のフェーズⅠとして、統計データの読み込みと統計データの作成を行う。担当教員は、統計の活用に関するさまざまな議論を提示し、統計データの適切な読み込みができるよう支援する。履修者は担当教員や履修者同士でディスカッションしながら、各自の問題意識を明らかにし、グループワークを通して興味・関心に即した統計データを実際に作成する。	
教養教育科目	インターフェース科目	人間と社会コース	リサーチ・リテラシーⅠ－Ⅱ		人が決断を迫られる時、何らかの事実に基づいて望ましい決断をしたと考えることがしばしばある。噂話に耳を傾けることもあれば、信頼している誰かに経験談を語ってもらおうとするかもしれない。統計も事実を知るための一つの方法である。だが、統計が作成され、利用される過程で政治的な仮定が入り込むことや、意図的もしくは無意図的に誤用されることさえる。 本プログラムは、統計を適切に活用できるリサーチ・リテラシーの修得を目指す「リサーチ・リテラシー」のフェーズⅡとして、統計データの読み込みに加え、統計データの処理に必要となる検定と解析を学ぶ。担当教員は、統計的な有意性検定や解析技法の基礎につて、演習を交えて講義し、統計的な知識と技法の修得を支援する。履修者はグループワークを通して統計データの処理を実際に試みる。	
教養教育科目	インターフェース科目	人間と社会コース	リサーチ・リテラシーⅢ		統計を適切に活用できるリサーチ・リテラシーの修得を目指すプログラムとして、統計データを読み込む統計技法に関する知識を深め、その応用可能性について、共同作業やプレゼンテーションを交えて検討する。21世紀に入り既に10年を経過した現代の日本社会が直面している課題は、少子化や個人・企業・政府による経済活動、財政から、地震や河川の氾濫などの災害、DNA解析まで、膨大な領域に及んでいる。「リサーチ・リテラシーⅢ（調査データの分析）」では、人の心理や教育、社会政策に焦点を当て、統計技法を駆使したさまざまな研究成果を提示し、担当教員や履修者同士でディスカッションしながら、履修者が統計データの適切な作成と読み込みができるよう支援する。	
教養教育科目	インターフェース科目	人間と社会コース	リサーチ・リテラシーⅣ		統計を適切に活用できるリサーチ・リテラシーの修得を目指すプログラムとして、統計データを読み込む統計技法に関する知識を深め、その応用可能性について、共同作業やプレゼンテーションを交えて検討する。21世紀に入り既に10年を経過した現代の日本社会が直面している課題は、少子化やそれに伴う教育の諸問題、個人・企業・政府による経済活動、財政から、地震や河川の氾濫などの災害、DNA解析まで、膨大な領域に及んでいる。「リサーチ・リテラシーⅣ（人文・社会・自然科学の統計）」では、人文・社会科学、自然科学が扱う社会的な諸課題に焦点を当て、統計技法を駆使したさまざまな研究成果を提示し、担当教員や履修者同士でディスカッションしながら、履修者が統計データの適切な読み込みができるよう支援する。	

科目 区分			授業科目の名称	主要授業科目	講義等の内容	備考
教養教育科目	インターフェース科目	人間と社会コース	スポーツイベントとボランティアリーダーⅠ－Ⅰ		「スポーツイベントとボランティアリーダー」では、イベント作りの基礎的な考え方、地方自治体や地域企業のスポーツイベントに関する考え方、チームワークやリーダーシップの基礎的な知識を書籍や講義から学んでもらいます。さらに、それらから得られた知識を元に「また関わりたいと思えるスポーツイベント」を目指して、学生が立案したスポーツに関わるイベントを実際に運営してもらいます。これらの経験を通して、ボランティアとともにスポーツイベントを成功に導ける知識や態度を身につける事を目標に展開します。 「スポーツイベントとボランティアリーダーⅠ」においては、企画立案に必要な基礎知識や企画書作成のためのプロセスについて講義した後、大学における1つの問題解決をテーマに企画書の作成をしてもらいます。企画書の内容を評価対象とします。	
教養教育科目	インターフェース科目	人間と社会コース	スポーツイベントとボランティアリーダーⅠ－Ⅱ		「スポーツイベントとボランティアリーダー」では、イベント作りの基礎的な考え方、地方自治体や地域企業のスポーツイベントに関する考え方、イベントづくりのための基礎的な知識を講義から学んでもらいます。さらに、それらから得られた知識を元に「また関わりたいと思えるスポーツイベント」を目指して、学生が立案したスポーツに関わるイベントを実際に運営してもらいます。これらの経験を通して、ボランティアとともにスポーツイベントを成功に導ける知識や態度を身につける事を目標に展開します。 「スポーツイベントとボランティアリーダーⅡ」においては、2つの企業から依頼される案件を題材に提案をプレゼンにまとめる方法について講義で学び、実際にスライドの作成やプレゼン動画の作成を行います。 加えて、春休み期間中にはスポーツイベントのボランティア体験をしてもらいます。	共同
教養教育科目	インターフェース科目	人間と社会コース	スポーツイベントとボランティアリーダーⅢ		「スポーツイベントとボランティアリーダー」では、イベント作りの基礎的な考え方、地方自治体や地域企業のスポーツイベントに関する考え方、チームワークやリーダーシップの基礎的な知識を書籍や講義から学んでもらいます。さらに、それらから得られた知識を元に「また関わりたいと思えるスポーツイベント」を目指して、学生が立案したスポーツに関わるイベントを実際に運営してもらいます。これらの経験を通して、ボランティアとともにスポーツイベントを成功に導ける知識や態度を身につける事を目標に展開します。 「スポーツイベントとボランティアリーダーⅢ」においては、さが桜マラソンの反省とチームワークやリーダーシップの知識等をベースに「また関わりたいと思えるスポーツイベント」を作成してもらう。その後、2班に別れ地元企業等からスポーツイベントの作り方などについて学び、その知識を元に企画立案をしてもらう。	共同
教養教育科目	インターフェース科目	人間と社会コース	スポーツイベントとボランティアリーダーⅣ		「スポーツイベントとボランティアリーダー」では、イベント作りの基礎的な考え方、地方自治体や地域企業のスポーツイベントに関する考え方、チームワークやリーダーシップの基礎的な知識を書籍や講義から学んでもらいます。さらに、それらから得られた知識を元に「また関わりたいと思えるスポーツイベント」を目指して、学生が立案したスポーツに関わるイベントを実際に運営してもらいます。これらの経験を通して、ボランティアとともにスポーツイベントを成功に導ける知識や態度を身につける事を目標に展開します。 「スポーツイベントとボランティアリーダーⅣ」では「スポーツイベントとボランティアリーダーⅢ」で立案した企画を「また関わりたいと思えるスポーツイベント」になるように実施する事を通して、スポーツボランティアリーダーとして求められる能力の獲得に向けて行動してもらいます。	共同
教養教育科目	インターフェース科目	人間と社会コース	課題解決のためのプロジェクトデザインⅠ		本授業におけるプロジェクトデザインとは、「ある特定の問題を分析し、その原因や取り組むべき課題を明らかにするとともに、課題を解決するための計画をたてること」を指す。本授業では、5名前後の学生チームを作り、教員が提示するテーマ（問い）に取り組むことで、プロジェクトデザインの知識やスキル、チームで協働するためのスキル・マインドを学ぶ。 毎回の授業では、「①チームビルディングを目的としたグループワーク」と②プロジェクトデザインに関する講義およびグループワークを実施する。具体的には、教員からテーマ（問い）の提示→資料収集やディスカッション等のグループ活動→結論や主張を示す資料作成→振り返りという流れで実施する。学生間でのディスカッションやチーム活動が授業の中心となるため、履修にあたっては、これらの活動に積極的に参加する前提であることが望ましい。	
教養教育科目	インターフェース科目	人間と社会コース	課題解決のためのプロジェクトデザインⅡ		本授業におけるプロジェクトデザインとは、「ある特定の問題を分析し、その原因や取り組むべき課題を明らかにするとともに、課題を解決するための計画をたてること」を指す。本授業では、前期授業（Ⅰ）で学習した「プロジェクトデザイン」及び「チームビルディング」に関する知識・スキルを活用し、提示されたテーマに対する「課題」を特定したうえで、その解決のための企画立案及びプレゼンテーションを行う。本授業におけるテーマは、佐賀県内企業の協力のもと提示する。履修学生は、実際に佐賀県内企業が抱える問題を解決するための企画立案に取り組む。 Ⅰの授業に引き続き、学生間でのディスカッションやチーム活動が授業の中心となるため、履修にあたっては、これらの活動に積極的に参加する前提であることが望ましい。	

科目 区分			授業科目の名称	主要授業科目	講義等の内容	備考
教養教育科目	インターフェース科目	人間と社会コース	教育から学ぶインターフェース論Ⅰ		副題を「インターフェースの基礎技法」と題し、教育学部に所属する12名の教員の研究成果をもとに、「インターフェース」の言葉が含有する広範囲な意味について様々な角度から明らかにしていく。 (オムニバス方式／全15回) (今井治人／3回) ガイダンス、総論、音楽の境界で出会うもの (遠富洋二／1回) ここからはじまるコミュニケーション (Moxon Jonathan／1回) 英語を学ぶ理由 (川中子正／1回) 現実問題への数学の応用について (荒巻治美／1回) 音楽と人間 (吉村圭／1回) イギリス児童文学に映し出される社会問題 (栗山裕至／1回) 美術から得られるものとは (大林将典／1回) 「問い」や「思い」を生み出す数学的事象との出会い (石川美也子／1回) 音楽の系譜 (日高茂暢／1回) 映画で学ぶ障害心理学と特別支援教育 (足立佳菜／1回) ダイバーシティ時代の道徳 (中村聡／2回) 里山の生物多様性～宮崎駿の創作活動①②	オムニバス
教養教育科目	インターフェース科目	人間と社会コース	教育から学ぶインターフェース論Ⅱ		副題を「身体と空間」と題し、教育学部に所属する12名の先生方の研究成果をもとに、インターフェースの概念について多彩かつ広範な領域から探求する。 (オムニバス方式／全15回) (今井治人／3回) ガイダンス、総論、表現する身体 (吉村圭／1回) イギリス文学と映像化作品からみる社会通念の変化 (橋永貴弘／1回) 折り紙とハサミで数学をしよう (端正勝／1回) ヒトの視覚と空間認知 (澤島智明／1回) 住まいと生活 (小野文慈／1回) もの・人を安全に運ぶ科学を考える (萱島知子／1回) 食と健康 (小松美和子／1回) 衣服のかたち (黒田圭介／2回) 自然災害と地理学、地域おこしと没場所化 (小村朋代／1回) 発声のためのボディ・マッピング (吉岡剛彦／1回) 身体・ジェンダー・自己決定 (名倉一美／1回) 日本の「子育て支援」の現状	オムニバス
教養教育科目	インターフェース科目	人間と社会コース	教育レクリエーション支援の探究Ⅰ		本プログラムでは、レクリエーション支援の理論を、学校や地域、企業・団体等における教育実践場面に活用し、個人や組織のチカラを主体的に元気にしていくことができるレクリエーション人材（高い倫理観と優れたコミュニケーション能力を備えたアクティブな人材）の輩出を目指しており、「教育レクリエーション支援の探究Ⅰ・Ⅱ」という2つの授業を通して、レクリエーションの理念と価値、レクリエーション支援の理論の理解やレクリエーション支援の方法について学びます。 本授業は、講義と演習、実技によるアクティブラーニング形式の授業となります。さらに、レクリエーション活動やグループワークの体験が学習の主となる展開方法となりますので、積極的に他者と関わる事が求められます。 加えて、本授業では実習（フィールドワーク）として学外授業4回分の「レクリエーション事業参加体験」を行います。	
教養教育科目	インターフェース科目	人間と社会コース	教育レクリエーション支援の探究Ⅱ		本プログラムでは、レクリエーション支援の理論を、学校や地域、企業・団体等における教育実践場面に活用し、個人や組織のチカラを主体的に元気にしていくことができるレクリエーション人材（高い倫理観と優れたコミュニケーション能力を備えたアクティブな人材）の輩出を目指している。本授業では、「信頼関係づくりの理論とその方法（ホスピタリティ）」「良好な集団づくりの理論とその方法（アイスブレイキング）」を中心に取り組みます。加えて、実際に行われているレクリエーション事業に「学外授業」として参加することでレクリエーション支援についての理解や本授業で学んだ内容の理解を深めてもらいます。毎回の授業後には「授業リフレクション」としてその授業を振り返っての感想や自己評価などの振り返りをオンラインツールを用いて収集します。授業の最終回後にはすべての授業内容を振り返る「総括リフレクション」を行います。	
教養教育科目	インターフェース科目	医療・福祉と社会コース	現代社会と医療Ⅰ		わが国は、江戸時代に西洋医学と日本漢方医学とが出会い、明治期以降近代医学が形成されてきた。授業内容は、江戸時代に日本漢方医学や西洋医学がどのように影響しあって、現代にどのように影響しているかを明らかにする。とくに医師及び人々の人体内部を見る目がどのように発達し、解剖学から生理学、病理学、自然科学へと学問の発達を見たこと、我が国近代医学の形成に佐賀藩がどのように関わったか、西洋医学の発達との関連などを、現代の医療の問題とリンクさせて理解することを目的に講義をする。理解を深めるために資料プリントを配布する。心構えは授業のノートをとることがよい。	
教養教育科目	インターフェース科目	医療・福祉と社会コース	現代社会と医療Ⅱ		医療人とは何か、プロフェッショナルな医療人になるにはどのような準備や能力が必要か、現在の医療の状況、将来の変化、佐賀の医療の現状などを講義で学びつつ、自分のキャリアを考えていく重要性や、その計画を実現させるために必要な準備について学んでいく。また、ロールモデルとして、さまざまな医療領域の実務を経験した医師・看護師・メディカルスタッフが各専門分野の概要を紹介しつつ、なぜ自分が進路決定にいたったか、現在のとりくみ、将来の展望、各分野の魅力を概説し、それを聴いて、考えることにより医療人のキャリア形成について理解を深めていく。	
教養教育科目	インターフェース科目	医療・福祉と社会コース	食と健康Ⅰ		健康を維持・増進するための身体活動や運動、食事（飲酒を含む）に関する科学的エビデンスを学び、生涯にわたり健康的なライフスタイルを日常的に実践できるようになることを目的とする。 (オムニバス方式／全15回) (西田裕一郎／6回) オリエンテーション、健康寿命、肥満と運動、生活習慣病の予防と身体活動、運動による楽しい健康づくり（スロージョギング、ビックルボール）、講義・スポーツ実技まとめ (射場裕美子／2回) 生活習慣病の予防のための食事、ライフステージ別の栄養 (永尾晃治／2回) 栄養の概念と五大栄養素、エネルギーの摂取と消費のバランス (井上奈穂／2回) 食品の機能性、健康に資する食品の活用（保健機能食品とは？） (岡田貴裕／1回) 糖尿病と食事 (松本明子／1回) 飲酒、ALDH2遺伝子と健康 (坂元康成／1回) 運動による楽しい健康づくり（ボールゲーム）	オムニバス

科目 区分			授業科目の名称	主要授業科目	講義等の内容	備考
教養教育科目	インターフェース科目	医療・福祉と社会コース	食と健康Ⅱ		医療人とは何か、プロフェッショナルな医療人になるにはどのような準備や能力が必要か、現在の医療の状況、将来の変化、佐賀の医療の現状などを講義で学びつつ、自分のキャリアを考えていく重要性や、その計画を実現させるために必要な準備について学んでいく。また、ロールモデルとして、さまざまな医療領域の実務を経験した医師・看護師・メディカルスタッフが各専門分野の概要を紹介しつつ、なぜ自分が進路決定にいたったか、現在のとりくみ、将来の展望、各分野の魅力を一概説し、それを聴いて、考えることにより医療人のキャリア形成について理解を深めていく。	
教養教育科目	インターフェース科目	医療・福祉と社会コース	ライフサイクルからみた医療Ⅰ		人生100年時代といわれる現代社会を健康に活躍していくことが重要な課題となっている。これに関して提示した資料を題材としてグループ討論と発表を行うことにより、課題を解決するために多角的視点で考察する能力を養う。 (オムニバス方式／全15回) (藤本裕二／5回) 科目ガイダンス、Teams操作の把握、メンタルヘルスの課題提示・グループ討論・発表を行う、総括 (坂田資尚／4回) 予防医学の課題提示・グループ討論・発表を行う (大坪美由紀／3回) 子育て支援の課題提示・グループ討論・発表を行う (山田春奈／3回) ワーク・ライフ・バランスの課題提示・グループ討論・発表を行う	オムニバス
教養教育科目	インターフェース科目	医療・福祉と社会コース	ライフサイクルからみた医療Ⅱ		医療人とは何か、プロフェッショナルな医療人になるにはどのような準備や能力が必要か、現在の医療の状況、将来の変化、佐賀の医療の現状などを講義で学びつつ、自分のキャリアを考えていく重要性や、その計画を実現させるために必要な準備について学んでいく。また、ロールモデルとして、さまざまな医療領域の実務を経験した医師・看護師・メディカルスタッフが各専門分野の概要を紹介しつつ、なぜ自分が進路決定にいたったか、現在のとりくみ、将来の展望、各分野の魅力を一概説し、それを聴いて、考えることにより医療人のキャリア形成について理解を深めていく。	
教養教育科目	インターフェース科目	医療・福祉と社会コース	患者に寄り添う医療Ⅰ		さまざまな医療現場で働く医療職の教員等が、実際の経験を元に、あらゆる年齢層の患者・家族の行動や、それぞれの心理・社会的、文化的な背景について紹介し、患者に真に寄り添うとはどういうことなのか考えさせる講義（オムニバス形式）である。	
教養教育科目	インターフェース科目	医療・福祉と社会コース	患者に寄り添う医療Ⅱ		くすりの話 高齢化が進む現代社会での医療においては、病氣と共存していくための適正な薬物療法が重要となる。この講義では、佐賀大学病院は高度先進医療を担う医療機関であることから、病氣や医薬品についての最先端の研究成果や臨床での最新の話題もおり混せて、病氣と医薬品の基礎と臨床応用について学ぶ、医学部附属病院などで実際に診療にあっているトップランナーの医師や薬剤師などがそれぞれの専門の立場から、病氣や健康に興味のある学生や医療職を目指す学生にわかりやすく講義する。	
教養教育科目	インターフェース科目	地域・佐賀学コース	佐賀の歴史文化AⅠ		幕末から明治初期の佐賀地域の歴史について、国内の大きな歴史の流れとともに学びます。特に当時の国内でも最先端を走っていた佐賀藩の科学技術についても触れます。講義ではパワーポイントとプリントを使って説明し、適宜レポート提出を求めます。学外での施設見学も予定しています（時期については講義の中でお知らせします）。現代にも多くの痕跡を残す幕末維新期の佐賀地域について学ぶことで、歴史を身近に感じるきっかけとし、佐賀の歴史文化プログラムの導入とします。	
教養教育科目	インターフェース科目	地域・佐賀学コース	佐賀の歴史文化AⅡ		佐賀地域の古代～近世初頭にかけての歴史を語る多様な史料（古文書、古絵図、出土遺物、石造物など）の中身と意味を解説し、佐賀の歴史の具体的変遷を学ぶ。 特に、佐賀が舞台となった豊臣秀吉の朝鮮出兵（文禄・慶長の役）を通じて政治史・外交史を深く知るため、国指定特別史跡「名護屋城跡」でのフィールドスタディを予定している。 古文書の読み方や基礎知識、様々な史料の使い方や特性を学ぶとともに、佐賀の代表的な歴史的事象について理解を深める。	
教養教育科目	インターフェース科目	地域・佐賀学コース	佐賀の歴史文化Ⅲ		佐賀に関する考古学的遺跡などの歴史的記念物について学び、その現代的な意義を考える。授業はグループ討議、発表を中心に展開する予定である。2025年度は吉野ヶ里遺跡を対象とする。 第6～9回の授業として5月17日土曜日（予備、5月18日日曜日）に吉野ヶ里歴史公園の現地見学を予定している。 授業では講義、現地見学、グループ討議を基礎に、「吉野ヶ里歴史公園にどのような価値があるか？それを現代（未来）にどのように活かしていくか？」を大きなテーマとし、それぞれのグループ独自の視点（発表のサブタイトルなどつけると良い）から発表してもらいます（第12～14回、各班20分程度）。 また、その発表の発展（あるいはグループ発表に盛り込めなかった自分の意見のまとめ）を文章化したものをレポートとして提出してもらいます	
教養教育科目	インターフェース科目	地域・佐賀学コース	佐賀の歴史文化Ⅳ		古文書をもちいて江戸時代の佐賀のようすを学び、現代の佐賀に与えている影響を考えます。講義ではパワーポイントとプリントを使って説明し、適宜レポート提出を求めます。 江戸時代の日本にかんする通説的な知識を身につけ、それを元に江戸時代から明治初期にかけての佐賀地域について基本的な知識の取得を目指します。古文書の重要性や、鍋島直正の政治、龍造寺氏と鍋島氏、佐賀の多様性、佐賀藩の人口、疫病と佐賀などについての講義を行います。	

科目 区分			授業科目の名称	主要授業科目	講義等の内容	備考
教養教育科目	インターフェース科目	地域・佐賀学コース	地域経済と社会 A－Ⅰ		少子化が進行し、地方から大都会へと若者が流出、農村では耕作放棄地が増加し、地域社会の人口が減少したため、需要も減少して地域経済が衰退していく。こうした問題は、21世紀日本の地域経済と社会に限った話ではない。実は、18世紀の江戸日本も、同様の問題に悩まされていた。だが19世紀前半になると、少子化は止まり、人口も経済も成長に転じる。その背景には、幕府や藩による各種の政策があった。 本講義では、地域経済と社会が抱える問題を、18世紀から21世紀の現代までについて、人材育成や経済政策、国際経済との連関などの視点から、解説していく。 また、数名のグループに分かれ、本講義内容を参考にしつつ、地域活性化の方法について、考えてもらう。	
教養教育科目	インターフェース科目	地域・佐賀学コース	地域経済と社会 A－Ⅱ		一つの国に産業構造があるように、特定の地域にも産業構造がある。そのため地域は産業の盛衰の影響を免れない。本講義では産業構造の変遷が地域経済に与える影響について、いくつかの代表的な産業に焦点を当て、佐賀県内の事例も取りあげて説明する。またグループに分かれ、地域分析の課題にも取り組んでもらう。本講義では、地域と産業の関わり合いについて理解し、またそれらをもとに地域分析を行うための基礎を身につけることを目指す。	
教養教育科目	インターフェース科目	地域・佐賀学コース	地域経済と社会Ⅲ		地域経済と商業は密接に関連している。地域の成長力は、その地域の小売企業の成長力を規定している。ただ現代では小売企業が地域経済の成長に貢献する場合もある。また地域の小売商業を守ることが地域の消費者のためでもある。しかしすべての地域の小売企業が成長しているわけではなく、むしろ多くの地域で昔ながらの小売企業の衰退が見られる。本講義では講義形式とグループでの研究発表を、小売業と地域の関係性を表す事例について行っていくことにする。	
教養教育科目	インターフェース科目	地域・佐賀学コース	地域経済と社会Ⅳ		現代社会では、実にさまざまな国や地方自治体／地方公共団体による行政活動が行われており、それらは、われわれ市民の日常生活に深く関係しています。 たとえば、雇用をめぐるのは、労働関係法令や国の制度による施策に加えて、地方自治体等により地域の実情に応じた雇用に係る施策が行われています。 本授業では、とくに雇用に着目して、法律、国の制度、地域の実情に対応した施策などを取り上げていきます。 これら法律、国及び地方自治体等の施策の考察を通して、日々見聞きする国や地方自治体／地方公共団体が関わるニュース等について、なにが問題になっているのかを適切に把握するとともに、主体的に検討し、自らの意見を有することができると期待を込めて講義を行います。 授業では、基本的な事項をわかりやすく説明することを何よりも心がけますが、アクチュアルな問題や最近の裁判例なども随時取り上げたいと思います。外部講師による講演を適宜取り入れます。	
教養教育科目	インターフェース科目	地域・佐賀学コース	佐賀SDGsグローバルアクションⅠ－Ⅰ		SDGsの全体像、および個別目標毎のターゲットやインディケーターについて学ぶ。特に、SDGsの自分事化による行動変革を促すためにグローバルな目標（ターゲット・インディケーター）を佐賀県等を事例にローカライズし、身近な課題解決型の講義とする。 （オムニバス方式／全15回） （五十嵐勉／9回）ガイダンス、SDGs概論（SDGs思考）、特別講義、まとめ （原口智和／3回）SDGs各論（陸の豊かさ）、まとめ （SALIYA DE SILVA／3回）SDGs各論（貧困、ジェンダー平等）、まとめ （HOUGHTON STEPHANIE ANN／3回）SDGs各論（健康と福祉）、まとめ	オムニバス
教養教育科目	インターフェース科目	地域・佐賀学コース	佐賀SDGsグローバルアクションⅠ－Ⅱ		SDGsの個別目標毎（関連する目標のターゲットを含む）のグループワークを実施する。特に、SDGsの自分事化による行動変革を促すために、学外での体験型学習や現地見学等のフィールドワーク、企業・団体等での短期のインターンシップ、データの収集・分析などを通して、身近な課題解決型の講義とする。行政（佐賀市）一団体（佐賀SDGs官民連携円卓フォーラム）一企業（リコージャパン佐賀支店等）との協働によって学習する。	共同
教養教育科目	インターフェース科目	地域・佐賀学コース	佐賀SDGsグローバルアクションⅢ		SDGs目標11（持続可能なまちづくり）のターゲットやインディケーターについて学ぶ。特に、SDGsの自分事化による行動変革を促すためにグローバルな目標（ターゲット・インディケーター）を、佐賀県等を事例にローカライズし、身近な課題解決型の講義とする。 （オムニバス方式／全15回） （大串浩一郎／4回）SDGs各論（持続可能なまちづくり）、災害に関連する外的要因、大規模災害に対する適応策と社会実装、特別講義 （三島伸雄／4回）近年の地方創生の課題と地域社会の胎動、歴史的環境を用いた地方創生の取り組み事例、特別講義 （藤村美穂／4回）農業と雇用、農業の教育力、農業の福祉力、特別講義 （辻一成／4回）都市と農村、農村の変化と過疎問題、特別講義	オムニバス
教養教育科目	インターフェース科目	地域・佐賀学コース	佐賀SDGsグローバルアクションⅣ		各教員が提示する課題に対応して、グループに分かれ、それらの課題に応じた講義ならびに議論を行い、発表資料を作成する。 具体的なグループでの作業として、グループ別のレクチャー、現地調査、対象地の課題に関するPPTを作成させ、中間発表を行う。その後、中間発表を踏まえた議論、対象地のSDGs課題解決の方向性や具体的方法を議論する。中間発表を行い、テーマの再整理、資料を作成し最終発表をおこなう。	共同
教養教育科目	インターフェース科目	共通	インターフェース演習		「インターフェース演習」の授業科目は、インターフェースプログラムの教育内容をさらに深めるために、必要に応じて、インターフェースプログラムの担当教員が開講します。インターフェース演習の授業科目を開講する際には、ホームページ又は掲示によって履修希望者を募ります。また、インターフェース演習の授業科目で修得した単位をインターフェースプログラムの授業科目の単位として認めることがあります。	
専門教育科目	基礎科目		物理学概説		物理学は自然科学の一分野であるだけでなく、理工系において基礎となる学問である。物理学の基本的事項（力学、波動、熱、電磁気学、原子物理学）について概論的に講義する。	

科目区分			授業科目の名称	主要授業科目	講義等の内容	備考
専門教育科目		基礎科目	化学概説	○	社会における化学の果たす役割及び化学的な観点から物事や現象を理解あるいは説明するために必要となる基礎的な事項（化学式、反応式、物質の状態、化学結合、化学平衡）について包括的に講義する。	
専門教育科目		基礎科目	生物学概説	○	生命の恒常性維持に関わる物質、生命体をつくる情報と構造、生老病死の生命科学、について分子・細胞レベルの視点から講義する。	
専門教育科目		基礎科目	学術英語		科学に関係する学術論文をある程度読めて理解でき、科学的な表現の英作文が書けるようになるために、科学技術関連のごく基礎的な英語語彙、英語構文、英文法を講義する。 長田 聡史4回 平面・立体の表現に関する講義を担当 北垣 浩志4回 量と大きさの表現・全体と部分の表現に関する講義を担当 梅木 辰也4回 動作の表現に関する講義を担当 川口 真一3回 相対表現に関する講義を担当	オムニバス
専門教育科目		基礎科目	化学物質演習		化学物質の特性や、危険物毒劇物などの法令上の分類など、化学物質を安全に取り扱ううえで身につけておくべきことを演習形式で学ぶ。 長田 聡史4回 法令に関する講義を担当 梅木 辰也4回 物理に関する講義を担当 川口 真一4回 化学に関する講義を担当 北垣 浩志3回 生物に関する講義を担当	オムニバス
専門教育科目		基礎科目	微積分分学		自然現象や工学的技術を解析・モデル化していく過程において微積分分学が重要な役割を果たす。これまでの数学学習を前提として、さらに詳しく1変数関数の微積分分学について講義する。	
専門教育科目		基礎科目	線形代数学		専門科目では、自然現象などを解析・モデル化していく過程において線形代数学が重要な役割を果たす。『線形代数学』は大学に入ってからすぐ受けるべき最も基礎的な科目であり、他の専門教育科目や専門科目を理解するのに欠かせないものである。線形代数学の入門として、特に行列や行列式の基礎について学び、将来、線形代数学を利用する分野において活躍するのに必要な最低限の知識を身につける。	
専門教育科目		基礎科目	情報・統計学		データを統計分析するための数理統計学を解説する。統計分析のための基本的な考え方と必要となる情報及び数学の道具を学ぶ。	
専門教育科目		基礎科目	化学情報処理	○	化学分野での研究に必須となるCASやPDBなどの化学物質オンラインデータベースの活用方法を学ぶ。また、化合物の構造表示や分子軌道計算などに用いられるアプリケーションの操作方法を演習を通じて講義する。 北垣 浩志7回 CASなどのデータベースおよびR/Matlabなどのプログラミングに関する講義を担当 川口 真一8回 化合物の構造表示や分子軌道計算等の講義を担当	オムニバス
専門教育科目	専門科目	理学系	無機化学		原子の電子構造、量子数、周期性、ルイス構造、分子構造等について講義する。原子や分子の電子配置・構造などの無機化学の基礎を修得する。 久田 光徳7回 原子の電子構造と周期性についての講義を担当 鯉川 雅之8回 周期性、ルイス構造、分子構造についての講義を担当	オムニバス
専門教育科目	専門科目	理学系	物理化学	○	化学量論、気体・液体、エンタルピー、分子間力、溶液の性質などについて講義する。物理化学の基礎を修得し、さまざまな化学現象へ応用するための礎を築く。 藤澤 知績8回 化学量論、気体・液体、エンタルピーについての講義を担当 坂口 幸一7回 気体の性質、物質の状態と分子間力、溶液の物理的性質についての講義を担当	オムニバス
専門教育科目	専門科目	理学系	分析化学Ⅰ	○	分析化学の基礎知識の習得を目標として、反応速度論、化学平衡、酸塩基平衡について概説する。 大渡 啓介8回 反応速度論に関する講義を担当 梅木 辰也7回 化学平衡、酸塩基平衡に関する講義を担当	オムニバス
専門教育科目	専門科目	理学系	分析化学Ⅱ		誤差と分析データ・滴定分析法・重量分析法・酸塩基平衡・錯生成平衡・溶解平衡・酸化還元平衡についてそれぞれ講義する。 兒玉 宏樹8回 誤差と分析データ、滴定分析法、酸塩基平衡に関する講義を担当 磯野 健一7回 重量分析法、錯生成平衡、溶解平衡、酸化還元平衡に関する講義を担当	オムニバス
専門教育科目	専門科目	理学系	量子化学		量子論の基本的概念とSchrodinger方程式、並進運動・振動運動・回転運動の量子論的取扱、原子の構造・原子スペクトルについて講義する。 海野 雅司8回 量子論の基本的概念とSchrodinger方程式・並進運動と振動運動の量子論的扱いに関する講義を担当 坂口 幸一7回 回転運動の量子論的扱い・原子の構造・原子スペクトルに関する講義を担当	オムニバス
専門教育科目	専門科目	理学系	溶液化学		ほとんどの化学反応は溶液中で起こる。その化学反応の本質を理解するうえで、溶媒－溶媒、溶質－溶媒、溶質－溶質間の相互作用をミクロな視点から明らかにすることが重要である。水や非水溶媒の性質、化合物の溶解現象、溶液内化学反応のメカニズムを分子や原子のレベルで理解する。また、溶液化学の研究に用いるさまざまな手法を知る。 梅木 辰也8回 溶解や溶液内反応に関する講義を担当 藤澤 知績7回 溶液化学における分析手法に関する講義を担当	オムニバス

科目 区分			授業科目の名称	主要授業科目	講義等の内容	備考
専門 教育 科目	専門 科目	理学 系	生物無機化学		主要な金属元素の基本的性質を学習し、生物がこれらをどのように活用しているのか生物学的な役割について理解する。また、生体中における金属イオンの輸送・貯蔵について理解する。最後に、酸素呼吸を行う生物の酸素輸送・貯蔵の仕組みについて理解する。	
専門 教育 科目	専門 科目	理学 系	化学熱力学		化学熱力学は化学を巨視的観点から現象論的に整理し理解する学問である。 化学概説で得た知識をもとに、化学熱力学の基礎について講義する。 化学熱力学の基礎を修得し、さまざまな化学現象へ応用するための礎を築く。 海野 雅司 7回 気体の状態、熱力学第一法則に関する講義を担当 成田 貴行 8回 第二法則、相図に関する講義を担当	オムニバス
専門 教育 科目	専門 科目	理学 系	有機機器分析化学		核磁気共鳴分光法、赤外分光法、質量分析法、紫外-可視分光法に関する理論とそれらを用いた有機化合物の構造決定方法に関する内容を講義する。	
専門 教育 科目	専門 科目	農学 系	植物生理学		植物の組織、細胞の構造とその生理機能に関する講義である。古典的な個体レベルの生理学的研究から、最近の代謝化学分野における発見、遺伝子などの分子レベルでのさまざまな機能を詳しく解説する。 鈴木 章弘 8回 植物の生長、必須元素、光合成などに関する講義を担当 古藤田 信博 7回 植物ホルモン、開花などについての講義を担当	オムニバス
専門 教育 科目	専門 科目	農学 系	植物資源学	○	植物を遺伝資源として位置づけ、野生植物から栽培植物への進化、繁殖、利用経過をたどり、探索・収集・保存の重要性を概説し、現在の植物遺伝資源の利用技術と現状を概説する。	
専門 教育 科目	専門 科目	農学 系	分子生物学	○	遺伝子の発現制御による組織・個体形成までの制御機構について講義する。特に、外来の刺激物質の認識にまつわる、細胞の構造と機能、生命現象を分子レベルで理解することを目的とする。	
専門 教育 科目	専門 科目	農学 系	酵素化学	○	生体内における有象無象の化学反応を通じて生命現象を構成・制御するタンパク質について、その機能及び機能発現の要因となる物理的・化学的因子について、可能な限り最先端の実験的なアプローチの説明を加えながら講義を行なう。	
専門 教育 科目	専門 科目	農学 系	食品衛生学		食品による健康上の危害を未然に防ぐための学問が食品衛生学である。本講義では、主に食品の变质と細菌性食中毒について詳しく解説する。全ての食品には、程度の差はあれ、リスクが存在している。個々の食品に潜するリスクを正しく理解するとともに、その回避、防止手段を学ぶ。	
専門 教育 科目	専門 科目	農学 系	栄養化学		基礎的な食品成分の栄養機能性から最近の分子栄養学まで講義し、健康を維持・増進し病気を予防するための栄養成分の栄養生化学および代謝調節機構について議論を深める。	
専門 教育 科目	専門 科目	農学 系	遺伝学		近年、様々な生物種のゲノム解析が進んでおり、21世紀は生命科学の時代であると言われている。生物が生物たる所以は種特異的な遺伝情報を含むゲノムを持ち、これを子孫に伝えて行くところにある。 メンデル遺伝の基礎から細胞遺伝学、分子遺伝学を含む現代の遺伝学全般に関して、教科書の内容に沿った講義を行い、最新の農学・生命科学の理解に必要な遺伝的知識を教授する。 藤田 大輔 7回 染色体、細胞遺伝子などに関する講義 渡邊 啓史 8回 遺伝子操作、遺伝子発現などに関する講義	オムニバス
専門 教育 科目	専門 科目	農学 系	植物育種学		本講義では、植物の育種を進める上で重要となる作物ゲノムの成り立ちから遺伝資源の利用、生殖様式に応じた育種法の原理と利用、遺伝的変異の拡大とその遺伝的固定、選抜、検定といった一連の技術について、基礎から最新の応用理論を体系的に解説する。 藤田 大輔 7回 植物育種の基礎、育種目標等に関する講義 渡邊 啓史 8回 突然変異、交雑、遺伝子組み換えなどに関する講義	オムニバス
専門 教育 科目		コア 科目	有機化学Ⅰ	○	化粧品に利用されている材料の多くには有機化合物が利用されている。また、我々の体の多くも有機化合物で構成されている。これらを理解するために炭素原子を中心骨格として構成される有機化合物を官能基ごとに性質の特徴、反応の特徴について講義を行う。有機化合物の構造と性質に関する基礎的概念、アルカン、ハロアルカン及びアルコール、芳香族化合物の性質と反応について講義する。	
専門 教育 科目		コア 科目	有機化学Ⅱ	○	有機化学Ⅰで理解した基礎を基により複雑な分子に関する講義を官能基ごとに分類しながら行う。カルボン酸とその誘導体、アミン類、アミノ酸、ペプチド、糖、ヘテロ環を有する化合物の性質と反応について講義する。	
専門 教育 科目		コア 科目	機器分析学	○	種々の機器分析法データの妥当性や信頼性を議論するうえでは原理および装置構成を理解する必要がある。この講義では、将来使用する可能性の高い機器分析法の原理や装置を説明し、種々の機器分析法から得られるデータの妥当性や信頼性を判断する知識を修得させる。 梅木 辰也 8回 紫外可視、振動、NMRに関する講義 兒玉 宏樹 7回 クロマト、質量分析、X線分光法、熱分析に関する講義	オムニバス
専門 教育 科目		コア 科目	コロイド・界面化学	○	コロイドと界面の定義を始めとして、界面活性剤の種類や性質を理解する。乳化物の理解や、界面の性質を理解する。また、化粧品では多く用いられているエマルジョンやサスペンションなどとの関わりに関しても理解する。	

科目 区分		授業科目の名称	主要授業科目	講義等の内容	備考
専門教育科目	コア科目	生化学Ⅰ	○	生物・細胞の基本構造と生体を構成する物質の化学構造と性質を講義する。生命の基本単位である細胞の構造と細胞内小器官の機能、スクレオチドと核酸の構造と遺伝情報伝達、アミノ酸・タンパク質の構造と性質を扱う。	
専門教育科目	コア科目	生化学Ⅱ	○	生体を構成する物質の化学構造と性質および機能を講義する。物質輸送、運動、免疫等に関わるタンパク質の機能、糖質の構造と機能の概要、脂質の構造と機能の概要を扱う。	
専門教育科目	コア科目	天然物化学	○	天然物には多くの有機化合物が含まれている。本科目では、天然物に含まれる有効成分の単離や構造決定をはじめとして生理活性物質を探索することを学び、人体に有益な天然物化学を化学・生物学の視点から理解する。また、有効性だけではなく安全性なども重要な学びのポイントとなる。	
専門教育科目	コア科目	微生物学	○	微生物学がどのようにして成立し発展してきたか、皮膚にどんな微生物が棲息しどんな健康リスクを起こすか、化粧品を汚染する微生物はどんなものか、微生物を抑制する成分はどんなものが含まれているかを化粧品を規制する法律の観点から網羅的に学ぶ。	
専門教育科目	コア科目	皮膚科学	○	化粧品は皮膚に適用されるので皮膚そのものの理解が重要である。正常皮膚（表皮、真皮）の構造や機能について学び、皮膚付属機関の構造や機能を学ぶ。また、投与部位としての皮膚の病態も学ぶ。 杉田 和成10回 皮膚の機能の講義を担当 徳留 嘉寛5回 皮膚の構造についての講義を担当	オムニバス
専門教育科目	コア科目	生理学	○	化粧品や化粧品に使われる医薬品に含まれる化学物質が、私たちの体とどのように関わるかを理解するためには、皮膚・毛髪を始めとした人体の組織やその調和を知ることが重要である。そこで本生理学講義では、生命活動を維持するための人体の機能及びそれらが総合的に統合され生体恒常性を維持する仕組みについて学ぶことを目的とする。 荒木 薫8回 人体生理学についての講義を担当 町田 正直7回 運動生理学についての講義を担当	オムニバス
専門教育科目	コア科目	コスメティックサイエンス概論	○	化学や生物学の視点からコスメティックサイエンスの全体像を学ぶ。特に人々の生活を豊かにする化粧品の役割、ならびにこれらの製品と生活者のQOLの関係を社会的背景とともに理解できるようになる。また、化粧品の健康被害などを理解するとともに適正な使用方法なども考え、かつ、指導ができるような基本的な考え方を身につける。また、最近の研究状況などを理解することも目的とする。 徳留 嘉寛2.5回 全体像に関する講義を担当 川口 真一2.5回 有機反応に関する講義を担当 長田 聡史2.5回 フレグランスに関する講義を担当 北垣 浩志2.5回 皮膚微生物に関する講義を担当 鯉川 雅之2.5回 無機材料に関する講義を担当 梅木 辰也2.5回 機器分析に関する講義を担当	オムニバス
専門教育科目	コア科目	コスメ開発論Ⅰ	○	有機化学や生化学の学習を基礎として化粧品の分類、成分、その役割などを学ぶ。 ・化粧品の種類の分類 ・乳化系化粧品の処方や成分の理解 ・液状系化粧品の処方や成分の理解 ・粉末系化粧品の処方や成分の理解	
専門教育科目	コア科目	コスメ開発論Ⅱ	○	化粧品の市場を実際に学び、化粧品会社での商品開発に向けたプロセスなどの実態を実務家教員または企業研究者の講義により学ぶ。製造販売業の実態を理解し、消費者との架け橋を渡せるような学生になれることを目指す。 ・乳化系化粧品の開発・製造・販売の実態の理解 ・液状系化粧品の開発・製造・販売の実態の理解 ・粉末系化粧品の開発・製造・販売の実態の理解	
専門教育科目	コア科目	コスメティックサイエンスPBL	○	化粧品はどのような成分で構成されているのか調査研究し、指定された化粧品を、与えられた素材のみを用いて作成することを課題研究テーマとした、少人数のグループワークを実施する。受講者を6グループに分け、6名の教員が各グループについて講義、グループワーク指導、成果発表指導を行う。	共同
専門教育科目	コア科目	コスメティックサイエンス実験Ⅰ	○	化学実験の基礎を身に付け、理論を実験的に確かめることにより、基礎的知識を深める。様々な実験器具を用いることにより、実験器具の取扱いに習熟する。 梅木 辰也7回 実験ノート・レポート指導、基本的な器具の使い方、秤量と検定を担当 長田 聡史4回 化合物の精製を担当 鯉川 雅之4回 滴定を担当	オムニバス
専門教育科目	コア科目	コスメティックサイエンス実験Ⅱ	○	化粧品、食品、その他日用品として使われている化成品などに含まれる各種成分の分離、分析、定量を目的とする実験を行う。乳化、コロイド作成に関する技術を習得する。また、微生物の培養や検出に関する実験を行う。 川口 真一5回 低分子有機化合物の分離、分析、定量 北垣 浩志5回 皮膚微生物の観察・定量 徳留 嘉寛5回 化粧品の抗微生物性分析、乳化と乳化型の評価	オムニバス
専門教育科目	コア科目	コスメティックサイエンス実験Ⅲ	○	化学合成、成分分析、生理活性測定など指導教員により与えられたテーマに対するグループ実験に取り組み、研究に必要な実験技術を習得する。受講者を5グループに分け、5名の教員がローテーションして各教員より与えられたテーマ実験を行う。そのため、各教員がそれぞれ30回担当する。 徳留 嘉寛 作成を担当 川口 真一 合成を担当 梅木 辰也 材料物性を担当 長田 聡史 生理活性を担当 北垣 浩志 微生物分析を担当	オムニバス

科目 区分		授業科目の名称	主要授業科目	講義等の内容	備考
専門 教育 科目	コア 科目	コスメティックサイエンス実験Ⅳ	○	希望する指導教員を選び、卒業研究に類似したテーマに対する研究に取り組む。進捗状況を毎週確認し、実験計画を点検・修正しながら学期を通じて研究に取り組む。各教員は担当する学生の指導教員として30回の研究指導を行う。	共同
専門 教育 科目	コア 科目	卒業研究	○	個別に卒業研究テーマを設定し、自主的に研究を遂行する。研究状況を定期的に指導教員や学生と協議し、実験計画を点検・修正しながら1年間継続した研究を行う。研究成果の報告は、中間発表、最終発表の2度の口頭発表を通じて行うとともに、卒業論文としてまとめる。各教員は担当する学生の指導教員として通年で研究指導を行う。	共同
専門 教育 科目	学 環 周 辺 科 目	分子薬理学		生体機能を制御するタンパク質としての酵素や受容体などの機能を分子レベルで講義する。薬物や生体物質の構造と生体に対するそれらの機能の基本となる原理について、受講と演習課題を通じて理解できる。	
専門 教育 科目	学 環 周 辺 科 目	科学技術者倫理		科学者が与える世間への影響を踏まえて持つべき倫理観を養うために、これまでに世界で起きた様々な事例に関する討論や、これに関連する各種法令を学びながら必要な倫理観を修得する。各年度2名の教員で交代で担当する。1名が研究倫理の講義を4コマ、他の1名が事例紹介を4コマ、そして事例研究と討議のグループワークを両教員で7コマ担当する。 令和9年度：長田 聡史・川口 真一、令和10年度：徳留 嘉寛・北垣 浩志、令和11年度：梅木 辰也・成田 貴行、令和12年度：長田 聡史・川口 真一	オムニバス・共同・分担
専門 教育 科目	学 環 周 辺 科 目	知的財産法		本講義では、現代社会・経済における知的財産の重要性を理解し、それを保護するための法律制度について学ぶ。とりわけ、知的創作物を保護する著作権法、技術的アイデアを保護する特許法、ブランドや商品表示を守る商標法、公正な競争を維持するための不正競争防止法の4分野を中心に、実務的・理論的観点から体系的に解説する。	
専門 教育 科目	学 環 周 辺 科 目	毒性学		化粧品は多くの化学物質からなる化学製品である。これら化粧品・化学物質が必ずしも有益であるとは限らない。化学物質が異物としてどのように体内で作用しているか、分子レベルから組織レベルで理解するとともに、化学物質の法的規制について学ぶ。また環境の変化や作業環境が我々の健康にどのような影響を及ぼすのかを学ぶ。 長田 聡史 5回 毒性評価の基礎、毒性の種類、有機化合物に関する講義を担当 鯉川 雅之 5回 無機化合物に関する講義を担当 梅木 辰也 5回 電磁波、環境に関する講義を担当	オムニバス
専門 教育 科目	学 環 周 辺 科 目	体内動態論		化粧品の有効性や安全性を理解するためには化粧品有効成分または化粧品に含まれる原料が体内に入った際の体内動態の理解が必須である。化粧品有効成分や基本的な化合物の吸収、分布、代謝、排泄などを中心として化合物の体内動態や生体の安全性を理解することを目的とする。	
専門 教育 科目	学 環 周 辺 科 目	コスメ文化論		現代の化粧品は肌を清潔に保ったり、美しくなりたいという願望などが主であるが、身分の表示や宗教的な意味も複合的に関わってきた。コスメ文化論ではその歴史をはじめとした文化を学ぶ。 徳留 嘉寛 7回 化粧品の歴史についての講義を担当 北垣 浩志 8回 化粧品の法律の歴史についての講義を担当	オムニバス
専門 教育 科目	学 環 周 辺 科 目	マーケティングマネジメント		本講義では、マーケティングを初めて学ぶ学生を対象にマーケティング論に関する基礎的知識を体系的に習得することを目指します。具体的には、マーケティングとは何か、その基礎理論および分析手法などについての理解を深めるため、実際のケースをとりあげながら解説します。	
専門 教育 科目	学 環 周 辺 科 目	食物学		食物学の内容について基礎的事項を解説する。また、意見交換する活動を取り入れ、現代の食生活のあり方を考える力を身に付けさせる。	
専門 教育 科目	学 環 周 辺 科 目	デザインプロジェクト演習		現代のデザイン活動は複数のメディアを横断して行われることが多く、デザイナーはそれぞれのメディアの特徴を熟知しながら効果的な造形を行うことが求められる。また、商品企画の立場からは、適切なユーザーの把握をもとにマーケットへ適正な価値をデリバリーすることが求められ、マーケティングやデザインリサーチの知見が重要になる。 本演習では、現代のデザイン活動を横断的に整理して見なおし、実践しながら、デザインプロジェクトを企画・制作することを目指す。具体的には、北部九州の地域課題をデザインで解決することを目指し、ディレクターとデザイナーの役割に分かれながら、実際にデザインを企画・造形していきます。	
専門 教育 科目	学 環 周 辺 科 目	企業インターンシップS		佐賀県内企業によるキャリア教育やインターンシップ、企業側担当者が提示する課題に対する企画提案や共同制作を含めた企業研修等、受講生による主体的な取り組みを行う。 令和10年度は長田 聡史、以降は徳留 嘉寛、北垣 浩志、梅木 辰也、川口 真一の順に交代して担当する。	分担

科目 区分		授業科目の名称	主要授業科目	講義等の内容	備考
専門 教育 科目	学 環 周 辺 科 目	企業インターンシップL		化学関連企業でのインターンシップに参加し、企業で働くことに対する姿勢や意義、内容を体感し、理解を高めることを目的とする。また、情報収集の実施や、インターンシップの振り返りを行い、自分の言葉でまとめることによって、表現技術の向上とともに、企業分析力・自己分析力の向上を図る。 令和10年度は長田 聡史、以降は徳留 嘉寛、北垣 浩志、梅木 辰也、川口 真一の順に交代して担当する。	分担

(注)

- 1 開設する授業科目の数に応じ、適宜枠の数を増やして記入すること。
- 2 専門職大学等又は専門職学科を設ける大学若しくは短期大学の授業科目であって同時に授業を行う学生数が40人を超えることを想定するものについては、その旨及び当該想定する学生数を「備考」の欄に記入すること。
- 3 私立の大学の学部若しくは大学院の研究科又は短期大学の学科若しくは高等専門学校の収容定員に係る学則の変更の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合、大学等の設置者の変更の認可を受けようとする場合又は大学等の廃止の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合は、この書類を作成する必要はない。
- 4 「主要授業科目」の欄は、授業科目が主要授業科目に該当する場合、欄に「○」を記入すること。なお、高等専門学校の学科を設置する場合は、「主要授業科目」の欄に記入せず、斜線を引くこと。
- 5 高等専門学校の学科を設置する場合は、高等専門学校設置基準第17条第4項の規定により計算することのできる授業科目については、備考欄に「☆」を記入すること。